令　和　６　年　度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　恵泉会

－ 目　　次　　－

① 恵泉会法人本部	1	～	9	ページ
② 障害者支援施設若草園	10	～	15	ページ
③ 障害者支援施設若生園	16	～	22	ページ
④ 生活介護事業所パルめぐみ	23	～	28	ページ
⑤ 恵泉会グループホーム・はせやま相談支援事業所	29	～	37	ページ
⑥ 恵泉会地域生活支援センター	38	～	43	ページ
⑦ 多機能型事業所若葉園	44	～	48	ページ
⑧ 就労継続支援Ｂ型さくらワークス	49	～	52	ページ
⑨ 多機能サポートセンターこじか	53	～	62	ページ
⑩ 南方保育所	63	～	67	ページ
⑪ 事業所内保育所キッズつぼみ	68	～	71	ページ
⑫ 特別養護老人ホーム光風園	72	～	78	ページ
⑬ 特別養護老人ホーム松風園	79	～	85	ページ
⑭ 豊里デイサービスセンター百楽荘	86	～	91	ページ
⑮ 特別養護老人ホーム萩風園	92	～	97	ページ
⑯ 中田デイサービスセンター菊風荘	98	～	102	ページ
⑰ 特別養護老人ホーム迫風園	103	～	109	ページ
⑱ 迫デイサービスセンター翠風荘	110	～	115	ページ
⑲ 特別養護老人ホーム南風園	116	～	122	ページ
⑳ 南方デイサービスセンター南寿荘	123	～	127	ページ
㉑ 地域密着型特別養護老人ホーム東和	128	～	133	ページ
㉒ 東和高齢者福祉施設デイサービス	134	～	139	ページ
㉓ 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス	140	～	142	ページ
㉔ 地域密着型特別養護老人ホームゆりの郷	143	～	149	ページ
㉕ 地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷	150	～	154	ページ
㉖ 恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘	155	～	159	ページ
㉗ 地域密着型通所介護恵泉会デイサービスセンターほんわか	160	～	165	ページ
㉘ 恵泉会ヘルパーステーション	166	～	168	ページ
㉙ 恵泉会介護支援センターいきいき	169	～	173	ページ
㉚ 恵泉会介護支援センターらくらく	174	～	178	ページ
㉛ 恵泉会東和介護支援センター	179	～	182	ページ
㉜ 恵泉会とよま介護支援センター	183	～	187	ページ
㉝ 登米市迫地域包括支援センター	188	～	193	ページ
㉞ 恵泉会サービス付き高齢者向け住宅恵はあと	194	～	196	ページ
【施設整備関係】				
㉟ 南方認定こども園　新築整備事業報告	197	～	200	ページ
【事故報告関係】				
㊱ ヒヤリハット・軽微・事故・苦情処理報告			201	ページ

令和6年度
恵泉会法人本部　事業報告

【　　概　　要　　】

1．基本理念の実現に向けた取り組み

社会福祉諸制度をめぐる大きな変革の中、当法人の役職員が、社会福祉法人の使命や自ら果たすべき役割を再確認し、法人の基本理念を指標にして利用者・地域社会に施設・事業所の姿勢を表明することに努めました。

2．利用者のサービス向上に向けた取り組み

福祉サービスの提供にあたっては、利用者の人権と人格を最大限に尊重し、「利用者に選ばれるサービスとは何か」「望まれるサービスの質とは何か」「利用者本位のサービスとは何か」を常に念頭に置き、利用者のサービス向上に向けた各種の取り組みを行いました。

（1）各施設・事業所において、サービス自己評価及び恵泉会第三者委員による評価を実施し、抽出された要改善事項について十分検討し、改善に努めました。

（2）各施設・事業所の苦情解決責任者及び恵泉会第三者委員出席のもと、苦情処理・サービス向上委員会を開催し、令和5年度に発生した苦情・介護事故等の分析・検討を行い、提供するサービスの質の向上を図りました。

（3）情報開示、広報活動の取り組みとして、恵泉会会報誌（1回）を発行しました。また、法人の公益性と経営の透明性を高めるため、情報公開の手段としてワムネット（財務諸表等電子開示システム）とホームページを活用し、恵泉会基本理念や財務諸表、事業報告書、監事監査報告書等を公表しました。

（4）サービスの質の向上のために、職員の意識改革に取り組む研修や会議等を行いました。

（5）若草園・こじかにおいて、利用者へより快適な生活環境を提供するため、補助金を活用して空調設備の更新を行いました（若草園：災害時に備えた社会的重要インフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金、こじか：障害福祉施設の原油価格・物価高騰等緊急対策投資促進事業補助金）。また、迫風園では予てから不具合が生じていた空調機械を、ファンコイルから電気エアコンに変更、これに合わせて電気容量の大きいキュービクルに交換する工事を行い、利用者に快適な住環境を提供しました。

3．経営管理における取り組み

経営管理においては、各種事業でのプラスの収支差額を目標とし、経常活動による事業で獲得した収支差額の範囲内で、施設整備等による計画を樹立することに努めました。

（1）令和6年度に計画された施設整備、設備整備、高額物品の取得等については、複数者による見積合わせを実施し、執行額の削減に努めました。

（2）日常要する経費については、漫然と延長的に捉えるのではなく、無駄を排除し、共同購入を推進するなど、効率性を追求しました。

（3）LPガス、灯油、重油、ガソリン等の燃料価格の高騰に伴い、宮城県の「障害福祉施設原油価格・物価高騰対策事業補助金」、「宮城県高齢者施設エネルギー価格高騰対策事業補助金」を申請し、補助金を財源として経費の負担軽減を図りました。

4．職員の経営参加に対する取り組み

職員の経営参加を積極的に推進し、各種計画の立案に際して広く職員から提案を求め、集約することに努めました。また、法人内各事業間の連携を意識して広い見地から計画を練るため、統括施設長・施設長・管理者が参加する経営者会議を延べ10回開催しました。

5．職員の資質・専門性の向上に向けた取り組み

資格種類や役職、経験年数に応じた基礎的・専門的知識と素養を身に付けた人材を養成するため、職員研修計画に基づく各種研修や職種毎の専門部会等を、ウェブ会議システムを活用しながら実施しました。

6．地域貢献事業の取り組み

法人が持つ人的資源や物的資源、これまで培ってきた知識や技術などを活用し、多様化・複雑化する福祉ニーズを充足させる地域貢献事業に積極的に取り組みました。

1）講師等派遣事業の実施
2）社会福祉法人による利用者負担軽減対策事業の実施
3）オレンジカフェ（認知症カフェ）の実施

7．恵泉会介護職員初任者研修の実施

働きながら介護の基礎を学び、仕事の原理・原則、基本を身につけ、研修終了後も資格取得や専門性の更なる向上に自ら取り組める土台形成を目的として、恵泉会介護職員初任者研修を開講し、令和6年度は3名が研修を修了しました。

8．新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症に感染すると重症化リスクが高いといわれている高齢者や基礎疾患を有する者が多く利用する社会福祉施設等においては、感染者が発生すると重大な事態となるおそれがあります。
このため、恵泉会では、職員それぞれが新型コロナウイルス感染症について正しい理解を持ち、国や自治体からの通知・通達に基づき、適切な感染症対策を実施しました。

（1）感染の疑いについてより早期に把握できるよう、施設長・管理者が中心となり、利用者及び職員について毎日の検温を実施するなど、健康状態の把握に努めました。
（2）感染経路の遮断という観点から、緊急やむを得ない場合を除き面会を制限する等の対応を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴い、一定の条件のもとで対面による面会を再開しました。

【行事・研修・会議・委員会等】

1．行事
(1)会務

年 月 日	内 容
R6.04.01	辞令交付式
R6.04.12	迫風園キュービクル改修工事現場説明会（迫風園）総括主任
R6.05.21	恵泉会永年勤続者表彰式　30年勤続表彰7名・20年勤続表彰10名
R6.06.03	迫風園空調機・給湯器改修工事現場説明会（迫風園）常務理事・総括主任
R6.06.15	恵泉会介護職員初任者研修開講式（萩風園）受講者3名
R6.07.02	登米市就職ガイダンス（登米総合体育館）主任・事務員
R6.07.10	宮城県工賃向上支援計画検討会（宮城県庁）常務理事
R6.07.17	南方認定こども園新築整備に係る住民説明会（南方公民館）
	理事長・常務理事・理事・参事・総括主任・副主任・南方保育所施設長
R6.07.31	辞令交付式
	南方認定こども園新築工事安全祈願祭（南方認定こども園建設地）
R6.08.21	迫風園温冷配膳車納品・検査（迫風園）総括主任
R6.08.29	令和6年度定年退職者再雇用説明会（対象7名）
R6.08.30	辞令交付式
R6.09.30	南方認定こども園移行に関する保護者説明会（南方保育所）理事長・常務理事・参事
R6.10.14	第31回恵泉会福祉旗登米市招待少年野球大会（光ヶ丘球場・大東球場）8チーム参加
R6.10.31	迫風園キュービクル改修工事完成検査（迫風園）常務理事・総括主任
R6.11.22	迫風園空調機・給湯器改修工事完成検査（迫風園）常務理事・総括主任
R6.11.29	辞令交付式
	こじか空調設備更新工事完成検査（迫風園）常務理事・総括主任
R6.11.30	恵泉会介護職員初任者研修修了式（迫風園）修了者3名
R6.12.27	辞令交付式
	仕事納め
R7.01.06	仕事始め
R7.01.17	若草園空調設備更新工事完成検査（若草園）常務理事・総括主任
R7.01.31	辞令交付式
R7.02.06	障害者雇用納付金事務説明会（迫公民館）総括主任

R7.02.07	公立保育園等の民営化に関するサウンディング型市場調査（登米市福祉事務所） 常務理事・参事・総括主任
R7.03.03	令和7年4月1日付け採用内定者入職説明会（対象者10名）
R7.03.14	南方認定こども園新築工事施主検査（南方認定こども園建設地） 理事長・常務理事・参事・総括主任 迫桜高校地元企業説明会（迫桜高校）主任・事務員
R7.03.17	南方認定こども園新築建物引渡し
R7.03.18	恵泉会役員による南方認定こども園新築建物視察
R7.03.31	辞令交付式

(2)採用関係

年 月 日	内 容
R6.06.28	職員採用試験（随時試験-看護職員）<筆記試験・人物審査>受験者1名
R6.09.02	令和7年4月1日付け職員採用一次試験（看護職員・保育士・介護職員）<書類審査>受験者9名
R6.09.09	令和7年4月1日付け職員採用一次試験（保育士）<書類審査>受験者1名
R6.09.11	令和7年4月1日付け職員採用二次試験（看護職員・保育士・介護職員）<筆記試験・人物審査>受験者9名
R6.11.11	令和7年4月1日付け職員採用一次試験（保育士・介護職員）<書類審査>受験者2名
R6.11.22	令和7年4月1日付け職員採用二次試験（保育士・介護職員）<筆記試験・人物審査>受験者2名
R6.11.22	令和7年4月1日付け職員採用一次試験（介護職員）<書類審査>受験者1名
R6.12.02	令和7年4月1日付け職員採用二次試験（介護職員）<筆記試験・人物審査>受験者1名
R6.12.16	令和7年4月1日付け職員採用一次試験（看護職員）<書類審査>受験者1名
R6.12.23	令和7年4月1日付け職員採用二次試験（看護職員）<筆記試験・人物審査>受験者1名
R7.01.15	令和7年4月1日付け職員採用一次試験（理学療法士）<書類審査>受験者1名
R7.01.24	令和7年4月1日付け職員採用二次試験（理学療法士）<筆記試験・人物審査>受験者1名
R7.02.07	令和7年4月1日付け職員採用一次試験（介護職員）<書類審査>受験者1名
R7.02.17	令和7年4月1日付け職員採用二次試験（介護職員）<筆記試験・人物審査>受験者1名

2. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講師（講演者）	参 加 者
R6.04.12	施設長会計研修	常務理事	対象職員2名
R6.04.22	人事考課者研修（新任研修）	理事長 常務理事 参事	対象職員6名
R6.06.13	経営・管理職研修 「管理者向けハラスメント研修」	WJU社会保険労務士法人 社会保険労務士	対象職員31名
R6.07.08	新任職員研修	理事長 常務理事 南風園施設長 松風園施設長	対象職員16名
R6.08.26	人事考課者研修（現任研修）	恵泉会研修委員 経営企画メンバー	対象職員20名
R6.11.19	第45回恵泉会職員研修大会 ○講演「『助けて』と言える社会へ」 ～抱樸の取り組みと希望のまち～	NPO法人 抱樸 理事長 奥田知志 氏	恵泉会役職員等 155名
R6.08.26	人事考課者研修（現任研修）	恵泉会研修委員 経営企画メンバー	対象職員24名
R7.02.04	職員フォローアップ研修	理事長 鉄道写真家 武川健太氏	対象職員18名
全13回	ケアマネジャー試験対策講習会	国家資格取得対策委員ほか	職員延べ22名
全16回	介護福祉士試験対策講習会	国家資格取得対策委員ほか	職員延べ17名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R6.06.19	宮城県社会福祉法人経営者協議会 防災対策委員会	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	仙台市	常務理事
R6.07.04	宮城県社会福祉法人経営者協議会 定期総会・セミナー	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	仙台市	常務理事
R6.11.01	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	仙台市	常務理事
R6.11.05	令和6年度労働局懇談会	宮城労働局	仙台市	常務理事
R6.11.12	宮城県社会福祉法人経営者協議会 防災対策委員会	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	仙台市	常務理事
R6.11.22	職域型年金委員地区別研修会	日本年金機構 古川年金事務所	登米市	事務員
R6.12.13	福祉サービスの苦情解決に関する研 修会(第三者委員対象)	宮城県社会福祉 協議会	ウェブ研修	第三者委員3名

3. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 数	参　　加　　者
経営者会議	施設・事業所経営に関する検討、その他	10回	理事長・常務理事 参事・統括施設長 施設長・法人本部

(2) 理事会

開 催 日	内　　容
R6.04.10	第1回　(出席者:理事6名/6名　監事1名/2名)
	協議事項
	南方保育所「幼保連携型認定こども園」事業移行について協議
R6.06.07	第2回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	令和5年度　恵泉会事業報告及び収支決算の承認について審議
	監査報告
	恵泉会定款の一部変更について審議
	定時評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について審議
	報告事項
	理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
	寄付金の報告について
	社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告)
R6.06.13	第3回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	(仮称)南方認定こども園新築整備事業計画について審議
	令和6年度　恵泉会収支補正予算(第1号)について審議
	(仮称)南方認定こども園新築工事にかかる条件付一般競争入札の公告について審議
	社会福祉法人恵泉会職員給与支給規則の一部改正について審議
	社会福祉法人恵泉会再雇用職員就業規則の一部改正について審議
	社会福祉法人恵泉会臨時職員就業規則の一部改正について審議
	業績手当の支給について
R6.07.12	第4回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	令和6年度　恵泉会収支補正予算(第2号)について審議
	業績手当の支給について審議
R6.08.05	第5回　(出席者:理事5名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	令和6年度　恵泉会収支補正予算(第3号)について審議
	報告事項
	理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について

	入札実施に伴う契約の報告について
R6.09.20	第6回　(出席者:理事5名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	令和6年度　恵泉会収支補正予算(第4号)について審議
	報告事項
	社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告)
R6.10.31	第7回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	令和6年度　恵泉会収支補正予算(第5号)について審議
	施設長の任免について審議
	報告事項
	理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
R6.12.16	第8回　(出席者:理事5名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	業績手当の支給について審議
	令和6年度　恵泉会収支補正予算(第6号)について審議
	社会福祉法人恵泉会利用者預り金管理規程の一部改正について審議
	報告事項
	寄付金の報告について
	社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告)
R7.02.21	第9回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	恵泉会定款の一部変更について審議
	評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について審議
	令和6年度　恵泉会収支補正予算(第7号)について審議
	施設長の任免について審議
	報告事項
	理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
R7.03.05	第10回　(出席者:理事6名/6名　監事1名/2名)
	決議事項
	社会福祉法人恵泉会経理規程の一部改正について審議
	令和7年度　恵泉会各種事業計画及び収支予算について審議
R7.03.17	第11回　(出席者:理事5名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	業績手当の支給について審議
	令和6年度　恵泉会収支補正予算(第8号)について審議
	施設長の任免及び配置換えについて審議
R7.03.28	第12回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	令和6年度　恵泉会収支補正予算(第9号)について審議
	社会福祉法人恵泉会南方保育所運営規程の廃止について審議
	社会福祉法人恵泉会南方認定こども園運営規程の制定について審議
	社会福祉法人恵泉会組織規則の一部改正について審議
	社会福祉法人恵泉会職員就業規則の一部改正について審議
	社会福祉法人恵泉会臨時職員就業規則の一部改正について審議
	社会福祉法人恵泉会職員育児休業等に関する規程の一部改正について審議
	社会福祉法人恵泉会職員介護休業等に関する規程の一部改正について審議
	社会福祉法人恵泉会職員給与支給規則の一部改正について審議
	社会福祉法人恵泉会文書取扱規程の一部改正について審議
	役員賠償責任保険契約について審議
	評議員選任・解任委員の選任について審議
	第三者委員の選任について審議

(3) 評議員会

開 催 日	内　　容
R6.06.24	定時評議員会　(出席者:評議員7名/8名　理事6名／6名　監事2名/2名) 報告事項 　令和5年度恵泉会事業報告について 　令和5年度恵泉会会計決算(計算書類及び財産目録)について 　令和5年度宮城県等指導監査の指摘事項及び改善状況について 決議事項 　社会福祉法人恵泉会定款の一部変更について審議
R7.03.05	第2回評議員会　(出席者:評議員7名/8名　理事6名／6名　監事1名/2名) 決議事項 　恵泉会定款の一部変更について審議

(4) 評議員選任・解任委員会

開 催 日	内　　容
無	

(5) 監査会

実 施 日	実　施　施　設　・　事　業　所	監　　査　　員　　等
【令和5年度決算監査】		
R6.05.08	迫風園・翠風荘	恵泉会監事
R6.05.09	松風園・百楽荘	〃
R6.05.13	パルめぐみ 南方保育所	〃
R6.05.14	恵泉会介護支援センターいきいき 恵泉会介護支援センターらくらく 恵泉会東和介護支援センター 恵泉会とよま介護支援センター 登米市迫地域包括支援センター ほんわか 恵泉会地域生活支援センター	〃
R6.05.16	光風園・ゆりの郷	〃
R6.05.17	萩風園・菊風荘 恵泉会グループホーム	〃
R6.05.22	恵はあと 恵泉会ヘルパーステーション 遠山荘 キッズつぼみ こじか	〃
R6.05.23	ほたるの郷 東和 東和高齢者福祉施設通所介護 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス	〃
R6.05.24	南風園・南寿荘	〃
R6.05.27	若草園 若葉園 若生園 さくらワークス	〃
R6.05.29	法人本部・取りまとめ	〃
【令和6年度中間監査】		
R6.11.26 R6.11.27	全施設・事業所(書面監査)	恵泉会監事

(6) 会計監査人監査

開 催 日	内　　容	実施拠点区分	会 計 監 査 人
R6.10.23～ R6.10.24	令和6年度監査計画打合せ 令和6年度会計監査人監査(第1回)	法人本部	あすの監査法人 公認会計士1名
R7.1.14～ R7.1.15	令和6年度会計監査人監査(第2回)	〃	あすの監査法人 公認会計士2名
R7.3.10～ R7.3.11	令和6年度会計監査人監査(第3回)	〃	あすの監査法人 公認会計士1名

(7) 内部監査

開 催 日	内　　容	実施拠点区分	内 部 監 査 人
無			

(8) 入札会

開 催 日	件名	立会人(役職名等)
R6.07.08	(仮称)南方認定こども園新築工事	(理 事)
		(理 事)
		(監 事)
		(評 議 員)
		(設計業者)
		(設計業者)
		(登米市職員)

(9) 各種工事等打合せ

開 催 日	内　　容	場　　所	出　　席　　者
【南方認定こども園新築工事】			
全13回	工事打合せ	工事現場事務所 在宅サービス支援棟	常務理事・参事 南方保育所施設長 総括主任
【迫風園キュービクル改修工事】			
全7回	工事打合せ	迫風園	常務理事 総括主任
【迫風園空調機・給湯器改修工事】			
全6回	工事打合せ	迫風園	常務理事 総括主任
【こじか空調設備更新工事】			
R6.11.07	工事打合せ	在宅サービス支援棟	常務理事 総括主任
【若草園空調設備更新工事】			
R6.11.20	工事打合せ	在宅サービス支援棟	常務理事 総括主任

(10) その他の会議・打合せ

開 催 日	内　　容	場　　所	出　　席　　者
全12回	老人施設長部会	各特別養護老人ホーム	参事
全9回	障害事業施設長等会議	若草園、他	障害サービス事業施設長・総括主任
全4回	経営企画会議(全2回)	在宅サービス支援棟	常務理事・若草園統括施設長・松風園施設長・迫風園施設長・南風園施設長・ほたるの郷施設長・法人本部職員2名
R6.07.25	特別養護老人ホームの宿直体制に関する打合せ	在宅サービス支援棟	常務理事 参事 各特養施設長 総括主任

4. 委員会開催状況

開 催 日	内　　容	場　　所	出　　席　　者
R6.04.22	第1回賞罰委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員5名・法人本部4名
R6.04.30	第2回賞罰委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員5名・法人本部2名
R6.06.05	第1回地震防災対策委員会	ウェブ会議	常務理事・参事 委員18名・法人本部2名
R5.06.21	国家資格取得対策委員会	在宅サービス支援棟	光風園施設長・松風園施設長 ほたるの郷施設長 恵泉会介護支援センター施設長
R6.06.13	第3回賞罰委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員5名・法人本部4名
R6.06.27	第1回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 南風園施設長 委員13名・法人本部3名
R6.08.20	第2回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	参事 南風園施設長 委員13名・法人本部2名
R6.09.30	苦情処理・サービス向上委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 第三者委員3名 法人本部2名 委員15名
R6.10.01	第3回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	南風園施設長 委員13名・法人本部2名
R6.11.05	第4回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	参事 南風園施設長 委員14名・法人本部2名
R6.12.11	第4回賞罰委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員5名・法人本部2名

5．各種サービス評価実施状況

実施日	実施施設	評価員等
【令和6年度施設サービス評価】		
R6.12.02	光風園・ゆりの郷	恵泉会第三者委員
R6.12.13	こじか	〃
R6.12.16	若生園・さくらワークス	〃
R6.12.20	恵泉会グループホーム	〃
R6.12.23	東和・東和デイサービス	〃
R6.12.24	萩風園・菊風荘	〃
R7.01.07	若草園・若葉園	〃
R7.01.10	南風園・南寿荘	〃
R7.01.14	松風園・百楽荘	〃
R7.01.17	ほたるの郷・キッズつぼみ	〃
R7.01.21	迫風園・翠風荘	〃
R7.01.27	ほんわか・南方保育所	〃
R7.01.31	パルめぐみ・遠山荘	〃

令和6年度
障害者支援施設若草園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米川字町裏120番地1
2）設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4）開　設　年　月　日　　平成23年 4月 1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
生活介護・施設入所	60 名
短期入所	4 名
計	64 名

【　基　本　方　針　】

恵泉会の基本理念並びに、障害児者支援事業所共通の「心紡ぐ　あなたによりそうけいせんかい」のスローガンのもと、「施設入所」と「生活介護」の事業を一体的に行う障害者支援施設として、利用者個々の特性に配慮しつつ、一人ひとりの人権の尊重を基本とし、その人らしく充実した生活を安心・安全に営むことができるよう支援しました。
また、恵泉会内他事業所や関係機関とも連携・協働し、利用者の地域移行を念頭に行事や研修会での事業所間、地域交流を拡大し、地域と施設が継続して交流活動を促進できるように地域での役割を果たしました。短期入所や日中一時支援などのサービスを継続し地域の障害（児）者や家族の支援に努めるとともに、福祉ニーズの把握と施設機能と専門性を活かし事業を行いました。

【　重　点　項　目　】

1.＜一般原則の遵守＞
運営基準を定める条例に示された下記、障害者支援施設としての一般原則を遵守しました。
①利用者の意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえた計画（個別支援計画）を作成し、それに基づきサービスを提供し、継続的な評価を実施しながら必要な措置を講ずることにより、効果的に障害福祉サービスを提供しました。
②利用者の意思及び人格を尊重して常に利用者の立場に立った施設障害福祉サービス提供に努めました。
③利用者の人権の擁護、虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、職員に対し研修を実施しました。

2.＜安心・安全なサービスの提供＞
①非常災害対策→利用者の特性や周辺地域の災害環境等を踏まえ、火災、地震、土砂、風水害等の非常災害が発生した場合における利用者の安全確保体制や避難方法等を定めた計画（施設防災計画）を策定し、定期的に研修や訓練を実施しました。発生後においてもBCP（業務継続計画）に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備しました。
②感染症及び食中毒の予防及びまん延防止→指針やマニュアルを整備し定期的に研修や訓練を実施しました。発生後においても、BCP（業務継続計画）に従いサービスを継続的に提供できる体制を整備しました。新型コロナウィルス感染症など利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから、福祉施設として医療機関と連携し細心の注意を払い感染拡大に努めました。
③権利擁護→身体拘束等の適正化および虐待防止為の指針やマニュアルを整備し、定期的に研修を実施しました。また、権利擁護の研修も同様に実施しました。さらに要因となる職場環境や働き方等について検討をしました。

3.＜適切な介護＞
①重度化しないように活動の中でできるだけ体を動かす機会を作り身体機能維持につとめました。科学的介護の実践には至りませんでしたが、特に重度高齢者には根拠に基づいたケアを個別支援計画に沿って、支援するように努め、介護技術向上を目的に法人内の特養と連携し実技研修を行いました。また、職員の負担軽減や、利用者の安全確保の観点から介護ロボット（見守り）を活用しました。

4.＜連携及び協働＞
①恵泉会障害（児）者支援ワーキング会議を通し職員間で連携し、利用者の状況や、事業所ごとに共通認識を図りました。そして、利用者の状態にあったサービス提供やサービス移行（介護保険等）をご家族や関係機関（計画相談・医療機関・行政等）と検討しました。
②けいせんかいフェスティバルや地域行事支援・清掃活動等、地域交流や地域貢献を通して、地域に根差した施設運営を目指しました。また、地域の障害者の方々やその家族に対して、セーフティーネットの役割（短期入所、日中一時支援）を果たしました。
③適正な事業運営と利用者の地域移行、開かれた施設を目的に地域連携推進会議を立ち上げ、利用者・家族、地域住民ならびに行政との連携を深める機会を確保しました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　　21,374 名(施設入所支援)　　15,368 名(生活介護)
2. 年 間 稼 働 率　　97.60 %(施設入所支援)　　95.22 %(生活介護)
   (目 標 稼 働 率　　98.00 %　　95.00 %)
3. 年間平均障害程度区分　　区分 4.86 (施設入所支援)　　区分 4.88 (生活介護)
4. 月 別 利 用 状 況

施設入所支援事業　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 3	13	31	40	31	31	30	31	30	31	31	28	31	358
区 分 4	659	649	623	682	631	510	527	534	558	543	504	558	6,978
区 分 5	639	703	667	744	764	810	868	839	848	821	756	837	9,296
区 分 6	389	403	390	403	402	390	403	390	403	402	364	403	4,742
計	1,700	1,786	1,720	1,860	1,828	1,740	1,829	1,793	1,840	1,797	1,652	1,829	21,374

生活介護事業　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 3	17	28	34	28	29	27	28	27	28	23	25	28	322
区 分 4	429	410	394	434	431	343	377	381	401	396	349	407	4,752
区 分 5	469	526	489	552	563	583	632	606	616	606	532	612	6,786
区 分 6	286	299	286	300	303	292	299	286	299	299	260	299	3,508
計	1,201	1,263	1,203	1,314	1,326	1,245	1,336	1,300	1,344	1,324	1,166	1,346	15,368

5. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	5
退 所 者 数	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
月末入所者数	59	57	59	60	60	59	59	60	60	60	60	60	+ 2

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R6.4.11	お花見	4／10悪天候の為延期。若草園食堂・地域交流スペースとウッドデッキにて桜を満開の観賞し、室内ではカラオケも実施し賑やかに過ごしました。	利用者 55名 職員 9名
R6.5.16	若生園若草園交流	恵泉会体育館にて、利用者の部、職員の部に分かれてゲームを行いました。ゲームに参加した利用者も応援している利用者も一生懸命で盛り上がりました。	利用者 24名 職員 11名
R6.8.22	若生園若草園交流会	若生園諸事情により、若草園のみでの行事となりました。全員で参加出来る音楽レクリエーションで、夢中になって答える様子も見られ、とても盛り上がりました。	利用者 58名 職員 10名
R6.6.20	レクリエーション大会	コロナ禍でご家族と一緒に行う行事ができない状況が続いてきたが、やっと実施でき、ご家族もご利用者も一緒に楽しい時間を過ごされました。	利用者 55名 家族 25名 職員 17名
R6.7.19	夏祭り	昼間は食堂、地域交流スペースにてかき氷を食べたり、ゲームや盆踊りを楽しみました。夜は事務所前にて花火を楽しみ、利用者様も喜んでいました。	利用者 57名 職員 12名
R6.9.12	秋のカラオケ大会	食堂、地域交流スペースにて、全員参加でカラオケ大会を実施。点数を競い一生懸命歌い、ﾀ楽しい時間を共有できました。	利用者 54名 職員 9名
R6.10.24	けいせんかいフェスティバル	法人内の障害関係施設事業所合同の行事を体育館で実施。全員参加での行事でステージ発表もあり、利用者の方々も楽しまれていました。	利用者 60名 職員 18名

R6.11.14	家族交流会	食堂、地域交流スペースにて、ご家族を招いて、フォトアレンジ、ラフター(笑い)ヨガと気功体操を行いました。また、今年新調した若草園TVシャツを着て恵泉会フェスティバルに踊った好きになった人のフォークダンスを披露することもでき、ご家族と楽しい時間を過ごすことが出来ました。	利用者　61名 家族　28名 職員　18名
R6.12.19	クリスマス忘年会	男、女性共にユニットにて、季節行事としてのクリスマスを実施。1年間の労をねぎらい、楽しい時間を共有できました。イオンからプレゼントも頂きました。	利用者　60名 職員　10名
R7.1.9	新年会	男性はユニット毎新年を迎えられたことに感謝し、会食しながら楽しく過ごしました。女性はコロナ陽性者がいた為、会はぜず、昼食時にデザートを頂きました。	利用者　57名 職　員　9名
R7.2.6	節分・年祝い	邪気を払う豆まきをしました。また、年祝いの方や還暦を迎える方を利用者と職員でお祝いしました。	利用者　59名 職　員　10名
R7.3.6	ひなまつり	女性は体不調者がおり、全体での開催を中止しました。男性はユニットにてデザートを頂きながらカラオケを楽しみました。	利用者　58名 職　員　12名

【短期入所事業サービス、他】

1. 年間延べ利用人員　569 名
2. 年 間 稼 働 率　38.97 %
   (目 標 稼 働 率　40.00 %)　　(延べ利用者数)
3. 年間平均障害程度区分　3.58
4. 月 別 利 用 状 況【短期入所事業】 (年間延べ利用人員　569 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	0	2	8	0	5	0	2	0	0	0	4	4	25
区 分 3	21	28	40	17	23	33	29	32	28	15	32	26	324
区 分 4	9	10	15	11	9	12	10	12	9	6	9	13	125
区 分 5	0	4	0	4	8	8	8	4	1	0	4	15	56
区 分 6	0	0	4	1	9	9	0	4	0	0	4	8	39
計	30	44	67	33	54	62	49	52	38	21	53	66	569

(延べ利用者数)

5. その他の障害福祉サービス
   月 別 利 用 状 況【日中一時支援事業】(年間延べ利用人員　186 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登 米 市	2	3	2	11	11	13	11	13	9	7	11	13	106
南三陸町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栗 原 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
気仙沼市	7	5	8	8	7	7	8	7	8	5	3	7	80
計	9	8	10	19	18	20	19	20	17	12	14	20	186

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
   (1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講師(講演者)	参　加　者
R6.4.1	利用者小遣い管理と処理	サービス管理責任者	職員4名
R6.5.22	感染予防とまん延防止①(ガウンテクニック・N95マスク装着の仕方)	准看護師	職員10名
R6.6.4	コンプライアンス/個人情報保護①	統括施設長	職員24名
R6.6.5	コンプライアンス/個人情報保護②	統括施設長	
R6.6.24	食中毒予防とまん延防止	管理栄養士兼事務員	職員8名
R6.7.25	急変時の対応について	准看護師	職員4名
R6.7.29	急変時の対応について	准看護師	職員4名
R6.9.5	人権擁護研修「人権についての研修会」	登米市人権擁護委員3名	職員10名
R6.9.19	安全運転/安全衛生	統括施設長	職員7名
R6.11.18	感染予防とまん延防止②(コロナウィルスの対応)	准看護師	職員9名
R6.11.21	感染予防とまん延防止③(ノロウイルスの対応)	准看護師	職員6名

R6.12.17	BCP(事業継続計画)	管理者兼サビ管	職員4名
R6.12.19	リスクマネジメント研修	生活支援員兼サビ管	職員9名
R7.2.20	身体拘束について	生活支援員兼サビ管	職員7名
R7.3.6	介護基礎研修	ほたるの郷職員2名	職員10名
R7.3.28	苦情解決	生活支援員兼サビ管	職員6名

(2) 外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R6.5.8	支援スタッフ部会	県知的障害者福祉協会	仙台市	職員1名
R6.5.31	令和6年度登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	登米市役所南方庁舎	職員1名
R6.6.4	令和6年度クレーム対応研修	県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R6.6.13	令和6年度恵泉会経営者研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R6.7.10	宮城県発達障害者ペアレント・メンター事業研修	登米市	こじか	職員1名
R6.7.12	支援スタッフ部会	県知的障害者福祉協会	仙台市	職員1名
R6.7.25	令和6年度第1回宮城県障害者支援施設部会	県知的障害者福祉協会	仙台市	職員1名
R6.8.26	恵泉会人事考課者現任研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R6.8.28	令和6年度給食管理責任者研修会	宮城県石巻保健所	県石巻合同庁舎	職員1名
R6.8.30	令和6年度アセスメント・ケア向上研修会	県東部保健福祉事務所	県石巻合同庁舎	職員1名
R6.9.10	令和6年度スーパービジョン研修	県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R6.9.18	令和6年度アセスメント技術を高める研修会	県発達障害者支援センター「えくぼ」	オンライン	職員1名
R6.9.19	令和6年度登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	登米市役所南方庁舎	職員1名
R6.9.20	令和6年度宮城県知的障害者福祉協会支援スタッフ部会研修会	宮城県知的障害者福祉協会	オンライン	職員1名
R6.9.25	令和6年度地域リハビリテーション推進強化事業介助技術支援研修	県リハビリテーション支援センター	名取市	職員1名
R6.10.8	福祉現場におけるリスクマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R6.10.23	登米市地域生活支援拠点整備に係る事業説明会	登米市	登米市役所南方庁舎	職員1名
R6.11.8	交換研修(パルめぐみ)	恵泉会	登米市	職員1名
R6.11.22	交換研修(若葉園)	恵泉会	登米市	職員1名
R6.12.6-7	令和6年度宮城県サービス管理責任者等専門コース別研修	宮城県	仙台市	職員1名
R6.12.11	支援スタッフ部会	県知的障害者福祉協会	仙台市	職員1名
R6.12.12	施設見学(栗原秀峰会)	恵泉会	栗原市	職員1名
R6.12.20	利用者にあったレクリエーションについて	宮城県	オンライン	職員1名
R6.12.20	恵泉会人事考課者現任研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R6.12.11	支援スタッフ部会	県知的障害者福祉協議会	仙台市	職員1名
R7.2.4	恵泉会フォロアップ研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R7.2.13	施設見学(栗原秀峰会)	恵泉会	栗原市	職員1名
R7.2.28	令和6年度『ゆい』就労支援セミナー	生活支援センターゆい	登米市	職員1名
R7.3.6	令和6年度登米地域感染症対応強化研修会	県石巻保健所登米支所	オンライン	職員1名
R7.3.14	登米圏域　保健医療福祉支援者研修会	東部保健福祉事務所	オンライン	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開催日	参加職員
職員会議	各種行事・各部署・委員会等申し送り及び検討等	年13回	施設長・管理者・事務員・ｻﾋﾞ管・生活支援員・看護師・管理栄養士
支援会議	利用者の生活状況及び活動班状況の検討等	年12回	施設長・管理者・ｻﾋﾞ管・生活支援員・看護師・管理栄養士
給食会議	給食について委託業者と評価・検討及び情報交換等	年12回	管理者・管理栄養士・看護師・生活支援員・利用者様

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
ケア会議 (年17回)	利用者様の日常生活における本人からの要望や課題・改善点等について協議・検討を図る。	スタッフルーム・相談室	管理者・ｻﾋﾞ管・生活支援員 看護職員・管理栄養士
障害児者支援ワーキング部会	8施設の共有事項について検討 (事業運営部会:年7回) (サービス向上部門:年7回)	若草園	管理者・サービス管理責任者 各担当職員
入所調整会議 (年3回)	次期入所予定者(施設入所者)の実態調査後の入所可否を決定。	若草園	統括施設長・管理者・ｻﾋﾞ管・看護師・管理栄養士・生活支援員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	事故報告を分析し、事故再発防止及び発生時の対応を検証して改善策検討する。また、感染症の予防と改善に取り組む。マニュアルの見直し。	年11回	管理者・ｻﾋﾞ管・事務員・看護師・管理栄養士・生活支援員
サービス向上委員会	ｻｰﾋﾞｽの質の向上に資するための過程や結果の分析・検討を行う。自己評価及び第三者評価による改善への取組みと対応。利用者・家族アンケート実施し、サービス向上に係る改善について検討。内部・外部研修の調整・企画し、職員の資質向上を図る。	年12回	管理者・ｻﾋﾞ管・管理栄養士・　生活支援員
権利擁護委員会	人権擁護や虐待防止、身体拘束「ｾﾞﾛ」の取り組みや検討。	年11回	管理者・ｻﾋﾞ管・事務員・看護師・管理栄養士・生活支援員
感染症・褥瘡予防対策委員会	利用者・職員等の感染症の予防対策と褥瘡発生のメカニズムの基本知識習得や発生及び防止に対する体制の整備。マニュアルの見直し。	年5回	看護師・管理者・ｻﾋﾞ管・管理栄養士・生活支援員
防災・防犯委員会	防災訓練調整及び防災設備の整備改修等	年10回	管理者・ｻﾋﾞ管・事務員・看護師・管理栄養士・生活支援員

(2) その他の委員会

開催日	内容	場所	出席者
年6回	障害児者支援施設ワーキング部会	施設持ち回り	統括施設長・管理者
年3回	事務担当者部会	施設持ち回り	事務員
年4回	看護師部会	施設持ち回り	看護職員
年6回	給食部会	施設持ち回り	管理栄養士
年3回	入所調整委員会	若草園	統括施設長・管理者・ｻﾋﾞ管・看護師・管理栄養士・生活支援員
年1回	恵泉会地震防災対策委員会	法人本部	統括施設長・管理者

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R6.10.24	登米産業高校福祉科　2年生・生徒	フェスティバル、出店等の手伝い	4 名
R6.10.24	米川小学校4年生、6年生・先生	フェスティバル演芸ボランティア	26 名

(2) 実習

年 月 日	団　　体　　名	実　　習　　内　　容	実 人 数	延 人 数
R6.6.3～ R6.6.7	迫支援学校高等部3年生	前期現場実習	1 名	5 名
R6.10.15～ R6.10.18	迫支援学校高等部3年生	後期現場実習	1 名	4 名
R6.9.2～ R6.9.13	修紅短期大学幼児教育学科2年	保育実習	1 名	10 名
R6.9.17～ R6.9.27	宮城誠真短期大学保育科2年	保育実習	2 名	20 名
R6.10.22～ R6.10.24	登米総合産業高校福祉科2年生	障害者支援施設実習	4 名	12 名
R6.11.5～ R6.11.7	登米総合産業高校福祉科2年生	障害者支援施設実習	4 名	12 名
計			13 名	63 名

【 今 後 の 取 り 組 み 】

1.＜法令遵守＞
　障害者支援施設として運営基準を定める条例で定められた下記項目の他、法令を遵守し適切なサービス提供に努めます。
①利用者の意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえた計画（個別支援計画）を作成し、それに基づき利用者に対して施設障害福祉サービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施しながら必要な措置を講ずることにより利用者に対して適正かつ効果的に施設障害福祉サービスを提供します。
②利用者の意思及び人格を尊重して常に利用者の立場に立った施設障害福祉サービス提供に努めます。
③利用者の人権の擁護、利用者に対する虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、職員に対し研修を実施する等の措置を講じます。
④地域移行及び施設外の日中サービスの意向確認および意思決定支援は、サービス管理責任者を担当者として選任し、意向確認マニュアルの作成をし、それに基づいて実施するように努めます。

2.＜安心・安全なサービスの提供＞
①非常災害対策→利用者の特性や施設周辺地域の環境等を踏まえ、火災、地震、土砂、風水害等の非常災害が発生した場合における利用者の安全確保体制や避難方法等を定めた施設防災計画を策定します。定期的に研修や訓練を実施し不測の事態に対応できる人材の育成につとめます。災害発生後においてもBCP（業務継続計画）に従いサービスを継続的に提供できる体制を整備します。
②感染症及び食中毒の予防及びまん延防止→指針やマニュアルを整備し定期的に研修や訓練を実施します。発生後においてもBCP（業務継続計画）に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備します。新型コロナウイルス感染症等の感染症に関しては、利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから、福祉施設として基本的な感染対策に努め対応します。
③権利擁護→身体拘束等の原則禁止の指針やマニュアルを整備し、定期的に研修を実施します。また、虐待防止の研修も同様に実施します。さらに「身体拘束」や「虐待」を生む構造的な問題（職場環境や働き方等）について検討するとともに、利用者の意思及び人格を尊重した支援を実践していきます。

3.＜適切な支援・介護＞
①高齢になっても、重度化しないように自立支援に基づき、根拠に基づいたケアを個別支援計画に沿って、提供するように努めます。また、職員の負担軽減や、利用者の安全確保の観点から介護ロボット（見守り）を導入します。

4.＜連携及び協働＞
①恵泉会障害（児）者支援ワーキング会議を通し事業所・職員間で連携し、利用者支援に関する共通認識を図ります。そして、ご家族や関係機関（計画相談・医療機関・行政等）とも連携し利用者の状態にあったサービス提供やサービス移行（介護保険等）ができるよう支援します。
②「皆で幸せになる」という最大ポテンシャルの考え方が社会福祉だとすれば、地域住民、社会福祉を目的とする事業所は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする方が地域住民として良質かつ適正なサービス提供を受けられるよう取り組みます。地域交流や地域貢献を通して、地域に根差した施設運営を目指します。また、地域で生活している障害者の方々やその家族に対して、セーフティーネットの役割（短期入所、日中一時支援）を果たします。
③利用者家族との連携を図るとともに、利用者とその家族との交流等の機会を確保するように努めます。
④令和6年度GHPへの入れ替えにより停電時も空調稼働や電源の確保が可能となりました。地域災害拠点の役割も担います。

令和6年度
障害者支援施設若生園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米川字西綱木24番地
若生園居住棟:宮城県登米市東和町米川字西綱木6-1
2）設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4）開 設 年 月 日　　平成23年4月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
施設入所支援、生活介護	50 名
短期入所支援	4 名
計	54 名

【　基　本　方　針　】

恵泉会の基本理念並びに、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、「施設入所支援」と「生活介護」の事業を一体的に行う「障がい者支援事業所」として、利用者個々の特性に配慮しつつ、一人ひとりの人権を重んじ、その人がその人らしく充実した生活を安心して営めるよう支援しました。必要に応じて他事業所や関係機関とも連携を深めながら、安全で信頼のおけるサービスに取り組み、効率・効果的及び健全な運営に努めていきます。また、地域で生活している障がい者（児）や家族のニーズに応えるべく、施設機能と専門性を生かし事業を行うとともに、地域と施設が継続して交流活動を促進できるように地域での役割を果たしました。

【　重　点　項　目　】

1.〈一般原則の遵守〉
運営基準を定める条例に示された下記、障害者支援施設としての一般原則を遵守しました。
・利用者の意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえた計画（個別支援計画）を作成し、それに基づき利用者に対して施設障害福祉サービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施しながら必要な措置を講ずることにより利用者に対して適切かつ効果的に施設障害福祉サービスを提供しました。

2.〈利用者満足度の向上とサービス向上〉
・全室個室のユニット型となった生活の場(居住棟)において、利用者様が安らぎ・くつろぎ・うるおいを感じ安心して暮らせる空間・その人らしい生活が送れるよう支援しました。また、基本的な感染対策に努めながら、ご家族とのふれ合える機会（外泊や外出・面会等）をご本人やご家族の要望に近づけられるよう配慮し、喜びの声が多く聞かれました。
・利用者様の要望を確認する機会(自治会・利用者・家族アンケートや意向調査等)を実施し、事業計画へ反映し、利用者の満足度の向上やサービス向上に努めました。
・利用者様の日中活動として、外出・レクリエーション・行事やイベント(楽天の野球観戦やふるさと訪問)など、個々の特性に合わせたものを提供し、楽しんでいただきました。機能訓練についても楽しみながら自立支援向上や残存機能の維持や一人ひとりの感性を引き出し、日々意欲的に取り組めるよう援助しました。
・利用者の意思及び人格を尊重し常に当該利用者の立場に立った施設障害福祉サービス提供に努めました。

3.〈安心・安全なサービスの提供〉
・非常災害対策→委員会において、利用者の特性や施設周辺地域の環境等を踏まえ、火災、地震、土砂、風水害等の非常災害が発生した場合における利用者の安全確保体制や避難方法等を定めた計画（施設防災計画）を策定し、定期的に研修や訓練を実施しました。発生後においてもBCP(事業継続計画)に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備しました。新しい事、想定外の事に対応できる人材を育成しました。
・感染症及び食中毒の予防及びまん延防止→委員会において、指針やマニュアルを整備し定期的に研修や訓練を実施しました。発生後においてもBCP(事業継続計画)に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備しました。新型コロナウイルス感染症に関しては5類へとなり、ご利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから、他の感染症同様に福祉施設として、基本的な感染対策に努めて、今年度利用者様の感染症発生もありませんでした。
・権利擁護→委員会において、身体拘束等の適正化の為の指針やマニュアルを整備し、定期的に研修を実施します。また、虐待の防止の為の研修も同様に実施しました。さらに「虐待」や「身体拘束」という「あってはならない姿」を生む構造的な問題（職場環境や働き方等）について検討するとともに、利用者の意思及び人格を尊重した「あるべき姿」からの権利擁護についても指針やマニュアルを整備し実践してきました。

4.〈適切な介護の提供〉
・高齢になっても、重度化しないように自立支援介護や科学的介護の理論や実践を学び、根拠に基づいたケアを個別支援計画に沿って、提供するように努めました。また、ワイズマンシステムへの情報を適切に記録し、その記録をデータとして分析・活用できるように、記録の電子化を進めました。また、職員の負担軽減やご利用者の安全確保の観点から介護ロボット(見守り)やネットワークカメラを導入し活用しています。今後も見守り介護ロボットを多く導入していきたい。報告/分析/評価/学習をする組織文化を醸成しました。

・高齢化(利用者50名中、60歳以上の利用者様が、内27名)や重度化が進んでいる現状をふまえ、利用者一人ひとりの課題と方向性を確認し、本人の状態にあったサービス提供やサービスの移行(介護保険への移行等)をご家族や関係機関(計画相談・医療機関・行政等)と検討し、ご利用者様にとってよりよい福祉サービスを提供出来るよう努めました。

5. 〈連携及び協働〉
・恵泉会障害(児)者支援ワーキング会議を通し職員間で連携し、利用者の心身の状況や、置かれている環境等に応じ利用者支援に関する共通認識を図りました。そして、ご利用者本人の状態にあったサービス提供やサービス移行(介護保険等)をご家族や関係機関(計画相談・医療機関・行政等)と検討しました。
・地域交流や地域貢献を通して、地域に根差した施設運営を目指しました。また、地域で生活している障害者の方々やその家族に対して、セーフティーネットの役割(短期入所、日中一時支援)を果たしました。
・利用者家族との連携を図るとともに、利用者とその家族との交流等の機会を確保するように努めました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員	18,008	名	(施設入所)	13,120	名 (生活介護)
2. 年 間 稼 働 率	98.67	%	(施設入所)	97.55	% (生活介護)
(目 標 稼 働 率	98.00	%	(施設入所)	98.00	% (生活介護)
3. 年間平均障害程度	4.71			4.72	
4. 月 別 利 用 状 況					

施設入所支援事業 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 3	90	93	90	124	124	120	124	90	93	93	84	93	1,218
区 分 4	577	606	600	603	620	597	589	570	605	620	532	587	7,106
区 分 5	450	465	450	434	434	420	434	450	465	465	420	465	5,352
区 分 6	330	341	330	372	372	360	372	360	372	372	364	387	4,332
計	1,447	1,505	1,470	1,533	1,550	1,497	1,519	1,470	1,535	1,550	1,400	1,532	18,008

生 活 介 護 事 業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 3	66	69	88	92	92	88	92	66	69	69	60	69	920
区 分 4	409	441	409	437	451	421	428	409	433	447	370	417	5,072
区 分 5	330	345	308	322	322	307	322	330	341	345	300	344	3,916
区 分 6	242	253	264	276	276	264	276	264	274	275	260	288	3,212
計	1,047	1,108	1,069	1,127	1,141	1,080	1,118	1,069	1,117	1,136	990	1,118	13,120

5. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	41	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退 所 者 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
月末入所者数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	49	－1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
(1) 行事他

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R6.04.25	お花見ゲーム会	お花見ゲーム大会を企画し、利用者代表より森山直太朗の『さくら』を熱唱していただき、その後、ストラックアウトゲームを楽しんだ。職員のサポートにより、利用者全員がゲームへ参加された。	利用者 40名 職 員 8名
R6.05.16	若生園・若草園交流会～2024初夏の陣～	恵泉会体育館を会場に、若草園利用者と職員との共同行事を通じて、交流や親睦を深めた。異動された職員との交流もあり、利用者・職員ともに満足されていた。	利用者 36名

R6.05.30	(家族とのふれあい行事)『家族といっしょ』	十数年ぶりにご家族を招待し、利用者の施設での生活の様子を直接見ていただくと共に、借り物ゲームを通して利用者とご家族の絆を深めていただいた。併せて、事業説明会を実施。職員の紹介や事業計画の説明、報酬改正の内容説明、施設見学もおこなった。	利用者　49名 家族　19名 職　員　18名
R6.06.20	WKE夏の歌謡祭	WKE夏の歌謡祭と題して、利用者が自慢の喉を披露。楽しみながらストレス発散した。	利用者　42名 職　員　14名
R6.07.04	七夕会	今回の七夕会は観て楽しむをコンセプトに、職員による劇(彦星と織り姫)を披露して楽しみながら七夕の由来を知っていただいた。いつもの行事とは違う観劇は、利用者にも好評だった。また、利用者に事前に書いていただいていた願い事を、お互いに披露する場面もあり、笑顔があふれる行事となった。	利用者　50名 職　員　14名
R6.09.05	線香花火会	夕食後に居住棟正面駐車場にて実施。夏の風物詩である線香花火や手持ち花火を、入所利用者の他、短期入所利用されていた利用者も楽しまれた。外に出るのが困難な利用者は棟内リビングから打ち上げ花火を観て楽しまれ、皆で過ぎゆく夏を惜しんだ。	利用者　51名 職　員　8名
R6.9.19	お月見会	十五夜・お月見の由来を、職員手作りの紙芝居で楽しみながら学ばれる。夕食後エントランスにて希望される利用者が参加して中秋の名月を鑑賞したが、残念ながら月が見えず。そのため、大画面テレビに満月を映し出して、秋の収穫に感謝して手を合わせた。炭坑節や色々な歌を歌いだしたり踊る方もいて大盛況だった。	利用者　25名 職　員　4名
R6.11.2	ハロウィン仮装大賞	利用者・職員それぞれが思い思いの仮装をして参加。活動で作成した秋の味覚を模した食べ物を収穫するゲームをして楽しまれた。	利用者　42名 職　員　8名
R6.10.24	けいせんかいフェスティバル	法人内障害系サービス事業所の利用者・職員が多数参加。若生園も利用者・職員あわせて32名が参加。ステージ発表では、日中活動で練習された『きゃりーぱみゅぱみゅ』の曲に合わせたダンスを披露した。他事業所の利用者・職員・登米産業高校の実習生・米川小学校の生徒の参加もあり、利用者・職員ともにより深い交流となった。出店では、豚汁・鯛焼き・ジュースに舌鼓を打ち、各種ゲームを楽しむなどお祭り気分を堪能した。	利用者　22名 職　員　10名
R6.11.21	ポテトパーティー	10月に収穫したサツマイモをスイートポテトにして美味しくいただき、秋の味覚を味わった。また、カラオケパーティーも楽しまれた。	利用者　50名 職　員　11名
R6.12.19	クリスマス忘年会	クリスマスの装飾に彩られたうぐいすユニットにて、『玉飛ばしゲーム』を楽しまれた。また、職員が扮したサンタクロースから一人ひとりプレゼントをもらい、大変喜ばれていた。	利用者　49名 職　員　13名
R7.1.15	新年会	甘酒で乾杯し、新年の抱負を利用者から発表していただいた。その後、職員手作りのビッグサイズ福笑いをおこない、皆で大笑いして新年をお祝いした。	利用者　47名 職　員　11名
R7.2.6	節分豆まき	職員扮する鬼へ新聞紙を丸めた「豆」をぶつけて、鬼を外へ追い払った。また、還暦・年男・年女の利用者を皆さんにご紹介し、お祝いした。	利用者　47名 職員　11名
R7.3.6	ひなまつり会	「タオルでひなあられホイゲーム」を実施。2人ペアのゲームだったが、それぞれの利用者が協力しながら楽しまれ、桃の節句をお祝いした。	利用者　47名 職員　12名

【宮城県知的障害福祉協会・支援スタッフ部会企画行事】

R6.9.27	わくわくドキドキフェスティバル	宮城県知的障害福祉協会・支援スタッフ部会の企画により、県内の障害系事業所の利用者様や職員が宮城県障害者総合体育館を会場に集まり、スポーツやゲームを通じて、交流や親睦を深めている。(内容は、スタンプラリー、販売ブースでの買い物や食事、スポーツゾーンでの玉入れ・千本引き・ふがし競争・ストラックPKへの参加、ステージイベントの鑑賞) また、帰りは、松島を観光地を巡るコースを散策し、楽しんでいただく。	利用者　2名 職　員　1名

R7.1.31	○×ゲーム	宮城県知的障害福祉協会・支援スタッフ部会の企画により、県内の障害系事業所の利用者様や職員でオンラインでの○×ゲーム大会を実施し、他事業所との交流会へ参加され楽しんでいただく。	利用者　23名 職　員　8名

【短期入所者・日中一時サービス】

1. 年間延べ利用人員　537 名
2. 年間稼働率　36.78 %
（目標稼働率　40.00 %）
3. 年間平均障害程度　4.37
4. 月別利用状況　〈短期入所〉　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分4	12	20	22	18	38	41	48	22	16	11	14	16	278
区分5	0	2	4	4	5	3	2	5	4	4	8	4	45
区分6	8	8	6	8	6	8	8	0	10	8	16	25	111
その他	0	0	4	4	4	2	4	0	4	0	0	0	22
計	20	30	36	34	53	54	62	27	38	23	38	45	460

（1）短期入所　（年間延べ利用人員）　460 名　（稼働率）　31.51 %
（2）日中一時支援事業　（年間延べ利用人員）　77 名　（稼働率）　10.55 %

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
（1）内部研修

年月日	内容	講師（講演者）	参加者
R6. 4.15～5.17	新任・異動職員研修 （BCP、権利擁護、小遣い管理と処理、ワイズマン入力の仕方、記録の仕方、 服薬管理・ガウンテクニック、急変緊急時の対応他）	管理者・看護師・サビ管	職員　4名
R6.4.18	自然災害発生時におけるBCPの周知研修	管理者	職員　20名
R6. 5/12,6/4,6/5	コンプライアンスについて	統括施設長	職員　23名
R6. 6／24. 25	食中毒について	管理栄養士	利用者49名、職員3名
R6.6.26	救命救急講習会	サニクリーン（AEDレンタル業者）	職員　8 名
R6.7/22.7/ 29.7/31	感染症予防研修①　ガウンテクニック脱着訓練	准看護師	生活支援員　13名
R6.8/20.29	虐待防止・身体拘束研修①	統括施設長	職員　15名
R6.9.5	人権擁護研修　※障害施設合同開催	人権擁護委員会	職員　13名
R6.12.3	事故防止・リスクマネジメント研修	生活支援員	職員　4名
R6.12.13	介護技術研修『移乗支援について』	生活支援員	職員　5名
R7.1.27	安全運転について	主任	職員　9名
R7.1.30	虐待防止・身体拘束研修の適正化のための研修②	生活支援員	職員　5名
＜法人内研修＞			
R6.4.22	恵泉会人事考課研修	法人本部	副主任
R6.6.13	恵泉会経営者研修『ハラスメントについて』	法人本部	管理者
R6.8.26	恵泉会人事考課者者研修（管理職対象）	法人本部	主任
R6.12.20	恵泉会人事考課者者研修（管理職対象）	法人本部	主任
R7.2.4	恵泉会フォローアップ研修	法人本部	生活支援員

＜交換研修＞			
R6.11.13	他事業所業務体験研修(ワーキング部会主催)	パルめぐみ	生活支援員
R6.12.17	他事業所業務体験研修(ワーキング部会主催)	こじか園	生活支援員

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R6.5.31	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市他	登米市南方庁舎	職員1名
R6.7.23	コミュニケーション技術・対人援助研修(基礎)	宮城県・県社協	仙台市	職員1名
R6.8.30	アンガーマネージメント研修	宮城県・県社協	オンライン研修	職員1名
R6.9/19.20	強度行動障害支援者養成研修(実務研修)	一般社団法人りんく	オンライン研修	職員1名
R6.9.19	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会(虐待関係)	登米市他	登米市南方庁舎	職員1名
R6.9.20	支援スタッフ部会研修「ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ」	宮城県知的障害者福祉協会	オンライン研修	職員1名
R6.10.8	ﾘｽｸﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ研修	宮城県・県社協	オンライン研修	職員1名
R6.11.26	令和6年度　アセスメントケア向上研修(移乗介護)	宮城県東部福祉事務所	石巻市合庁	職員1名
R6.12/6. 7	サービス管理責任者　法定研修　専門コース別研修『意思決定支援』	宮城県	仙台市	職員1名
R6.12.25他	サービス管理責任者基礎研修	宮城県・県社協	オンライン研修・仙台市	職員1名
R7.2.5	社会福祉法人　秀峰会　施設研修	ワーキング部会	栗原市	職員1名
R7.2/18.19	サービス管理責任者更新研修	宮城県・県社協	仙台市	職員1名
R7.2/20.21	サービス管理責任者更新研修	宮城県・県社協	仙台市	職員1名
R7.2.28	権利擁護『意思決定支援』研修	宮城県知的障害者福祉協会	仙台市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
職員会議	施設運営全般に関する協議	13回	全職種
支援会議	サービス全般に関する協議	12回	全職種
ケア会議	利用者の支援に関する協議	6回	本人・行政・地域生活支援センター・施設職員等
給食会議	利用者の食事に関する協議	12回	管理者・栄養士・准看護師・生活支援員

(2) その他の会議

会 議 名	内　　容	場　　所	出　　席　　者
連絡会議	管理職・専門職でよりよい施設運営や福祉サービスの向上に向けて協議する。(年3回)	若生園	管理職・専門職
恵泉会防災会議	恵泉会防災計画の立案 等(年2回)	恵泉会事務局	防火管理者
入所検討会議	入所待機者の中から入所受け入れについて協議する。(実績なし)	若生園	統括施設長・管理者・副主任・主任・サビ管・栄養士・看護師・生活支援員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	施設内事故の検証・分析、事故予防・対応策立案等	年12回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
サービス向上委員会	サービスの質の向上分析・サービス評価の自己評価、集計、報告等	年10回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
研修委員会	内部・外部研修の調整・企画し、職員の資質向上を図る	年3回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
権利擁護委員会	人権擁護や虐待防止、身体拘束ゼロの取り組み・研修等	年12回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
感染症・褥瘡予防委員会	利用者・職員等の感染症の予防対策と褥瘡予防対策、研修や訓練企画等	年11回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
防災委員会	防災訓練調整及び防災設備の整備点検 等	年6回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員

(2) その他の委員会

開催日	内容	場所	出席者
R6.5.8	支援スタッフ部会	宮城県障害者福祉センター	生活支援員
R6.5.15	障害児者支援ワーキング部会	若生園	管理者・サビ管
R6.6.5	恵泉会地震防災対策委員会	オンライン会議	防火管理者
R6.6.14	障害児者支援ワーキング部会(サービス向上部会)	若生園	サビ管
R6.7.12	支援スタッフ部会	宮城県障害者福祉センター	生活支援員
R6.7.5	障害児者支援ワーキング部会(サービス向上部会)	若草園	サビ管
R6.7.17	障害児者支援ワーキング部会(事業運営部会)	若生園	管理者
R6.8.5	障害児者支援ワーキング部会(サービス向上部会)	若草園	サビ管
R6.8.20	恵泉会研修大会実行委員会	法人事務局	生活支援員
R6.9.2	障害児者支援ワーキング部会(サービス向上部会)	若生園	サビ管
R6.9.24	障害児者支援ワーキング部会(事業運営部会)	若生園	管理者
R6.12.11	支援スタッフ部会	宮城県障害者福祉センター	生活支援員
R6.12.18	障害児者支援ワーキング部会(事業運営部会)	若生園	管理者
R7.1.8	障害児者支援ワーキング部会(サービス向上部会)フェスティバル実行委員	若生園	生活支援員
R7.1.15	障害児者支援ワーキング部会(事業運営部会)	若生園	管理者
R7.2.12	障害児者支援ワーキング部会(サービス向上部会)	若草園	サビ管
R7.2.26	障害児者支援ワーキング部会(事業運営部会)	若生園	管理者

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
なし			

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R6. 8/19～22. 8/28～30. 9/18～20	修紅短期大学　幼児教育学部 2年	保育実習	1名	10名
R6.10.22～24	登米総合産業高校　福祉科2年生	介護実習	3名	9名
R6.11.5～7	登米総合産業高校　福祉科2年生	介護実習	4名	12名
		計	8名	31名

【今 後 の 取 り 組 み】

1.＜法令遵守＞
運営基準を定める条例に示された下記項目のほか、法令を遵守し適切なサービス提供に努めます。
・利用者の意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえた計画(個別支援計画)を作成。その計画に基づいて利用者に対して施設障害福祉サービスを提供するとともに、支援後の効果について継続的な評価をおこないながら必要な措置を講ずることにより、利用者に対して適正かつ効果的な施設障害福祉サービスを提供します。
・利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立った施設障害福祉サービス提供に努めます。
・利用者の人権の擁護、利用者に対する虐待の防止のため、必要な体制の整備をおこなうとともに、職員に対し研修を実施するなどの措置を講じます。
・地域移行及び施設外の日中サービスの利用意向確認及び意思決定支援は、サービス管理責任者を担当者として選任し、意向確認マニュアルの作成をし、それに基づいて実施するよう努めます。

2.＜安心・安全なサービスの提供＞
・非常災害対策→利用者の特性や施設周辺地域の環境などを踏まえ、火災、地震、土砂、風水害などの非常災害が発生した場合における利用者の安全確保体制や、避難方法などを定めた施設防災計画を策定します。定期的に研修や訓練を実施し、不足の事態に対応できる人材の育成につとめます。災害発生後においてもBCP（事業継続計画）に従いサービスを継続的に提供できる体制を整備します。
・感染症及び食中毒の予防・まん延防止→指針やマニュアルを整備し、定期的に研修や訓練を実施します。発生後においてもBCP（事業継続計画）に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備します。新型コロナウイルス感染症などの感染症に関しては、利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱える方が多いことから、福祉施設として基本的な感染対策に努め対応します。
・権利擁護→身体拘束の原則禁止のための指針やマニュアルを整備し、定期的に研修を実施します。また、虐待防止の研修も同様に実施します。さらに身体拘束や虐待を生む構造的な問題（職場環境や働き方など）について検討するとともに、利用者の意思及び人格を尊重した支援を実践していきます。

3.＜利用者満足度の向上とサービス向上＞
・全室個室のユニット型となった生活の場(居住棟)において、利用者が安らぎ・くつろぎ・うるおいを感じて安心して暮らせる空間の提供と、その人らしい生活が送れるよう支援します。
・利用者の要望を(自治会・利用者及び家族アンケートや意向調査など)確認し、得た意見を事業計画へ反映することで利用者の満足度の向上やサービス向上に努めます。また、活動棟の老朽化が著しく移動も長時間を要し利用者の身体的負担も大きいことから、活動棟機能を居住棟に移行する検討を進めます。
・利用者の日中活動として、創作活動・レクリエーション・行事・機能訓練など楽しみながら自立心と自律心の向上や残存機能の維持を図るとともに、ひとりひとりの感性を引き出すことで、日々意欲的に取り組めるよう援助します。
・利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った施設障害福祉サービス提供に努めます。

4.＜適切な介護＞
・高齢になっても重度化しないよう、自立支援を念頭に根拠に基づいたケアを、個別支援計画に沿って支援します。また、職員の負担軽減や利用者の安全確保の観点から、介護ロボット（見守り）を導入します。

5.＜連携及び協働＞
・恵泉会障害（児）者支援ワーキングを通して事業所・職員間で連携し、利用者支援に関する共通認識を図ります。そして、ご家族や関係機関（計画相談・医療機関・行政など）とも連携し、利用者の状態に適合したサービス提供やサービスの移行(介護保険など)ができるよう支援します。
・「皆で幸せになる」という最大ポテンシャルの考え方が社会福祉だとすれば、地域住民、社会福祉を目的とする事業所は相互に協力し、福祉サービスを必要とする方が地域住民として良質かつ適正なサービス提供を受けられるよう取り組みます。地域交流や地域貢献を通して、地域に根差した運営を目指します。また、地域で生活している障害者の方々やその家族に対して、セーフティーネットの役割（短期入所、日中一時支援）を果たします。
・利用者家族との連携を図るとともに、利用者とその家族との交流などの機会を確保するように努めます。

令和6年度
生活介護事業所パルめぐみ　事業報告

【　施　設　概　要　】

1．所　　在　　地　　登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2
2．設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3．経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4．開 設 年 月 日　　平成17年4月1日
5．利　用　定　員　　35 名

令和6年4月は契約者数61名でスタート、年間の動向は、1名が生活介護利用契約となりました。
利用状況においては、利用定員35名に対して1日当たり平均33.5名の利用となるなど、昨年度の35.7名を下回った形となりました。感染症の影響で利用控えする利用者や入院となった利用者も複数名いたことが数字として表れた中で、新規契約は1名となり、全体として1名増加といった状況でした。また、65歳以上の利用者が54.8%になるなど、利用者の高齢化が目立ってきています。
日中一時支援事業においては、生活サイクルの維持を目的として、迫支援学校時代に利用していた方々が、他事業所が休み（主に土曜日）のときに利用するという状況が続いており、1日当たり2.3人の利用と、昨年度の2.4人を下回る形となりました。
日中活動においては、感染症対策をしっかり行った上で外出や行事を実施しました。臨機応変に内容を工夫しながら、職員一丸となって「意思決定支援」を実現しようと取り組みました。

【　重　点　項　目　】

1．生活介護
入浴および排泄を必要とされる利用者個々の状況に応じて対応しています。車いす使用者の個浴利用について、希望が多い日は午前中から入浴時間を調整することで多くの方が利用できるように対応しました。排泄介助では、定時でのトイレ誘導をベースにその日の体調に応じたトイレ誘導を柔軟に行いました。食事介助では、利用される方々の希望に応じて食事をできるようにと提供時間に幅を持たせています。また、感染症対策として1つのテーブルに多人数にならないよう調整したり、時間をずらすなどの対策を実施しました。強度行動障害の利用者には、専門的に学習した職員を中心に個別化した支援の強化を行うことで、対象者が過ごしやすい環境作りを行いました。

2．健康管理
ICTによりバイタルの管理を行いました。健康状態に不安がある方については、1ヵ月毎の表やグラフで状態の把握に努めました。ご家族からの申し送りや日々の健康チェック、活動の様子、ご本人の発する言葉や様子を注視し、健康状態が悪い場合にはご家庭や関係機関に連絡し、通院の提案をするなど早期の回復を図っています。また、新型コロナウイルス、その他感染症に対し、湿度管理やうがい・手洗いの徹底等感染症に対する意識喚起をしました。新型コロナウイルスに関しては、送迎時の検温・手指消毒、乗車後の車両消毒、日中2回以上の検温、サービス提供後の施設内消毒など、マニュアルに沿った感染症対策を実施し、継続して利用者の健康状態の把握・維持に努めました。

3．機能訓練・療法的活動支援
昨年度から1日2回の体操を継続して行ってきたことと、機能維持のためできるだけリハビリ体操を行いました。ヨガ教室も心身のリラックスが可能な時間として皆さんに定着しており、積極的な参加がみられました。従来から継続している音楽療法については、音楽を通じて心身のリフレッシュを図ることができました。

4．活動機会の提供
創作活動では、季節の壁紙作りを主として行っています。木工芸・園芸・創作を合わせた持ち帰り作品も作りました。趣味活動では毎年参加していた障害者による書道・写真コンテストに出展し、一定の成果を収めることができました。
昨年度同様、四季に応じた行事を行うことで、季節の移り変わりを感じることができています。毎年恒例のお花見以外にも、夏には夏イベント、秋には豚汁、りんご狩りなどを実施しました。社会資源の活用として、社会見学は総勢60名を超える大人数で実施し、陸前高田市の博物館見学・三陸の海の幸を中心とした昼食・道の駅での買い物を行いました。
ウォークラリー等では恵泉会体育館を利用し、いつもと違った活動の場を利用者に提供できるように企画しました。利用者主体の活動を実現するため、活動の際には一人ひとりが選択できるよう複数の内容を準備するようにしました。利用者の自己決定を尊重し、活動機会を提供しました。

5. その他

東北風土マラソンに初参加しました。気合の入った練習状況が、完走という結果に結びつきました。10月には障害福祉サービスに関わる全8拠点合同で「恵泉会フェスティバル2024」を恵泉会体育館で実施。集合型の大きな企画に、サービスの種類に関係なく多くの利用者が参加することができました。

清掃活動では希望する利用者を募り、長沼フートピア公園などの社会資源のゴミ拾いや落ち葉拾いを行いました。

毎年12月に行っているトーンチャイム演奏会を今年も実施。昨年に続いて登米市役所迫庁舎で演奏してきました。市役所の方々と一緒にトーンチャイム演奏することができ、地域交流の場となりました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　10,345 名
2. 年 間 稼 働 日 数　308 日
3. 年 間 稼 働 率　96.0 %　(生活介護)
4. 年間平均障害支援区分　4.20
5. 月 別 利 用 状 況　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 2	6	8	6	9	9	8	9	9	7	8	7	8	94
要支援 3	135	172	156	165	135	130	144	136	128	127	114	129	1,671
要支援 4	384	469	444	466	453	447	456	449	461	452	425	446	5,352
要支援 5	184	235	200	221	209	208	230	212	209	203	192	200	2,503
要支援 6	52	63	62	63	61	60	63	60	61	62	54	64	725
計	761	947	868	924	867	853	902	866	866	852	792	847	10,345

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
契約終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末契約者数	61	61	61	61	61	61	61	61	61	62	62	62	+ 1

【利用者サービスの状況】

1. 日中活動サービス

(1) 行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参加者数
R6.04.16	お花見散歩	今年は中江公園まで散歩で桜を見に行きました。満開の桜のもと、団子を手に春の風情を味わいました。	利用者 16名 職 員 3名
R6.04.21	東北風土マラソン	選ばれし6名の利用者さんがパルめぐみを代表して参加しました。キッズランコース500メートルを各々のペースで完走した後、出店でお昼を食べて地元のイベントを満喫しました。	利用者 6名 職 員 2名
R6.05.29	なぞときウォークラリー	恵泉会体育館を使ってウォークラリーを実施。各エリアの「お題」をクリアして宝をゲット！たくさん歩いた後は特製カレー・フランクフルトで元気いっぱいになりました。	利用者 42名 職 員 11名
R6.06.26	アート体験	様々な技法を使い、オリジナルのうちわを作成しました。絵だけでなく、独創的な模様も多くみられました。	利用者 41名 職 員 10名
R6.07.31	夏祭り2024	職員の出し物から始まり、利用者の出し物、射的やくじ引きといったお祭り定番の催しに花笠音頭でフィナーレ。昼食では焼きそばやスイカが提供され、全員で夏を盛り上げました。	利用者 42名 職 員 11名

R6.08.07	ハンドマッサージ体験	登米市社会福祉協議会のボランティア「足もみた～い」の皆様によるハンドマッサージ体験を実施。腕から手まで、全員が足もみた～いの皆様の虜になってしまう気持ちよさでした。	利用者 41名 職　員 11名
R6.09.18	社会見学	今回の行き先は岩手県陸前高田市。陸前高田市博物館で自然・歴史・文化を学び、海浜館では三陸の海の幸を中心とした昼食を。最後は道の駅高田松原で買い物をし、陸前高田市を堪能してきました。	利用者 46名 職　員 12名
R6.10.24	恵泉会フェスティバル	第5回目となる恵泉会フェスティバルに参加。昭和～平成～令和の9曲を合わせた「世代をつなぐエンジョイダンス」を披露。豚汁とたい焼きを味わい、ゲームで景品をゲットしてきました。	利用者 39名 職　員 11名
R6.11.06	秋のレクリエーション運動会	白組と赤組に分かれ、ラケットリレーなど全3種目で激しく競い合いました。お昼は豚汁とおにぎりのセットで食欲の秋を味わいました。	利用者 44名 職　員 11名
R6.12.23	トーンチャイム演奏会	今年で15回目となるトーンチャイム演奏会。登米市役所迫庁舎のロビーにて、全6曲を演奏してきました。	利用者　8名 職　員　2名
R6.12.27	パルアワード2024	今年も多くの方が受賞しました。受賞したことで活動へのモチベーションが少しでも上がってくれることを期待して企画しました。	利用者 34名 職　員　8名
R7.01.06	新年会・成人を祝う会	職員の盛り上げ（ダンス）から開会。新成人のお祝いをしてから甘酒で乾杯。お参り・おみくじ・絵馬・福笑い・カラオケで新年のスタートを切りました。	利用者 45名 職　員 11名
R7.02.03	節分	赤鬼・青鬼チームに分かれ、鬼退治レクリエーションをしました。今年の年男・年女は4名。その方々を中心に、突如現れた鬼を新聞紙ボールで退治しました。	利用者 44名 職　員　9名
R7.03.03	ひなまつり	オリジナルひなまつりデザート作りを実施。プリンの上に様々なアレンジをし、特別なひなまつり仕様のデザートを作りました。	利用者 42名 職　員　9名

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員　　707 名　（利用上限　　10 名）
2. 年 間 稼 働 日 数　　308 日
3. 月 別 利 用 状 況　　（ 延べ利用者数 ）

日中一時利用人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用市町村	登米市	49	59	61	62	52	50	64	66	46	45	59	62	675
	栗原市	0	2	2	2	2	1	2	2	1	3	2	2	21
	南三陸町	0	1	1	1	0	1	2	1	0	1	1	2	11
	計	49	62	64	65	54	52	68	69	47	49	62	66	707
	稼働日数	26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	308
	利用者/日	1.9	2.3	2.6	2.4	2.0	2.1	2.5	2.7	2.0	2.0	2.6	2.5	2.3

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年　月　日	内　　容	講　師（講　演　者）	参　加　者
R6.4.23,24	コンプライアンス研修	管理者	職員
R6.5.8	虐待防止研修	管理者	職員
R6.5.28	食中毒対策研修	栄養士	職員　利用者
R6.6.5	消防設備研修	サービス管理責任者	職員　利用者
R6.6.25	熱中症研修	看護師	職員
R6.7.5	虐待防止（グレーゾーン）研修	管理者	職員　利用者
R6.8.27	強度行動障害研修	サービス管理責任者	職員
R6.9.24,26	記録・報連相研修	サービス管理責任者	職員
R6.10.2	ハラスメント研修	管理者	職員
R6.10.29	感染症研修	看護師	職員
R6.11.6	感染症予防対策研修	看護師	職員
R6.11.21	障害者支援の在り方・意思決定支援	サービス管理責任者・看護師	職員
R7.1.24	リスクマネジメント研修	生活支援員	職員
R7.1.24	BCP研修	管理者	職員
R7.2.3	虐待防止研修	管理者	職員
R7.3.13	安全衛生教育研修	看護師	職員

（2）外部研修

年　月　日	内　　容	開　催　地	参　加　者
R6.7.3,6	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	利府こども発達センター	サービス管理責任者
R6.7.17,20	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	利府こども発達センター	サービス管理責任者
R6.9.16	障害福祉サービス事業所職員等研修	登米市市役所南方庁舎	看護師
R6.12.3,4	甲種防火管理新規講習	豊里公民館	サービス管理責任者
R6.12.24	サービス管理責任者基礎研修	宮城ハートフルセンター	生活支援員
R7.2.20,21	サービス管理責任者更新研修	宮城ハートフルセンター	サービス管理責任者

2．会議開催状況

（1）定例会議

会　議　名	内　　容	開　催　日	参　加　職　員
職員会議	連絡事項・各セクション毎協議、検討	第1水曜日	全職員
ケア会議	利用者支援方法、身体状況等の検討	全23回	全職員
給食会議	献立内容の検討、利用者嗜好、提供状況	毎月1回	サービス管理責任者・栄養士・看護職員
恵泉会種別部会	事務部会、サビ管部会、障害者推進委員会	毎月1回	栄養士、サビ管、事務員

（2）その他の会議

開　催　日	内　　容	場　　所	出　席　者
R6.04.15	F.Kさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、本人、家族
R6.04.18	A.Cさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、保健師、本人
R6.04.23	N.Iさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、生活支援員、本人
R6.04.23	K.Uさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、生活支援員、本人
R6.05.15	H.Wさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、本人、家族
R6.06.06	A.Sさんケア会議	利用者宅	パルめぐみ、相談支援専門員、保健師、家族
R6.06.25	N.Iさん担当者会議	ラボラーレ登米	パルめぐみ、相談支援専門員、サービス管理責任者
R6.06.28	C.Oさん支援会議	パルめぐみ	パルめぐみサービス管理責任者、生活支援員

R6.07.13	M.Sさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、家族
R6.07.26	O.Cさん支援会議	パルめぐみ	パルめぐみサービス管理責任者、生活支援員
R6.08.01	Y.Aさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、本人、家族
R6.08.15	T.Sさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、生活支援員、本人
R6.09.20	K.Sさんケア会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、若生園管理者
R6.09.24	A.Sさんケア会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、保健師等
R6.10.01	研修大会対策会議	パルめぐみ	パルめぐみサービス管理責任者、生活支援員
R6.10.09	研修大会対策会議	パルめぐみ	パルめぐみサービス管理責任者、生活支援員
R6.10.29	T.Oさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、サービス管理責任者、家族
R6.11.29	C.Oさん支援会議	パルめぐみ	パルめぐみサービス管理責任者、生活支援員
R6.12.17	M.Sさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、本人、家族
R7.01.21	A.Sさん担当者会議	利用者宅	パルめぐみ、相談支援専門員、保健師、本人、家族等
R7.01.22	T.Sさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、本人
R7.02.10	Y.Aさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、本人
R7.02.17	R.Oさん担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、相談支援専門員、本人、家族

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
サービス向上委員会	サービスの質の向上に向けた取り組み	月1回	サビ管・生活支援員
感染症・食中毒予防対策検討委員会	衛生維持管理、清掃消毒、感染対策の実施	月1回	サビ管・生活支援員
虐待防止対策検討委員会	身体拘束・人権侵害の予防と取り組み	月1回	管理者・サビ管・生活支援員
リスクマネジメント委員会	安全対策、事故検証、苦情解決の実施	月1回	サビ管・生活支援員
研修委員会	施設内・施設外研修の計画実施	月1回	サビ管・生活支援員
防災対策委員会	防災訓練・避難訓練の計画実施	月1回	サビ管・生活支援員
サービス評価委員会	第三者サービス評価のとりまとめ、検証改善	全2回	管理者・サビ管・事務員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
無			

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R6.9.10～R6.9.12	東北文化学園大学インターンシップ	利用者支援・送迎添乗・個別機能訓練への参加　等	1名	3名
計				

【今後の取り組み】

1. 生活介護

家庭(在宅)やグループホームなどから通う利用者等それぞれにあった介助法を模索しながら、環境作りや支援をおこなっていき、地域の社会資源としてより多くの方々に利用してもらえるよう努めていきます。

また、通所を通して基本的生活習慣やマナー・服装・身だしなみなど社会性を身につけると共に、ふれあいや対話を通して情緒の安定や良好な信頼関係を構築し、利用者にとって居心地の良い空間を目指していきます。

2. 健康管理

高齢の方や病気を抱えている利用者も増加傾向にあるため、日々の状態観察をしながら異常の早期発見・早期対応に努めます。ICTによるデータ管理を行うことによって、利用者個々のデータ抽出が容易になったため、より素早いアプローチを目指していきます。

感染症の予防にも早期に対応しながら、万が一感染症の症状が見られた場合には、直ちに家庭や関係機関に連絡して通院などを提案し、感染症拡大を阻止していきます。

3. 機能訓練・療法的活動支援

身体機能の維持向上や自立の促進を図るため、音楽療法及びヨガ教室は令和7年度も継続します。
また、機能訓練についても、各利用者の状況や家族の要望を受け、機能訓練が可能な器具などを使用して毎日実施していきます。必要に応じて、法人内や関係機関の理学療法士、言語聴覚士等に伺いながら、状況に応じた訓練を実施していきます。

4. 活動機会の提供

創作活動や木工芸活動、園芸活動など以外にも、タブレットを使った楽しみ方を学ぶことで楽しみ方のバリエーションを増やしていきます。また、様々な活動を体験することで趣味の幅を広げていくとともに、利用者一人ひとりがその人にあった楽しみ方ができるよう自己決定支援を意識していきます。

更に地域行事・事業所内行事で作品発表の場を持つことを通し、社会参加の機会を増やしていきます。

5. その他

良質なサービス提供を維持するため、アンケート調査やサービス評価の内容を重視していきます。関係機関や地域、家族との連携を大切にし、地域社会に開かれた事業所となるよう努めることを主に置き、随時ボランティアの受け入れ、体験や職業実習についても、お手伝いさせていただきます。

また、日常の各種活動(対外的なものも含めて)の様子を「パルめぐみブログ」や定期的に広報誌を作成・発行して紹介していきます。

令和６年度
恵泉会グループホーム・はせやま相談支援事業所　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　登米市中田町浅水字長谷山352－2
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成18年10月1日（障害者自立支援法第29条第1項に基づく指定）
5. 利　用　定　員　　106　名　　（※R6．4．1現在，内、2名は体験利用枠）
6. 施　設　状　況　等

（ホーム数）19ホーム:25住居

ホーム名	定員	住　　所	住居区分	物件形態	夜間支援有無
みなみホーム	6名	登米市南方町瀬ノ淵	一戸建て	法人所有	あり
やまびこホームⅠ	4名	登米市迫町佐沼字小金丁	一戸建て	賃貸借	
ももの木ホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借	
ももの木ホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借	
はさまホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字上舟丁	一戸建て	賃貸借	
はさまホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字上舟丁	一戸建て	賃貸借	
かきの実ホーム	6名	登米市迫町佐沼字江合	アパート	賃貸借	
かりんホームⅠ	5名	登米市迫町佐沼字小金丁	一戸建て	賃貸借	
かりんホームⅡ（サテライト型）	1名	登米市迫町佐沼字江合	アパート	賃貸借	
こだまホーム	4名	登米市迫町佐沼字錦	一戸建て	賃貸借	
かごだんホームⅠ	6名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	法人所有	
かごだんホームⅡ	8名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	法人所有	あり
にしきホーム	6名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	賃貸借	
石森ホーム	4名	登米市中田町石森字小人町	一戸建て	賃貸借	
すみれホーム	6名	登米市中田町石森字境堀	一戸建て	賃貸借	
わたの実ホームⅠ	6名	登米市中田町宝江黒沼字町	一戸建て	賃貸借	
わたの実ホームⅡ	6名	登米市中田町宝江黒沼字町	一戸建て	賃貸借	あり
とよまホーム	6名	登米市中田町宝江黒沼字町	一戸建て	賃貸借	
くりの実ホーム	6名	登米市東和町錦織字大舟渡	一戸建て	賃貸借	
梨の木ホーム	6名	登米市東和町米川字中嶋	一戸建て	賃貸借	
わかばホーム	6名	登米市東和町米川字中嶋	一戸建て	賃貸借	
ラベンダーホームⅠ	3名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有	
ラベンダーホームⅡ	2名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有	
ﾗﾍﾞﾝﾀﾞｰﾎｰﾑⅢ(ｻﾃﾗｲﾄ型)	1名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有	

【　基　本　方　針　】

令和6年度事業の実施にあたっては、障害者総合支援法等関係法令および恵泉会理念に沿った運営を基本としながら、利用者の方々が共同で暮らす地域において、一人ひとりが主体となって日常生活・社会生活を営むことができるよう、心と身体の状態ならびにその環境に応じて、不都合なく健やかな暮らしが送れるように支援しました。職員と世話人は相談・余暇・入浴・排泄・食事、その他の日常生活上必要となる介護・支援を安全に留意しながら協力して効果的に実践しました。

利用者の高齢化や重度化に対する取り組みとして、かりんホームⅠとやまびこホームⅠの移転・集約を実施し、更にフレイル予防に向けた法人内介護保険事業所との連携強化を今年度も継続しています。職員はサービス管理責任者が中心となり個々のアセスメントを丁寧に実施し、一人ひとりに合ったサービスや生活の場の提供を目指すと共に、虐待防止・身体拘束の適正化・権利擁護や意思決定支援といった利用者さんの想いや夢を叶えるためのサービスを追求し、その充実と改善に向けた取り組みについて事業所全体で推進しました。

法人内障害児者のワーキンググループについては、次世代のリーダー育成や若手職員の経験の場を設定し、恵泉会フェスティバルの開催や職員間の交換研修を実施することで、事業課題の解決や職員としての資質向上のための取り組みを推進しました。

【 重 点 項 目 】

1．恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所の職員・世話人が取り組むべき業務への姿勢

(1) 利用者の皆様の人生を豊かにするため、頼られる存在であり続けるよう努めました。
(2) 利用者の皆様を全力で愛し、「やさしく」「やわらかな」支援を心掛けました。
(3) ご家族や関係機関、関係者の方々から頼りにされ、喜ばれる存在であるよう努めました。
(4) 一人ひとりにあった休日や余暇の過ごし方を考え・提供し、楽しみや希望、活力を与えられるよう努めました。
(5) 各ホームの安全と衛生を保ち、利用者様の年齢や特性に合った住環境を整備しました。

2．恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所が実施する重点的取り組み

(1) 利用者様の重度高齢化への対策と感染症予防に関する取り組みの継続・強化を図りました。
①夜間支援体制の強化やフレイル予防対策として介護保険事業所との積極的な連携拡大を図りました。
②感染症対策については、県内及び法人内での感染状況をモニタリングしながら、その状況に応じた支援や利用者への行動協力を要請しました。

(2) 虐待防止および権利擁護ならびに身体拘束適正化に関する取り組みの継続・強化を図りました。
①指導監督職とサービス管理責任者から構成する虐待防止・権利擁護委員会の活動を継続強化し、全ての利用者様が幸せを感じ、自らの力を自分らしく安心して発揮できる暮らしの場を提供しました。

(3) 利用者様の特性および年齢に合った住環境の移転整備を行い、新規利用者の獲得に務めました。
①少人数物件や老朽化物件の移転・集約、新規利用者獲得のための営業・他法人との連携強化を図りました。

(4) 利用者様やご家族のニーズに合ったサービス内容の調整および通所先、就労先との連携を図りました。
①利用者の心身の状況・状態をご家族と共に確認・見極めながら、安心した生活生活が提供できるよう、ケアカンファレンスやサポート会議を通じてサービス内容を丁寧に評価・検討しました。
②恵泉会内の障害福祉サービスまたは介護保険サービス事業所との情報共有と連携強化を図りました。

※ 介護保険サービスの利用者
菊風荘(デイサービス)利用　5名
東和高齢者福祉施設(デイサービス)利用　4名
迫風園(ショートステイ)および翠風荘(デイサービス)利用1名
南寿荘(デイサービス)利用　4名
萩風園(ショートステイ)利用　1名
南風園(ショートステイ)利用　1名
他法人ショートステイ利用　1名
福祉用具貸与サービス利用　5名(※他サービスとの重複あり)

※ 利用サービス等の変更・見直し
一般就労から福祉就労へサービス変更(0名)　一般就労から生活介護へサービス変更(0名)
福祉就労から生活介護へサービス変更(1名)　介護保険サービスへの新規移行及び併用開始(2名)
他法人から法人内サービスへの移行者(0名)

※ はせやま相談支援事業所への契約変更者(7名)

(5) IoT機器やICTの活用による業務効率化の推進を図りました。
①パソコンまたはタブレット端末を活用し、加算算定や医療提供状況の記録を作成しました。

(6) 相談支援事業の目標予算の達成と法人内拠点事業所との連携強化を図りました。
①マネジメント件数を維持できるよう現行体制を保ち、グループホームとの内部業務の連携推進や法人内事業所との円滑な情報共有、相談支援体制の関係強化に努め、収入基盤の安定に努めました。
②施設入所支援や共同生活援助の新規利用希望者を獲得できるよう、関係事業所との連携や市町村の担当保健師等との情報共有を強化しました。

(7) 利用者様の趣味活動やクラブ活動を応援し、余暇時間の充実や休日の過ごし方を提案しました。
①趣味や興味・関心、好きなこと、挑戦したいことなど、利用者一人ひとりの想いや自己実現のための機会を最大限尊重した余暇支援を実践しました。
②ユニファイドスポーツ(障害のある方もない方も競技ルールの上で公平・平等に一緒に楽しむことを目的としたスペシャルオリンピックスのプログラム)を通じた心身の健全育成を推進しました。

(8) 経常収支の目標達成と事業収入合計2億円に向けて取り組みました。
①収支目標達成のため、空床整理に取り組みました。
②重度障害者および強度行動障害認定者の受け入れに合わせ、職員配置体制と加算体制のバランスを意識した経営を実践しました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人数　　37,287 名
2. 年間稼働日数　　365 日
3. 年間稼働率　　96.4 %
4. 年間平均障害支援区分　　3.58
5. 月別利用状況

(1)共同生活援助　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
区分2	360	363	360	420	298	358	366	360	363	364	328	370	4,310
区分3	986	1,021	990	986	1,049	988	1,022	991	981	977	918	990	11,899
区分4	1,313	1,338	1,312	1,400	1,346	1,339	1,367	1,343	1,392	1,346	1,198	1,356	16,050
区分5	353	368	358	334	362	356	346	328	361	381	355	396	4,298
区分6	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
計	3,072	3,152	3,080	3,202	3,117	3,101	3,163	3,082	3,159	3,130	2,855	3,174	37,287
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

(2)計画相談支援(※サービス提供時モニタリング加算を含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本計画	15	7	7	4	6	9	7	3	7	1	4	3	73
モニタリング	19	25	21	24	31	46	22	25	26	29	35	33	336
ｻｰﾋﾞｽ提供時ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ加算ほか	73	77	62	65	84	114	64	78	77	74	86	88	942
合　計	107	109	90	93	121	169	93	106	110	104	125	124	1,351

6. 契 約 の 状 況

(1)共同生活援助

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
契約終了者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月末契約者数	103	103	103	102	103	104	104	104	104	104	104	104	+ 1

(2)計画相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	1	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	7
契約終了者数	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4
月末契約者数	179	179	181	183	184	184	183	183	183	183	183	182	+ 3

【利用者サービスの状況】

1. 入 居 者 支 援

(1) 生活支援(共同生活援助・相談支援状況)

【形態・月別相談件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
来 所	15	12	17	15	18	12	11	14	15	11	13	11	164
電 話	52	34	42	56	51	39	52	43	42	51	55	68	585
訪 問	57	62	59	72	64	71	73	62	58	64	72	78	792
計	124	108	118	143	133	122	136	119	115	126	140	157	1,541

(2) 健康管理

①通院先・月別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
精神)佐藤医院	7	6	6	6	6	6	6	8	6	6	6	6	75
精神)三峰病院	16	10	10	3	1	2	1	16	4	9	3	5	80
精神)石越病院	2	2	2	5	4	3	5	6	4	1	4	4	42
登米市民病院	4	1	2	4	1	9	5	6	3	1	6	8	50
登米市立米谷病院	4	0	2	12	10	4	3	5	2	6	1	4	53
上杉皮膚科医院	11	8	8	26	10	11	12	14	15	16	16	9	156
その他(大崎市民病院他)	74	73	76	75	68	80	69	106	83	71	98	87	960
計	118	100	106	131	100	115	101	161	117	110	134	123	1,416

②市内・市外別 通院対応件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
市 内	94	75	88	116	91	104	80	130	100	90	119	102	1,189
市 外	24	25	18	15	9	11	21	31	17	20	15	21	227
計	118	100	106	131	100	115	101	161	117	110	134	123	1,416

(3) 就労・日中活動支援

①就労・日中活動先への訪問および支援件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件数	50	59	52	72	60	68	71	54	52	61	68	74	741

(4) 余暇支援

実 施 月	行 事 名	内 容	参加者数
4月	外出支援	東北風土マラソン2024	回数 1回 参加 10名
	運動支援	障スポ参加、サッカークラブとしての運動支援	回数 2回 参加 17名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(食事会など)	回数 1回 参加 18名
5月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 3回 参加 14名
	運動支援	障スポ参加、サッカークラブとしての運動支援	回数 5回 参加 25名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(食事会など)	回数 2回 参加 10名
6月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 4回 参加 21名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援(大会込み)	回数 4回 参加 26名
	野球観戦	楽天イーグルス野球観戦	回数 1回 参加 18名
7月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 6回 参加 29名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 1回 参加 8名
8月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 5回 参加 24名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 2回 参加 16名
9月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 3回 参加 12名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 1回 参加 9名
	希望旅行	個別希望一泊旅行、ホーム単位希望一泊旅行	回数 2回 参加 29名

10月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数　2回 参加　43名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数　2回 参加　16名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援（食事会など）	回数　2回 参加　27名
11月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数　4回 参加　28名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数　3回 参加　24名
12月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数　3回 参加　12名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数　1回 参加　8名
1月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数　5回 参加　15名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数　1回 参加　9名
	希望旅行	個別希望一泊旅行(ディズニーランド)	回数　1回 参加　3名
2月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数　1回 参加　5名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数　1回 参加　5名
3月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数　1回 参加　1名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援(福島での南東北大会出場)	回数　2回 参加　14名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援（食事会など）	回数　19回 参加　101名
実施回数		91 回	延べ参加者数　597 名

【月別件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
件数	4	10	9	7	7	6	6	7	4	7	2	22	91

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R6.04.01	新任・転入職員OJT①	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	職員2名
R6.04.02	新任・転入職員OJT②	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	職員2名
R6.06.04	コンプライアンス研修	施設長	職員14名
R6.06.11	BCP研修（防災、感染症）	防災委員	職員14名
R6.08.14	救命救急処置研修	施設長	職員13名
R6.12.07	家族研修会	光風園施設長	家族15組25名
R7.01.10	伝達研修（アンガーマネジメント研修）	グループホーム職員	職員11名

【内部研修　実施件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
件数	2	0	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	7

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参加者
R6.04.12	会計研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R6.05.31	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	南方支所	職員2名
R6.06.11	BCP研修	恵泉会	法人本部	職員2名
R6.06.20	集団指導	恵泉会	法人本部	職員1名
R6.07.08	新任研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R6.07.10	発達障害研修	恵泉会	こじか園	職員1名
R6.07.26	ひきこもり等支援関係者研修　基礎Ⅰ	宮城県ひきこもり地域支援センター	web	職員1名
R6.08.04	強度行動障害支援者養成研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R6.08.18	強度行動障害支援者養成研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R6.08.19	動機付け面接研修	登米市	web	職員2名
R6.08.22	サービス管理責任者実践研修	県社協	仙台市	職員1名
R6.08.23	サービス管理責任者実践研修	県社協	仙台市	職員1名
R6.08.25	強度行動障害支援者養成研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R6.08.26	人事考課研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R6.08.30	アンガーマネジメント研修	県社協	web	職員1名
R6.09.04	安全衛生管理者研修	宮城県労働基準協会	栗原市	職員1名
R6.09.05	安全衛生管理者研修	宮城県労働基準協会	栗原市	職員1名
R6.09.05	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	県社協	web	職員1名
R6.09.11	安全運転管理者研修	宮城県安全運転管理者協会	登米祝祭劇場	職員1名
R6.09.19	虐待防止研修	登米市	南方支所	職員1名
R6.09.26	心のサポーター養成研修	県精神保健福祉センター	石巻市	職員1名
R6.10.08	リスクマネジメント研修	県社協	web	職員1名
R6.10.31	登米市地域包括支援センター研修会	登米市	南方支所	職員2名
R6.11.13	交換研修	恵泉会	若生園	職員1名
R6.11.26	キャリアパス対応型生涯研修課程	県社協	仙台市	職員1名
R6.11.27	キャリアパス対応型生涯研修課程	県社協	仙台市	職員1名
R6.11.27	交換研修	恵泉会	若草園	職員1名
R6.12.04	サービス管理責任者研修	県社協	web	職員1名
R6.12.05	サービス管理責任者研修	県社協	web	職員1名
R6.12.18	サービス管理責任者研修	県社協	web	職員1名
R6.12.19	サービス管理責任者研修	県社協	web	職員1名
R6.12.20	人事考課研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R6.12.25	サービス管理責任者研修	県社協	仙台市	職員1名
R7.02.05	施設見学	恵泉会	栗原市	職員1名
R7.02.09	強度行動障害支援者養成研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R7.02.12	ひきこもり等支援関係者研修　基礎Ⅱ	宮城県ひきこもり地域支援センター	web	職員1名
R7.02.16	強度行動障害支援者養成研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R7.02.18	サービス管理責任者更新研修	県社協	仙台市	職員1名
R7.02.19	サービス管理責任者更新研修	県社協	仙台市	職員1名
R7.02.20	サービス管理責任者更新研修	県社協	仙台市	職員1名
R7.02.21	サービス管理責任者更新研修	県社協	仙台市	職員1名
R7.02.23	強度行動障害支援者養成研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R7.02.28	「ゆい」就労支援セミナー	恵泉会	迫公民館	職員2名
R7.03.14	登米圏域保健医療福祉支援者研修	石巻保健所登米支所	web	職員1名
R7.03.18	指定障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県保健福祉部	法人本部	職員1名

【外部研修　参加件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
件数	1	1	2	3	8	6	2	4	6	0	10	2	45

2.　会議開催状況

(1)定例会議

会　議　名	内　容	開 催 日	参加職員
職員会議	行事計画,支援課題, 事務連絡,ミニ研修　等	毎月1回	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ・はせやま職員
ケアカンファレンス	個別支援計画、モニタリング, 支援方針　等	毎月1回	利用者, 担当職員 他
世話人会議	情報共有,事業方針,業務連絡,ミニ研修　等	隔月1回	各ホーム世話人, 担当職員

(2)その他の会議・委員会

会　議　名	内　容	開 催 日	参加職員
サービス担当者会議	外部関係者を交えた支援方針等の検討・調整	全73回	担当職員, 関係者, 本人
サポート会議	個別支援計画の見直しに関するｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	随　時	担当職員 他
職場連携会議	就労先等を訪問しての情報共有	全14件	担当職員, 関係機関, 本人
行政機関等連携会議	新規入居希望者等を対象とした情報共有	全10回	担当職員, 関係機関
障害児者施設長会議	法人内障害児者支援事業の検討・調整	全9回	施設長
障害児者支援ワーキング	支援技術の向上と事業所間の連携	全7回	施設長, 担当職員
恵泉会地震防災対策委員会	災害に備えた防災体制の確立	全2回	防災委員
恵泉会ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ実行委員会	障害系の事業所での合同フェス実施検討	全6回	フェスティバル実行委員
職員研修大会実行委員会	研修大会の運営・準備・調整・打合せ	全4回	施設長, 担当職員

3.　委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　容	開 催 日	参　加　職　員
虐待防止・権利擁護委員会	事故や虐待、権利擁護等に関する検証。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員
入居者支援・余暇検討委員会	支援方法や業務手順,余暇に関する企画・実施。支援方法や入居ホームに関する検討・調整。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員
防災安全委員会	災害や非常時に備えた計画の整備,訓練実施。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員
サービス向上・研修委員会	サービス内容に関する評価とマニュアルの整備, 研修計画の立案と実施。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年 月 日	団　体　名	内　容	来訪者数
R6.07.20	新規入居希望者、相談支援事業所	見学(梨の木ホーム)	4 名
R6.07.26	新規入居希望者、相談支援事業所	見学(梨の木ホーム)	3 名
R6.07.27	新規入居希望者、相談支援事業所	見学(梨の木ホーム)	2 名
R6.09.10	迫支援学校(生徒・保護者・教員)	見学, 事業説明(かごだん、かきの実)	23 名
R6.09.18	新規物件地域住民・入居者家族	見学(かりんホーム・やまびこホーム)	8 名
R6.10.16	新規入居希望者、相談支援事業所	見学(こだまホーム)	7 名
R7.03.18	新規入居希望者、相談支援事業所	見学(こだまホーム)	2 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
回数				3		2	1					1	7

（2）体験ステイ，体験入居（介護給付費対応）

年　月　日	対　　象　　者	内　　容	人　数
R6.07.27	新規入居希望者	体験入居（梨の木ホーム）	1 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
回数				1									1

【今後の事業の取り組み】

1．恵泉会障害児者支援共通スローガン

心紡ぐ　こころ つむぐ　～ あなたに よりそう けいせんかい ～

2.恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所の職員・世話人が取り組むべき業務への姿勢

① 利用者一人ひとりの人生を豊かにするため、頼られる存在であり続けること
② 利用者一人ひとりを全力で愛し、「やさしく」「やわらかな」支援を常とすること
③ ご家族や関係機関、関係者の方々から頼りにされ、喜ばれる存在であること
④ 一人ひとりにあった休日や余暇の過ごし方を考え・提供し、楽しみや希望、活力を与えること
⑤ 各ホームの安全と衛生を保ち、利用者の方々の年齢や特性に合った住環境を整備すること

3.恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所が実施する重点的取組み

① 利用者の重度化・高齢化への対策と感染症予防に関する取り組みの継続・強化
→夜間支援体制の強化とフレイル予防として介護保険事業所との積極的な連携拡大を図る
→感染症対策については、県内および法人内での感染状況をモニタリングしながら、その状況に応じた支援や利用者への行動協力を要請していく
② 虐待防止および権利擁護ならびに身体拘束適正化に関する取り組みの継続・強化
→指導監督職とサービス管理責任者から構成する権利擁護・虐待防止委員会の活動を継続し、全ての利用者が幸せを感じ、自らの力を自分らしく安心して発揮できる暮らしの場を提供する
③ 利用者の特性および年齢に合った住環境の提供を目指す，新規利用者の獲得に向けた営業強化
→少人数物件や老朽化物件の移転・集約、新規利用者獲得のための営業と他法人との連携強化
④ 利用者やご家族のニーズに合ったサービス内容の調整および通所先・就労先等との連携
→利用者の心身の状況・状態をご家族と共に確認・見極めながら、安心した生活が提供できるよう、ケアカンファレンスやサポート会議を通じてサービス内容を丁寧に評価・検討していく
→恵泉会内の障害福祉サービスまたは介護保険サービス事業所との情報共有と連携強化を図る
⑤ IoT機器やICTの活用による業務効率化の推進
→パソコンまたはタブレット端末の活用を推進し、加算算定や医療提供状況の記録を作成する
⑥ 相談支援事業の目標予算の達成と法人内および関係機関との連携強化
→マネジメント件数を維持できるよう現行体制を保ち、グループホームとの内部業務の連携推進や法人内事業所との円滑な情報共有、相談援助体制の関係強化に努め、収入基盤を安定させる
→施設入所支援や共同生活援助の新規利用希望者を獲得できるよう、関係事業所との連携や市町村の担当保健師等との情報共有をさらに強化していく
⑦ 利用者の趣味活動やクラブ活動を応援し、余暇時間の充実や休日の過ごし方を提案
→趣味や興味・関心、好きなこと、挑戦したいことなど、利用者一人ひとりの想いや自己実現のための機会を最大限尊重した余暇支援を実践していく
→ユニファイドスポーツ（障害のある方もない方も競技ルールの上で公平・平等に一緒に楽しむことを目的としたスペシャルオリンピックスのプログラム）を通じた心身の健全育成を推進する

⑧　経常収支の目標達成と事業収入合計2億円に向けた取り組み
→収支目標達成のため、空床整理と業務委託費支出の見直しを図る
→重度障害者および強度行動障害認定者の受け入れに合わせ、職員配置体制と加算体制のバランスを意識した経営を実践する

4.共同生活支援事業所としての役割を明確にし、理想を追求すると共にその実現を目指す

＊＊＊　共同生活援助事業の役割について　＊＊＊

サービスを提供する上で、職員と世話人は次の役割を理解して業務にあたります。

◇グループホームの役割は、利用者のニーズに合うサービスを創り出していく仕事です。
職員と世話人は利用者と一緒に、『その人の想いや夢の実現』を目指して業務にあたります。

◇グループホームは、利用者一人ひとりの『家』であり、生活する住まいの場です。
決して集団生活を強いることや指導・訓練が中心となるような場所ではないことを理解します。

◇利用者は「困った人」ではなく「困っている人」という認識を持ち、構造化された環境で、医療と連携し、日常生活や精神状態に支障を来すような不安や刺激を与えないよう、個に応じた支援を追求します。

◇利用者の権利擁護や虐待防止の視点から、本人の「意思決定」のための支援を常に大切にします。意思決定の支援にあたっては、「意思表出支援」と「意思形成支援」を中心プロセスとしてアプローチします。

令和6年度
恵泉会地域生活支援センター　事業報告

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　5,531　名

○登米市障害者相談支援事業
○宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業　　2,178 名
○宮城県障害児等療育支援事業

○指定特定相談支援事業(計画相談支援)　　1,787 名

○障害者就業・生活支援事業　　1,566 名

2. 年 間 稼 働 日 数　　294　日

3. 月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登米市障害者相談支援事業 宮城県発達障害者地域支援 マネジャー配置事業 宮城県障害児等療育支援事業	169	219	196	205	201	181	190	162	172	179	146	158	2,178
指定特定相談支援事業	167	161	161	161	109	138	141	142	143	170	149	145	1,787
障害者就業・生活支援事業	154	156	145	146	157	137	142	126	97	99	91	116	1,566
計	490	536	502	512	467	456	473	430	412	448	386	419	5,531

4. 登 録 の 状 況

登米市障害者相談支援事業・宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業・宮城県障害児等療育支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	0	1	3	1	0	1	3	1	0	2	0	1	13
月末登録者数	439	440	443	444	444	445	448	449	449	451	451	452	

障害者就業・生活支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	0	3	1	0	2	0	0	1	0	0	0	1	8
登録抹消者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末登録者数	348	351	352	352	354	354	354	355	355	355	355	356	

5. 相談実績件数

登米市障害者相談支援事業/宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業/宮城県障害児等療育支援事業

訪問相談	来所相談	同行	電話等相談	個別支援会議	関係機関	その他
136	75	46	266	64	141	1,450

指定特定相談支援事業(計画相談支援)

訪問相談	来所相談	同行	電話等相談	個別支援会議	関係機関	その他
442	80	41	906	46	215	57

宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業

相談	問い合わせ	連絡・調整	経過確認等
188	15	44	38

宮城県障害児等療育支援事業

相談	問い合わせ	連絡・調整	経過確認等
97	6	67	13

障害者就業・生活支援事業

職場実習	就職者	定着支援
17	26	338

【利用者サービスの状況】

1. 日 常 サ ー ビ ス

(1) 療育相談・家族への支援

実 施 日	項　　目	内　　容	参 加 者 数
R6.04.21	はあとタイム	理学療法士・言語聴覚士等による療育相談	15 名
R6.05.19	〃	〃	12 名
R6.06.16	〃	〃	17 名
R6.07.21	〃	〃	11 名
R6.08.18	〃	〃	12 名
R6.09.29	〃	〃	13 名
R6.10.20	〃	〃	16 名
R6.11.17	〃	〃	13 名
R6.12.22	〃	〃	13 名
R7.01.19	〃	〃	13 名
R7.02.16	〃	〃	15 名
R7.03.16	〃	〃	14 名
実　施　回　数		12 回　延　べ　参　加　者　数	164 名

実 施 日	項　　目	内　　容	参 加 者 数
R6.10.08	ペアレント・プログラム	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム①	11 名
R6.10.22	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム②	10 名
R6.11.05	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム③	7 名
R6.11.20	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム③	8 名
R6.12.03	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム④	6 名
R6.12.17	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム⑤	5 名
実　施　回　数		6 回　延　べ　参　加　者　数	47 名

(2) 療育行事・余暇活動支援・在職者交流会・在職者と求職者の交流活動

実 施 日	項　　目	内　　容	参 加 者 数
R6.05.26	オープンはあとアクション・たいあっぷ	こころと体のリフレッシュ☆卓球交流会	20 名
R6.08.25	たいあっぷ	SNSの上手な使い方とお金のやりくりについて考えよう！	10 名
R6.10.13	オープンはあとアクション・たいあっぷ	おいしく学ぶ☆はっとづくり教室	12 名
R7.01.26	オープンはあとアクション	みんなで歌おう☆新年カラオケ交流会	10 名
R7.03.09	ピアサポート活動	就職して感じたこと～今までとこれから～	4 名
実　施　回　数		5 回　延　べ　参　加　者　数	56 名

(3) 技術支援・ネットワーク形成・研修会開催等(事業別・主な事業)

実 施 日	項　　目	内　　容	参 加 者 数
R6.07.30	相談支援事業	迫支援学校進路指導研修会(就労定着支援)	20 名
R6.10.07	相談支援事業	迫地域包括支援センター職員の障害福祉制度理解促進説明会	15 名
R6.04.30	マネジャー配置事業・療育支援事業	登米総合産業高校特別支援校内研修	70 名
R6.06.03	マネジャー配置事業・療育支援事業	迫支援学校ペアレント・プログラム支援者研修会	16 名
R6.06.12	マネジャー配置事業・療育支援事業	迫支援学校ペアレント・プログラム支援者研修会	16 名
R6.06.24	マネジャー配置事業・療育支援事業	迫支援学校ペアレント・プログラム支援者研修会	16 名
R6.05.27	マネジャー配置事業	えくぼ主催Vineland-Ⅱ研修会実践報告	61 名
R6.07.08	マネジャー配置事業	えくぼ主催自閉スペクトラム症支援研修実践報告	90 名
R6.07.10	マネジャー配置事業	ペアレント・メンター事業を活用した支援者研修会	13 名
R6.10.22	マネジャー配置事業	宮城県東部保健福祉事務所主催アセスメント・ケア向上研修会	30 名
R6.10.24	マネジャー配置事業	登保協0歳児部会研修会	12 名
R6.11.01	マネジャー配置事業	令和6年度親子支援研修会①	12 名
R6.12.06	マネジャー配置事業	令和6年度親子支援研修会②	15 名
R7.01.27	マネジャー配置事業	大崎保健所栗原支所主催発達障害児支援者研修話題提供	30 名
R6.06.26	就業支援事業	宮城就業支援ネットワーク ナカポツ部会①	35 名
R6.11.19	就業支援事業	宮城就業支援ネットワーク ナカポツ部会②	10 名
R7.01.14	就業支援事業	宮城就業支援ネットワーク ナカポツ部会③	10 名
R7.02.21	就業支援事業	宮城就業支援ネットワーク ナカポツ部会④	5 名
R7.03.28	就業支援事業	宮城就業支援ネットワーク ナカポツ部会⑤	15 名

R6.06.07	就業支援ネットワーク形成	就労関係事業所連絡会①	19 名
R6.09.27	就業支援ネットワーク形成	就労関係事業所連絡会②	18 名
R7.01.31	就業支援ネットワーク形成	就労関係事業所連絡会③	17 名
R7.03.21	就業支援ネットワーク形成	就労関係事業所連絡会④	15 名
R6.09.12	就業支援事業	迫支援学校高等部授業協力「ゆい」事業説明会	28 名
R7.02.28	「ゆい」研修事業	「自分らしくはたらくこと」	36 名
実施回数	25 回	延べ参加者数	624 名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年月日	内容	説明者・進行役・講師	参加者
R6.04.01	新任職員研修	主任相談支援専門員	職員3名
R6.05.22	グループスーパービジョン（事例検討）※毎月実施	スーパーバイザー	相談業務担当職員
R6.06.05	合理的配慮の理解を深める	管理者	〃
R6.06.26	カスタマーハラスメント	管理者	〃
R6.06.19	個人情報管理に係る研修	生活支援員	〃
R6.07.24	法令順守（コンプライアンス）に関する研修	施設長、管理者	〃
R6.09.06	河北新報の記事を題材にした事例検討	施設長	〃
R6.11.06	TBS報道特集内「強度行動障害」動画視聴・意見交換	管理者	〃
R7.01.09	意思決定支援研修（12/6,7）の伝達研修	主任相談支援専門員	〃

（2）外部研修（主な研修）

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R6.05.07	えくぼ発達障害基礎講座①成人期の発達障害の基礎	宮城県発達障害者支援センター	オンライン	職員2名
R6.05.10	宮城県介護研修センター移転記念特別講座	宮城県介護研修センター	大和町	職員1名
R6.05.27	Vineland-Ⅱ研修会～基礎編～	宮城県発達障害者支援センター	大崎市	職員1名
R6.05.31	登米市福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	登米市	職員1名
R6.05.31	宮城就業支援ネットワーク2024年度セミナー	宮城就業支援ネットワーク	仙台市	職員1名
R6.06.13	精神保健福祉基礎講座Ⅰ（6/14）	宮城県精神保健福祉センター	オンデマンド	職員1名
R6.06.26	宮城就業支援ﾈｯﾄﾜｰｸﾅｶﾎﾟﾂ部会職員研修会	宮城就業支援ネットワーク	仙台市	職員2名
R6.07.10	えくぼ発達障害基礎講座②発達障害者への合理的配慮	宮城県発達障害者支援センター	オンライン	職員2名
R6.07.17	ナカポツ連絡会議	宮城労働局	仙台市	職員1名
R6.08.02	母子保健体制強化事業・発達障害児支援分野研修会	登米市	オンライン	職員1名
R6.08.06	えくぼ発達障害基礎講座③当事者ｲﾝﾀﾋﾞｭｰﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	宮城県発達障害者支援センター	オンライン	職員3名
R6.08.16	ひきこもり等支援関係者支援研修（基礎編Ⅰ）	宮城県精神保健福祉センター	オンデマンド	職員2名
R6.09.04	依存症関連問題研修Ⅰ～本人理解を深める～	宮城県精神保健福祉センター	オンライン	職員1名
R6.09.06	栗原市障がい者就労セミナー	栗原市	栗原市若柳	職員2名
R6.09.09	関係機関・企業・教育機関障害者雇用情報交換会	障害者就労連携構築支援事業	仙台市	職員2名
R6.09.18	アセスメント技術を高める研修会（基礎編）	宮城県発達障害者支援センター	オンライン	職員2名

R6.10.11	就労と定着に関する意見交換会	障害者就労連携構築支援事業	仙台市	職員2名
R6.10.24	ナカポツ職員の支援スキル向上事例検討会	宮城就業支援ネットワーク	大崎市	職員1名
R6.10.25	地域の障害者雇用を考える意見交換会	障害者就労連携構築支援事業	南三陸町	職員2名
R6.10.31	アセスメント技術を高める研修会【応用編】	宮城県発達障害者支援センター	仙台市	職員1名
R6.10.31	登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員3名
R6.11.12	宮城県子ども・若者支援協議会実務担当者部会	宮城県環境生活部共同参画社会推進課	登米市	職員2名
R6.11.14	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	ケアマネ協会登米支部	登米市	職員1名
R6.11.14	ナカポツ北海道・東北ブロック経験交流会議	宮城労働局	オンライン	職員1名
R6.11.26	ナカポツ就業支援担当者研修～11/29	障害者職業総合センター	オンライン	職員1名
R6.11.27	ナカポツ主任就業支援担当者研修～11/29	障害者職業総合センター	千葉市	職員1名
R6.12.11	えくぼ発達障害基礎講座④発達障害と精神疾患	宮城県発達障害者支援センター	オンライン	職員3名
R7.01.10	気仙沼地域障がい者就労セミナー	気仙沼市自立協就労支援部会	気仙沼市	職員2名
R7.02.07	アメニティーフォーラム28	全国地域生活支援ネットワーク	滋賀県大津市	職員2名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開 催 数	参　加　職　員
相談支援事業者連絡会議	相談支援事業者と福祉事務所との定例協議	隔月年6回	相談支援事業担当職員
自立支援協議会運営会議	相談支援事業者と福祉事務所との運営協議	年1回	相談支援事業担当職員
登米GSV	相談支援の技術向上等を目的とした事例検討	年11回	相談支援事業担当職員
職員会議	各事業の現状報告並びに今後の援助対策検討	年12回	施設長、相談業務担当職員
職員ミーティング	相談業務の共有化と個別対応方法検討	年24回	相談業務担当職員
グループスーパービジョン	相談支援の技術向上等を目的としたOJT	年9回	相談業務担当職員
地域支援ﾏﾈｼﾞｬｰ新規ｹｰｽ検討会	子ども総合センターとの新規ケース検討(登米・栗原圏域別)	年6回	地域支援マネジャー
地域支援マネジャー定期連絡会	子ども総合ｾﾝﾀｰとの定期連絡会(登米)	年6回	地域支援マネジャー
地域支援マネジャー情報交換会	子ども総合ｾﾝﾀｰとえくぼとの情報交換	年6回	地域支援マネジャー
地域支援マネジャー定期連絡会	子ども総合ｾﾝﾀｰとの定期連絡会(栗原)	年6回	地域支援マネジャー

(2) その他の会議(主な会議)

開催日	内容	場所	出席者
R6.05.07	宮城県障害者相談支援従事者研修市町村向け説明会	宮城県庁	職員1名
R6.07.01	登米市自立協第1回課題検討部会(にも包括協議)	登米市南方庁舎	職員1名
R6.07.02	宮城県障害者相談支援従事者初任者研修演習講師説明会	宮城県庁	職員1名
R6.08.01	医療的ケア児等支援・連携検討部会①	登米市南方庁舎	職員1名
R6.10.04	宮城県相談支援従事者現任研修説明会	宮城県庁	職員1名
R6.11.18	登米市自立協第2回課題検討部会(にも包括協議)	登米市南方庁舎	職員1名
R6.12.13	医療的ケア児等支援・連携検討部会②	登米市南方庁舎	職員1名
R7.01.24	医療的ケア児等支援・連携検討部会③	登米市南方庁舎	職員1名
R7.01.28	宮城県障害者雇用支援合同会議	宮城県庁	職員1名
R7.03.07	宮城県障害者自立支援協議会地域生活部会	みやぎハートフルセンター	職員1名
R7.03.07	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築研修会	ハーネル仙台	職員1名
R7.03.14	登米市自立支援協議会	登米合同庁舎	職員1名
R7.03.14	宮城県自立協人材育成部会相談支援従事者連絡会	みやぎハートフルセンター	職員1名
R7.03.19	第2回宮城県障害者自立支援協議会	フォレスト仙台	職員1名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R6.09.10	宮城県立迫支援学校高等部3年生・教諭	「ゆい」見学・センターの機能説明	12 名

【事業に伴う成果】

(1) 登米市障害者相談支援事業

・障害の種別や状況を問わず、相談を幅広く受け入れることで、地域生活の総合窓口としての位置付けが浸透し、より専門的な機関につながるための、支援の入り口・導入の機能も強くなっています。
・相談支援の経験を重ねた職員を継続して配置することで、各種制度やサービスの細かな内容に精通し、相談に的確に応じることができ、利用者のライフステージを通した関わりも可能となっています。
・利用者のみならず、行政(保健師)や他支援機関から技術協力を求められる場面が増え、直接的な関わり以外にも、支援者のサポートや、支援体制作りの中心的役割を担うことで、地域の支援力向上の一助になっています。

(2) 宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業

・宮城県が発達障害児者支援に重点を置いた施策のひとつとして令和元年度から新規事業化した取り組みについて、事業受託を継続し、理学療法士を地域支援マネジャーとして配置しています。
・県内の現状を踏まえ、課題や方向性を県に提言し、システム構築の一助となっています。
・登米エリアだけでなく、栗原エリアの発達障害支援体制も補完し、研修事業を充実させる取り組みを図っています。
・宮城県からの依頼により、各圏域においても、ペアレントプログラムに取り組めるよう、養成研修講師として協力しています。成果は市内からの評価にとどまらず、県内の発達障害支援機関に広く認知されています。
・栗原エリアの発達障害支援体制の充実に向けた取り組みのなかで、学校側と協議する場に加わり、教育との連携を図っています。

(3) 宮城県障害児等療育支援事業

・療育支援担当に言語聴覚士を配置し、専門的な療育相談を身近な地域で受けられる体制を確保し、地域支援マネジャーと連携し情報共有しながら、発達の状況に合わせた適切な助言を行っています。
・はあとタイムでの療育相談では、様々な障害(未診断を含む。)特性に合わせて、専門職による個別対応を図り、家族も一緒に参加することで、家庭での療育実践につなげられる内容となっています。
・発達の遅れに不安を抱く家族の気持ちを受け止め、本人や家族に寄り添った支援を心がけ、育児に自信を持てるような働きかけを通じて、不安の緩和を図り、その後のより良い療育に向けて、具体的な行動につなげています。はあとタイムを毎月開催し、ペアレント・プログラム(支援者向け、家族向け)も継続して取り組んでいます。
・事業が地域に認知され、未就学児だけでなく、教育機関からの相談も多くなり、小学校・中学校・高等学校へ訪問する機会が増えています。

（4）障害者就業・生活支援センター「ゆい」

・「ゆい」登録者のうち、今年度は27名（実人数）が就職に結びついています。

・働き始めるためだけでなく、長期に働き続けるための支援やサポート体制作りについて、企業からの協力依頼が増えており、企業の関心や雇用意欲が高まっています。

・ハローワークの協力を得て、市内の就労系サービス事業所を対象にした「就労関係事業所連絡会」を年4回開催し、事業所間の連携強化や就労支援の意識向上を図っています。

・支援学校との連携においては、個別移行支援会議等への参加、「ゆい」事業所見学の受け入れ、学校訪問、授業講師協力などを通して、就労に対する意識醸成の一助を担っています。また、労働局の指針により、卒業年次在学時からの利用登録が可能になり（令和3年度以降）、就職をめざす学生との関わりが深まり、卒業後の切れ目のない支援につながっています。

令和6年度
多機能型事業所若葉園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所	在 地	宮城県登米市東和町米川字西綱木23番地16
2. 設	置 主 体	社会福祉法人　恵泉会
3. 経	営 主 体	社会福祉法人　恵泉会
4. 開	設 年 月 日	平成21年　4月　1日
5. 利	用 定 員	40 名（就労移行支援6名、就労継続支援B型34名）

【基本方針の実施状況】

1. 就労移行支援
一般就労を希望する利用者に対し、個別性を重視した個々の支援計画に基づき、就労のための基礎的な体力や技術及び社会的なマナーの習得を目指しながら支援を行いました。2名の方が令和6年4月にトライアル雇用を開始し、6月から正式雇用となりました。

2. 就労継続支援B型
個別性を重視した個々の支援計画に基づき、実習や生産活動等を通して就労の場を提供し、社会生活における習慣の体得と技能の習得を目指しました。工賃向上計画に準拠して安定した工賃を払えるよう企業等とも連携し生産体制の確立を図った結果、目標額の32,200円を超えることができました。また、1名の方が6月に登米総合産業高校に就職することができました。

3. 就労定着支援
就労定着支援は利用者との対面による相談等や利用者を雇用した企業への訪問、関係機関との連絡調整等を一体的に実施し雇用の定着を目指すよう支援し、離職者が0名という定着率100%の実績となりました。

【重点項目に対する評価、成果】

1. 個別支援の充実
サービス等利用計画に基づき、身体状況や社会的環境に配慮した個別支援計画作成を念頭に実施いたしました。定期的にモニタリングを行いながら達成状況等を確認し、ニーズに沿った個別支援計画の充実が図れるよう取り組みました。

2. 工賃の向上
各作業班ごとにコスト軽減や生産・販売の効率化に努めながら実施し、費用対効果への意識を高めながら事業展開を行いました。特にグリーン工房においては商品アイテムや価格帯の見直し等を行い過去最高水準の売上高となりました。その結果、月々の工賃は順調に支払われ、一時金も大幅に増え、工賃向上計画の目標額の32,200円を超えることができました。

3. 就労支援体制のさらなる充実
関係機関と連携しながら、実施してきた結果、就労移行支援事業においては2名の就職者を出すことができました。また、令和6年度は就労移行支援の利用期間が満了となった利用者で就労継続支援B型から若葉園としてはじめて就職者を出すことができました。令和7年度においても一人でも多くの利用者が就職出来るよう努力してまいります。

4. 就労定着に向けた専門的な支援
平成30年10月1日より開始となった就労定着支援事業ですが、令和6年度においても1名も離職者を出すことがありませんでした。その結果定着率が100%となっています。今後も各企業や関係機関と連携を密にし、就職者の定着に向けて支援していきます。

5. 虐待防止等
打ち合わせ時や会議時に、職員間で虐待防止法の周知を図り、虐待を行わない、見逃さない、放置しないという基本的姿勢の確認を繰り返し行いました。

【 利 用 状 況 】

就労継続支援B型事業　定員　34名

1. 年間延べ利用人員　8,494 名
2. 年 間 稼 働 日 数　243 日
3. 年 間 稼 働 率　102.8 %　（ 目標稼働率 ： 105% ）
4. 月 別 利 用 状 況　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	61	64	59	66	61	57	31	40	35	38	36	40	588
区 分 3	256	286	256	284	250	243	268	227	201	212	206	220	2,909
区 分 4	249	250	224	247	228	194	244	213	230	202	195	218	2,694
区 分 5	21	21	20	19	16	19	21	20	19	19	17	20	232
未 申 請	167	149	173	192	171	165	160	194	172	179	168	181	2,071
合 計	754	770	732	808	726	678	724	694	657	650	622	679	8,494

5. 契 約 状 況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
契約解除者数	0	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	5
月末契約者数	42	42	42	42	42	42	40	38	38	38	38	38	－3

就労移行支援事業　定員　6名

1. 年間延べ利用人員　839 名
2. 年 間 稼 働 日 数　243 日
3. 年 間 稼 働 率　57.5 %　（ 目標稼働率 ： 100% ）
4. 月 別 利 用 状 況　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	19	17	16	21	17	18	20	18	20	19	16	18	219
区 分 3	21	11	20	22	20	19	22	20	20	19	18	20	232
区 分 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 5	11	21	17	9	2	16	6	0	0	16	17	15	130
未 申 請	56	53	49	9	17	8	10	13	12	10	10	11	258
合 計	107	102	102	61	56	61	58	51	52	64	61	64	839

5. 契 約 状 況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3
契約解除者数	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4
月末契約者数	6	6	6	4	6	4	4	4	4	4	4	5	－1

若 葉 園(全事業合計)　定員　40名

1. 年間延べ利用人員　9,333 名
2. 年 間 稼 働 日 数　243 日
3. 年 間 稼 働 率　96.02 %　（ 目標稼働率 ： 100% ）
4. 月 別 利 用 状 況　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	80	81	75	87	78	75	51	58	55	57	52	58	807
区 分 3	277	297	276	306	270	262	290	247	221	231	224	240	3,141
区 分 4	249	250	224	247	228	194	244	213	230	202	195	218	2,694
区 分 5	32	42	37	28	18	35	27	20	19	35	34	35	362
区 分 6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未 申 請	223	202	222	201	188	173	170	207	184	189	178	192	2,329
合計	861	872	834	869	782	739	782	745	709	714	683	743	9,333

5. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	4
契約解除者数	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	4
月末契約者数	48	48	48	49	48	46	44	42	42	42	42	43	± 0

就労定着支援事業

1. 年間延べ利用人員　　40 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　12 日以上
3. 年 間 稼 働 率　　100.00 %　（ 目標稼働率 : 100% ）
4. 月 別 利 用 状 況　　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	4	4	4	2	2	2	2	2	3	5	5	5	40

5. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3

【利用者サービスの状況】

1. 週間予定

就労継続支援B型事業

曜日	午　　前	午　　後
月	出勤押印確認:生産活動	生産活動
火	出勤押印確認:生産活動	生産活動
水	出勤押印確認:生産活動	生産活動
木	出勤押印確認:生産活動	生産活動
金	出勤押印確認:生産活動	生産活動
土	休み	休み
日	休み	休み

就労移行支援事業

曜日	午　　前	午　　後
月	出勤押印確認:生産活動	生産活動
火	出勤押印確認:生産活動	生産活動
水	出勤押印確認:生産活動	生産活動
木	出勤押印確認:生産活動	生産活動
金	出勤押印確認:生産活動	生産活動
土	休み	休み
日	休み	休み

2. 工賃支払い状況

就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	721,600	711,480	771,320	703,010	743,050	712,800	746,460	702,240	701,250	675,290	694,210	706,970	4,642,633	13,232,313
1人平均月額	18,503	17,787	20,298	18,500	19,554	18,277	19,140	18,006	18,953	16,882	17,355	18,127	113,235	322,739

就労移行支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	157,960	144,650	171,160	153,670	152,680	146,300	152,790	156,750	151,030	120,230	121,770	129,800	494,766	2,253,556
1人平均月額	19,745	18,081	21,395	17,074	16,964	18,288	19,099	19,594	18,879	17,176	17,396	18,543	70,681	281,695

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

(1) 内部研修

年　月　日	内容	講師(講演者)	参　加　者
R6.04.03	内部研修(報酬改定について)	管理者・サビ管	職員12名
R6.06.06	新任職員研修	就労定着支援員	職員3名
R6.6.4～6.21/24/25	コンプライアンス研修	統括施設長	職員18名
R6.08.26	恵泉会人事考課者現任研修		職員1名
R6.09.06	人権に関する研修会	登米市人権擁護委員協議会	職員3名
R6.9.26	内部研修(安全運転)	統括施設長(安全運転管理者)	職員10名
R6.10.29	内部研修(県工賃向上支援計画について)	管理者・サビ管	職員10名
R6.02.21	恵泉会経営者研修	あすの監査法人	職員1名
R6.11.29	職員交換研修	受入施設(若草園)	職員1名
R6.12.26	内部研修(虐待防止研修)	管理者・サビ管	職員10名

(2) 外部研修

年　月　日	内　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R6.06.07	就労関係事業所連絡会	障害者就業・生活支援センター「ゆい」	登米市	職員1名
R6.08.06	食品表示&HACCP対策オンラインセミナー	みやぎセルプ	仙台市(Web)	職員3名
R6.10.03	サトー商会展示会	サトー商会	仙台市	職員2名
R6.10.24	障害者就労支援事業所運営に関するオンラインセミナー	みやぎセルプ	仙台市(Web)	職員3名
R7.01.31	就労関係事業所連絡会	障害者就業・生活支援センター「ゆい」	登米市	職員1名
R6.02.06	優先調達に関する説明会	県障害福祉課	仙台市(Web)	職員2名
R7.02.10	農福連携交付金活用セミナー	日本農福連携協会	Web	職員2名
R7.02.18	サービス管理責任者更新研修(～19)	県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R7.02.28	ゆい就労支援セミナー	障害者就業・生活支援センター「ゆい」	登米市	職員1名
R7.03.14	登米圏域保健医療福祉支援者研修会	宮城県東部保健福祉事務所登米地域事務所	登米市(Web)	職員1名
R7.03.18	県集団指導	県障害福祉課	仙台市(Web)	職員1名

2．会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開 催 日	参　加　職　員
職 員 会 議	連絡事項・各セクション毎協議、検討	12回	全職員

(2) その他の会議

開 催 回 数	内　容	場　所	出　席　者
12回	スタッフ会議	支援員室他	各班チーフ責任者

3．委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　容	開催回数	参　加　職　員
リスクマネジメント委員会	ﾋﾔﾘﾊｯﾄの検証、虐待防止、苦情処理対応検討	2回	若葉園職員8名
個別支援計画策定委員会	個別支援計画及び利用者支援について検討	25回	若葉園職員5名
事業所ｻｰﾋﾞｽ評価委員会	ｻｰﾋﾞｽ評価に関することを検討	5回	若葉園職員6名
事業所利用検討委員会	利用希望の方について検討	4回	若葉園職員6名
防　災　委　員　会	消防計画に基づき防災にについて検討	2回	若葉園職員8名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年　月　日	団　体　名	内　容	来訪者数
R6.04.26	利用希望者ほか	事業所見学	1名
R6.05.21	こじか実習生他	事業所見学	2名
R6.06.05	利用希望者ほか	事業所見学	3名
R6.06.18	こじか実習生他	事業所見学	2名
R6.07.03	迫支援学校高等部生徒ほか	事業所見学	24名
R6.08.01	こじか実習生他	事業所見学	2名
R6.08.22	こじか実習生他	事業所見学	2名
R6.09.06	こじか実習生他	事業所見学	3名
R6.09.12	梁川工務店社長、アデコ担当者	事業所見学	2名
R6.09.26	こじか実習生他	事業所見学	3名
R6.10.09	宮城大学学生他	事業所見学	3名
R6.10.10	こじか実習生他	事業所見学	3名
R6.11.29	こじか実習生他	事業所見学	2名
R6.11.27	迫支援学校高等部生徒ほか	事業所見学	3名
R6.12.24	迫支援学校高等部生徒ほか	事業所見学	2名
R7.02.07	こじか実習生他	事業所見学	2名
計			59名

(2) 実習

年　月　日	団　体　名	実　習　内　容	実人数	延人数
R6.6.3～R6.6.14	迫支援学校高等部(10日間)	産業現場実習	2名	20名
R6.6.24～R6.6.28	気仙沼支援学校高等部(5日間)	産業現場実習	1名	5名
R6.10.01	あやめ園	手作りパン教室	23名	23名
R6.10.15～R6.10.25	迫支援学校高等部(10日間)	産業現場実習	1名	10名
R6.10.22	登米総合産業高校福祉科	障害者支援施設実習	4名	4名
R6.10.23	登米総合産業高校福祉科	障害者支援施設実習	5名	5名
R6.10.24	登米総合産業高校福祉科	障害者支援施設実習	5名	5名
R6.11.4～R6.11.6	登米総合産業高校福祉科(3日間)	障害者支援施設実習	4名	12名
R7.1.10～R7.1.17	迫支援学校高等部(5日間)	産業現場実習	1名	5名
R7.3.26～R7.3.27	迫桜高校(2日間)	インターンシップ	1名	2名
計			47名	91名

【今後の取り組み】

1. 個別支援の充実

・サービス等利用計画に基づき、利用者の希望や意向に添った目標を設定し、身体状況や特性、社会的環境に配慮した支援計画を立案します。また、定期的にモニタリングしながら達成状況を確認し、ニーズに沿った個別支援計画の充実を図ります。

2. 工賃の向上

・新商品開発はもとより、商品製造の増産体制、販路拡大を図ります。
・利用者に対し、各種作業の工程や技術を身につけるよう支援します。
・職員は、各種作業の専門的知識習得のため、自己研鑽に努めます。
・コスト意識の浸透を図り、経費削減に取り組み、無駄を無くすよう努めます。
・工賃向上計画に基づき、作業する達成感、責任感が得られるように幅広い作業提供を実施し、工賃支給を継続させます。

3. 就労支援体制のさらなる充実

・希望に沿った就労が出来るよう、日々の作業を通して、働くうえで必要な資質の向上を図ります。
・企業や関係機関と連携した支援体制を作ります。

4. 虐待防止等

・障害者権利条約、障害者基本法、障害者差別解消法、障害者虐待防止法等で示されている事を大事にして利用者支援を行います。

・職員は利用者の権利を侵さないことはもちろん、積極的に擁護主体であるという自覚を持ち、基本的姿勢の確認をくり返します。

5. 新規事業の検討

・日々変化している社会情勢に対応できるよう常に事業を検討するとともに、利用者の高齢化重度化を鑑み、他事業所と連携しながら今後のあり方等について検討します。

令和6年度
就労継続支援B型さくらワークス　事業報告

【 施　設　概　要 】

1．所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米川字西綱木6-1
2．設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3．経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4．　開設年月日　　平成19年1月1日
5．　利用定員　　30 名

【 基　本　方　針 】

事業の実施にあたっては、障害者総合支援法等関係法令及び恵泉会理念に沿った運営を基本としながら、利用者の基本的人権を尊重し、利用者個々の有する能力及び適性を十分考えながら、社会的自立と就労支援を中心に就労移行を目指しました。また、社会の一員として必要な知識、技術を習得させ、個性を尊重して安心して暮らせるための社会的役割を果たすよう努力してまいりました。
①障害者総合支援法の中にある、自己決定と自己選択の尊重を基に、課題に対応したサービス提供体制を整えること で、希望する日中活動を保障するよう努めました。
②利用者の社会的自立を目指しましたが、就労移行、雇用に向けた支援については対象者がありませんでした。
③グループホームの支援と連携しました。

【重点項目に対する評価、成果】

○地域生活において重要な・就労支援（生産活動の実施、職場規律の指導）。
生活支援（健康管理、相談支援、余暇支援）を柱に、利用者の状況に応じ適切かつ柔軟な対応を心がけ支援しました。また、ここ数年で高齢・重度化が進んでいることから、支援体制の改善に向けた検討を進めました。

○利用者個々のサービス等利用計画に基づき、一人ひとりのニーズに合った個別支援計画を作成し、就労の意識を高めました。また、生活支援体制を整備しながら、サービスの量、質の充実に努めました。

①自　立　支　援　…　生活活動、日中活動を通して、個別の状況に応じた対応から実際の生活の安定へとつなげられるよう努力しました。

②主体性の尊重　…　利用者が自己選択・自己決定できる機会を拡充し、本来有している能力がよい方向で発揮できるよう支援しました。

③就　労　支　援　…　利用者の雇用及び就労移行事業へのステップアップに向けた支援を行いました。

④地域生活の充実 …　地域企業との連携を強めた作業を展開しました。

⑤家　族　支　援　…　利用者自身はもとより、総合的な支援体制を整えるには、家族の協力が大切です。家族の安定が利用者の生活を支える基盤となる事から支援に対する理解を深めてもらうため、状況報告や情報提供を細やかに行いました。

1．受託加工
・（有）ミヤギトップ　　グッズ製作作業(梱包等)　　・リサイクル回収　　解体分別作業
・（株）梅ノ木商店　　検品、梱包作業（1月より新規で受託開始）

2．受託事業
軽作業（除草・草刈・農作業等）　　26件
（株）スタンレー宮城製作所　コンテナ洗浄作業

3．法人内受託作業
・法人本部　　周辺花壇・駐車場除草（4回）　・パルめぐみ　園庭・駐車所除草（4回）
・光風園　　周辺草刈(3回)　・ゆりの郷　周辺草刈(3回)
・萩風園　　周辺草刈（3回）、芝刈り（4回）　・こじか　園庭除草、周囲草刈り（3回）
・恵泉会体育館　草刈り（3回）　・ほんわか　畑耕運（1回）
・若草園　　洗濯、周辺草刈り（3回）、芝刈り（4回）、剪定（1回）、窓清掃（1回）
・若生園　　洗濯、周辺草刈り、除草（2回）庭木の剪定(1回)、園庭側溝清掃（1回）、窓清掃（1回）

◇法人内の受託作業は、施設毎に見直ししながら今後も継続して行きます。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　5,830 名
2. 年間稼働日数　243 日
3. 年間稼働率　79.97 %
4. 年 間 平 均 区 分　3.17
5. 月 別 利 用 状 況　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分 2	72	84	78	88	83	95	112	100	101	99	91	99	1,102
区分 3	189	205	196	212	198	175	217	199	199	204	204	227	2,425
区分 4	167	188	178	193	163	166	192	178	174	151	141	160	2,051
区分 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	428	477	452	493	444	436	521	477	474	454	436	486	5,578
非該当	18	15	14	18	17	16	19	17	35	30	33	20	252
計	18	15	14	18	17	16	19	17	35	30	33	20	252
合 計	446	492	466	511	461	452	540	494	509	484	469	506	5,830

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3
契約終了者数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
月末契約者数	24	24	24	24	25	25	25	25	25	26	26	26	+ 2

【 利用者サービスの状況 】

1. 週 間 予 定

曜日	午　前	午　後
月	出勤確認:作業	作業
火	出勤確認:作業	作業
水	出勤確認:作業	作業
木	出勤確認:作業	作業
金	出勤確認:作業	作業
土	休み	休み
日	休み	休み

2. 工賃支払い状況

就労継続支援B型事業所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	335,840	364,655	353,400	383,290	345,375	342,205	425,245	383,850	395,580	377,960	349,550	384,045	2,218,789	6,659,784
1人平均月額	13,434	15,194	14,136	15,970	14,391	13,688	17,010	15,354	15,823	15,118	13,982	15,362	88,752	268,214
												平均工賃月額		23,318

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内　容	講師(講演者)	参　加　者
R6.05.28	コンプライアンス研修	統括施設長	職員7名
R6.08.27	虐待防止について	統括施設長	職員5名
R7.03.24	人権擁護について	権擁護委員会委員長	職員7名

(2) 外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R6.05.31	登米市福祉サービス事業所職員研修(初任者向け研修)	登米市	南方庁舎	職員1名
R6.07.10	宮城県発達障害ペアレント・メンター事業	宮城県こども総合センター	こじか	職員1名
R6.09.19	登米市福祉サービス事業所職員研修(虐待防止研修)	登米市	南方庁舎	職員1名
R7.02.28	就労支援セミナー	障害者就業・生活支援センター「ゆい」	迫公民館	職員1名
R7.03.14	令和6年度登米圏域保健医療福祉支援者研修会	東部保健福祉事務所	登米合同庁舎(WEB)	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	利用者の状況確認報告並びに援助対策検討	月1回	統括施設長・事務員他全職員

(2) その他の会議

会議名	内容	開催日	参加職員
担当者会議	利用者個々の今後の支援について検討	年3回	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員・相談支援担当・サービス管理責任者

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
権利擁護委員会	利用者様の権利擁護と、身体拘束や虐待防止について検討	年2回	さくらワークス職員7名
リスクマネジメント委員会	ヒヤリハットの検証・虐待防止、苦情処理対応検討	年3回	さくらワークス職員7名
サービス向上委員会	サービス支援評価、工賃アップ向上等評価検討	年3回	さくらワークス職員7名
個別支援計画策定委員会	個別支援計画及び利用者支援について検討	年2回	さくらワークス職員7名
事業所サービス評価委員会	サービス評価に関すること	年1回	さくらワークス職員7名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1)見学・実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R6.07.03	迫支援学校(高等部2年生)	見学	17 名	17 名
R6.10/22 ～ R6.10/24	登米総合産業高校福祉科	介護実習	5 名	15 名
R6.11.07 ～11.09	登米総合産業高校福祉科	介護実習	2 名	6 名
計			24 名	38 名

【今後の取り組み】

○地域生活において重要な就労支援（生産活動の実施、職場規律の指導）・生活支援（健康・相談援助・職場規律）を軸として、利用者個々の状況に応じた支援を誠意を持って行って参ります。また、地域で働く職業意識も高揚させながら、地域との関わりやグループーホームとの連携、家族との相互理解を深めていきます。

○個別支援計画を作成する上でのアセスメント・モニタリング等を実施し、①自立支援②主体性の尊重③就労支援④地域生活の充実⑤家族支援等を中心としたニーズを発掘し、その人らしい暮らしの実現に向けて行きます。また、高齢・重度化に伴う身体的・精神的な配慮を含めた部分も支援計画に結び付けて行きます。

○作業について

1. 受託加工事業について、1月から梅ノ木商店様から商品の検品・梱包作業が受託となりました。今後は年間を通して作業が継続していけるよう企業との調整を図る。また、作業を通して利用者様の雇用及び就労移行へ繋がって行けるための支援を継続していきます。

2. 受託事業について、軽作業（一般作業、窓掃除、草刈り、支障木伐採等）の請負、特に地域や一般からの請負について依頼が多く、時期によっては多忙な状況となり作業の受け入れ調整が必要。また、岩手県アーク牧場の作業委託を受け（除草・運搬等）1年を通しての利用者支援、人材育成も含めながら継続した事業を推進していきます。

3. 法人内受託作業について、若草園、若生園、パルめぐみ、こじか園、ほんわか、光風園、ゆりの郷、萩風園等数施設から、除草、草刈り、芝刈り等を受託し、各事業所の協力を得ながら計画的に取り組んでいきます。

令和6年度
多機能サポートセンターこじか　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　登米市中田町上沼字大柳117番地2
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵　泉　会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵　泉　会
4. 開 設 年 月 日　　平成23年 4月 1日 （指定管理開始）
5. 利　用　定　員　　指定障害児通所支援事業
   ・児童発達支援（未就学児）　10名
   ・放課後等デイサービス（就学児）　10名
   ・保育所等訪問支援　定員区分なし
   指定障害者生活介護事業「レポス」
   ・指定生活介護　10名
   指定障害児相談支援事業（児童サポートセンター「バンビ」）
   ・指定障害児相談支援　定員区分なし
   ・指定特定相談支援（計画相談）　定員区分なし
   登米市および石巻市地域生活支援事業
   ・障害児日中一時支援事業　20名（障害児通所支援契約者を主とする）

旧こじか園では、障害児の通所支援事業所として平成２３年度から指定管理施設として、質の高い療育プログラムの提供を目指し、サービス提供および事業運営を行ってまいりました。その後、登米市や計画相談支援事業者からの指導および協力により、障害児相談支援ならびに保育所等訪問支援についても、効果的な事業推進が図られるよう努め、実績も着実に伸びる状況となりました。

そして令和３年３月をもち登米市の指定管理施設から外れ、４月より運営主体が恵泉会へ移行となり、新たに生活介護事業所「レポス」を開設して「多機能サポートセンターこじか」と名称を改めてリニューアルしました。

事業の実施にあたっては、児童福祉法や障害者総合支援法等関係法令、ならびに恵泉会理念に沿った運営を行うことを基本とし、生きる力と意欲ある生活ができる療育訓練や生活介護の実践に努めました。心の安定や見通しをもった行動、期待して待つこと、挑戦する意欲など、周囲の環境変化についても少しずつ克服できる力を養い、園外での体験療育の機会も増やしております。

また、家族参加型行事については、「家族と共に考える子育て」を目標とし、「恵泉会地域生活支援センター」との合同企画行事である、家族・支援者向けセミナー（通称：ペアレントプログラム）の開催も行いました。

【　重　点　項　目　】

1. ㋒ 子供たちの「できる」「できた」、一瞬の感動を大切にします。

個々の障害特性等に応じた支援を強化するため、個別支援計画の作成にあたっては、児童発達支援管理責任者を中心とした個別のサポートチームを編成し療育プログラムを作成しました。
子供たち一人ひとりの「できる」「できた」を大切にしながら、今後もより専門的なサポートを目指して参ります。

◇モニタリング件数　・・・　児童発達支援　４４件　，　放課後等デイサービス　７３件
（継続障害児・者支援利用援助）　保育所等訪問　６２件　，　障害児相談支援　７２件
生活介護　２６件

◇個別支援計画作成数　・・・　児童発達支援　４８件　，　放課後等デイサービス　７０件
（障害児・者支援利用計画）　保育所等訪問　５９件　，　障害児相談支援　６２件
生活介護　２８件

◇サポート検討（会議）　・・・　児童発達支援　６３件　，　放課後等デイサービス　７４件
（ケアカンファレンス）　保育所等訪問　６３件　，　障害児相談支援　６０件

◇担当者会議　・・・　生活介護　２８件

◇職員向けアンケート（運営・ｻｰﾋﾞｽ・行事分野）・・・達成度評価（11月実施）

2. (じ) 自分で「伝える」、自分で「考える」、自分で「決める」力を伸ばしていきます。

３つの力を伸ばしていけるよう、活動内容に合わせて個別・小集団・全体といった様々な活動形態を日々取り入れて活動しました。また、就学児においては、自主研修外出として、同じ分野に興味関心のある児童がグループをつくり、研修場所や研修内容を自分たちで企画・相談し、社会体験のための外出を実施しました。

◇個別活動　・・・　生活訓練，学習補習，作業訓練，機能訓練
◇小集団活動　・・・　粗大運動，音楽療法，園芸活動，からだづくり(運動訓練)
◇全体活動　・・・　はじまりの会，かえりの会，リズム活動，各種行事
◇社会研修　・・・　実施回数 13回 ，参加児童 30名
◇親子遠足　・・・　実施回数　1回 ，参加児童　6名

3. (か) 家族の「想い」、家族と一緒の「子育て」、家族同士の「交流」を大事にします。

ご家族や関係機関など、子供たちや施設に関わりのある方々や機関とのつながりを大切にしながら療育を進めました。家族参加型行事の充実や保護者・支援者向けセミナー（こじ豆）の実施など、年間を通じて企画・実践いたしました。また、保護者が自由に集い情報交換や親交を深められる場(通称：こじカフェ)を設定し、定期開催させていただきました。

◇参加交流行事　・・・　療育参観，親子遠足，こじかまつり
実施回数…8回（家族等参加延べ人数 130名）
◇こじカフェ　・・・　実施回数…1回　営業日に実施（延べ3名利用）
◇家族･訪問先アンケート(運営･ｻｰﾋﾞｽ･行事分野)･･･12月(家族)、2月(訪問先)実施,満足度評価

≪ 多機能型事業,障害児相談支援事業 ≫

1. 年間延べ利用人員　6,547 名　(多機能型事業)※児童発達支援＋放課後等ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ＋生活介護
2. 年間稼働日数　242 日　(児童発達支援)
256 日　(放課後等デイサービス)
242 日　(保育所等訪問支援)
242 日　(障害児相談支援／バンビ)
308 日　(生活介護／レポス)
3. 年間稼働率　95.72 %　(障害児通所支援事業)※児童発達支援＋放課後等ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ
(79.01) %　(児童発達支援)　定員 10 名
(111.52) %　(放課後等デイサービス)　定員 10 名
20.1 件　(保育所等訪問支援　月平均訪問件数)
10.1 件　(障害児相談支援／バンビ　月平均提出件数)
1.5 件　(障害児相談支援／バンビ　月平均提出件数)
(57.79) %　(生活介護／レポス)　定員 10 名

4. 月別利用状況　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
児童発達支援	110	124	147	169	150	160	188	182	169	167	171	175	1,912
放課後等ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	257	260	226	271	237	230	238	232	238	226	219	221	2,855
保育所等訪問支援	10	20	23	20	20	21	25	17	21	18	25	21	241
障害児相談支援	11	10	9	11	13	6	11	13	9	7	10	11	121
障害者相談支援	1	2	4	0	0	3	1	1	1	2	1	2	18
生活介護	156	175	158	170	146	136	163	146	146	133	126	125	1,780
計	545	591	567	641	566	556	626	591	584	553	552	555	6,927

5. 契 約 の 状 況

	前年度末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
契約者数(児童発達支援)	14	5	2	0	1	1	1	1	0	1	0	2	1	29
契約者数(放課後等デイ)	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43
契約者数(保育所等訪問)	33	3	2	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	42
契約者数(レポス)	14	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	17
契約者数(相談支援)	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	61
契約終了者数(児童発達支援)		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	9	10
契約終了者数(放課後等デイ)		1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	6
契約終了者数(保育所等訪問)		0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	11	13
契約終了者数(レポス)		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
契約終了者数(相談支援)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
月末契約者数	164	171	175	175	175	176	174	174	175	176	176	178	160	160

【 サ ー ビ ス の 状 況 】

1. 療育支援サービス

(1) 年間行事

① 児童発達支援

実 施 日	行 事 名	内 容	参加者数
R6.04.11	療育説明会 保護者向け研修会	今年度の児童発達支援事業について療育・サービスの説明を行って共通理解を図り、保護者が就学に向けて見通しを持ち、準備を進められるようにしました。	児童家族 27名 職 員 14名
R6.04.24	お花見外出	米山方面へ行き、平筒沼で散策や遊具遊びを通して春の季節を感じました。	児 童 6名 職 員 4名
R6.05.31	引き渡し訓練	震度5以上の地震発生を想定して、家族に引き渡し訓練を実施しました。	児 童 6名 家 族 6名 職 員 7名
R6.06.06	療育参観	利用児童のご家族にこじかでの児童の様子を見ていただくと共に、保護者と職員間の交流を図り、こじかでの療育について理解を深めてもらいました。	児 童 6名 家 族 7名 職 員 6名
R6.07.04	七夕会	七夕会についてのお話やゲームを通して七夕の雰囲気を味わいながら楽しく行事に参加しました。	児 童 7名 職 員 6名
R6.09.14	こじかまつり	飲食ブースやゲームコーナーを設けて、児発・放デイ・レポス合同の「こじかまつり」を実施しました。	家 族 31名 児 童 14名 職 員 20名
R6.10.02	親子遠足	うみの杜水族館にていろいろな体験をしながら、保護者と職員での交流を図り、共に外出時の療育や支援について考えることで、様々な社会体験へのきっかけ作りになりました。	家 族 11名 児 童 6名 職 員 4名
R6.10.24	第5回恵泉会フェスティバル	障害者施設合同の、恵泉会体育館で開催した「恵泉会フェスティバル」に参加し、他施設の利用者さんとの交流を図り、ステージでｱﾛﾊ・ｴ・ｺﾓ・ﾏｲを披露してフェスティバルを盛り上げました。	家 族 6名 児 童 8名 職 員 8名
R6.12.19	クリスマス会	クリスマスのお話を聞いたり、サンタからプレゼントをもらってクリスマスの雰囲気を味わいました。	家 族 2名 児 童 11名 職 員 6名
R7.02.07	豆まき会	節分のお話を聞いたり、各自製作した鬼のお面をかぶって鬼に向かって豆を投げ、楽しみながら節分の雰囲気を味わいました。	児 童 10名 職 員 6名

R7.02.18	まろにえの会	社会福祉協議会主催の独居老人「まろにえの会」の皆さんと「ダイナム」さんとの交流会で、着ぐるみｷｬﾗｸﾀｰとの触れ合いを楽しんだり、プレゼント交換を通して交流を図りました。	児 童 10名 職 員 6名
R7.03.03	ひなまつり会	ひなまつりのお話を聞いたりゲームを通して、楽しみながらひなまつりの雰囲気を味わいました。	児 童 9名 職 員 4名
R7.03.07	終了セレモニー	1年間の集大成となる行事として。こじかを終了する親子のみ参加していただき、証書や記念品の授与，思い出スライドショーの上映等行い、児童の成長を振り返りました。	児 童 9名 職 員 10名

② 放課後等デイサービス

実 施 日	行 事 名	内 容	参加者数
R6.08.20	社会研修① (ヨーク中田店)	公共のルールやマナーを守りながら様々な社会経験を通じて、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。	児 童 4名 職 員 3名
R6.08.22	社会研修② (ヨーク中田店)	〃	児 童 2名 職 員 2名
R6.08.22	社会研修③ (石ノ森章太郎ふるさと記念館)	〃	児 童 4名 職 員 2名
R6.09.19	社会研修④ (石ノ森章太郎ふるさと記念館)	〃	児 童 1名 職 員 1名
R6.10.16	社会研修⑤ (石ノ森章太郎ふるさと記念館)	〃	児 童 4名 職 員 2名
R6.10.22	社会研修⑥ (石ノ森章太郎ふるさと記念館)	〃	児 童 1名 職 員 1名
R6.11.12	社会研修⑦ (石ノ森章太郎ふるさと記念館)	〃	児 童 2名 職 員 1名
R6.11.18	りんご収穫体験・上沼(千葉りんご農園)	仲間と共に季節の果物を収穫する喜びを体験し、友達と一緒に喜びを共有しました。	児 童 8名 職 員 4名
R6.11.22	社会研修⑧ (石ノ森章太郎ふるさと記念館)	公共のルールやマナーを守りながら様々な社会経験を通じて、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。	児 童 2名 職 員 2名
R6.12.03	社会研修⑨ (石ノ森章太郎ふるさと記念館)	〃	児 童 3名 職 員 3名
R6.12.04	社会研修⑩ (石ノ森章太郎ふるさと記念館)	〃	児 童 2名 職 員 2名
R6.12.18	社会研修⑪ (石ノ森章太郎ふるさと記念館)	〃	児 童 2名 職 員 2名
R6.12.24	クリスマス会	レポス利用者と合同で、クリスマスツリーの飾り付けや、スライドショーにて1年間の振り返りを行いました。	児 童 10名 職 員 12名

R7.01.13	社会研修⑫ （石ノ森章太郎ふるさと記念館）	公共のルールやマナーを守りながら様々な社会経験を通じて、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。	児 童　1名 職 員　1名
R7.03.13	社会研修⑬ （石ノ森章太郎ふるさと記念館）	〃	児 童　2名 職 員　2名
R7.03.27	卒園生を送る会	記念品の贈呈，在園児からの発表、思い出スライドショーの上映等の催し物を実施しました。	児 童　13名 職 員　9名

③ レポス

実 施 日	行　事　名	内　　容	参加者数
R6.04.15	お花見外出	南方千本桜をドライブし、農村公園を散策等しながら春の季節を楽しみました。その後「イオン佐沼店」に移動、以前配布されていたサーティワンの無料券でアイスを食べリフレッシュしました。	利用者　7名 職 員　5名
R6.05.27	社会研修（東北電力女川原子力PRセンター、他）	公共のルールやマナーを守りながら様々な社会経験を通じて、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。昼食はシーパルピア女川にて、マグロ丼やバーガーなど各自食べたい物を飲食しました。	利用者　9名 職 員　6名
R6.06.26	あじさい見学	岩手県花泉の高倉山へドライブし、高倉山公園を散策等しながら初夏の季節を楽しみました。	利用者　9名 職 員　5名
R6.07.04	七夕会	七夕行事に関心を持ち、七夕にちなんだ飾り付けを行い、クッキングも実施して楽しみました。	利用者　5名 職 員　4名
R6.07.31	蓮の花見学	石越町方面へドライブし、海上連親水公園を散策等しながら真夏の季節を楽しみました。	利用者　9名 職 員　5名
R6.09.20	バーベキュー	「レポス」テラスにおいてBBQを実施、焼き立ての肉など一緒に召し上がりました。	利用者　5名 職 員　5名
R6.10.24	第5回恵泉会フェスティバル	米川の「恵泉会体育館」を会場に、障害者施設合同で実施した「恵泉会フェスティバル」に参加して、飲食ブースやステージ発表など楽しみました。	利用者　6名 職 員　3名
R6.11.01	紅葉見学	公共のルールやマナーを守りながら季節の移り変わり（紅葉）を肌で感じてもらい、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。昼食は松島おさかな市場にて、マグロ丼やバーガーなど各自食べたい物を飲食しました。	利用者　6名 職 員　3名
R6.11.18	りんご収穫体験・上沼（千葉りんご農園）	仲間と共に季節の果物を収穫する喜びを体験し、放ﾃﾞｲ児童とも一緒に喜びを共有しました。	利用者　7名 職 員　4名
R6.12.24	クリスマス会	活動時にクリスマスツリーを松ぼっくりで作成、行事は放デイ利用児といっしょに、DVDを上映して1年間の振り返りを行いました。	利用者　9名 職 員　4名
R7.01.06	初詣外出	中田町上沼「八幡神社」へ行き、境内周辺を散策しながら、1年の無病息災などを願い、初詣しました。	利用者　7名 職 員　4名
R7.02.03	豆まき会	豆まきの意味や由来について、紙芝居を用いて学ぶ時間を作り、鬼へ豆まきをすることで、楽しみながら節分の雰囲気を味わいました。	利用者　6名 職 員　3名
R7.02.28	ひなまつり会	伝統行事の意味や由来を知り、今年度はクッキングも行って「ひなまつりパフェ」を作り、おやつとして皆さんと一緒に食べました。	利用者　5名 職 員　3名

【その他の児童サービス】

≪ 登米市日中一時支援事業 ≫

1. 年間延べ利用人員　　1,840 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　305 日
3. 年 間 稼 働 率　　30.16 %
4. 月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

区　分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日中一時	4時間未満	156	101	76	183	257	113	102	84	120	102	113	164	1,571
	4～6時間	2	5	0	1	0	7	1	4	0	3	0	23	46
	6～8時間	20	14	21	21	20	16	19	22	15	15	18	21	222
	8時間以上	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	送　迎	139	97	85	146	186	106	95	87	95	85	100	135	1,356
合　計(送迎含まず)		178	120	97	206	277	136	122	110	135	120	131	208	1,840

【療育サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修(こじか主催・実施関係)

年 月 日	内　　容	講師(講演者)	参　加　者
R6.07.10	こじかペアレンター研修　支援者向け	栗原ゆかり氏、伊藤あずき氏	障害児支援者等　15名
R6.10.08	こじかペアレント・プログラム①　支援者向け	地域生活支援C 門馬竜子氏	障害児支援者等　11名
R6.10.22	こじかペアレント・プログラム②　〃	〃	障害児支援者等　10名
R6.11.05	こじかペアレント・プログラム③　〃	〃	障害児支援者等　7名
R6.11.20	こじかペアレント・プログラム④　〃	〃	障害児支援者等　8名
R6.12.03	こじかペアレント・プログラム⑤　〃	〃	障害児支援者等　6名
R6.12.17	こじかペアレント・プログラム⑥　〃	〃	障害児支援者等　6名
R7.03.19	こじかペアレント・プログラムフォローアップセッション	〃	障害児支援者等　6名
R6.06.21	危険予測に関する研修	こじか 小野寺久美子	こじか職員　10名
R6.08.14	虐待防止研修	こじか 佐藤施設長	こじか職員　19名
R6.09.20	身体拘束研修	こじか 三瓶実子	こじか職員　19名
R6.11.12	特別支援研修	こじか 三瓶実子	南方保育所職員　8名
R6.11.15	感染症について	こじか 小野寺久美子	こじか職員　17名

(2) 内部研修(法人本部主催・実施関係)

年 月 日	内　　容	講師(講演者)	参　加　者
R6.07.08	恵泉会新任職員研修	理事長、他	職員1名
R6.08.26	人事考課者現任研修	理事長、他	職員1名
R6.11.27	障害児者支援ワーキング交換研修(さくらワークス)	統括施設長、他	職員1名
R6.12.09	障害児者支援ワーキング交換研修(若生園)	〃	職員1名
R6.11.19	第44回　恵泉会職員研修大会		職員5名
R6.12.20	人事考課者現任研修	理事長、他	職員2名
R7.02.04	恵泉会職員フォローアップ研修	理事長、他	職員1名

(3) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R6.04.12	保育実習協議会研修会	宮城県保育士養成校連絡協	仙台市	職員1名
R6.05.31	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員2名
R6.06.03	宮城県ペアレントプログラム支援者研修会	迫支援学校	登米市	職員2名
R6.06.15	医療的ケア児の理解と学校教育	相談支援センターちるふぁ	仙台市	職員1名
R6.07.31	特別支援学校専門性向上研修会	迫支援学校	登米市	職員2名
R6.08.19	登米市障害福祉支援者サポート事業	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R6.09.19	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R6.9/24,10/22	アセスメントケア向上研修	東部保健福祉事務所	石巻市	職員1名
R6.10/17,24,31	宮城県ペアレントトレーニング実施者養成研修	宮城県子ども総合センター	WEB	職員1名
R6.10.23	登米市地域生活支援拠点等整備に係る事業所説明会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R6.10.31	登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R6.11/1,12/3	親子交流研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名

R6.11.02	相談支援研修	宮城・仙台相談支援従事者協会	仙台市	職員1名
R6.12.13	災害時における要配慮者支援説明会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R7.02.05	ワーキング部会事業所見学	法人内 障害福祉W部会	栗原市	職員2名
R7.02.17	宮城県ペアレントプログラムアドバンスト研修	宮城県子ども総合センター	仙台市	職員1名
R7.02.22	宮城県医療的ケア研修会	宮城県	仙台市	職員1名
R7.03.14	登米圏域保健医療福祉支援者研修会	東部保健福祉事務所	WEB	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催数	参加職員
スタッフ会議	月間予定, 事業方針・内容の調整協議	年12回	全職員対象
ケアカンファレンス	療育や支援に関する調整・協議 個別支援計画に関する確認	年12回	全職員対象

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
年 11 回	相談支援事業者 事例検討会	南方庁舎	相談支援専門員
R6.06.18	中田幼稚園ケア会議	中田幼稚園	児発管
R6.06.25	迫支援学校ケア会議	迫支援学校	相談支援専門員、児発管
R6.07.29	迫支援学校情報交換会	こじか	児発管,担当職員
R6.08.01	迫支援学校情報交換会	こじか	児発管,担当職員
R6.10.16	森のくまさん ケース会議	森のくまさん	児発管
R6.10.17	みどりご園 ケース会議	みどりご園	〃
R6.10.17	児童発達支援利用児童ケア会議	こじか	〃
R6.10.18	メロン保育園 ケース会議	メロン保育園	〃
R6.11.19	米谷こども園 ケース会議	米谷こども園	訪問支援員、児発管
R6.11.21	就学に関する会議	こじか	担当職員
R6.11.27	認定こども園森のくまさん ケア会議	森のくまさん	児発管
R6.12.18	保育所等訪問支援新規利用児童ケア会議	迫保健センター	訪問支援員、児発管
R7.01.14	うさぎさんち保育園 ケース会議	うさぎさんち	児発管
R7.01.16	中田幼稚園ケア会議	中田幼稚園	児発管
R7.01.23	児童発達支援利用児童ケア会議	こじか	〃
R7.02.19	児童発達支援利用児童ケア会議	こじか	児発管,担当職員
R7.02.20	児童発達支援・保育所等訪問支援　新規利用児童ケア会議	にじいろ保育園	児発管
R7.02.27	児童発達支援利用児童ケア会議	こじか	児発管,担当職員
R7.02.28	児童発達支援　新規利用児童ケア会議	こじか	児発管,担当職員
R7.03.13	保育所等訪問利用児童ケース会議	にこまーる	訪問支援員、相談支援専門員
R7.03.21	迫支援学校ケース会議	迫支援学校	児発管
R7.03.25	支援学校連携会議	迫支援学校	担当職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催数	参加職員
リスクマネジメント委員会	事故原因の分析・改善, ｻｰﾋﾞｽ提供時におけるﾘｽｸの評価・検討	年8回	施設長,管理者,委員,関係職員
サービス向上・研修委員会	施設ｻｰﾋﾞｽ向上のための検証・改善 研修計画の立案と実施	年7回	施設長,管理者,委員,関係職員
防災委員会	非常災害時に備えた計画の整備や訓練活動の企画・実施	年7回	施設長,管理者,委員,関係職員
虐待防止委員会	身体拘束に関する廃止の取り組み、人権侵害や虐待等の予防対策の検討、検証	年3回	施設長,管理者,委員,関係職員

(2) その他の委員会

○ 障害児者支援ワーキング部会
○ リハ部会
○ 看護師部会
○ 栄養士部会
○ 地震防災対策委員会

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R6.04.02	迫支援学校教諭	施設見学・学校運営説明	2名
R6.04.11	登米市福祉事務所職員	利用児童実態調査	1名
R6.04.23	児童発達支援利用児童担当保健師(中田町)	状況確認	1名
R6.04.26	迫支援学校教諭	レポス実習打合せ	1名
R6.04.30	仙台白百合女子大学　学生	実習オリエンテーション	1名
〃	仙台青葉学院短期大学　学生	実習オリエンテーション	2名
〃	尚絅学院大学　学生	実習オリエンテーション	1名
R6.05.08	児童発達支援利用児童担当保健師(中田町)	状況確認	1名
R6.05.20	仙台白百合女子大学　教授	実習生巡回指導	1名
R6.05.22	迫支援学校教諭	レポス実習打合せ	1名
R6.06.03	迫支援学校教諭	レポス実習生巡回指導	1名
R6.06.05	仙台青葉学院短期大学　教授	実習生巡回指導	1名
R6.06.13	小田原短期大学　学生	実習オリエンテーション	1名
R6.06.14	迫支援学校教諭、Iさん母、Nさん母	レポス実習反省会	4名
R6.06.14	迫支援学校教諭、Nさん母	レポス実習反省会	2名
R6.06.13～14	さくらワークス	園庭除草作業	
R6.06.17	尚絅学院大学　教授	実習生巡回指導	1名
R6.06.19	宮城誠真短期大学　教授	実習見学打合せ	3名
R6.06.20	児童発達事業見学希望家族	見学・相談	3名
R6.06.21	児童発達事業見学希望家族	見学・相談	4名
R6.06.21	一関清明支援学校教諭	レポス施設見学	2名
R6.06.26	レポし利用希望者、希望者の母、センター相談員	レポス施設見学	3名
R6.06.28	迫支援学校教諭	レポス実習打合せ	1名
R6.07.11	児童発達事業見学希望家族	見学・相談	3名
R6.07.11	東北生活文化大学短期大学部　学生	実習オリエンテーション	1名
R6.07.26	東北生活文化大学短期大学部　教授	実習生巡回指導	1名
R6.08.02	レポス利用希望者、希望者の母、一関清明支援学校教諭	レポス施設見学	4名
R6.08.02	宮城学院女子大学　学生	実習オリエンテーション	1名
R6.08.05	児童発達事業見学希望家族	見学・相談	6名
R6.08.06	Jボラ体験(学生、社会福祉協議会職員)	ボランティア	3名
R6.08.07	迫支援学校教諭	レポス施設見学	1名
R6.08.07	児童発達支援利用児童担当保健師(津山町)	状況確認	1名
R6.08.23	宮城学院女子大学　教授	実習生巡回指導	1名
R6.08.27	聖和学園短期大学　学生	実習オリエンテーション	2名
R6.08.29	児童発達支援利用児童担当保健師(石巻市)	状況確認	1名
R6.08.30	宮城誠真短期大学　学生	実習オリエンテーション	2名
R6.09.02	迫支援学校教諭	レポス実習打合せ	1名
R6.09.03	児童発達支援見学希望家族	見学・相談	3名
R6.09.03	仙台子ども専門学校　学生	実習オリエンテーション	2名
R6.09.09	聖和短期大学教授	実習生巡回指導	1名
R6.09.10	児童発達支援利用児童担当保健師(とよま)	状況確認	1名
R6.09.11	宮城誠真短期大学　学生、教授	施設見学	23名
R6.09.13	児童発達支援見学希望家族	見学・相談	4名
R6.09.24	宮城誠真短期大学　教授	実習生巡回指導	1名
R6.09.25	レポし利用希望者、希望者の母、センター相談員	レポス施設見学	3名
R6.10.04	迫支援学校教諭	レポス実習打合せ	1名
R6.10.07	児童発達支援見学希望家族	見学・相談	2名
R6.10.07	仙台子ども専門学校　教授	実習生巡回指導	1名
R6.10.15	迫支援学校教諭	レポス巡回指導	1名
R6.10.18	迫支援学校教諭	レポス巡回指導	1名
R6.10.21	児童発達支援見学希望家族	見学・相談	2名

R6.10.21	迫支援学校教諭	レポス巡回指導	1 名
R6.10.22	迫支援学校教諭	レポス巡回指導	1 名
R6.10.23	児童発達支援見学希望家族	見学・相談	3 名
R6.10.24	Iさん母親	レポス実習見学	1 名
R6.10.25	迫支援学校教諭、Iさん母、Sさん母	レポス実習反省会	4 名
R6.10.28	仙台幼児保育専門学校　学生	実習オリエンテーション	2 名
R6.11.05	迫支援学校教諭	今後の実習調整、挨拶	1 名
R6.11.11	レポし利用希望者、希望者の母、センター相談員	レポス施設見学	3 名
R6.11.13	仙台幼児保育専門学校　教授	実習生巡回指導	1 名
R6.11.14	さくらﾜｰｸｽ職員、遠山荘職員	職員交換研修	2 名
R6.11.14	仙台大学　学生	実習オリエンテーション	1 名
R6.12.02	仙台大学　教授	実習生巡回指導	1 名
R6.12.06	児童発達支援見学希望家族	見学・相談	3 名
R6.12.17	若生園職員	職員交換研修	1 名
R6.12.19	児童発達支援見学希望家族	見学・相談	3 名
R6.12.26	放課後等デイサービス見学希望家族	見学・相談	2 名
R7.01.08	迫支援学校教諭	今後の進路話し合い	1 名
R7.01.17	児童発達支援見学希望家族	見学・相談	3 名
R7.01.24	石巻専修大学　学生	実習オリエンテーション	1 名
R7.01.28	児童発達支援利用児童担当保健師(石越町)	状況確認	1 名
R7.01.31	児童発達支援利用児童担当保健師(中田町)	状況確認	1 名
R7.02.10	石巻かもめ学園職員	施設見学	2 名
R7.02.12	児童発達支援見学希望家族	見学・相談	3 名
R7.02.13	石巻専修大学　教授	実習生巡回指導	1 名
R7.02.17	児童発達支援見学希望家族	見学・相談	4 名
R7.02.19	イオンカーブス佐沼店(店舗受け取り)	フードドライブ贈呈	
R7.02.25	迫支援学校教諭	就学予定児童状況確認	1 名
2025/2/29	石巻かもめ学園職員	研修・見学	2 名
R7.03.13	児童発達支援見学希望家族	見学・相談	3 名
R7.03.18	J商事(ﾊﾟｰﾗJ遊ボランティア事業)	お菓子等贈呈	2 名
計			167 名

(2) 実習

年 月 日	団　　体　　名	実　　習　　内　　容	実 人 数	延 人 数
R6.05.13	仙台白百合女子大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
R6.05.27	仙台青葉学院短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2 名	20 名
R6.06.03	迫支援学校(高等部3年生)	レポス実習(9日間) 生活介護体験	1 名	9 名
R6.06.10	迫支援学校(高等部3年生)	レポス実習(5日間) 生活介護体験	1 名	5 名
R6.06.10	尚絅学院大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
R6.06.24	小田原短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
R6.07.22	東北生活文化大学短期大学部	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
R6.08.19	宮城学院女子大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
R6.09.02	聖和学院短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2 名	20 名
R6.09.17	宮城誠真短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2 名	20 名
R6.09.30	仙台こども専門学校	保育実習(10日間) 観察・演習	2 名	20 名
R6.10.15	迫支援学校(高等部2年生)	レポス実習(9日間) 生活介護体験	1 名	9 名
R6.10.21	迫支援学校(高等部3年生)	レポス実習(5日間) 生活介護体験	1 名	5 名
R6.11.05	仙台幼児保育専門学校	保育実習(10日間) 観察・演習	2 名	20 名
R6.11.25	仙台大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
R7.02.03	石巻専修大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
計			21 名	198 名

【今後の取り組み】

1.【令和7年度に向けて】
①児童発達支援センターとしてこれまで通り『全体集団活動』と、発達段階・習熟度・年齢等を総合的に勘案してクラス分けを行う『小集団活動』を中心療育形態とし、また一人ひとりの強みや興味関心を引き出しながら、将来に向けた生きる力を高め、意欲ある生活ができる療育訓練を実践し、『医療的ケア児』の受け入れにも適切かつ安全に対応できるよう体制を整えます。更に中核的な療育支援拠点として、切れ目のない継続的な相談・支援（保育所等訪問他）の提供と障害児サービス事業所とのネットワークづくりと機能強化の取り組みとして研修事業等を実施し、関係機関との円滑な連携を目指していきます。
②生活介護事業所「レポス」では、18歳以上の方の日中活動の場として、利用者の思いを受け止めながら一人ひとりの特性や心身の状態等に配慮し、個別支援計画に基づいて、活き活きとした楽しみのある生活が営めるサービスを提供します。そのために社会参加・地域交流の機会や社会生活のための経験を多く取り入れ、利用者が主体的に生きる力がつくための支援により生活の質の向上を目指します。

以上をふまえ、登米市の障害者福祉計画にも掲げられている【だれもが笑顔で安心して暮らせるまちとめ】の実現に一翼を担う、多機能サポートセンターとして更なる発展を目指していきます。

2.【児童発達支援センターとしての役割】
児童発達支援センターの役割
◇ 障害種別にかかわらない適切な障害児通所支援サービスの提供と医療的ケア児童への対応強化
◇ 身近な障害児支援の拠点となる地域支援サービスの提供
① 地域の障害児やその家族へのサービス利用に関する相談支援と契約前プレ利用（体験利用）の機会拡充
② 家族や地域の保育施設・学校等教育施設への援助・助言と連携の推進
◇ 関係機関との連携やノウハウの共有による地域支援体制の確立

3.【施設機能の解放】
・保育士養成に係る現場実習の受入（令和7年度受入予定…9名）
・学生の職場体験やキャリア教育，ボランティア受け入れに関する協力
・母子通園による施設開放および支給決定前の児童を対象とした体験療育「すくすく広場」の随時開催
・ご家族や保育施設等職員、障害児通所支援事業所職員等を対象としたセミナー（こじ豆）の実施
・障害児通所施設職員の療育実習受け入れや、中田町上沼地区の高齢者との交流機会の継続実施

令和6年度
南方保育所　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市南方町山成前1074－2
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　昭和53年　4月　1日
5. 利　用　定　員　　70名

令和6年度は、令和7年4月1日に「南方認定こども園」開園するにあたり、その準備を職員一丸となり、取り組んで参りました。教育・保育環境をどの様に構成したら快適に過ごせるかを様々な角度から検討し、職員の「この様なこども園だったらいいね。」がたくさんつまった認定こども園になっています。古き良き「南方保育所」とも今年度でお別れという事を意識しながら「感謝の気持ち」や「大切に物を使う」事を保育の中で育てる様にしました。行事等は、感染対策をしっかりと行いながら新型コロナウイルス感染症発症前のような通常行事を行う事ができました。

令和7年度の入園申し込み前の園見学では、いつも以上の希望があり、それだけ地域の方の「認定こども園」に対しての期待感を感じる事ができました。私たち職員はそれに応えるべく、今後も子ども達がのびのびと心身共に成長していけるように保護者様と共通理解のもと温かな保育に努め、そして子ども達一人ひとりが成功体験を積み重ねられるような教育を行って参ります。

【　重　点　項　目　】

1. 子どもの発達段階をしっかりと理解し、職員同士が共通理解のもと保育するように努めました。個別支援を要する子には状態をしっかりと把握しながら職員間で同じ支援ができるように努め、保護者様と情報の共有を行いました。
2. 朝の受け入れ時、子ども達の状態をしっかりと把握し保護者様と共通理解のもと保育を行うように努めました。子ども達個々の発達段階を考慮しながら見通しを立てて保育を行う事ができました。
3. 未入所児フレンズデーを行い、保育所に入所されていない家庭に対して「子育ての楽しさ」を伝える様にしました。また、法人のインスタグラムを通して保育活動を紹介し、保育所の良さを伝える様にしました。
4. 外部研修や内部研修に積極的に参加し、そこで学んだ情報や知識を職員間で共有するようにしました。
5. 感染対策に対しては、新たな情報をしっかりと職員間で共有しながら保育を行う事ができました。また、感染症が流行した場合は嘱託医に助言をいただき、宮城県や登米市に指導していただきました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　18,046　名
2. 月別利用状況（名）　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	63	99	100	111	107	120	121	106	131	98	127	135	1,318
1歳児	199	214	192	203	173	187	221	182	198	172	183	182	2,306
2歳児	248	251	227	248	216	238	248	223	241	192	207	224	2,763
3歳児	323	337	323	354	301	312	317	319	315	290	287	301	3,779
4歳児	328	339	324	367	314	336	316	329	333	274	303	305	3,868
5歳児	356	357	342	370	310	330	337	334	359	283	298	336	4,012
計	1,517	1,597	1,508	1,653	1,421	1,523	1,560	1,493	1,577	1,309	1,405	1,483	18,046

3. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	75	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	79
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末入所者数	75	78	78	78	78	78	78	78	79	79	79	79	79

【 利用者サービスの状況 】

1．保 育

(1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数	
R6.06.06	南方幼稚園との交流会	南方幼稚園に行き、幼稚園児との交流を楽しむ	利用者	16名
			職 員	3名
R6.06.19～R6.06.21	クラス別保育参観	クラス別に保育参観を実施し、普段の保育所生活の様子を保護者様に見ていただいた	利用者	73名
			職 員	14名
R6.06.22	食育について(食物の栄養と食事マナーについて)	栄養士により栄養素について色分けされた絵を見ながらご指導いただく　また、食事中の挨拶やマナーについて分かりやすく説明していただく	利用者	14名
			職 員	2名
R6.06.26	食育について(箸の持ち方と野菜の栄養について)	栄養士により正しい箸の持ち方や野菜の栄養について分かりやすく説明していただく	利用者	16名
			職 員	3名
R6.07.12	事業所内交流	キッズつぼみの2歳児クラスをお招きし、2歳児同士の交流を楽しむ	利用者	9名
			職 員	3名
R6.07.17	南寿荘交流会	交流会を通し、利用者の方と楽しい時間を過ごす	利用者	10名
			職 員	3名
R6.07.26	人権教室	人権擁護委員の方のお話しを聞き、優しい心や思いやりの心を育てる様にした	利用者	45名
			職 員	8名
R6.07.30	あやめ園交流会	自己紹介をしたり、あやめ園の作業体験をし交流を楽しむ	利用者	17名
			職 員	3名
R6.08.03	夏祭り　未入園児フレンズデー	夏祭りの雰囲気を感じながら、手作りの屋台巡りをしたり年長児の太鼓演奏を聞いたり楽しい時間を過ごす	利用者	76名
			職 員	18名
R6.09.11	幼年防火クラブの集い	登米市消防署主催の幼年防火の集いに参加し、正しい火の使い方を学び、防火の誓いを行う	利用者	32名
			職 員	6名
R6.09.21	運動会	全クラス合同で運動会を行った。体を動かす事を楽しみ、年齢毎に成長を感じる事ができた	利用者	30名
			職 員	5名
R6.10.10	南方幼稚園との交流会	南方保育所に来ていただき、ゲーム遊び等をして交流する	利用者	17名
			職 員	3名
R6.10.11	南風園交流会	利用者の方々との交流を楽しみ、楽しいひと時を過ごす	利用者	16名
			職 員	3名
R6.10.22	事業所内交流	キッズつぼみに行き、2歳児同士の交流を楽しむ	利用者	11名
			職 員	3名
R6.10.28	翔裕園交流会	交流会を通し、利用者の方との触れ合いを楽しむ	利用者	12名
			職 員	3名
R6.10.29	クッキング(手巻き寿司)	楽しい雰囲気の中でクッキングを行い、自分で作って食べる楽しさを味わう事ができた	利用者	32名
			職 員	3名
R6.10.31	ハロウィンパーティー未入所児フレンズデー	友達や異年齢の友達、未入所児達との交流を通してハロウィンの行事を楽しむ	利用者	74名
			職 員	14名
R6.10.31	クッキング(カップケーキのトッピング)	ハロウィンの雰囲気を味わいながら友達と楽しくおやつを作る事ができた	利用者	16名
			職 員	2名
R6.11.01	幼保小交流会(西郷小学校)	小学校への期待を持ち、楽しんで交流を行う事ができた	利用者	1名
			職 員	1名
R6.11.05	保幼小交流会(南方小学校)	交流会への参加を通して小学校生活に親しみを持つ事ができた	利用者	13名
			職 員	2名
R6.11.05	保幼小交流会(東郷小学校)	交流会への参加を通して小学校生活に親しみを持つ事ができた	利用者	2名
			職 員	1名
R6.11.18	ふれあい芸術鑑賞会	人形劇を鑑賞し、感性豊かな気持ちを育てる事ができた	利用者	34名
			職 員	5名
R6.12.07	お遊戯会	クラス毎に日頃の表現活動の様子をご家族様に発表した	利用者	78名
			職 員	20名
R6.12.10	登米市年末年始特別警戒出動式	登米市の行事に参加し、交通安全に対する意識を高めた	利用者	17名
			職 員	3名
R7.01.15	食育指導	箸の使い方やマナーを知り、箸に興味を持たせた	利用者	12名
			職 員	2名

R7.01.23	クッキング（バナナクレープ作り）	楽しい雰囲気の中でクッキングを行い、自分で作って食べる楽しさを味わった	利用者	33名
			職　員	5名
R7.02.10	クッキング（ラップおにぎり）	楽しい雰囲気の中でクッキングを行い、食に関して興味感心を持つ事ができた	利用者	33名
			職　員	5名
R7.02.14	クッキング（カップケーキ）	楽しい雰囲気の中でクッキングを行い、自分で作って食べる楽しさを味わった	利用者	45名
			職　員	6名
R7.02.14	光風園よりバレンタインプレゼントをいただく	光風園職員が来所し、ゆき組の子ども達へプレゼントをいただく　また、保育所からも手作りのプレゼントをお渡しする	利用者	16名
			職　員	3名
R7.03.17	お別れ会	修了児のお祝いをしながら、一緒に楽しい時間を過ごす事ができた	利用者	76名
			職　員	20名
R7.03.22	修了式	令和6年度修了児のお祝い会を行った	利用者	17名
			職　員	19名
R7.03.22	南方認定こども園内覧会	新しい園舎の内覧会を行い、新年度に期待感を持たせる事ができた	利用者	51名
			職　員	6名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年　月　日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R6.04.11	令和6年度新人研修	施設長　保育士	保育士　1名
R6.05.09	実習生指導者研修	保育士	保育士　5名
R6.05.29	ケース記録の記入の仕方　子どもの遊び方について	施設長　保育士	保育士　5名
R6.06.13	恵泉会経営者研修	WJU社会保険労務士法人	施設長　1名
R6.06.25	水遊びについて	保育士	保育士　6名
R6.07.08	恵泉会新任職員研修	理事長、他	保育士　1名
R6.07.10～11	コンプライアンス研修	施設長	保育士　12名
R6.07.24	消火器の使い方について	保育士	保育士　4名
R6.08.26	人事考課者現任研修	恵泉会研修委員メンバー	保育士　1名
R6.11.07	感染症対策について	登米市立登米市民病院	保育士　7名
R6.11.12	特別支援研修	多機能サポートセンターこじか	保育士　9名
R6.11.19	第45回恵泉会職員研修大会	NPO法人抱樸理事長奥田知志氏	施設長1名　保育士3名
R6.11.22	ハラスメント研修	南風園の研修に参加	施設長1名　保育士1名
R6.11.28	交通安全研修	南風園の研修に参加	保育士1名　看護師1名
R6.12.20	人事考課者現任研修	恵泉会研修委員メンバー	保育士　1名
R7.02.04	令和6年度恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会研修委員メンバー	保育士　1名
R7.02.12	人権擁護研修	仙台法務局登米支局	保育士5名　看護師1名
R7.03.24	人権擁護のためのセルフチェックリスト		全職員

（2）外部研修

年　月　日	内　　容	主　催　者	開　催　地	参　加　者
R6.04.18	令和6年度保育士養成校保育実習協議会	宮城県保育士養成校連絡協議会	大崎市	職員1名
R6.05.02	令和6年度登米地方保育所協議会総会	登米地方保育所協議会	登米市	職員2名
R6.05.14	宮城県保育協議会総会	宮城県保育協議会	仙台市	職員1名
R6.05.31	令和6年度第1回保幼小連絡会	登米市	登米市	職員1名
R6.06.03	登米地方保育所協議会第1回役員会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.06.05	令和6年度宮城県保育研究大会	宮城県保育協議会	仙台市	職員1名
R6.06.19	令和6年度特別支援教育コーディネーター研修会	登米市	登米市	職員1名
R6.06.21	令和6年度宮城県発達障害支援者実践研修Ⅱ	宮城県	仙台市	職員1名
R6.07.02	令和6年度特別支援教育研修会	登米市	登米市	職員1名
R6.07.04	登米地方保育所協議会5歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.07.09	登米地方保育所協議会3歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.07.11	令和6年度宮城県発達障害支援者実践研修Ⅱ	宮城県	仙台市	職員1名
R6.07.18	登米地方保育所協議会0歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.07.22	登米地方保育所協議会4歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.07.23	登米地方保育所協議会主任部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名

R6.07.24	登米地方保育所協議会1.2歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.07.29	令和6年度第1回保育担当者及び児童館等指導員研修会	登米市	登米市	職員1名
R6.08.21	令和6年度宮城県発達障害支援者実践研修Ⅱ	宮城県	仙台市	職員1名
R6.08.28	令和6年度第2回保育担当者及び児童館等指導員研修会	登米市	登米市	職員1名
R6.09.11	令和6年度安全運転管理者等講習	宮城県公安委員会	登米市	職員1名
R6.09.30	保幼小連絡会	登米市	登米市	職員1名
R6.10.02	令和6年度特別支援教育コーディネーター研修会	登米市	登米市	職員1名
R6.10.15	初任保育士研修	宮城県保育協議会	仙台市	職員1名
R6.10.22	登米地方保育所協議会第2回役員会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.10.24	登米地方保育所協議会0歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.10.26	登米地方保育所協議会全体研修会	登米地方保育所協議会	登米市	職員4名
R6.10.29	登米地方保育所協議会5歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.10.29	登米地方保育所協議会所長部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.10.30	保育所・保育園・認定こども園における災害対策研修会	宮城県保育協議会	仙台市	職員1名
R6.10.30	宮城県国公立幼稚園・こども園協議会登米支部大会	登米市	登米市	職員1名
R6.11.01	登米地方保育所協議会主任部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.11.08	登米地方保育所協議会4歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.11.14	登米地方保育所協議会1.2歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R6.11.28	令和6年度保育施設長会議	登米市	登米市	職員1名
R7.01.21	登米地方保育所協議会所長部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R7.01.22	登米地方保育所協議会5歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R7.01.23	令和6年度幼保交流会反省会	登米市	登米市	職員1名
R7.01.29	保幼小連絡会	登米市	登米市	職員1名
R7.02.06	登米地方保育所協議会第3回役員会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R7.02.12	令和6年度登米市特別支援教育コーディネーター連絡協議会	登米市	登米市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	次月の行事予定、各部署からの連絡	毎月1回	全職員
給食会議	前月の給食の状況、改善点等	毎月1回	施設長、保育士、委託業者

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
年12回	ケース検討会議	事務室	職員全員
毎月1回	防災委員会	事務室	委員他
毎月1回	リスクマネジメント委員会	事務室	委員他
年2回	地域交流委員会	事務室	委員他
年10回	研修委員会	事務室	委員他
年3回	サービス向上委員会	事務室	委員他
年5回	事業計画検討委員会	事務室	委員他

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・職場体験受入状況

年月日	団体名	内容	来訪者数
R6.05.14～15	登米市立南方中学校	職場体験	3名
R6.10.22～24	宮城県登米総合産業高等学校	職場体験	3名

2．実習受入状況

年 月 日	団　　体　　名	実　　習　　内　　容	実 人 数	延 人 数
R6.05.13～05.24	尚絅学院大学	保育実習Ⅰ期	1 名	10 名
R6.06.10～06.21	宮城学院女子大学	保育実習Ⅱ期	1 名	10 名
R6.07.08～07.20	宮城誠真短期大学	保育実習Ⅰ期	1 名	10 名
R6.07.29～08.09	宮城誠真短期大学	保育実習Ⅱ期	1 名	10 名
R6.08.19～08.30	尚絅学院大学	保育実習Ⅱ期	1 名	10 名
計			5 名	50 名

【 今 後 の 取 り 組 み 】

(1)子どもの最善の利益を考慮

子ども一人ひとりにとって何が大切なのか、どのような支援が必要なのかを最優先に考えた教育及び生活の場を提供します。

(2)養護と教育を一体的に行う

家庭と緊密な連携を取り、子どもの命を守りながら情緒の安定を図り(養護)、発達を促す活動の援助(教育)を行います。

(3)保護者と地域の子育て家庭に対する支援

保護者様や地域の子育て家庭に対して支援を行います。

(4)保育士の専門性の向上

計画的に研修会に参加し、職員の資質向上に努めます。

(5)児童及び児童に関わる人々の健康管理の徹底

健康管理を徹底する事により感染症のリスクを下げ、安心安全な環境で教育及び保育を行います。

令和6年度
事業所内保育所キッズつぼみ　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池馬場埣777
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成28年 4月 1日
5. 利　用　定　員　　12名

【　基　本　方　針　】

地域型保育事業所として事業所内保育の運営にあたっては、保育指針に基づき、それぞれの子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場として、子どもや保護者、地域、そしてそこで働く職員たちがお互いに育ちあえる場、安心して楽しく生活できる拠点にする。

【　重　点　項　目　】

（１）子育ち、子育ての拠点として：保護者が参加する行事を計画・開催し、保護者同士の交流の場を提供出来る様に努めると共に、子育てに対し悩みを抱えている保護者と面談を行う等し、必要に応じて保健師、恵泉会地域支援センターと連携を密にしながら保護者に寄り添えるよう努めました。
（２）地域ニーズ：登米市観光物産協会より登米秋祭への参加をお声がけいただきました。また、勤労感謝の日に警察署訪問を実施し、日頃の感謝を伝え警察車両の見学等貴重な体験をさせていただきました。
（３）保護者との連携：個々に応じた保育を行いながら、子育ての悩みについてお話を伺う機会を設けながら、保護者と一緒に子どもの成長を喜び合いました。
（４）社会的使命感：事業所内保育所として法人で働く職員が安心して子どもを預け、働くことができるように努めました。また、地域の方々には、当保育所をご利用していただけるように今後もPRを継続して行っていきます。
（５）研修：外部から講師をお招きし、職員の知識向上に努めました。
（６）連携：登米市子育て支援課、石巻保健所登米支所、嘱託医、恵泉会地域支援センターとの連携を図り、子どもが安心・安全に保育所を利用出来る様に努めました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　2,427 名
2. 年　間　稼　働　率　　73.81 ％
3. 月別利用状況（名）　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	32	42	42	35	25	32	33	35	40	35	51	72	474
1歳児	88	127	124	128	97	112	123	117	105	104	93	110	1,328
2歳児	46	63	63	63	39	48	57	56	47	45	48	50	625
計	166	232	229	226	161	192	213	208	192	184	192	232	2,427

4. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	11	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	13
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末入所者数	11	11	11	11	11	11	11	11	12	12	13	13	13

【　利用者サービスの状況　】

1. 保　育
(1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R6.05.14	クッキング（ポテトサラダ）	自分たちで作る楽しさを、お友達と共有しながら行いました。	子ども　3名 職　員　2名

R6.05.14	野菜の苗植え	2歳児3名と一緒に野菜の苗を植え、順番に水をかけ苗の成長を心待ちにしている様子が伺えました。	子ども 3名 職 員 2名
R6.05.17	はじめましての会	保護者の方々においで頂きクラス懇談会を開催し、保育内容をお伝えしました。その後、子ども・職員の紹介を行い親子ふれあい遊びを行いました。	子ども 10名 職 員 8名 保護者 13名
R6.05.28	ピクニック	遠山荘のウッドデッキで行う予定でしたが、雨のため保育室内で実施しました。絵本「おべんとうバス」に見立てたお弁当を皆で食べました。	子ども 10名 職 員 9名
R6.06.04	お楽しみ会 （歯磨き教室）	虫歯予防デーにちなみ、シアターや製作を通して歯磨きの大切さを分かりやすく伝えました。	子ども 11名 職 員 7名
R6.06.17	クッキング （おにぎり）	食材に親しみ、食べることの楽しさを感じながら1・2歳児合同で行いました。	子ども 8名 職 員 5名
R6.06.19	事業所内交流会 （こじか）	2歳児3名とこじかを訪問し、活動を通して楽しく交流しました。	子ども 3名 職 員 2名
R6.06.27	事業所内交流会 （光風園）	光風園を訪問し、お遊戯・手遊びを披露し、和やかな時間を過ごしました。	子ども 5名 職 員 3名
R6.07.05	七夕会 七夕交流会	午前中、保育室にて七夕の由来を聞いた後ゲームを楽しみました。午後、遠山荘にてお遊戯を披露し楽しく過ごしました。	子ども 10名 職 員 5名
R6.07.12	事業所内交流会 （南方保育所）	2歳児2名と南方保育所を訪問し、同い年の子ども達とゲームを通して楽しく交流しました。	子ども 2名 職 員 2名
R6.7.16 ～R6.7.19	フレンズウィーク	法人内や地域の未就園児に参加を呼びかけ、月齢に合った活動を行い楽しく過ごす事ができました。 （未入園児4名参加）	子ども 11名 職 員 5名
R6.07.24	クッキング（玉蜀黍の皮むき）	自分で玉蜀黍の皮を剥く事で出来た喜びや、達成感を味わいました。また、季節の食材に触れる経験をしました。	子ども 11名 職 員 3名
R6.07.26	夏祭り	保育室内で御神輿を担いで行進したり、様々なゲームの屋台めぐりをしてお祭りの雰囲気を味わいました。また、小保育室を水族館風に装飾し、幻想的な雰囲気を楽しみました。	子ども 11名 職 員 8名 保護者 16名
R6.08.01	登米図書館 塗り絵掲示参加	登米図書館よりお声がけ頂き、作成した塗り絵を図書館内に掲示して頂きました。	子ども 8名 職 員 3名
R6.08.08	合同夏祭り	遠山荘との合同夏祭りにて、園庭で御神輿担ぎとダンスを披露しました。	子ども 8名 職 員 7名
R6.08.20	クッキング （焼きそば）	2歳児2名で実施しました。野菜の感触や、調理に関わることで食への興味を引き出すことが出来ました。	子ども 2名 職 員 2名
R6.08.23	保育参観	保護者と一緒に、運動会の万国旗製作を行いました。また、給食の様子も見ていただき、主菜の試食をしていただきました。	子ども 6名 職 員 7名 保護者 6名
R6.08.30	ゼリーすくい	水遊び納めとしてゼリーすくいをしながら、季節の変わり目を感じることができました。	子ども 9名 職 員 6名
R6.09.27	運動会	当日が雨予報だった為、保育室内で開催しました。保護者を見ても泣く子どもが少なく成長が見られました。スムーズに進行でき、楽しい運動会になりました。	子ども 10名 職 員 7名 保護者 17名
R6.10.10	事業所内交流会 （恵はあと）	恵はあとの玄関前にて歌と手遊びを披露し、子どもと一緒に作ったプレゼントをお渡ししました。	子ども 9名 職 員 6名
R6.10.17	事業所内交流会 （光風園）	子どもに風邪症状が多く見られる為、光風園の玄関前で代表者によるプレゼント交換と、写真撮影を行いました。	子ども 2名 職 員 2名
R6.10.18	クッキング （ホットケーキ）	絵本「しろくまちゃんのホットケーキ」を読み聞かせ、同じ手順でホットケーキを作りました。興味を持って参加することができました。	子ども 7名 職 員 3名
R6.10.22	事業所内交流会 （南方保育所）	南方保育所の2歳児12名がキッズつぼみに来所され、ダンスやゲームを楽しみました。大勢の子どもと仲良く交流できました。	子ども 2名 職 員 3名
R6.10.30	お楽しみ会 （ハロウィン）	ハロウィンの絵本の読み聞かせを行いかぼちゃのバックを作成し、折り紙で作ったキャンディを入れるゲームを行いました。	子ども 8名 職 員 4名

R6.11.13	絵本原画展	水の里ホールにて、絵本の読み聞かせを聞いたり、様々な絵本に触れる良い機会となりました。	子ども 3名 職 員 2名
R6.11.14	クッキング (フルーチェ)	取り組みやすいメニューだったので、全員で参加しました。一人ずつ食材を混ぜ、楽しくクッキングできました。	子ども 11名 職 員 6名
R6.11.21	お遊戯会	各クラス毎にお遊戯を披露し、全員で劇を行いました。最後に親子ふれあい体操を行い、温かい雰囲気で終了しました。	子ども 11名 職 員 8名 保護者 17名
R6.11.28	事業所内交流会 (三施設交流会)	遠山荘を会場に恵はあと、キッズつぼみの三施設交流会を行いました。クラス毎にお遊戯を披露し、握手をしてふれあいました。	子ども 8名 職 員 5名
R6.11.29	戸外活動 (警察署訪問)	勤労感謝の日にちなみ警察署を訪問し、感謝の言葉をお伝えしました。警察車両に乗り、制帽を被せてもらい貴重な体験ができました。	子ども 8名 職 員 3名
R6.12.16	事業所内交流会 (遠山荘)	遠山荘にて劇とお遊戯を披露した後、遠山荘職員のハンドベル演奏を聴きました。ハンドベルの体験をさせていただきました。	子ども 9名 職 員 6名
R6.12.17	クッキング (ビビンバ)	登米市より無償提供していただいた牛肉を使い、地産地消を伝えながらクッキングを行いました。	子ども 7名 職 員 5名
R6.12.24	クリスマス会	クリスマスの歌を唄い、ゲームを楽しんだ後サンタクロースからプレゼントをいただきました。クッキー作りも行い盛りだくさんの内容でした。	子ども 10名 職 員 6名
R7.01.08	お楽しみ会 (お正月)	登米図書館からご紹介された読み聞かせボランティアにおいでいただき、手遊び・パネルシアター等年齢に合った楽しい内容でした。	子ども 8名 職 員 6名
R7.01.23	防災センター見学	防災センターを訪問し、消防車や救急車を間近で見て乗車させていただき、興味深い体験をすることが出来ました。	子ども 2名 職 員 2名
R7.02.03	保育参観	各クラス毎に親子で節分にちなんだ製作を行い、製作した物を使用しゲームを行いました。	子ども 11名 職 員 8名 保護者 11名
R7.02.14	クッキング (カレーライス)	鍋に具材を入れたり、炒めたりしてカレーライスを作りました。	子ども 10名 職 員 5名
R7.03.03	ひなまつり会	ひなまつりの歌を唄い、ゲームを行いました。おひな様の顔はめパネルで写真撮影をしました。	子ども 11名 職 員 5名
R7.03.03	クッキング (たまごサンド)	ゆで卵を袋に入れ、手で握って潰し感触も楽しみました。「できた」という達成感を味わうことができました。	子ども 12名 職 員 4名
R7.03.19	大きくなったね会	子どもが、感謝の気持ちを込めて作ったプレゼントを保護者に渡した後、成長をまとめたDVDを保護者と一緒に見ながら、一年間を振り返りました。	子ども 10名 職 員 8名 保護者 11名

＊この他、該当月にお誕生会を実施しました。

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講師（講演者）	参 加 者
R6.05.24	感染症対策について	遠山荘看護師	管理者・保育士 6名 事務員
R6.06.04	食中毒予防について	栄養士	管理者・保育士 5名 事務員
R6.06.04	水遊びの安全性と危険性について	保育士	管理者・保育士 3名 事務員
R6.07.02	コンプライアンス研修	管理者	保育士 3名・事務員
R6.07.03	コンプライアンス研修	管理者	保育士 6名
R6.10.03	手指衛生研修	保育士	管理者・保育士 5名 事務員
R6.10.04	手指衛生研修	保育士	管理者・保育士 1名 子ども 4名

R6.12.13	人権教育に関する研修	チャイルドライン宮城	管理者・保育士 4名 事務員
R7.02.28	人権擁護について(セルフチェック)	管理者	保育士 6名・事務員
R7.03.26	年間事故報告研修について	保育士	管理者・保育士 4名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主 催 者	開催地	参加者
R6.05.16	食品衛生責任者実務講習会	(公社)宮城県 食品衛生協会	登米合同庁舎	職員1名
R6.06.13	令和6年度恵泉会経営者研修	恵泉会	恵泉会法人本部	職員1名
R6.06.21	令和6年度登米市幼児教育指導者研修	登米市教育支援センター	登米市中田生涯学習センター	職員1名
R6.07.29	令和6年度第1回保育担当者及び児童館等指導員研修	登米市福祉事務所子育て支援課	登米市南方庁舎	職員1名
R6.08.28	令和6年度第2回保育担当者及び児童館等指導員研修	登米市福祉事務所子育て支援課	登米合同庁舎	職員1名
R6.09.03	令和6年度登米市保育所児童館等中堅・監督職員研修	登米市福祉事務所	登米市南方庁舎	職員1名
R6.11.28	令和6年度保育施設長会議	登米市福祉事務所子育て支援課	登米市南方庁舎	職員1名
R6.12.02	初任者保育士研修	宮城県	仙台国際センター	職員1名
R6.12.11	令和6年度第3回保育担当者及び児童館等指導員研修	登米市福祉事務所子育て支援課	登米市南方庁舎	職員1名
R6.12.20	令和6年度恵泉会人事考課者現任者研修	恵泉会	恵泉会法人本部	職員1名
R7.02.14	こどもの食物アレルギー研修	東北大学クリニカル・スキルラボ	オンライン	職員1名
R7.02.04	恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	恵泉会法人本部	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内　　容	開 催 日	参 加 職 員
職 員 会 議	次月の行事予定、各部署からの連絡	毎月1回	全職員 (保育状況を考慮)
保 育 会 議	子どもの状況について	毎月1回	保育士全員 (保育状況を考慮)
給 食 会 議	前月の給食の状況、改善点等	毎月1回	栄養士、保育士全員 (保育状況を考慮)

(2) その他の会議

開 催 日	内　　容	場　　所	出　　席　　者
毎月1回	防災委員会	保育室	委員他
毎月1回	安全管理対策委員会	保育室	委員他
隔月1回	感染予防対策委員会	保育室	委員他
隔月1回	研修委員会　マニュアル検討委員会	保育室	委員他
年　4回	入所判定委員会	保育室	委員他
年　6回	サービス評価委員会	保育室	委員他

【 今 後 の 取 り 組 み 】

年齢や月齢に応じた保育を実施しながら、園内の整理整頓、子どもが遊ぶ環境の整理、子どもが静かに過ごせる場所の確保に努めます。また、他施設、地域との交流会、実習生、ボランティアの受け入れ等を行っていきたいと思います。各感染症の感染防止の観点から引き続き感染予防対策を行い、子どもの健康を守りつつ様々な経験を重ね、のびのびと活動を行い心身共に健やかに成長出来る様に努めてまいります。

さらに、当事業所の特徴を多くの方々に知っていただき、利用人数が少しでも増えるよう必要な広報(PR)活動を積極的に行ってまいります。

令和6年度
特別養護老人ホーム光風園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池金沢山60－3
2）設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4）開　設　年　月　日　　昭和51年4月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	5 名
計	55 名

令和6年度介護報酬改定に伴い、新たな加算の取得に取り組みました。特に協力医療機関との間で利用者の病状の急変が生じた場合等の相談、受診、入院対応について確認や緊急時の連携がスムーズとなる為の協議を行い、令和6年11月から医療連携体制推進加算の算定を開始しました。協力医療機関との密なる連携により、定期的な協議する機会を設けることができました。さらに協力医療機関が実施する感染症に関する研修に参加することで、高齢者施設等感染症対策向上加算の取得が可能となる道筋もできました。こうした取り組みは、施設に対する利用者家族の安心に繋がり、職員においても不安なく業務に取り組める環境づくりとなりました。

施設の安定経営について、加算の取得のほか居住費等の利用者負担の増により収入増となりました。また入所希望者が増加している状況は施設への期待の表れと感じられました。また、節電は職員の高い意識の取り組みにより、使用量と金額を大きく支出削減できました。今後も基本的な取り組みを着実に進め安定経営に取り組んでまいります。

【　重　点　項　目　】

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進
看取り介護は8件対応しました。月1回の看取り委員会におけるケース検討やデスカンファレンスによりケアの質を高める取り組みを進めました。協力医療機関、嘱託医との連携によりご家族に寄り添った介護を進めました。
感染症BCPの研修と訓練は研修計画のとおり進めた他、タイムリーな研修訓練も行いました。感染症BCP、感染対策マニュアルの見直しを感染対策委員会で進めました。
認知症介護実践リーダー研修1名、認知症サポーターステップアップ講座2名、認知症サポーター養成講座5名参加し、認知症の理解とケアを高めるための学びを得ました。

2. 自立支援・重度化の防止に向けた対応
機能訓練、ラジオ体操の実践により体を動かす習慣化を意識し取り組みを進め、その評価は6ヶ月1回のBI値測定により評価を行いました。結果は着実に効果が表れておりADL維持等加算の取得に結び付ける弾みとなりました。
口腔ケア、栄養ケアの一体的取り組みは、嘱託医、歯科衛生士による研修2回開催しケア実践につなげ、口腔内の状況、食事摂取量や咀嚼、嚥下の状況を確認しながらケア会議において検討を進め、機能維持、健康維持に努めました。

3. 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場作り
良質な介護サービスの提供と働きやすい職場環境には職員・多職種の連携、コミュニケーションは非常に重要の為、人事考課担当毎にテーマを設けグループ化し活動を進め意思疎通、連携強化を図りました。些細な事や必要な事柄の伝達の活発化に繋げチームワークしていくことを今後も継続します。

4. 制度の安定性・持続可能性の確保
業務効率、業務改善、生産性向上の取り組みは新たに設けた生産性向上委員会の中で検討、取り組みを進めました。業務の見える化、業務課題の洗い出し、業務効率を図る上での改善策と実践により生産性を向上させる目的に沿い、以後3年に渡り進めます。また、人材育成においては、OJT研修により統一した介護、排泄ケアに関する研修では、紙おむつの当て方、安心できる効率的で無駄のない当て方等を紙おむつ専門業者より研修を受け、介護技術の向上により効果的効率的な業務を進められるよう取り組みました。

5. 施設整備
建物構造が鉄筋コンクリート造平屋建で48年経過した施設の為、老朽している。特に屋根塗装は優先的に進める必要があり、宮城県特別養護老人ホーム等の大規模改修補助金の申請をしていたが今年度は見送りになった。次年度以降、補助金決定次第着手する予定です。

6. 地域貢献・地域交流

認知症カフェの開催は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため今年度は見送りましたが、光風園とゆりの郷に繋がる沿道の除草、ごみ拾い等の清掃活動を地域住民の方々と共に実施することができました。また、大学生によるよさこい演舞の披露や行事の演芸ボランティアで地域芸能に触れる機会を持ちました。
町内の保育所、こども園との交流(光風サンタ・ハッピーバレンタイン等)を実施しました。さらに衛生管理を地域の理容組合の他、食品や衣料品の販売会を地域の業者・商工会にお願いして実施できました。

7. 経営安定化

空床期間を少なくし稼働率を上げ収益性を高め、無駄を省き支出抑えることが経営の安定に繋がることから、入退所の状況管理を毎月行い速やかな入所へ繋げました。稼働率は例年通りでしたが報酬改定に伴う増収、また、節電対策を実践したことにより大きく使用量と金額の削減ができました。

8. 法人内連携

ゆりの郷との協働(防災関係・行事関係・地域貢献等)はスムーズに進めることができました。新型コロナウイルス感染症の集団感染が1月に発生した際には、松風園をはじめ法人内施設から速やかな感染対策の物品等の支援協力いただきました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　17,569 名
2. 年 間 稼 働 率　96.27 %
(目 標 稼 働 率　98.00 %)
3. 年間平均介護度　4.26
4. 月 別 利 用 状 況　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	150	155	120	124	124	142	124	120	124	157	178	217	1,735
要介護 4	790	797	791	813	807	799	839	780	793	731	709	806	9,455
要介護 5	540	558	552	543	538	540	558	508	545	522	448	527	6,379
計	1,480	1,510	1,463	1,480	1,469	1,481	1,521	1,408	1,462	1,410	1,335	1,550	17,569

5. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	0	2	2	3	0	1	1	2	1	3	0	16
退 所 者 数	0	1	2	3	1	1	1	1	2	3	0	0	15
月末入所者数	50	49	49	48	50	49	49	49	49	47	50	50	+ 1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事　延べ参加者数 451名　年間実施回数 8 回

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R6.04.18	春まつり	外出の機会が少ない為、ボランティアを依頼し踊りを披露して頂き楽しい時間を過ごした。又園庭を散策し気分転換と春の空気を味わって頂く事で、生活意欲の向上に繋げる事が出来た。	利用者 53名 職 員 18名
R6.06.24	キッズつぼみとの交流会	キッズつぼみの2歳児の子供達の踊りを鑑賞し、満面の笑みで手拍子をされていた。短い時間であったが子供達から元気をもらい、有意義な時間を過ごすことが出来た。	利用者 48名 職 員 12名
R6.07.18	納涼会	ボランティアによるアトラクションを依頼し、大正琴の演奏を笑顔で楽しむことができた。又くじ引きやカラオケを行い、歓声を上げながら楽しい一時を過ごすことが出来た。	利用者 50名 職 員 19名

R6.08.09	盆供養	利用者と職員で祖先を敬い、亡くなられた方々のご冥福を祈りました。	利用者　45名 職　員　12名
R6.08.10	よさこい慰問	大学生のよさこい2チームの団体が来園され、演舞を披露して頂いた。普段見ることができない迫力ある踊りに、手拍子や声援を送り楽しい時間を過ごすことが出来た。	利用者　50名 職　員　12名
R6.09.19	長寿を祝う会	利用者様の長寿を祝うと共に長年の労に感謝し、健康を祈ることが出来た。又式典後には、ボランティアによる歌や三味線に合わせ手拍子をして、和やかな雰囲気で長寿のお祝いを行うことが出来た。	利用者　53名 職　員　18名
R6.10.17	キッズつぼみとの交流会	キッズつぼみとの交流会を予定していたが、子供達の風邪が流行り、症状のない子供が来園してプレゼント交換のみを実施した。	利用者　2名 職　員　2名
R7.02.03	節分・豆まき	今年の年男・年女の方々に袴を身につけてもらい、豆まきを行ってもらっている。豆まきを行い邪気を払い、無病息災を願うことが出来た。	利用者　48名 職　員　9名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員　1,470 名
2. 年間稼働率　80.55 %
   （目標稼働率　90.00 %）
3. 年間平均介護度　3.33
4. 月別利用状況　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	1	17	2	2	5	8	7	8	8	0	8	8	74
要介護 2	40	30	41	33	49	35	41	38	40	31	26	39	443
要介護 3	4	11	14	26	19	21	16	51	16	2	10	10	200
要介護 4	45	35	41	26	36	39	40	37	56	4	42	33	434
要介護 5	29	29	24	24	29	33	35	28	24	1	30	33	319
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	119	122	122	111	138	136	139	162	144	38	116	123	1,470

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
   (1) 内部研修

年月日	内容	講師（講演者）	参加者
R6.04.01	施設設備・防災・安全運転講習	生活相談員兼介護支援専門員	職員5名
R6.04.03	新任職員研修	施設長	職員1名
R6.04.04	新任職員研修	施設長	職員1名
R6.04.16	新任職員研修	施設長	職員1名
R6.04.17	新任職員研修	施設長	職員1名
R6.04.25	感染症予防研修	看護師	職員11名
R6.04.30	看取り研修	看護師	職員12名
R6.05.16	利用者急変時対応・看取り研修	看護師	職員11名
R6.05.23	身体拘束廃止研修	介護福祉士	職員11名
R6.05.23	食中毒予防研修	管理栄養士	職員11名

R6.05.31	虐待防止・コンプライアンス研修	施設長	職員25名
R6.07.10	口腔ケア研修	歯科衛生士	職員9名
R6.07.25	接遇研修	管理栄養士	職員11名
R6.07.25	介護予防(脱水・水分補給)研修	看護師	職員11名
R6.07.31	見守り介護ロボットaams研修	バイオシルバー	職員6名
R6.07.31	排泄ケア研修	白十字㈱	職員8名
R6.08.09	虐待防止研修	介護福祉士	職員21名
R6.08.15	褥瘡研修	看護師	職員21名
R6.09.12	介護事故防止研修	介護福祉士	職員6名
R6.10.24	身体拘束・虐待防止研修	介護福祉士	職員10名
R6.10.31	感染症BCP研修及び訓練	施設長	職員11名
R6.11.21	嘔吐物処理研修	看護師	職員6名
R6.12.12	AED研修	サニクリーン	職員9名
R6.12.26	自然災害業務継続計画(BCP)研修	生活相談員兼介護支援専門員	職員12名
R6.12.26	感染症予防研修	看護師	職員12名
R7.02.06	認知症介護基本研修	介護福祉士	職員6名
R7.02.13	身体拘束廃止事例検討研修	介護福祉士	職員9名
R7.02.27	不審者対応研修	主任　介護福祉士	職員13名
R7.03.06	歯科研修	歯科衛生士	職員5名
R7.03.13	プライバシー保護研修	生活相談員兼介護支援専門員	職員10名
R7.03.13	介護事故防止研修	介護福祉士	職員9名
R7.03.15	防災機器研修	生活相談員兼介護支援専門員	職員19名

(2) 外部研修

年　月　日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R6.5.23	令和6年度登米市在宅医療・介護連携推進研修会	登米市	登米市	職員1名
R6.6.4	令和6年度クレーム対応研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R6.7.9	令和6年度介護講座	宮城県介護研修センター	大和町	職員1名
R6.7.12	令和6年度介護福祉士養成施設実習指導者講習会(全4回)	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R6.07.17	令和6年度登米地区ネットワーク会議	登米市東和・登米地域包支援センター	登米市	職員1名
R6.07.19	令和6年度宮城県介護職員合同入職式	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員2名
R6.07.22	認知症サポーター養成講座	登米市	登米市	職員3名
R6.07.29	令和6年度介護講座	宮城県	大和町	職員1名
R6.08.02	認知症サポーター養成講座	登米市	登米市	職員3名
R6.8.19	広報力向上講習(web)	ソウェルクラブ	web	職員1名
R6.8.22	認知症介護実践リーダー研修(～8/28)	宮城県社会福祉協議会	大和町	職員1名
R6.8.28	令和6年度給食管理責任者研修会	宮城県	石巻市	職員1名
R6.9.2	令和6年度介護講座「知っておきたい薬の知識」	宮城県	大和町	職員1名
R6.9.4	キャリアパス支援事業研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R6.9.4	権利擁護研修	宮城福祉オンブズネット「エール」	web	職員1名
R6.09.10	キャリアパス支援事業研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R6.09.10	スーパービジョン研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R6.09.11	第1回コンプライアンス講習会	ソウェル	web	職員1名
R6.9.12	令和6年度介護講座「介護者に必要な医療的ケアの知識」	宮城県	大和町	職員1名
R6.09.13	キャリアパス支援事業研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R6.9.20	令和6年度介護講座「介護度の高い力を引き出すレクリエーション」	宮城県	大和町	職員1名
R6.9.26	キャリアパス支援事業研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R6.10.04	ハラスメント防止講習会	ソウェル	web	職員1名
R6.10.08	新人フォロー講習会	ソウェル	web	職員1名
R6.10.25	キャリアパス支援事業研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名

R6.10.25	メンタルヘルス講習会	ソウェル	web	職員1名
R6.11.06	自立に向けた排泄支援と用具の選定	宮城県	大和町	職員1名
R6.12.06	実践事例から学ぶ介護実践Ⅰ	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R6.12.11	モチベーションアップ研修会	一関市長寿社会課	web	職員1名
R6.12.20	実践事例から学ぶ介護実践Ⅰ	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R6.12.23	実践事例から学ぶ介護実践Ⅱ	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R7.01.10	実践事例から学ぶ介護実践Ⅱ	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R7.03.14	認知症チームケア推進研修	認知症介護研究・研修センター	web	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	延べ回数	参　加　職　員
職員会議	事業計画の遂行並びに各種報告及び課題について検討	13回	光風園全職員
連絡会議	各セクションの代表者により次週並びに翌月の事業予定について検討	10回	各セクションの代表者
サービス担当者会議	ケアプランに基づき適切なサービスが実施されるよう検討	25回	各セクションの代表並び担当
ケア会議	利用者介護の質の向上とケアの課題等を協議	11回	介護・看護・相談員
ケアカンファレンス	利用者への援助過程に於いて、的確な援助を行うため討議	11回	各セクションの職員
給食会議	食事サービスの質的向上を図るため、実施	12回	代表利用者・給食事業者・給食委員
サービス評価会議	法人のサービス評価基準に則り、施設としての自己評価を実施	5回	各セクションの代表者
事務部会	予算・決算他会計処理の留意事項、情報共有	3回	事務担当者
給食部会	給食提供状況、情報共有	7回	管理栄養士兼事務員
生活相談員部会	入退所状況、加算状況の確認、情報共有	6回	各施設の生活相談員
看護師部会	各種健診の反省、感染対策における協議	4回	各施設の看護師
介護部会	マニュアルの整備・検討、日用品等の共同購入の検討	6回	各施設の介護職員

3. 委 員 会 開 催 状 況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　容	延べ回数	参　加　職　員
感染症対策検討委員会	感染症の予防及び蔓延防止の検討	23回	施設長と委員
褥瘡予防検討委員会	利用者個々人の分析・評価による予防対策の検討		
研修委員会	職員のスキルアップのため内部研修を開催しました	5回	委員
マニュアル検討委員会	マニュアルを見直し、必要に応じデータ更新しました		
サービス向上検討委員会	介護サービスの質の向上に向けた検討と業務内容の見直し	15回	施設長と委員
生産性向上委員会	働きやすい職場づくりについての課題の抽出と環境改善		
看取り対応検討委員会	看取りケアの質の向上と対応や記録の整備、振り返りの実施		

リスクマネジメント委員会	介護事故防止の検討と事故後の事故検証	11回	施設長と委員
見守りセンサー等有効活用検討委員会	見守りセンサー等の活用と、負担軽減・事故防止の検証		
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束の完全廃止に向けての検討		
防災委員会	消防計画に沿った訓練を実施、検証しました	6回	施設長と委員
摂食嚥下リハビリテーション推進委員会	安全かつ楽しく食事できるよう摂食嚥下に関する取り組みを検討	12回	委員
入所判定委員会	第三者委員を交えて入所申込み者の入所順位を決定する	4回	施設長と委員

【施設機能の開放】

1．ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R.6.4.18	熊谷流	春まつりでの演芸披露	6名
R.6.7.18	とよまさくらの会	納涼会での大正琴の披露	13名
R.6.8.10	北海道大学(縁)　武蔵女子短大(コンサフリーク)	よさこい演舞披露	20名
R.6.9.19	ニコニコサークル	長寿を祝う会での三味線と歌の披露	3名
計			42名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
計				0 名

【今後の取り組み】

1．地域包括ケアシステムの深化・推進

1)支援体制(地域包括ケア)の構築のため、嘱託医や協力医療機関との医療連携体制会議、地域包括支援センター・居宅介護事業所の専門職との地域ネットワーク会議、地域密着型施設として行政担当者、福祉関係者、地域住民等における運営推進会議により情報共有や連携により支援体制構築を進めます。

2)認知症への対応力強化として、無資格の介護職員は認知症介護基礎研修の受講し、また専門性を高めるため認知症実践者研修、認知症ケア実践リーダー研修を受講し対応力強化とその人員配置及び加算取得に向けた取り組みを進めます。

2．自立支援・重度化の防止に向けた対応

1)科学的介護(口腔・栄養・褥瘡予防・認知症・排泄・機能訓練)における一体的取組として、評価分析、LIFEのフィードバック情報を定期的に生産性向上委員会、サービス向上委員会、定期カンファレンスにおいて検討、ADL評価・口腔機能評価・興味関心チェックシートと合わせ個別援助計画に反映する統一した介護と個別ケアの実践を進めます。

2)重度化防止のため、口腔衛生について、嘱託医ならびに歯科衛生士の指導、口腔ケア研修により介護職員の知識や技術の習得を図り、口腔ケア実践を進めます。

3)配慮された接し方や言葉遣いの徹底を目的とした取組として、コミュニケーションの実践記録と活動メニューやプログラム(day・week・month)周知、利用者のご意見を伺い、検討する仕組みをサービス向上委員会で進めます。

4)認知症の状態に配慮したケアの実践を進めるため、実践者研修や内部研修での学びと実践や認知機能の低下防止の活動プログラムの効果測定をサービス向上委員会及びグループ活動において進めます。

3. 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場作り
1)インカム・スマートホンを活用したコールシステム、見守り介護ロボット、iPad活用による記録の簡素化、介護情報データの活用により業務効率、敏速な状況判断、記録等の業務負担軽減を進めます。
2)生産性向上委員会において、業務内容の見直しと工夫、効率的な業務、利用者視点でのサービス提供について検討します。
3)マニュアル検討委員会において、既存のマニュアルの見直しの他、新たに必要なマニュアル、手順書を作成します。
4)苦情・リスクマネジメント委員会において、介護事故防止のため、ヒヤリハットなど必要な多くの情報を収集、分析、適切な対応対策を検討します。
5)利用者満足度調査の実施(年2回)、情報収集の他、利用者興味・関心チェックシートを活用し、サービス提供における分析、評価、改善を行います。
6)年次有給休暇5日以上の確実な取得と労災事故ゼロの取組(安全衛生研修、腰痛予防、危険箇所の把握と改善)を進めます。
7)コンプライアンスガイドラインのセルフチェック項目により、自己分析を実践する。感情のコントロールを意識し、意思疎通をはかり、チーム組織として関わり合いが出来る組織づくり、職場環境の維持改善に取り組みます。

4. 介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み
1)外部研修や伝達研修、内部研修の充実に継続して取り組みます。OJT研修を計画的に実施し、ケア統一を図りサービスの質の向上と効率、負担の軽減を図ります。
2)認知症介護実践リーダー研修、認知症介護指導者研修の受講により「認知症ケア加算」取得をめざし体制を作り、専門性を高めます。無資格の介護職員においては、認知症介護基礎研修を受講し、ケア実践力を高めます。
3)日々実施している基本理念の復唱、コンプライアンス研修等により、倫理綱領の理解と行動規範、服務規程等、その他取り巻く規則規程の遵守徹底を図り、職員間共通認識を高め、よりよい職場環境を作ります。
4)人材育成については、法人内で実施している研修への講師派遣(介護福祉士試験対策講習、ケアマネジャー試験対策講習、介護職員実務者講習、介護職員初任者研修)により、法人全体で職員の資格取得に向け取り組みます。施設内においては、研修計画、研修実施要領に基づき育成を行い、評価や分析、講師となった職員へのフィードバック等は、研修委員会により進めます。

5. 地域貢献
地域との交流を活性化するとともに、清掃活動など新たな活動を行い、施設も地域社会の一員として協働に向け取り組みます。

6. 経営安定化
利用者の重度化による在籍日数の短期化と入院の増加に対し、短期入所での利用など効率的な空床管理を実施、目標稼働率の達成につなげます。 また、節電等経費削減に努めます。経営の安定化―経費増大が課題です。空床のコントロールを適正に行い、目標の稼働率を達成するとともに、適正な支出となるよう経費削減に努めます。

7. 法人内連携
ゆりの郷はもとより、登米・豊里地区の事業所と連携を図りスムーズな運営に努めます。

令和6年度
特別養護老人ホーム松風園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市豊里町笑沢153－62
2）設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4）開　設　年　月　日　　昭和58年4月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	4 名
計	54 名

団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年を目の前にして、その先の2040年を見据えながら「地域包括ケアシステムの深化・推進」「自立支援・重度化防止に向けた取り組み」「良質な介護サービスの確保に向けた働きやすい職場づくり」「制度の安定性・持続性の確保」に引き続き取り組みました。また、新興感染症や自然災害の発生が心配される中で、要介護高齢者が住み慣れた場所・環境で生活が継続できるよう、良質な介護サービスの提供と働きやすい職場環境づくりに努めました。

昨年、社会福祉法人恵泉会は法人創立50周年、松風園も開設40周年を迎え次の50年の初めの年として「そして、これからも」すべての利用者に楽しく、“自信”と“誇り”“望み”をもって、その人らしい日々の過ごし方が出来る様、職員と利用者が「今を見つめ、ひとつひとつを大切に」をモットーに、個別ケアに対応したサービス提供を行い、この地域の介護の受け皿、拠点づくりに取り組みました。

【　重　点　項　目　】

1　「幸せを感じて」いただく取り組み（自立支援・重度化防止）
- 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加により、その人らしい生活が送れる様に支援しました。
- リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養を一体的に推進し、自立支援・重度化防止に努めました。

2　サービス向上に向けた取り組み
- ケアパレット・介護ロボット、ICT等のテクノロジーを活用し、介護業務の効率化・最適化を図りながら、生産性向上等を通じた働きやすい職場環境づくりをすすめるため、生産性向上委員会を設置し取り組みました。
- 中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、対応できる様に医療機関・関係機関との連携を密にし、精神面でのケアの充実と身体的機能の維持向上に努めました。
- 医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症利用者に対する対応力を身につけられるようにしました。
- 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら介護事故防止に努めました。
- 介護サービス評価と科学的介護情報システムの利用により、適切な処遇を確保しつつ、介護サービスの質の向上に努めました。

3　介護人材確保・職員の資質、専門性の向上の取り組み
- 職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図りました。また、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と、一歩先を見通せる職員の育成に努めました。
- 法人内で実施している研修（介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策）への講師派遣により次世代の人材育成を行いました。
- 介護福祉士実習指導施設として資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋げました。

4　地域包括ケアシステムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み
- 住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、事業運営にあたりました。
- 地域貢献事業、地域交流事業を豊里・津山地域の介護事業所合同で開催予定でしたが、新興感染症の感染懸念から見送りました。
- 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって、協力体制を構築し、支え合う体制を整えました。

・地域（庚申地区、平林地区・笑沢地区事業所等連絡協議会）との災害時協力体制を維持するとともに、既に災害協定を締結している他施設（迫風園、南風園）と連携し、災害時（火災・地震・防犯・原発事故等）に対応できるように努めました。

5　感染症や災害への対応力強化に向けた取組

・新興感染症対策として、感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練を実施しました。

・年度当初において、新型コロナウイルスへの感染事例がありましたが、事業継続に向けた方針を事前に定めた事で、感染者への支援と並行し継続した介護サービスを提供する事が出来ました。引き続き感染症対策委員会において、感染予防対策及び感染時における対応等の検討を図り、感染拡大を防止しながら速やかに対応し業務継続を図る事が出来るよう努めます。

・これまで新型コロナウイルス感染症等の影響により、利用者が家族等との面会が制限されている状況でありましたが、それを解消するため、iPad等の活用によるオンライン面会を継続すると共に、十分に感染予防策を講じながら、対面での面会にも対応し問題なく行うことができました

6　制度の安定性・持続可能性の確保

・業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、既に作成した業務継続に向けた計画(BCP)に基づいた研修、訓練を実施しました。

・毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを行いました。

・中長期計画を作成し、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業に取り組みました。

【　利　用　状　況　】

1．年間延べ利用人員　　17,264　名
2．年　間　稼　働　率　　94.60　％
（目　標　稼　働　率　　98.00　％）
3．年間平均介護度　　4.32
4．月　別　利　用　状　況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護１	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護２	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護３	100	93	108	86	77	87	93	65	62	62	56	62	951
要介護４	710	713	780	851	811	804	805	834	875	922	861	942	9,908
要介護５	593	571	540	558	563	534	519	533	534	508	449	503	6,405
計	1,403	1,377	1,428	1,495	1,451	1,425	1,417	1,432	1,471	1,492	1,366	1,507	17,264

5．入　退　所　状　況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	3	2	2	1	1	1	3	0	2	1	1	1	18
退　所　者　数	0	4	1	1	1	3	0	2	0	1	2	0	15
月末入所者数	50	48	49	49	49	47	50	48	50	50	49	50	＋3

【利用者サービスの状況】

1．生きがいサービス

（1）行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R6.5/2・3・4	菖蒲湯	菖蒲を湯に浮かべ無病息災の縁起を担ぎ、季節を感じていただきました。	利用者　45名 職　員　6名
R6.05.18	ドライブ	新緑の中、市内の観光地をドライブし気分転換を図る。	利用者　3名 職　員　2名
R6.06.02	園芸	花壇に植えられた季節の花々を散歩を兼ねて鑑賞する。	利用者　4名 職　員　3名
R6.06.17	あじさい祭り	コロナで開催中止となった春祭りに代わり、ボランティアによる踊りを鑑賞し楽しむ。	利用者　35名 職　員　13名
R6.06.16	父の日祝	父の日に伴い写真撮影を行い掲示し、父の日を祝う。	利用者　9名 職　員　3名
R6.06.25	昼食外出	外食希望の利用者を募り、レストランにて外食し楽しむ。	利用者　2名 職　員　2名

R6.07.07	七夕会	七夕の由来を知り、短冊に込めた願いごとを紹介し季節の行事を楽しむ。	利用者　19名 職　員　3名
R6.07.27	ドライブ	平筒沼の周囲をめぐり蓮の花を観賞し気分転換を図る。	利用者　3名 職　員　2名
R6.07.28	ゲーム大会	利用者同士交流を深め、ゲームで体を動かしながら気分転換を図っていただきました。	利用者　9名 職　員　4名
R6.07.31	夏祭り	スイカ割、水ヨーヨー、くじ引き等夏を感じていただき楽しんでいただきました。	利用者　47名 職　員　12名
R6.08.10	よさこい見学	よさこい団体が来園し園庭にて「よさこい」を披露していただきました。	利用者　30名 職　員　10名
R6.08.11	レクリェーション	利用者同士で輪になり風船バレーを行い楽しんでいただきました。	利用者　7名 職　員　3名
R6.08.19	盆供養	利用者と共に故人の冥福を祈りました。	利用者　5名 職　員　2名
R6.08.25	カラオケ大会	カラオケを好まれる利用者同士で歌をうたい和やかに楽しまれました。	利用者　13名 職　員　2名
R6.09.15	長寿を祝う会	長寿に敬意を表して祝い、ボランティアによるアトラクションを楽しんでいただきました。	利用者　40名 職　員　18名
R6.09.17	お月見会	お供え物をして十五夜に因んだ由来を聞きながら中秋の名月を祝いました。	利用者　20名 職　員　2名
R6.09.20	おうちで花火	夏の風物詩の花火を味わっていただき気分転換を図る。	利用者　9名 職　員　8名
R6.10.16	芋煮会	野外で芋煮を行い季節を感じていただきました。	利用者　47名 職　員　6名
R6.10.16	屋外食	晴天の中、日光浴を行いながら外のテラスでテーブルを囲み昼食を食べていただきました。	利用者　6名 職　員　3名
R6.10.20	レクリェーション	ことわざやイラストを使った簡単なクイズで脳トレーニングしながら楽しんでいただきました。	利用者　10名 職　員　2名
R6.11.13	焼き芋会	屋外で炭火を使って焼き芋を行い季節を感じていただきました。	利用者　15名 職　員　3名
R6.11.13	紅葉散策	平筒沼へドライブし紅葉景色を車内から楽しんでいただきました。	利用者　3名 職　員　2名
R6.11.24	レクリェーション	創作した釣り堀にて利用者同士で魚釣りを行い、点数を競い楽しんでいただきました。	利用者　10名 職　員　2名
R6.12/19.20.21	ゆず湯	ゆず湯に浸かり、身体を温め疲れを癒していただきました。	利用者　48名 職　員　5名
R6.12.23	正月飾り会	年末の恒例である正月飾りを昔を懐かしみながら行っていただきました。	利用者　8名 職　員　4名
R6.12.25	クリスマスリース作り	手作りでクリスマスリースを作りクリスマスの雰囲気を楽しんでいただきました。	利用者　8名 職　員　6名
R6.12.25	クリスマス会	利用者と職員で一緒にクリスマスの雰囲気を感じ、楽しい時間を過ごしていただきました。	利用者　24名 職　員　5名
R7.01.02	正月遊び	正月遊びを通じて、季節を感じていただくとともに、利用者様同士の親睦を深めていただきました。	利用者　7名 職　員　2名
R7.01.15	新年会	新年のお祝いと、本年も良い日々を送れるよう新年会を通じて皆様に新しい年の始まりを楽しんでいただきました。	利用者　49名 職　員　16名
R7.01.15	百寿祝い	ご家族来所され、登米市より百寿祝いとして記念品の贈呈と祝い膳にて百寿を祝う。	利用者　1名 職　員　5名
R7.02.03	節分	年男、年女の利用者・職員により邪気を払い、無病息災を願いました。	利用者　50名 職　員　10名
R7.02.09	レクリエーション ゲーム大会	ボールゲームにて利用者同士交流を深め、ゲームで体を動かしながら気分転換を図っていただきました。	利用者　8名 職　員　2名
R7.03.03	ひな祭り会	ひな祭りの歌を皆さんで合唱し、ひなあられや甘酒を頂きました。	利用者　17名 職　員　4名
R6.03.18	彼岸供養	利用者と共に故人の冥福を祈りました。	利用者　3名 職　員　7名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員　　1,089 名
2. 年 間 稼 働 率　　74.59 %
   （目 標 稼 働 率）　　94.00 %
3. 年間平均介護度　　3.07
4. 月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	1	10	10	2	0	0	3	4	4	4	38
要介護 2	5	16	26	33	46	25	28	21	26	24	18	31	299
要介護 3	47	46	51	29	16	32	56	15	25	26	31	26	400
要介護 4	9	3	7	3	3	3	27	61	37	30	30	45	258
要介護 5	4	6	11	13	15	8	6	3	9	6	10	3	94
計	65	71	96	88	90	70	117	100	100	90	93	109	1,089

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R6.04.05	防災機器について	介護福祉士	職員8名
R6.04.15	入浴機器の取り扱いについて	介護福祉士	職員4名
R6.05.13	オムツ交換について	介護福祉士	職員7名
R6.06.10	食中毒について	管理栄養士	職員9名
R6.07.08	褥瘡予防研修	准看護師	職員7名
R6.07.19	感染症・BCP研修	准看護師	職員9名
R6.07.24	歯科・口腔ケア研修	歯科医院	職員13名
R6.08.06	急変時の対応研修	准看護師	職員9名
R6.08.20	介護事故について	介護福祉士	職員8名
R6.08.23	高齢者虐待防止研修	施設長	職員6名
R6.08.30	BCP(自然災害発生時における業務継続計画)研修	生活相談員	職員17名
R6.8/2.9.16.23.25	コンプライアンス研修	施設長	職員26名
R6.09.20	メンタルヘルスケア研修	施設長	職員9名
R6.09.29	移乗介助について	介護福祉士	職員6名
R6.10.24	看取りケアについて	看護師	職員7名
R6.10.21	見守り機器(アームス)研修	(株)バイオシルバー	職員9名
R6.11.20	リスクマネジメント研修	介護福祉士	職員6名
R6.11.18	感染症研修	准看護師	職員8名
R6.12.09	高齢者虐待防止・身体拘束研修	介護福祉士	職員8名
R6.12.20	認知症研修	介護福祉士	職員5名
R7.01.13	体位交換研修	介護福祉士	職員5名
R7.01.17	普通救急講習	登米市消防署	職員12名
R7.01.20	介護報酬について	相談員	職員8名
R7.02.10	着脱介助	介護福祉士	職員8名
R7.02.26	口腔ケア研修	歯科医院	職員9名
R7.03.14	防災教育	介護福祉士	職員8名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R6.04.22	令和6年度人事考課者研修	恵泉会	本部事務局	職員1名
R6.06.04	令和6年度クレーム対応研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R6.06.07	令和6年度アサーティブコミュニケーション研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R6.06.13	令和6年度恵泉会経営者研修	恵泉会	本部事務局	職員1名
R6.06.13	甲種防火管理者新規講習	日本防火・防災協会	登米市	職員1名
R6.06.14	社会福祉施設事務担当職員研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R6.07.08	令和6年度恵泉会新任職員研修	恵泉会	本部事務局	職員1名

R6/7.12/7.19/8.3/8.9	令和6年度介護福祉士養成施設実習指導者研修会	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R6.07.30	令和6年度指定介護保険サービス事業者集団指導	宮城県東部保健福祉事務所	石巻市	職員1名
R6.08.01	令和6年度介護現場の生産性向上に関するビギナーセミナー	厚生労働省	オンライン	職員1名
R6.08.10	令和6年度キャリアパス支援事業「高次脳機能障害の理解と支援」	宮城県	仙台市戦災復興記念館	職員1名
R6.08.26	令和6年度恵泉会人事考課者研修	恵泉会	本部事務局	職員1名
R6.08.28	令和6年度給食管理責任者研修会	宮城県石巻保健所	宮城県石巻合同庁舎	職員1名
R6.09.04	令和6年度キャリアパス支援事業「リーダーのための指導術」	一般社団法人宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R6.09.10	みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度スタートアップセミナー	みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度	オンライン	職員1名
R6.09.11	令和6年度安全運転管理者講習	宮城県公安委員会	登米祝祭劇場	職員1名
R6.09.12	令和6年度科学的介護に向けた質の向上支援等事業研修会	厚生労働省	オンライン	職員1名
R6.10.18	令和6年度キャリアパス支援事業「認知症ケアの理解と実践Ⅱ」	一般社団法人宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R6.10.23	ハラスメント講習会(管理者向け)	社会福祉法人福利厚生センター	オンライン	職員1名
R6.10.25	宮城県高齢者権利擁護推進研修	宮城県オンブズネット	オンライン	職員1名
R6.11.06	令和6年度業務改善研修	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R6.11.08	法人内交換研修(実習先・さくらワークス)	恵泉会	登米市	職員1名
R6.11.11	法人内交換研修(実習先・若生園)	恵泉会	登米市	職員1名
R6.11.12	法人内交換研修(実習先・若草園)	恵泉会	登米市	職員1名
R6.12.04	令和6年度登米市立豊里小・中学校キャリアセミナー	登米市立豊里小・中学校	登米市	職員1名
R7.02.04	令和6年度恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	本部事務局	職員3名
R7.02.26	登米栄養士会全体研修会	宮城県石巻保健所	登米市	職員1名
R7.03.06	令和6年度登米地域感染症対応強化研修会	宮城県石巻保健所	オンライン	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	実施回数	参　加　職　員
職員会議	各セクション、職員間の業務調整及び諸課題の検討	13回	職員
ケア会議	利用者のサービス内容及びケア内容の検討	12回	施設長、生活相談員、看護・介護職員、管理栄養士
サービス担当者会議	サービス計画計画に基づき、適切なサービスが実施されるよう検討	27回	施設長、生活相談員、看護・介護職員、管理栄養士
給食会議	委託業者と給食についての評価、検討及び情報交換	12回	施設長、管理栄養士、給食係、委託業者

(2) その他の会議

開 催 日	内　容	場　所	出　席　者
R6.11.29	登米市豊里地域ネットワーク会議	登米市豊里町	木村操

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	実施回数	参加職員
サービス向上検討委員会	利用者の自立促進のための評価項目毎の自己評価	12回	施設長、各委員
防災委員会	防災訓練の計画と実施、安全対策の内容検討	12回	施設長、防火管理者、各委員
マニュアル検討委員会	職員の業務標準化を目指しマニュアルの検討	11回	施設長、各委員
感染症対策委員会	感染症の防止と対策を図る	11回	施設長、各委員
安全対策検討委員会	リスクの検証、検討、評価の実施	11回	施設長、各委員
褥瘡対策委員会	褥瘡の発生要因と予防の検討	6回	施設長、各委員
身体拘束廃止・高齢者虐待廃止検討委員会	身体拘束の改善と処遇の検討・高齢者虐待防止に向けての取り組み	12回	施設長、各委員
生産性向上委員会	介護の価値を高めるため業務改善へ向けての取り組み	12回	施設長、各委員

(2) その他の委員会

開催日	内容	場所	出席者
R6.06.04	令和6年度第1回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R6.09.05	令和6年度第2回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R6.12.03	令和6年度第3回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R7.03.03	令和6年度第4回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R6.06.17	喜楽楽会	民謡、舞踊を披露する	5名
R6.08.10	北海道大学	よさこい踊りを披露する	20名
R6.09.15	熊谷流舞踊	舞踊を披露する	5名
計			30名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R6.06.04	東北医科薬科大学医学部	地域包括医療実習	2名	2名
R6.06.25 ～R6.10.09	登米総合産業高等学校福祉課	介護実習	3名	47名
R6.11.05	東北医科薬科大学医学部	地域包括医療実習	2名	2名
計			7名	51名

【今後の取り組み】

1 「幸せを感じて」いただく取り組み(自立支援・重度化防止)

・利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加により、その人らしい生活が送れる様に支援します。

・利用者が自分らしく生活を送れるよう機能訓練、口腔ケア、栄養管理について多職種で連携し、評価・見直しを行い自立した生活機能の維持と重度化防止を効果的に行います。

2 サービス向上に向けた取り組み

・タブレット・介護ロボット、ICT等のテクノロジーを活用し、業務の改善や効率化等を進め、職員の業務負担の軽減を図るとともに、業務の改善や効率化により介護サービスの質の向上に努めます。

・中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、対応できる様に医療機関・関係機関との連携を密にし、精神面でのケアの充実と身体的機能の維持向上に努めます。

・医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症利用者に対する対応力を身につけさせます。

・安全対策委員会において、介護事故防止に向け、ヒヤリハットなど必要な多くの情報を収集、分析し適切な対応と対策を検討します。

・科学的介護における一体的取組として、LIFEのフィードバック情報を基にサービス向上委員会で定期的に検討し統一した介護と個別ケアの実践を進めます。

3　介護人材確保・職員の資質、専門性の向上の取り組み

・職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図ります。また、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と、一歩先を見通せる職員の育成に努めます。

・法人内で実施している研修（介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策）への講師派遣により次世代の人材育成を行います。

・研修計画、研修実施要領に基づく施設内研修を行い、変化するケア技術に対応できるよう研修を通じて介護職員のスキルを向上し専門的知識を習得します。

・介護福祉士実習指導施設として資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋げます。

4　地域包括ケアシステムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

・住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたります。

・地域貢献事業、地域交流事業として、豊里・津山地域の介護事業所合同で開催し、地域への介護情報の発信進めます。

5　感染症や災害への対応力強化に向けた取組

・新興感染症対策として、感染症の発生及び蔓延等や災害が発生した場合であっても必要なサービス提供が継続できる体制を構築します。

・感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施します。

・新型コロナウイルス感染症への対応経験を踏まえ、協力医療機関との連携を強化し、感染症対応力を向上させます。

・家族との面会や関係者との交流については、対面での面会を基本とし感染状況等を踏まえ、可能な限り安全に面会（窓越し・オンライン方式）が実施できるようにします。

・自然災害に対応する業務継続計画(BCP)において、必要な計画の見直しや研修及び訓練を実施し、非常災害時の継続的なサービス提供体制を目指します。

・地域（庚申地区、平林地区・笑沢地区事業所等連絡協議会）との災害時協力体制を維持するとともに、既に災害協定を締結している他施設（迫風園拠点、南風園拠点）と連携し、災害時（火災・地震・防犯・原発事故等）の対応を行います。

6　制度の安定性・持続可能性の確保

・業務継続に向けた取り組みとして、策定した計画書（BCP）を適宜に検証し、研修・訓練を実施し対応力強化を図ります。

・毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めます。

・中長期計画を作成し、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行います。

令和6年度
豊里デイサービスセンター百楽荘　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市豊里町笑沢153－78
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成19年4月1日
5. 利　用　定　員　　30名

【　基　本　方　針　】

団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年を目の前にして、その先の2040年を見据えながら「地域包括ケアシステムの深化・推進」「自立支援・重度化防止に向けた取り組み」「良質な介護サービスの確保に向けた働きやすい職場づくり」「制度の安定性・持続性の確保」に取り組みました。
また、新興感染症や自然災害の発生が心配される中で、要介護高齢者が住み慣れた場所・環境で生活が継続できるよう、良質な介護サービスの提供と働きやすい職場づくりに努めました。
昨年、社会福祉法人恵泉会は法人創立50周年を迎えました。次の50年の初めの年として「そして、これからも」すべての利用者に楽しく、“自信”と“誇り”“望み”をもって、その人らしい日常生活が維持出来る様、職員と利用者が「パートナーシップでみんなの幸せづくりを」をモットーに、個別ケアに対応したサービス提供を行い、この地域の介護の受け皿、拠点づくりに取り組みました。

【　重　点　項　目　】

1　「幸せを感じて」いただく取り組み（自立支援・重度化防止）

(1) 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れるように支援しました。
(2) 利用者個々に、リハビリテーション・機能訓練、口腔管理、栄養管理等、日々の過ごし方についてのアセスメントを実施し、それに基づいて、通所サービス計画の策定・実施・評価を行いました。

2　サービス向上に向けた取り組み

(1) ケアパレット・ICT等のテクノロジーを活用し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、生産性向上を通じた働きやすい環境づくりを進めるため、生産性向上委員会を設置しました。
(2) 作業療法士による個別機能訓練（個別機能訓練加算Ⅰイ）を実施することにより利用者の機能維持・向上を図りました。
(3) 医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応力を身につけられるようにしました。
(4) 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努めました。
(5) 介護サービス評価と科学的介護情報システムの利用により、適切な処遇を確保しつつ、介護サービスの質の向上を図りました。

3　介護人材確保、職員の資質、専門性の向上の取り組み

(1) 職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図りました。また、積極的に研修参加を促し、基本に忠実な介護実践と一歩先を見通せる職員の育成に努めました。
(2) 法人内で実施している研修（介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策）への講師派遣により次世代の人材育成を行いました。

4　地域包括システムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

(1) 住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、利用者、利用家族はもちろん、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、事業運営にあたりました。

(2) 地域貢献事業・地域交流事業を豊里・津山地域の介護事業所合同で企画しましたが、感染症の懸念から見送りました。
(3) 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力体制を構築し、支え合う体制を整えていました。

5　感染者や災害への対応力強化に向けた取組

（1） 新興感染症対策として、現行の感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施します。

（2） 新型コロナウイルス感染症への対応経験を踏まえ、高齢者施設と医療機関の連携を強化し、感染症対応力の向上に努めました。また、感染症や災害に際して、継続的にサービスを提供出来るための体制づくりや介護現場における安全性の確保に取り組みました。

（3） 登米市の福祉避難所として災害発生時、登米市と共同し一般避難所等で生活が困難な高齢者や障害者等の受け入れ支援体制を構築しています。

（4） 地域（庚申地区、平林・笑沢事業所等連絡協議会）との災害時協力体制を維持するとともに、災害時（火災・地震・防犯・原発事故等）の訓練等を地域の方々と連携して行いました。

6　制度の安定性・持続可能性の確保

（1） 業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画(BPC)に基づいた研修、訓練の実施を進めました。

（2） 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めました。

（3） 中長期計画を作成し、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行いました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　7,638 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　309 日
3. 年 間 稼 働 率　　82.4 %　（通所介護＋総合事業）
　　76.5 %　（通所介護）
　　5.9 %　（総合事業）
　　(0.00) %　（生きがい）
4. 年間平均介護度　　2.56（通所介護）

5. 月 別 利 用 状 況　　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	73	76	89	121	116	114	101	83	91	80	76	84	1,104
要介護 2	172	176	175	195	198	181	201	192	193	191	198	226	2,298
要介護 3	263	252	221	220	202	169	179	186	174	184	166	188	2,404
要介護 4	123	124	91	85	87	98	111	119	103	90	77	84	1,192
要介護 5	11	26	15	8	6	5	6	4	0	0	8	13	102
計	642	654	591	629	609	567	598	584	561	545	525	595	7,100
事業対象者	0	3	3	5	3	3	5	4	4	3	3	2	38
要支援1	3	5	4	3	5	3	5	4	4	4	3	4	47
要支援2	42	41	41	44	39	41	44	43	34	27	29	28	453
計	45	49	48	52	47	47	54	51	42	34	35	34	538
合 計	687	703	639	681	656	614	652	635	603	579	560	629	7,638

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	2	3	0	1	1	1	1	2	2	2	3	20
契約終了者数	6	2	0	5	1	2	2	2	0	1	0	2	23
月末契約者数	63	63	66	61	61	60	59	58	60	61	63	64	

【利用者サービスの状況】

1．生きがいサービス

（1）行　事

実施日	行事名	内容	参加者数	
R6.04.10～16	お花見ドライブ	ドライブを兼ねて近隣のお花見へ外出する。	利用者	51名
			職　員	16名
R6.04.20～25	チューリップ見学	十五貫千葉とし子様宅へチューリップ見学へ外出する。	利用者	38名
			職　員	11名
R6.05.06～08	ミニ運動会	お玉でリレーや玉入れを行い、身体を動かす。	利用者	82名
			職　員	26名
R6.05.11～16	新緑ドライブ	初夏の季節感を新緑観賞で味わっていただく。	利用者	40名
			職　員	12名
R6.06.22～28	紫陽花見学	ドライブを兼ねて季節の花と景色を楽しんでいただく。	利用者	51名
			職　員	15名
R6.07.06～08	七夕会	七夕飾りを眺めながら天の川ゲーム等をして楽しむ。	利用者	53名
			職　員	15名
R6.07.22～25	蓮の花見学	夏の時期の花を見学し季節感を味わっていただく。	利用者	42名
			職　員	12名
R6.08.14	夏祭り	スイカ割りや抽選会を行い、季節感を味わっていただく。	利用者	23名
			職　員	6名
R6.08.29	海岸ドライブ	夏の海の景色を見学し季節感を味わっていただく。	利用者	7名
			職　員	2名
R6.09.16～18	長寿を祝う会	利用者の方々に長寿をお祝いする。	利用者	84名
			職　員	21名
R6.10.05	百楽荘秋祭り	お神輿や職員の余興、収穫祭ゲームを行い、秋を感じて頂く。	利用者	24名
			職　員	8名
R6.10.08	芋煮会	施設内にて野菜を切るなど芋煮会の気分を味わっていただく。	利用者	23名
			職　員	2名
R6.10.22～24	寺院見学	津山町福田寺の歴史ある建築物や風景等を見学する。	利用者	26名
			職　員	8名
R6.10.25～26	文化祭見学	豊里地区文化祭へ作品を出展し、他事業所、個人の作品を見学する。	利用者	15名
			職　員	6名
R6.11.01～04	焼き芋会	焼き芋を食べながら、季節を感じ、利用者間での交流を深める。	利用者	82名
			職　員	23名
2024/11/20～23	リンゴ園見学	市内の果樹園にて試食をいただきながら、リンゴのもぎ取りを行いリンゴ園見学をを楽しむ。	利用者	50名
			職　員	15名
R6.12.23～25	クリスマス忘年会	ボランティアによる余興を観たり、くじ引きによるプレゼント配り楽しむ。	利用者	74名
			職　員	26名
R6.12.27	餅つき	餅つき機械で餅つき、みずの木に飾り付けを行い正月の準備を行う。	利用者	23名
			職　員	8名
R7.01.08～10	新年会	外部ボランティアによる余興を楽しまれる。	利用者	73名
			職　員	27名
R7.01.15～18	初詣ドライブ	神社に行き参拝し、一年の無病息災を祈願する。	利用者	26名
			職　員	8名
R7.02.01～03	節分豆まき	年男・年女の利用者が袴を着て豆まきを行い、厄払い福を招く。	利用者	76名
			職　員	25名
R7.02.08～14	買い物ドライブ	豊里町内の産直、ドラッグストアで、個々に欲しい物を買い物購入していただき気分転換を図る。	利用者	31名
			職　員	17名
R7.03.01～03	ひな祭り会	ゲームを行ったり、雛饅頭や甘酒を召し上がって頂きながらひな祭りを祝う。	利用者	52名
			職　員	26名
実施回数		71回	延べ参加者数	1,381 名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参 加 者 数
R6.4.9	安全運転講習	管理者兼生活相談員	1名
R6.04.30	公用車リフト操作手順	介護福祉士	1名
R6.05.23	体位交換について	作業療法士	5名
R6.05.31	実習受け入れについて	介護福祉士	3名
R6.06.17	食中毒について	管理栄養士	6名
R6.06.29	口腔ケアについて	准看護師	4名
R6.07.29	認知症利用者との関わりについて	介護福祉士	4名
R6.08.22	ポジショニングについて	作業療法士	5名
R6.08.23	高齢者虐待防止の推進について	施設長	12名
R6.08.02～10.25	法令順守・コンプライアンス研修	施設長	11名
R6.08.29	感染症について	准看護師	5名
R6.9.5	高齢者虐待の防止の推進について	管理者兼生活相談員	4名
R6.9.30	身体拘束について	介護福祉士	4名
R6.10.29	着脱介助について	介護福祉士	3名
R6.12.16	感染症対策について	准看護師	6名
R6.12.17	入浴介助について	介護福祉士	4名
R7.01.11	高齢者と薬について	准看護師	5名
R7.01.27	オムツ交換について	介護福祉士	4名
R7.03.13	排泄介助について	介護福祉士	3名
R7.03.22	入浴介助の技術向上について	介護福祉士	5名
実　施　回　数	20 回	延　べ　参　加　者　数	95 名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参 加 者
R6.06.13	恵泉会経営者研修（ハラスメント研修）	社会福祉法人恵泉会	在宅サービス支援棟	職員1名
R6.07.16	介護職対応オンラインセミナー「窒息が起きた時の対応」	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R6.08.29	介護職対応オンラインセミナー「転倒時の対応」	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R6.11.14	痙攣時の対応	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R6.12.04	介護職対応オンラインセミナー「呼吸音の聴診」	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R6.12.05	認知症介護セミナー「認知症の人の食を支えるケア」	社会福祉法人東北福祉会	Web	職員1名
R6.12.20	人事考課者現任者研修	社会福祉法人恵泉会	在宅サービス支援棟	職員1名
R7.01.10	介護現場における医学的基礎知識	宮城県キャリアパス	Web	職員1名
R7.01.15	脳卒中について	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R7.02.04	患者急変時の観察ポイント	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R7.02.04	令和6年度恵泉会職員フォローアップ研修	社会福祉法人恵泉会	在宅サービス支援棟	職員1名

2. 会議開催状

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	実施回数	参加者
サービス・ケア会議	百楽荘の行事、利用者や家族の意見、業務連絡をし徹底を図る	12回	施設長・事務員・栄養士・DS職員
給食会議	委託業者と給食についての評価、検討及び情報交換	12回	施設長・栄養士・生活相談員・介護員
職員会議	各セクション、職員間の業務調整及び曙懸案の協議	13回	施設長・栄養士・生活相談員・看護師・介護員
デイサービス部会	各デイサービスとの情報交換	8回	生活相談員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内　容	実施回数	参　加　者
サービス向上検討委員会	評価項目毎の自己評価、改善項目の検討	14回	施設長、各委員
防災委員会	防災訓練の計画と実施、安全対策の内容検討	12回	施設長、防火管理者、各委員
マニュアル検討委員会	職員の業務標準化を目指しマニュアルの検討	4回	施設長、各委員
感染症対策委員会	感染症の防止と対策を図る	4回	施設長、各委員
安全対策検討委員会	ヒヤリハットの検証、検討、評価の実施	12回	施設長、各委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内　容	来訪者数
R6.09.16	衣川会	長寿を祝う会（民謡ボランティア）	8名
R6.09.17	熊谷流	長寿を祝う会（舞踊ボランティア）	6名
R6.09.18	GKY企画	長寿を祝う会（歌謡・舞踊ボランティア）	7名
R6.12.23	桃生ピーチダンベルクラブ	クリスマス忘年会（舞踊ボランティア）	5名
R6.12.24	桃生ピーチダンベルクラブ	クリスマス忘年会（舞踊ボランティア）	6名
R6.12.25	喜楽楽会	クリスマス忘年会（舞踊ボランティア）	4名
R7.01.08	フラハウオリ	新年会（舞踊ボランティア）	9名
R7.01.09	ふなっこ	新年会（舞踊ボランティア）	6名
R7.01.10	おじゃま～ず	新年会（舞踊ボランティア）	10名
		延べボランティア数	61名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R6.10.15 ～R6.10.25	宮城県立迫支援学校	産業現場等における実習	1名	9名

【今後の取り組み】

1 「幸せを感じて」いただく取り組み（自立支援・重度化防止）

- 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れるように支援します。
- 利用者個々に、リハビリテーション・機能訓練、口腔管理、栄養管理等、日々の過ごし方についてのアセスメントを実施し、それに基づいて、通所サービス計画の策定・実施・評価を行います。

2 サービス向上に向けた取り組み

- タブレット・ICT等のテクノロジーを活用し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、生産性向上を通じた働きやすい環境づくりを進めるため、生産性向上委員会を設置します。
- 作業療法士による個別機能訓練（個別機能訓練加算Ⅰイ）を実施することにより利用者の機能維持・向上を図ります。
- 医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応力を身につけられるようにします。
- 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努めます。
- 介護サービス評価と科学的介護情報システムの利用により、適切な処遇を確保しつつ、介護サービスの質の向上を図ります。

3　介護人材確保、職員の資質、専門性の向上の取り組み

・職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図ります。また、積極的に研修参加を促し、基本に忠実な介護実践と一歩先を見通せる職員の育成に努めます。

・法人内で実施している研修（介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策）への講師派遣により次世代の人材育成を行います。

4　地域包括システムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

・住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、利用者、利用者家族はもちろん地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたります。

・地域貢献事業・地域交流事業を豊里・津山地域の介護事業所合同で開催します。

・安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力体制を構築し支え合う体制を整えます。

5　感染症や災害への対応力強化に向けた取組

・新興感染症対策として、現行の感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施します。

・新型コロナウイルス感染症への対応経験を踏まえ、高齢者施設と医療機関の連携を強化し、感染症対応力を向上させます。また、感染症や災害に際して、継続的にサービスを提供出来るための体制づくりや介護現場における安全性の確保に取り組みます。

・登米市の福祉避難所として災害発生時、登米市と共同し一般避難所等で生活が困難な高齢者や障害者等の受け入れ支援を行います。

・地域（庚申地区、平林・笑沢事業所等連絡協議会）との災害協定を結び、災害時（火災・地震・防犯・原発事故等）の訓練等を地域の方々と連携して行います。

6　制度の安定性・持続可能性の確保

・業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画(BPC)に基づいた研修、訓練の実施を進めます。

・毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めます。

・中長期計画を作成し、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行います。

令和6年度
特別養護老人ホーム萩風園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市中田町浅水字長谷山352－4
2）設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4）開　設　年　月　日　　平成2年4月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	5 名
計	55 名

【　基　本　方　針　】

恵泉会創立50周年を終え、新たなスタートの年となりました。権利擁護を強く意識し、感染対策を継続しながらも、コロナ禍 以前のような取組みを行いながら事業を進めることができました。外出機会の確保、継続的な面会の実施、行事へのボランティア依頼など、利用者に喜んでいただけました。感染対策においては、これまでの経験と訓練などをいかし、コロナ発生時には 拡大を抑え、また、重症化も予防することができました。また、介護報酬改定にあわせ、協力医療機関との連携を進め、体制を強化することができましたし、ナースコールの導入や生産性向上委員会の立ち上げで、業務の効率化につなげることができま した。

経営面では、年度前半は安定していましたが、後半は長期入所稼働が低下し、大きく改善することが出来ませんでした。 短期入所においては、目標を上回ることができました。

【　重　点　項　目　】

① 地域包括ケアシステムの深化・推進

・虐待防止委員会で、虐待の芽チェックリストを作成し、職員の振り返りの機会を確保することで適切な介護にあたることができました。
・身体拘束廃止委員会で、ケースごとの検討を重ねることで身体拘束ゼロを継続することができました。
・感染症予防委員会で、BCPにそった訓練を行うなど発生に備え、実際の発生時には適切な対応を行い、拡大を予防したとともに重症化や状態低下をまねかずに支援を行うことができました。また、協力医療機関との会議や研修への参加も行い、体制づくりを強化することができました。
・災害対策に関しては、訓練の実施や事前準備のシミュレーション、救命講習など行いました。
・認知症対応力向上については、研修等を行い向上に努めましたが、継続して進めていきます。
・協力医療機関との連携会議や情報共有の体制を確立し、体制強化を図ることができました。結果、円滑な入退院や感染症発生時の対応につなげることができました。

② 自立支援・重度化防止の取組の推進

・褥瘡予防委員会を定期的に開催し、ケア方法を検討実践することで改善もみられましたが、新たに発生することもあり、予防の観点からのアプローチがさらに必要でした。
・各担当毎のコミュニケーションの強化については、言語非言語をうまく活用しながら継続していく必要があります。

③ 効率的なサービス提供に向けた働きやすい職場づくり

・ナースコールの入れ替え、電話設備の入れ替えを計画通り行うことができ、利用者への迅速な対応、業務の効率化を図ることができました。
・職員間でのコミュニケーションを大事にし、ハラスメントの無い職場づくりに努めました。
・障害雇用を2名継続し、能力にあった役割の提供を行うことができました。

④ 地域交流や連携、地域貢献の充実

・面会を通年で実施し、利用者と家族との交流機会を提供することができました。敬老会では家族との写真撮影の機会を設け、少しずつ機会を増やすことができています。
・行事へのボランティア参加を再開し、利用者に行事を楽しんでもらうことができました。
・ドライブなど外出機会を定期的につくり、地域との交流に努めました。
・地域の環境整備活動に地域の一員として参加することができました。
・消防の立会いのもとで総合防災訓練を実施することができました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　17,115 名
2. 年 間 稼 働 率　93.78 %
（目 標 稼 働 率　98.00 %）
3. 年間平均介護度　4.31
4. 月 別 利 用 状 況　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	232	217	210	216	217	240	248	240	225	225	252	317	2,839
要介護 4	561	506	499	469	496	445	491	510	544	517	529	562	6,129
要介護 5	640	775	762	804	793	746	678	617	651	581	533	567	8,147
計	1,433	1,498	1,471	1,489	1,506	1,431	1,417	1,367	1,420	1,323	1,314	1,446	17,115

5. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	2	1	0	0	1	1	2	0	2	3	2	2	16
退 所 者 数	1	0	0	1	1	1	2	1	4	1	2	3	17
月末入所者数	49	50	50	49	49	49	49	48	46	48	48	47	－1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
（1）行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R6.04.18	桜まつり	コロナウイルス感染予防対策としてご家族不参加で開催しています。職員の余興で一緒に身体を動かし楽しまれていました。	利用者 52名 職 員 15名
R6.5.3～4	菖蒲湯	菖蒲の香りに包まれ、無病息災を祈願し入浴されました。	利用者 33名 職 員 8名
R6.08.08	夏祭り	ボランティアによる踊りやスイカ割り等の余興で皆様大いに楽しまれていました。	利用者 50名 職 員 14名
R6.08.15	盆供養	新型コロナも落ち着いており、多くの利用者、職員が参加し、亡くなった方々のご冥福をお祈りした。	利用者 16名 職 員 7名
R6.09.15	長寿を祝う会	感染症予防対策としてご家族不参加で開催、敬老祝い金授与者のみご家族と写真撮影しています。アトラクションとして慰問ボランティアで和太鼓演奏が披露されました。	利用者 52名 職 員 14名
R6.12.25	クリスマス忘年会	当初は12月18日に実施する予定であったが、新型コロナ感染者が出て感染対応となった中止。25日に内容を変更して、サンタクロースに扮した職員が各居室を「メリークリスマス」と言いながらケーキとジュースを提供して回り、一緒に写真撮影をしている。利用者の方々はクリスマスの雰囲気を楽しまれていた。	利用者 43名 職 員 5名
R6.12.19 ～21	ゆず湯	特別浴と普通・中間浴の利用者全員が行えるよう3日間実施しました。ゆず湯にゆっくり入り体を温め、香りを感じてリラックスしていました。	利用者 47名 職 員 10名
R7.01.15	新年会	新年を迎え気持ちも新たに、今年1年の無病息災を皆でお祝いしました。	利用者 48名 職 員 8名
R7.02.03	節分	施設長、年男、年女が袴を着て棟内で豆まきを行いました。今年度はほとんどの利用者様が参加することができ、無病息災を願いました。	利用者 52名 職 員 9名
R7.3.19 ～23	彼岸供養	コロナも落ち着き、利用者や職員も一緒に亡くなった方々のご冥福をお祈りしました。	利用者 20名 職 員 2名
実施回数		10 回	延 べ 参 加 者 数　458 名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員　　1,683 名
2. 年 間 稼 働 率　　92.22 %
   （目 標 稼 働 率　　95.00 %）
3. 年間平均介護度　　3.02
4. 月別利用状況

（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	5	0	0	0	0	2	2	10	2	2	1	3	27
要介護 2	44	44	47	47	52	41	34	52	58	64	53	54	590
要介護 3	28	33	43	37	36	46	46	44	46	56	53	58	526
要介護 4	23	36	31	32	37	39	34	44	31	28	30	37	402
要介護 5	21	21	20	11	17	4	5	6	3	16	8	6	138
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	121	134	141	127	142	132	121	156	140	166	145	158	1,683

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R6.04.02	新任職員研修	施設長　他	2 名
R6.04,02～9.2	コンプライアンス研修	施設長	26 名
R6.04.17	急変時の対応に関する研修	准看護師	7 名
R6.06.06	プライバシー保護に関する研修	介護福祉士	7 名
R6.06.13	介護技術勉強会①	介護福祉士	6 名
R6.06.20	食中毒予防及び蔓延防止のための研修	管理栄養士	7 名
R6.07.11	虐待防止研修①	介護福祉士	6 名
R6.08.07	個人情報保護に関する研修	施設長	9 名
R6.08.14	事故発生防止のための研修①	介護福祉士	8 名
R6.09.05	褥瘡対策に関する研修	介護福祉士	6 名
R6.09.11	新任職員研修	施設長　他	1 名
R6.09.18	認知症に関する研修	看護師	6 名
R6.10.03	身体拘束等の適正化のための研修②	介護福祉士	7 名
R6.10.03	終末期ケアについての研修	看護師	7 名
R6.10.17	サービス提供に関わる勉強会（生産性向上について）	施設長	9 名
R6.11.21	虐待防止研修及び身体拘束等の適正化のための研修	介護福祉士	9 名
R7.01.10	新任職員研修	施設長　他	2 名
R7.01.22	ハラスメントに関する研修	施設長	8 名
R7.02.13	介護技術勉強会①	介護福祉士	7 名
R7.02.27	介護ロボット活用に関する研修	パラマウントベット職員	9 名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R6.05.24	令和6年度OJT指導者養成研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R6.05,24～8.30	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	オンライン	職員1名
R6.06.19	登米栄養士会福祉部会研修会	登米栄養士会	登米市迫町	職員1名
R6.06.20	安全運転管理者講習会	宮城県公安委員会	水の里ホール	職員1名
R6.07.08	恵泉会新任職員研修	恵泉会	登米市迫町	職員1名
R6.07.11	令和6年度介護現場の生産性向上に関せるセミナー	厚生労働省	オンライン	職員1名
R6.07.30	令和6年度指定介護保険事業者集団指導	宮城県東部保健福祉事務所	石巻市	職員1名
R6.08.26	恵泉会人事考課者現任研修（前期）	恵泉会	登米市迫町	職員1名
R6.08.28	令和6年度給食管理責任者研修会	宮城県石巻保健所	石巻市	職員1名
R6.9.4～5	安全衛生推進者等養成講習	宮城県労働基準協会	栗原市	職員1名

R6.09.05	コミュニケーション技術・対人援助技術研修(2班)	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R6.09.12	宮城県ケアマネジャー登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会	オンライン	職員1名
R6.09.17	生産性向上セミナー	宮城県	オンライン	職員1名
R6.11.07	令和6年度社会福祉法人事務担当者研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R6.11.22	令和6年度権利擁護研修会(身寄りがない方)	登米市	登米市南方町	職員1名
R6.12.05	令和6年度第2回感染対策研修会	登米市米谷病院	登米市東和町	職員4名
R6.12.12	令和6年度第2回感染対策研修会	登米市米谷病院	登米市東和町	職員3名
R6.12.20	恵泉会人事考課者現任研修(後期)	恵泉会	登米市迫町	職員1名
R7.01.10	宮城県ケアマネジャー登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会	登米市迫町	職員1名
R7.2.3～2.21	BCP策定後の研修及び訓練に関するセミナー	厚生労働省	オンライン	職員25名
R7.02.28	「ゆい」就労支援セミナー	障害者就業・生活支援センター「ゆい」	登米市迫町	職員1名
R7.03.06	令和6年度登米市地域感染症対策強化研修会	宮城県石巻保健所	オンライン	職員1名
R7.03.07	宮城県ケアマネジャー登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会	登米市迫町	職員1名
R7.03.11	登米栄養士会福祉部会研修会	登米栄養士会	登米市迫町	職員1名
R7.03.13	介護情報システム(LIFE)説明会介護事業所向け	介護情報システム(LIFE)説明会事務局	オンライン	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日数	参加職員
職員会議	各セクション、職員間の業務調整及び、諸懸案の協議検討を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
ケアスタッフ会議	利用者の介護全般にかかる諸懸案の協議検討を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
給食会議	利用者や各セクション、委託業者と給食についての評価、検討等を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
連絡調整会議	各セクションの代表が、施設運営に関わる事項の協議検討を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
サービス担当者会議	具体的なサービス内容の検討と、専門職の意見を求め調整を図りました。	26回	施設長、生活相談員他
栄養ケアマネジメント会議	栄養ケアマネジメントに関わる関連職種間の情報交換、栄養ケアの評価と検証を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
介護部ミーティング	業務改善や利用者介護の対応の統一等を検討しました。	5回	介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日数	参加職員
入所判定検討委員会	入所申込の確認、入所判定基準に従い優先順位の決定を行いました。	6回	施設長、生活相談員他
サービス向上検討委員会	サービス評価、サービス情報公表の実施と評価、定期的な各種マニュアルの見直し等を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
防災対策・安全運転検討委員会	防災計画の作成、防災訓練の実施、安全運転の啓蒙等を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
感染症予防対策委員会	感染症の予防及び蔓延防止、衛生管理態勢の検討を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
褥瘡予防対策委員会	褥瘡予防計画及び対策の検討を行いました。	4回	施設長、生活相談員他
身体拘束・虐待廃止対策委員会	身体拘束ゼロ対策及び虐待廃止対策の検討を行いました。	5回	施設長、生活相談員他
事故防止・苦情対策委員会	事故防止対策、ヒヤリハット、苦情処理、安全対策の検討を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
生産性向上委員会	現場における課題の分析を行い、利用者の安全・職員の負担軽減を介護ロボットや ICT 等のテクノロジーの活用も含めた検討を行いました。	4回	施設長、生活相談員他

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R6.08.08	佐沼鹿踊伝承会	夏祭りの余興として鹿踊を披露していただきました。	12 名
R6.09.15	米山丸山太鼓	長寿を祝う会の余興として打ち囃子を披露していただきました。	10 名
計			0 名

(2) 実習

年月日	団体名	実習・見学内容	実人数	延人数
R6.5.8～9.4	宮城県登米総合産業高等学校	施設実習(3学年/16日間)	2 名	32 名
計			2 名	32 名

【 今 後 の 取 り 組 み 】

①地域包括ケアシステムの深化・推進

・虐待の防止、身体拘束ゼロをの防止を推進するための体制づくりを委員会中心に行っていきます。
・認知症を抱える利用者が増える中で、認知症に関する知識、理解、対応力を向上させるため、研修等へ参加や企画を行い、よりよいサービスにつなげ、居心地のよい場所を提供します。
・感染症予防委員会、防災対策委員会を中心として、BCPの見直しを行うともに、研修の実施、訓練（シミュレーション）を実施し、必要なサービスが継続的に提供できる体制を構築します。
・医療機関の協力得ながら、感染対応力の向上を図り、利用者の快適な生活を実現します。
・協力医療機関との連携強化のため、緊急時の対応や情報の共有を適宜行い、看取りを含めた、できる限り施設での生活を継続できる体制づくりと必要時の円滑な入院と早期退院を実現することで、空床期間を少なくします。

②自立支援・重度化防止の取組の推進

・利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを図る中で、その人らしい生活が実現できるケアを目指します。
・褥瘡ゼロを実現するため、日ごろからの観察や対策など介護医療連携で取り組みます。
・活動、栄養、口腔機能など多職種で維持、予防に取り組みます。

③効果的なサービス提供に向けた働きやすい職場づくり

・生産性向上委員会を中心に検討し、業務の効率化、利用者への迅速な対応と職員の介護負担軽減を行います。
・職員間の意見交換ができる場を作り、ハラスメントの無い、職員が意欲的に働ける職場作りを行います。
・実習の受け入れを積極的に行い、次世代を担う人材の確保に努めます。
・障がいのあるなしに関わらず、だれもがその能力と適正に応じた働き方ができる職場づくりを行います。

④地域交流や連携、地域貢献の充実

・利用者の皆様が面会や催しを通じ、ご家族や地域の方と交流が持てる機会を提供していきます。
・職員が地域の一員であることを認識し、地域活動への参加協力や出前講話など行っていきます。

⑤安全・安心なサービスの提供

・同様の事故を繰り返さないよう、事故検証や対策の徹底、職員のケア力向上を図ります。
・車両を新規購入し、安全な送迎や外出を行います。

令和6年度
中田デイサービスセンター菊風荘　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市中田町浅水字長谷山352－2
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開 設 年 月 日　　平成2年3月15日
5. 利　用　定　員　　25 名

【基本方針の実施内容について】

恵泉会創立50周年を終え、新たなスタートの年となりました。権利擁護を強く意識し、感染対策を継続しながらも、コロナ禍以前のような取組みを行いながら事業を進めることができました。行事へのボランティアの再開や地域貢献活動として、地域のミニデイへの参加、ボランティア講習への講師派遣などを行い、地域とのつながりを持つ事ができました。介護実習についても、受け入れ、メニューを段階的に設定するなど、工夫をこらし実施できています。設備については、入浴機器導入について補助金を活用することができ、経費削減にもつなげることができました。職員教育においては、外部研修への参加機会を増やし、学習機会を増やすことできました。

経営面においては、年度当初、新型コロナウイルス発生により利用人数の制限があるなかでのスタートとなり、夏季まで徐々に、リハビリ希望者などを中心に新規契約者、利用日数とも増加しましたが、後半に入り、稼働を落とす結果となり、昨年を大きく上回ることができませんでした。

【　重　点　項　目　】

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進
   ・人権擁護について、委員会を中心に検討し、虐待や身体拘束などの権利侵害を発生させることはありませんでした。
   ・BCPに沿って対応を行い、コロナウイルス感染症発生時も適切に対処し、拡大を防止出来ました。
   ・認知症の方への支援については随時確認を行い、統一したケアを提供することで落ち着いて利用していただくことができました。
2. 自立支援・重度化防止の取組の推進
   ・個別及び集団での機能訓練を実施し、実施者数を伸ばし、利用者の満足に繋げることができました。
   ・利用者一人一人の状態を把握し、支援方法を共有、統一した支援に繋げることができました。
3. 効率的なサービス提供に向けた働きやすい職場づくり
   ・生産性向上委員会を設置し、職員一人につき5分の効率化案を吸い上げ、30分程度の効率化を目指しました。結果として意識づけにもつなげることができました。
   ・入浴機器について補助金を活用し購入設置を行い、費用を抑えながら入浴の効率化を図りました。
   ・実習受け入れを積極的に行い、メニューも段階的に設定することで、実習生からも満足をいただくことができました。
4. 地域交流や連携、地域貢献の充実
   ・行事へのボランティア参加を再開し、利用者に喜んでいただけました。
   ・地域のミニデイサービスに6回参加し、介護予防等についての取組を紹介しました。ボランティア参加育成の講習会に講師を派遣し、介護予防についての指導方法について紹介しました。
   ・消費者被害について、外部講師を招き被害防止に取り組みました。
5. 安全・安心なサービスの提供
   ・ルールを徹底し、また、運転者・同乗者にアンケート実施し、運転技術の向上に努めました。
   ・安全運転を継続し、無事故無違反での送迎を行えました。
   ・事故防止検討委員会で、事故検証を重ねましたが、軽微の内容のみで改善に繋がりました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員	6,067	名	
2. 年 間 稼 働 日 数	309	日	
3. 年 間 稼 働 率	78.54	%	(通所介護＋総合事業+生きがいデイ)
	(72.74)	%	(通所介護)
	(5.80)	%	(総合事業)
4. 年間平均介護度	2.90	(通所介護)	

5. 月別利用状況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	46	67	52	57	60	41	51	45	44	49	59	57	628
要介護2	108	109	104	115	118	103	86	100	116	113	113	146	1,331
要介護3	145	181	198	207	218	182	217	202	196	164	165	173	2,248
要介護4	78	98	83	97	95	74	61	44	40	40	39	52	801
要介護5	43	47	43	43	43	63	72	66	48	54	47	42	611
計	420	502	480	519	534	463	487	457	444	420	423	470	5,619
事業対象者	4	5	4	5	4	7	6	4	3	4	7	6	59
要支援1	0	0	0	0	0	0	2	1	4	4	4	4	19
要支援2	26	21	27	35	33	29	36	37	39	39	26	22	370
計	30	26	31	40	37	36	44	42	46	47	37	32	448
合計	450	528	511	559	571	499	531	499	490	467	460	502	6,067

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	3	4	0	1	3	2	1	3	0	2	3	23
契約終了者数	3	1	0	0	0	4	3	0	2	1	2	3	19
月末契約者数	47	49	53	53	54	53	52	53	54	53	53	53	+4

【利用者サービスの状況】

1.　生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R6.05.04	菖蒲湯	端午の節句に菖蒲湯につかることで無病息災を願い心身ともにリラックスしました。季節の風物詩を体験し、生活意欲の向上に繋げました。	利用者　21名 職員　3名
R6.05.23	ミニ運動会	春の運動会を開催しました。2組に分かれて紅白玉入れ、筒通しを競い合いました。身体を動かし利用者同士の交流を深めて楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者　20名 職員　3名
R6.07.06	七夕会	短冊に願い事を書き、竹に飾ったり、行事を通して季節を感じて頂きました。	利用者　25名 職員　3名
R6.08.09	夏祭り	ボランティアの方々「三浦吉記と仲間の会」による余興や、千本引きでの景品の提供、模擬店ではかき氷を提供し、季節の行事として楽しいひと時を過ごして頂きました。	利用者　23名 職員　7名
R6.09.17	長寿を祝う会	長寿をお祝いとして、長年の労を感謝し、これからの健康を祈りました。アトラクションを鑑賞し、楽しいひと時を過ごして頂きました。	利用者　24名 職員　8名
R6.10.31	ミニ運動会	秋の運動会を開催しました。競技を紅組と白組に分けて競い、優勝旗授与、記念品を配布しました。	利用者　19名 職員　3名
R6.11.30 R6.12.25	クリスマス飾りつけ　クリスマス忘年会	クリスマスの飾りつけや、利用者様には日ごろの感謝としてプレゼントを贈りました。スライドショーで一年を振り返り、皆でタップダンスを行い、楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者　38名 職員　14名
R6.12.20 R6.12.21	ゆず湯	柚子を浴槽に浮かべ、香りや季節感を感じて頂くとともに気持ちをリフレッシュする機会となりました。	利用者　37名 職員　6名
R6.12.28	餅つき	正月に向けた準備として餅つき会を開催しました。水の木に杵と臼でついた餅、舞玉、正月飾りを飾り、無病息災を願いました。	利用者　19名 職員　7名
R6.02.01	節分ゲーム	豆まきを行い、一年間の無病息災を願いました。	利用者　16名 職員　6名
実施回数	11回	延べ参加者数	302 名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

(1)内部研修

年 月 日	内 容	講師(講演者)	参 加 者
R6.04.09～8.1	コンプライアンス研修	施設長	11 名
R6.06.05	緊急時対応に関する研修	准看護師	8 名
R6.06.08	認知症研修	介護福祉士	8 名
R6.07.01	食中毒予防研修	准看護師	7 名
R6.07.22	入浴介助についての研修	介護福祉士兼生活相談員	6 名
R6.08.14	事故発生防止のための研修	主任	2 名
R6.08.21	プライバシー保護についての研修	介護福祉士兼生活相談員	7 名
R6.08.23	個人情報保護に関する研修	施設長	8 名
R6.09.25	接遇についての研修	介護福祉士兼生活相談員	8 名
R6.09.27	新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画に関する研修	准看護師	8 名
R6.10.03	終末期ケアについての研修及び終末期ケアに関わる職員の心のケア研修	看護師	1 名
R6.10.13	身体拘束等の適正化のための研修	介護福祉士	1 名
R6.11.04	虐待防止についての研修	介護福祉士	8 名
R6.11.18	事故発生防止のための研修①	介護福祉士兼生活相談員	7 名
R6.12.12	コンプライアンス及び、ハラスメントに関する研修	施設長	2 名
R6.12.26	介護実践研修	介護福祉士兼生活相談員	8 名
R7.01.08	介護予防及び要介護度進行予防に関する研修	管理者	7 名
R7.02.24	身体拘束及び虐待防止に関する研修	介護福祉士	7 名
R7.03.03	事故発生防止のための研修②	介護福祉士兼生活相談員	7 名

(2)外部研修

年 月 日	内 容	講師(講演者)	参 加 者
R6.07.17	接遇講習会	ソウェルクラブ総務部様	1 名
R6.12.12	感染対策研修	東京サラヤ株式会社様	1 名
R7.02.22	みやぎ訪問歯科相談室研修	宮城県歯科医師会様	1 名
R7.02.26	登米地域感染症対応強化研修	登米市民病院看護師様	1 名

2．会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会議名	内容	開 催 日 数	参 加 職 員
職員会議	萩風園を含め施設管理等運営に関しての検討	12回	生活相談員1名
デイサービス調整会議	デイ行事企画・事業執行等の検討	12回	施設長他12名
給食会議	給食内容・栄養管理等の検討	12回	生活相談員1名

3. 委員会開催状況

(1)定例委員会

委員会名	内容	開催日数	参加職員
防災対策・安全運転委員会	防災計画の作成、防災訓練の実施	12回	施設長他係2名
サービス向上委員会	①サービス提供内容の検討②介護サービス提供計画の作成③サービス評価の実施・評価④サービス情報公表の実施・評価⑤内部・外部職員研修計画の作成⑥研修会の開催⑦記録整備の検討毎月1回別添計画の内容で実施	12回	施設長他係3名
事故防止・苦情対策検討委員会	事故防止対策、ヒヤリハット、苦情処理、安全対策の検討、記録整備の検討。毎月1回別添計画の内容で実施	12回	施設長他係3名
身体拘束・虐待廃止対策委員会	身体拘束ゼロ対策及び虐待廃止対策の検討を行います。	4回	施設長、生活相談員他
感染症予防対策委員会	感染症の予防及び蔓延防止、衛生管理態勢の検討を行います。	12回	施設長、生活相談員他
褥瘡予防対策委員会	褥瘡予防計画及び対策の検討を行います。	4回	施設長、生活相談員他
生産性向上委員会	現場における課題の分析を行い、利用者の安全・職員の負担軽減を介護ロボットや ICT 等のテクノロジーの活用も含めた検討を行います。	4回	施設長、生活相談員他

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R5.08.09	三浦吉記と仲間の会	舞踊、歌や踊りなど	6名

(2) 活動ボランティア

年月日	団体名	内容	
4月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	
5月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	
6月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	
7月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	
8月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	
9月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	
10月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	
11月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	
12月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	
1月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	
2月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	
3月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	

(3) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延べ人数
R6.06.03～14	迫支援学校　高等部3年	産業現場実習	1	1名
R6.10.15～25	迫支援学校　高等部2年	産業現場実習	1	1名
R6.07.12～11.08	登米産業高等学校　福祉科1年	介護体験実習	1	1名

【 今 後 の 取 り 組 み 】

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進

・認知症を抱える利用者が増える中で、認知症に関する知識、理解、対応力を向上させるため、研修等への参加や企画を行い、よりよいサービスにつなげ、居心地のよい場所を提供します。

・人権の擁護、虐待、身体拘束の防止を推進するための体制づくりを委員会中心に行っていきます。

・感染症予防委員会、防災対策委員会を中心として、BCPの見直しを行うとともに、研修の実施、訓練（シュミレーション）を実施し、必要なサービスが継続的に提供できる体制を構築します。

2. 自立支援・重度化防止の取組の推進

・個別及び集団での機能訓練を実施し、利用者の意向にそった生活がいつまでも送れるように支援します。

・口腔ケアを適切に行い、口腔機能維持や誤嚥性肺炎等の予防に努めます。

・利用者一人一人に応じたコミュニケーションを図りながら状況把握を確実に行い、状態にあったケアが行えるように研修を実施し、自立、重度化防止を図ります。

3. 効率的なサービス提供に向けた働きやすい職場づくり

・生産性向上委員会を充実させ、業務の効率化を図り、利用者への迅速な対応と職員の介護負担軽減を行います。

・職員間の意見交換ができる場を作り、ハラスメントの無い、職員が意欲的に働ける職場作りを行います。

・実習の受け入れを積極的に行い、次世代を担う人材の確保に努めます。

4. 地域交流や連携、地域貢献の充実

・利用者の皆様がご家族、地域の方と交流が持てる機会を提供していきます。

・地域の一員であることを認識し、地域活動への参加協力や出前講話など行っていきます。

・災害等において地域と連携し、共同での訓練実施など、災害対策を強化します。

・SNS等の活用により、事業所の魅力を発信していきます。

5. 安全・安心なサービスの提供

・同様の事故を繰り返さないよう、事故検証や対策の徹底、職員のケア力向上を図ります。

・送迎に関してのルールを徹底し、車両事故0を目指します。

令和6年度
特別養護老人ホーム迫風園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市迫町北方字大洞56番地6
2）設　置　主　体　　社会福祉法人「恵泉会」
3）経　営　主　体　　社会福祉法人「恵泉会」
4）開　設　年　月　日　　平成5年4月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	10 名
計	60 名

【　基　本　方　針　】

令和6年度は、介護・障害・医療報酬の同時改定を含む大きな制度改正があり、介護を取り巻く環境が目まぐるしく変わる中で、福祉事業の運営を継続、発展させていくために職員が一丸となって施設運営に携わってきました。
私たちは常に施設運営の方向性やあるべき姿を求めるとともに、恵泉会の基本理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」を基本とした質の高いサービスを提供することで、利用者の自立した生活の実現を目指しました。また、利用者の満足度を高め、高い稼働率を維持することで経営の安定化に努めました。
業務改善にも取り組み生産性の向上を図ることで、職員が働きやすい職場づくりに努めました。
新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症発生については、利用者の生命を脅かし、利用者家族の大きな心配にもつながってしまうことから、入念な感染予防対策に取り組んできました。
災害対策や事故防止対応についても定期的に検討を行い、利用者にとって安全・安心な施設づくりに取り組みました。

【　重　点　項　目　】

1．地域包括ケアシステムの深化・推進の取り組み
○地元高校と県内大学医学部からの介護実習生を受け入れ、地域貢献と質の高いマンパワー確保のために取り組みました。
○認知症カフェ（迫包括支援センター、翠風荘と合同）を開催し、利用者家族や地域住民とふれあうことで施設や高齢者介護　に対する参加者の理解を深めることができました。
○感染症対策を実践しながら、利用者と家族の面会機会を最大限確保するように努めました。しかし、施設内でのコロナ感染者が確認された際は感染症を拡げないため、面会予約をキャンセルせざるを得ない期間もありました。
○虐待ケースの受け入れ等、地域包括支援センターからの協力要請を積極的に受け、地域住民の安全な生活を守りました。
○ボランティアの受け入れに関しては、施設内でのコロナ感染症の発生が確認されたこともあり、感染予防対策の観点から受け入れを中止せざるを得ませんでした。

2．自立支援・重度化防止及び尊厳の保持に向けた取り組み
○利用者が可能な限り自分らしい生活を送るため、残存能力の維持向上を目的とした機能訓練を行いました。
○一人一人の利用者に応じた栄養管理を計画的に提供し、栄養状態の維持改善に努めました。
○利用者の生活に楽しみやメリハリ感が持てるよう各種行事やアクティビティ等の取り組みを行い、利用者の充足感や満足感を高められるよう努めました。
○利用者の尊厳と人権を守るため、人権擁護や虐待防止に関する研修を行い、全ての職員が高い人権意識を持って利用者の支援にあたれるよう努めました。
○アンケートによって利用者の意見や生活に関する満足度を吸い上げ、利用者の満足度をさらに高められるよう、サービスの質の向上に努めました。
○ヒヤリハットで事故等の原因を究明し、具体的な再発防止策を講じることで利用者の安全な生活の確保に努めました。

3．良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくりの取り組み
○介護ロボットの活用など、介護現場における生産性の向上を図ることで、利用者の安全な生活を確保するとともに、職員にとっても働きやすい職場づくりに取り組みました。
○委員会で業務の無駄等について検討し、利用者に対して質の高いサービスを効率的に提供できるよう努めました。
○オンラインを活用した外部研修の受講や、職員による内部研修の開催により、職員個々の知識とスキル向上を図りました。
○労働災害やハラスメントに関する研修を行い、職員にとって安全、安心な職場環境をつくりました。

4. 安定した経営と持続可能な運営の取り組み
○令和6年度は施設内でのコロナ感染症が数回発生し、利用者の受け入れに困難が生じた時期もありましたが、できる限り稼働率を確保し、収入の安定化に努めました。
○空調設備の入れ替えを行い、ボイラー方式からエアコンに切り替えたことによって、今後は燃料光熱費のコストダウンが見込まれます。なお、電気や水等の節約には今後も継続的に取り組んでいきます。
○老施協への参加によって全国や県単位での高齢者福祉に関する現状を把握し、自施設だけでなく法人内の他施設とも情報を共有しながら法人全体での経営改善に取り組みました。

5. 感染症や災害への対応力強化の取り組み
○令和6年度は施設内においてコロナ感染症のクラスターが2回発生しました。感染源の特定は難しく、ウィルスの感染力が強くなっていることを実感しております。現在も感染対策を怠らず、環境も含めた感染予防の徹底を図っております。
○自然災害の発生リスクに対しては、避難訓練の実施と業務継続計画（BCP）の周知により、有事の際には利用者の安全を最優先で確保するための体制を構築しております。
○災害時における関係機関や近隣との連携については、感染症対策等の事情もあり、めぼしい体制構築の進展はありませんでした。今後、地域の区長等へ協力を要請する予定であり、地域との連携体制の構築を進めていきます。

6. ⑥医療機関との連携強化と看取り介護の取り組み
○嘱託の内科医による定期的な訪問診療を受け、必要時には緊急診療も受けられることで、利用者の看取りニーズにも応えております。また、緊急時の入院対応についても、嘱託医の指示で登米市民病院が受け入れてくれることになっており、利用者の様々な医療ニーズへの対応ができております。
○嘱託の歯科医とも連携しており、利用者の口腔衛生管理を通じた健康状態の維持管理に努めております。
○利用者と家族の意思を尊重し、利用者が最後まで住み慣れた環境で生活できるよう看取り介護を実践しております。施設で看取りされた多くの利用者家族より施設職員に対する感謝の言葉をいただきました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　17,695 名
2. 年 間 稼 働 率　96.96 %
（目 標 稼 働 率　98.00 %）
3. 年間平均介護度　4.26
4. 月 別 利 用 状 況　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	270	248	210	217	197	180	186	192	217	217	224	248	2,606
要介護 4	630	660	635	651	636	605	657	656	712	700	611	669	7,822
要介護 5	600	600	643	643	651	613	663	550	531	593	560	620	7,267
計	1,500	1,508	1,488	1,511	1,484	1,398	1,506	1,398	1,460	1,510	1,395	1,537	17,695

5. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	1	1	0	0	1	2	2	4	2	1	1	15
退 所 者 数	0	1	2	0	2	0	1	6	1	0	1	1	15
月末入所者数	50	50	49	48	49	50	49	45	48	50	50	50	± 0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
(1) 行事

実 施 日	行　事　名	内　　容	参 加 者 数
4月25日	春まつり	外部アトラクション（優友会）を招き春まつりを実施している。昔の曲に合わせて踊りやフラダンスを披露していただき楽しい雰囲気で季節を感じていただいている。	利用者　37名 職　員　10名
7月7日	七夕会	余暇活動時に作成した七夕飾りや短冊を竹に飾り付け、利用者同士コミュニケーションを図り、季節を感じていただいている。	利用者　26名 職　員　11名

7月18日	夕涼み会	夏らしい装飾をした会場の中で、千本引きや射的といったゲームを楽しみ夏の季節と夏祭りの気分を感じていただく。	利用者 40名 職 員 12名
8月20日	盆供養	心性寺の住職様を迎え盆供養が実施された。お経を唱えていただき焼香し手を合わせ物故者の冥福をお祈りしている。	利用者 13名 職 員 4名
9月12日	長寿を祝う会	外部アトラクション(風の鼓郷)を招き利用者様と職員で式典を実施。創作太鼓の演奏には、迫力があり利用者様も感動されたいた。お祝い膳で長寿を祝っている。	利用者 46名 職 員 10名
10月6日	お月見会	季節の果物やすすき、桜紙で作った団子を飾り、秋の風物詩であるお月見会を行い利用者に季節を感じていただいている。	利用者 10名 職 員 2名
12月25日	クリスマス会	サンタクロースとトナカイがソリに乗って登場し、利用者様へプレゼントを渡してクリスマス気分を感じていただく。	利用者 47名 職 員 7名
12月27日	餅つき会/正月飾り付け	年末恒例の餅つき・正月飾り付けを、職員と利用者様で実施。お供え餅を丸め、水の木に飾りつけを行っている。	利用者 19名 職 員 5名
1月8日	新年会	獅子舞やおみくじ、御祝膳で新春の季節を感じていただく。	利用者 23名 職 員 9名
2月2日	節分・豆まき	年男・年女の利用者様に袴を着せ記念写真を撮影している.食堂にて鬼に見立てたボードを使い豆まきが行われる。昼食には豆料理食を提供し季節を感じていただいている。	利用者 21名 職 員 6名
3月2日	ひなまつり	お雛様リースの周りに桃の花を職員と一緒に飾り付けている。和菓子とジュースを召し上がり茶話会を楽しんでいただいている。	利用者 14名 職 員 4名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員　3,592 名
2. 年間稼働率　98.41 %
   (目標稼働率　92.00 %)
3. 年間平均介護度　3.10
4. 月別利用状況　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	2	4	4	0	4	8	6	13	41
要介護 1	9	18	22	24	33	31	28	18	20	13	12	10	238
要介護 2	77	58	66	82	54	61	69	62	110	121	102	103	965
要介護 3	81	105	102	107	101	110	123	88	88	86	79	58	1,128
要介護 4	64	92	51	50	46	48	58	42	64	67	48	29	659
要介護 5	37	51	78	70	54	35	38	39	46	38	37	38	561
計	268	324	319	333	290	289	320	249	332	333	284	251	3,592

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内 容	講師（講演者）	参 加 者
4月9日	新規採用職員研修	施設長 他4名	1 名
5月15日	コンプライアンス研修（法人コンプライアンスガイドラインの理解と働きやすい職場作りについて）	施設長	28 名
5月23日	感染症対策BCP研修・訓練	副主任	8 名
6月12日	防災研修（消火器、発電機の取り扱い）	副主任	17名
7月17日	ハラスメント研修	施設長	7 名
7月25日	食中毒研修	管理栄養士	8 名
10月31日	感染症研修（感染症の予防及び蔓延の防止について）	副主任	6 名
10月31日	感染症対策BCP研修・訓練	副主任	6 名
11月3日	見守り機器活用研修	介護福祉士	4 名
11月6日	身体拘束廃止・高齢者虐待研修	副主任・介護福祉士	6 名
11月13日	メンタルヘルス研修	看護師	7 名
11月14日	接遇研修	介護福祉士	3 名
11月21日	介護事故防止研修	介護福祉士	3 名
11月29日	事故防止研修（気道異物除去の手順）	副主任・介護福祉士	10 名
2月4日	令和6年度恵泉会職員フォローアップ研修	鉄道写真家武川健太氏	1 名
2月20日	救命救急研修	副主任	7 名
2月27日	看取り介護研修	副主任	7 名
2月28日	令和6年度「ゆい」就労支援セミナー	宮城障害者職業センター	1 名
3月2日	褥瘡対策研修	看護師	5 名
3月5日	認知症介護研修	介護福祉士	6 名
3月20日	防犯研修	副主任	7 名
3月24日	プライバシー・個人情報保護研修	副主任	6 名
3月30日	高齢者虐待・身体拘束廃止研修	副主任・介護福祉士	6 名

（2）外部研修

年 月 日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
5月23日	令和6年度登米市在宅医療・介護連携研修会	宮城県ケアマネージャー協会登米支部	登米市	職員1名
5月24日	令和6年度OJT指導者養成研修	宮城県社会福祉協議会	Web	職員1名
6月18日	令和6年度認知症カフェ研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
6月20日	令和6年度宮城県安全運転管理者等法定講習会	登米祝祭劇場	登米市	職員1名
7月11日	令和6年度高齢者虐待防止・身体拘束禁止研修	宮城県老人福祉施設協議会	Web	職員1名
7月16日	東北大学スキルスラボ：窒息時の対応方法	東北大学クリニカル・スキルスラボ	Web	職員1名
7月23日	令和6年度コミュニケーション技術・対人援助技術研修	みやぎハートフルセンター	仙台市	職員1名
8月18日	令和6年度生産性向上取組の普及・拡大に向けた介護事業所向けセミナー	厚生労働省	Web	職員1名
8月2日	養介護施設従事者等による高齢者虐待対応（基本研修）	宮城福祉オンブズネット「エール」	仙台市	職員1名
10月10日	令和6年度看取りケア研修	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員1名
10月23日	登米市地域生活支援拠点等整備に係る事業所説明会	登米市障害者自立支援協議会	登米市	職員1名

10月24日	排泄ケアセミナー	㈱モルテン	Web	職員1名
2024/11/7 ～2025 /1/27	宮城県認知症介護実践者研修	宮城県介護研修センター	大和町	職員1名
2月4日	令和6年度恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会本部	登米市	職員1名
2月28日	令和6年度「ゆい」就労支援セミナー	地域生活支援センターゆい	登米市	職員1名
3月6日	令和6年度登米地域感染症対応強化研修会	宮城県東部保健福祉事務所	Web	職員1名
3月13日	科学的介護情報システム第2回説明会介護施設・事業所職員向け①	厚生労働省	Web	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開催回数	参　加　職　員
リーダー会議	グループケアを進めるうえでの業務改善点を話し合い、協議しながらグループ間の調整を図る	3回	グループリーダー
ケア会議	介護全般及び個別支援内容の統一を図る	12回	施設長、管理栄養士、相談員 看護師、介護職員
職員会議	利用者の生活の質の向上に向け、業務全体が円滑に進むよう連絡、調整を図る	12回	全職員
給食会議	充実した食事提供のため、献立、調理に関する事項の検討及び改善を行う	12回	全職員

(2) その他の会議

開催回数	内　容	場　所	出　席　者
12回	モニタリング・ケアカンファレンス(ケアプランの見直し等)	介護部	相談部、介護部、給食部、看護部
28回	サービス担当者会議(更新・変更・新規)	会議室	施設長、相談部、介護部、給食部、看護部、利用者、家族

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　容	開催回数	参　加　職　員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止等、リスクマネジメントの検討	11回	施設長、各委員
感染症・褥瘡対策・看取り委員会	感染症・褥瘡予防、看取り対応に関する検討	11回	施設長、各委員
アクティビティケア検討委員会	地域交流や日中活動の内容検討 科学的根拠に基づいた理論と技術の実践の検討	12回	施設長、各委員
生産性向上委員会	職員の資質の向上やサービス内容の向上 業務の省力化を検討し、生産性の向上を図る。	12回	施設長、各委員
防災委員会	防災、防犯、BCPの研修・訓練に関する検討	12回	施設長、各委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
	無		

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
2024/5/8～2024/11/16	登米総合産業高等学校	介護実習	2名	32名
2024/6/25～2024/10/12	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	18名
2024/11/5～2024/12/26	迫桜高等学校	介護実習	2名	14名
11月6日	東北医科薬科大学	介護実習	2名	2名
計			7名	66名

【今後の取り組み】

1 地域包括ケアシステムの深化・推進の取り組み

・実習やインターンシップ、見学、ボランティアを積極的かつ丁寧に受け入れ、将来のマンパワーの養成と確保に努めます。
・今年度、大変好評であった認知症カフェ(RUI Café)の開催を来年度は複数回行い、施設を知ってもらうことで地域と強くつながりが持てるよう取り組みます。
・感染対策との両立を図りつつ、家族参加型の行事や面会機会を増やし、家族とのつながりを大切にしていきます。
・地域課題について、地域包括支援センター等の関係機関と綿密に連携し対処します。
・ボランティアを積極的に受け入れ、施設に来て直接見ていただくことで、地域住民の理解と協力をいただけるよう取り組んでいきます。

2 自立支援・重度化防止及び尊厳の保持に向けた取り組み

・利用者が自分らしく生活を送れるよう機能訓練、口腔ケア、栄養管理について多職種で連携し、日常介護について見直しを行いながら、利用者の身体機能の維持改善と重度化防止を推進します。
・利用者の状態に応じた栄養管理を計画的に行い、栄養状態の維持及び改善を図ります。
・利用者が生活のメリハリや充足感を持ちながら生活できるよう、音楽療法や各種行事、簡単にできるアクティビティ等を実施し、日常生活を楽しんで過ごしてもらえるよう支援します。
・職員は利用者の尊厳や人権を守るため、権利擁護や虐待防止・身体拘束廃止を定期的に研修等で学び、強い人権擁護の意識を持って利用者を支援します。
・利用者が相談や意見をしやすい環境の整備と、生活に高い満足度を得られるようにサービスの質向上を推進します。
・事故防止のため、問題の原因を究明するとともに確実に再発防止策を実施し、安全・安心なサービスを提供します。

3 介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくりの取り組み

・見守り機器等の介護ロボットを活用することで介護の生産性向上を図り、利用者にとって安全・安心な介護を行っていくとともに、職員にとって働きやすい職場環境をつくります。
・委員会にて業務を見直し、細分化や集約化を図りながら、利用者に対して適切なサービスを効率的に提供できるようにします。また、生産性の向上に取り組み、職員にとって働きやすい職場環境をつくります。
・オンラインを含めた外部研修の受講を奨励し、職員個々のスキルアップを図ります。
・内部研修を行い、職員が新しい知識や工夫力を養えるようにしていきます。また、法人で実施する初任者研修や国家試験対策の講師として職員を派遣し、人材育成に関するスキルアップも図っていきます。
・労働災害やハラスメントの防止対策を実施し、職員にとって安全・安心な職場環境を維持していきます。

4 安定した経営と持続可能な運営の取り組み

・毎月の事業収支の確認と、光熱水費等の節約に向けた取り組みを進めます。
・空床が発生した場合、ベッドコントロールを効率的に行いながら稼働率の維持向上に取り組みます。
・各関係機関からの情報収集や老人福祉施設協議会等、他施設との連携により、現在の社会情勢とニーズを把握した上で、事業経営の安定化に取り組んでいきます。

5 感染症や災害への対応力強化の取り組み

・職員や利用者の健康管理を徹底し、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症を持ち込まないようにします。
・自然災害の発生や感染症が蔓延した場合であっても、業務継続計画（BCP）に従い必要なサービス提供が継続できる体制を構築します。
・災害対策や感染症対応について、各委員会で検討し、BCPの研修及び訓練等の結果をもとに、より実践的な内容となるよう随時計画の見直しを行います。
・十分な感染対策のもと、行事や面会の実施を推進します。感染症の流行や発生状況によって行事や面会の実施が難しい場合は、家族へ利用者の状況を書面や電話等で報告し、家族に安心していただけるようにします。
・災害協定を結んでいる他施設、隣接する登米市社会福祉協議会及び迫支援学校、及び地域住民の方々と連携し、災害時対応の協力体制を構築できるように努めます。

6 医療機関との連携強化と看取り介護の取り組み

・協力医療機関と緊急時の対応等について連携体制を強化するとともに、健康保険証に代わってマイナンバーカードの活用といった新たな取り組みにも柔軟に対応していきます。
・入退院の対応について、協力医療機関と綿密に連携を行います。
・歯科医と連携し、口腔衛生管理体制の整備を行い入所者ごとの状態に応じた口腔衛生管理を行います。
・利用者と家族の意思を最大限尊重し、協力医療機関との連携対応のもと看取り介護を丁寧に行っていきます。

令和6年度
迫デイサービスセンター翠風荘　事業報告

【　施　設　概　要　】

1．所　　在　　地　　宮城県登米市迫町北方字大洞45－3
2．設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3．経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4．開　設　年　月　日　　平成3年4月1日
5．利　用　定　員　　40 名

今年度は報酬改定、制度改正の年であり、利用単価の引き下げや制度の義務化により利用者の皆様へ、より質の高い取り組みが求められるようになりました。利用者の皆様へより良い介護サービスを提供するために、恵泉会理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」を強く意識しながら、利用者本位のサービス提供に努めてきました。新しくLIFEの活用、科学的介護推進体制加算の取得により、支援内容の充実を図ってきました。

各種活動においては、感染症の予防、感染拡大防止を図りながら、ドライブやカラオケ、来訪慰問を実施し、利用者の皆様に楽しんでいただきました。

また、地域に根ざした施設を目指し、認知症カフェ（RUIカフェ）を再開し、開かれた施設としての取り組みも行われました。

経営を安定させるべく常に稼働率の向上を目指してきましたが、年度終盤に入り重度利用者の施設入所が相次ぎ、一年を通しての高稼働を続けることはできませんでした。業務改善や効率化の問題については、委員会を中心に検討し、業務の細分化や集約化を図り、全職員が働きやすさを実感できる施設作りに取り組みました。

新型コロナウイルス感染症については、利用者と職員数名に罹患者が出ましたが、大きなクラスター等は発生しませんでした。今後も引き続き感染症対策に努め、安心安全なサービス提供ができるよう取り組んでいきます。

【　重　点　項　目　】

①地域包括ケアシステムの深化・推進の取り組み
・実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保に努めました。
・認知症カフェ（RUI Café）を開催し、介護相談も併せて行い、地域とのつながりが出来ました。
・家族が気軽に相談や来園できる体制を整え、ケアマネジャーとも情報を共有しながら、行うことが出来ました。
・利用者、家族のニーズを取り入れた個別ケアの提供により、自宅でもその人らしく生活できるサービス体制を構築しました。
・各関係機関からの情報や老人福祉施設協議会等、他施設との情報交換を行い、現在の社会的ニーズを適確に把握し、今後の運営に向け対応しました。
・利用者の主治医や医療機関と連携し、利用者が地域で元気に暮らしていけるよう支援しました。
②自立支援・重度化防止及び尊厳の保持に向けた取り組み
・機能訓練を充実させ、利用者の身体機能の維持向上を図り、自分らしく自立した生活の実現に努めました。
・利用者の尊厳や人権を守るため、権利擁護や虐待防止・身体拘束廃止を研修等にて常に意識して援助しました。
・生活のメリハリや充足感を保つよう、各種行事などのほか、楽しく取り組めるアクティビティを実施しました。
・LIFEのフィードバックデータを活用し、適切な利用者支援を行いました。
③良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくりの取り組み
・介護ソフトやタブレット等のICTを活用し、業務の効率化を図りました。
・委員会や会議にて定期的に業務の見直しを行い、業務の集約化や効率化を図り、職員の業務負担の軽減に努めました。
・事故防止のため、事故の原因究明と再発防止策の検討を行い安心安全な介護の仕方を職員に周知徹底しました。
・労働災害の防止策を検討し、研修にてハラスメントの防止対策を実施し、職員にとって働きやすい職場環境を作りました。
・外部研修及び内部研修の参加により、新しい知識や工夫力を養うとともに、国家試験の受験対策講師に職員を派遣し、個々がスキルアップできるように役割を担いました。
④安定した経営と持続可能な運営の取り組み
・各種研修による、職員の知識、技術の向上や習得に加え、月毎の接遇の振り返りを実施。利用者の要望等も丁寧に伺い、利用者の満足度を高める取り組みを行いました。
・毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進め、効果の検証を行いながら改善に努めました。
・居宅ケアマネジャーと情報を共有し、各関係機関とも連携を深め、地域情勢や利用者のニーズを把握する事に努めました。
⑤感染症や災害への対応力強化の取り組み
・職員や利用者の健康管理を徹底し、感染症を持ち込まないように取り組みました。
・BCP（業務継続計画）により、感染症の発生・蔓延等が発生した場合であっても、大規模な自然災害発生時においても、必要なサービス提供が継続できる体制を構築しました。
・BCP（業務継続計画）の研修、訓練、見直し等を実施し、感染症や自然災害発生時には利用者に必要なサービス提供が出来るよう委員会にて検討し、体制を整えています。
・災害協定を結んでいる他施設や隣接する登米市社会福祉協議会と連携し、災害時対応時に協力体制ができるよう努めました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　　10,407 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　309 日
3. 年 間 稼 働 率　　84.20 %　(通所介護＋総合事業)
　　(76.36) %　(通所介護)
　　(7.84) %　(総合事業)
4. 年間平均介護度　　2.73 (通所介護)

5. 月 別 利 用 状 況　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	127	131	129	105	104	83	119	87	75	65	62	72	1,159
要介護 2	229	255	237	283	269	261	278	259	210	219	211	234	2,945
要介護 3	247	253	221	238	268	284	290	268	274	274	251	264	3,132
要介護 4	121	144	151	132	122	117	124	155	145	144	137	170	1,662
要介護 5	54	66	52	47	47	39	42	48	40	32	30	43	540
計	778	849	790	805	810	784	853	817	744	734	691	783	9,438
事業対象者	9	9	8	9	9	9	7	8	9	8	8	9	102
要支援 1	28	34	31	26	25	28	29	28	27	28	25	26	335
要支援 2	42	45	45	53	52	45	50	42	47	39	37	35	532
計	79	88	84	88	86	82	86	78	83	75	70	70	969
合 計	857	937	874	893	896	866	939	895	827	809	761	853	10,407

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	1	3	2	2	4	4	3	2	2	2	0	27
契約終了者数	0	2	2	3	6	3	0	1	4	1	8	2	32
月末契約者数	89	88	89	88	84	85	89	91	89	90	84	82	-5

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
(1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R6.06.10 ～06.13	ミニ運動会	玉入れ、うなぎ釣りゲーム、輪っか通しゲームを通して、身体機能の維持やリフレッシュを図る。	利用者 104名 職 員 33名
R6.07.04 ～07.06	七夕会	七夕釣り大会とそうめん流しリレーを行い、七夕の季節感を味わって頂く。	利用者 106名 職 員 39名
R6.09.12 ～09.14	長寿を祝う会	利用者の長寿を祝い、ボランティアによる歌謡・舞踊のアトラクションを楽しんで頂く。	利用者 101名 職 員 37名
R6.10.11 ～10.12	長寿を祝う会	利用者の長寿を祝い、マジックショーとご長寿クイズのアトラクションなどを楽しんで頂く。	利用者 92名 職 員 34名
R5.10.11 ～10.12	ミニ運動会	タオルひっかけゲーム、栗拾いゲームを行い、運動会の雰囲気を味わって頂きながら、身体を動かしリフレッシュして頂く。	利用者 72名 職 員 19名
R6.10.10	秋祭り	金魚すくい・輪投げ・千本釣りを行い、お祭りの雰囲気を味わっていただく。	利用者 32名 職 員 10名
R6.11.14	焼き芋会	焼きたての芋を召し上がって頂き、秋の季節感を味わいながら、楽しんで頂く。	利用者 36名 職 員 9名
R6.12.21 ～12.24	クリスマス会	クリスマス合唱会、クリスマス飾り集めゲーム、雪かき合戦ゲームを行いクリスマスらしい雰囲気を味わって頂く。	利用者 106名 職 員 36名
R7.01.08 ～1.10	新年会	ボランティアによる舞踊、三味線の演奏、職員余興を行い、お正月の雰囲気を味わって頂く。	利用者 103名 職 員 39名
R7.02.03 ～02.05	節分会	豆まきと鬼と一緒に玉入れゲームを行い、季節感を味わって頂く。	利用者 89名 職 員 32名
R7.03.03 ～03.05	ひな祭り会	桃の花送りゲーム、ひなあられ集めゲームを行い、ひな祭りの雰囲気を味わって頂く。	利用者 103名 職 員 31名
		延べ参加者数	利用者 944名 職 員 319名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R6.05.21	接遇研修	介護福祉士兼生活相談員	4名
R6.05.22	安全運転講習	介護福祉士	4名
R6.05.25	防犯対策研修	管理者兼生活相談員	4名
R6.05.15 ～05.31	コンプライアンス研修	施設長	14名
R6.06.22 R6.07.15	入浴介助研修	介護福祉士兼生活相談員	11名
R6.06.24	食中毒予防研修	管理栄養士	3名
R6.06.27	BCP感染症研修	看護師	3名
R6.07.20	緊急時の対応（救命救急）研修	管理者兼生活相談員	4名
R6.07.25	リスクマネジメント研修	介護福祉士兼生活相談員 介護福祉士	3名
R6.09.23	認知症ケア研修	管理者兼生活相談員	4名
R6.10.05	身体拘束廃止研修・高齢者虐待研修	作業療法士	2名
R6.10.17	BCP防犯研修	迫風園　副主任	2名
R6.10.18	個人情報保護（プライバシー）	管理者兼生活相談員	3名
R6.11.13	メンタルヘルス研修	作業療法士	2名
R6.12.20	冬道の安全運転研修	介護福祉士	2名
R6.12.26	感染症予防研修	看護師	2名
R7.01.22	介護予防研修	管理者兼生活相談員	3名
R7.2.12 ～14	ハラスメント研修	管理者兼生活相談員	13名
R7.03.07	接遇研修	介護福祉士兼生活相談員	3名
R7.3.10 ～14	苦情解決についての研修	管理者兼生活相談員	7名
R7.02.28	令和6年度「ゆい」就労支援セミナー	宮城障害者職業センター	1名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R6.05.24	令和6年度OJT指導者養成研修	宮城県社会福祉協議会	Web	職員1名
R6.07.16	東北大学スキルスラボオンラインセミナー①窒息が起きた時の対応	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R6.08.02	認知症サポーター養成講座	迫地域包括支援センター	迫保健センター	職員1名
R6.10.09	東北大学スキルスラボオンラインセミナー②なるほど！一時的救命処置	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R6.10.16	令和6年度認知症対応研修会	登米市福祉事務所長寿介護課	Web	職員1名
R6.10.25	令和5年度宮城県高齢者権利擁護推進研修③「権利擁護事例検討会(研修会)」	宮城オンブズネット「エール」	Web	職員1名

(3) 認知症カフェ

年 月 日	項　　目	内　　容	参加者数
R6.10.10	RUIカフェ	施設紹介・簡単芳香剤・消臭剤作り	10名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 回 数	参　加　職　員
職員会議(迫風園と合同)	利用者職員に関わる議題内容	12回	生活相談員　1名
ケアスタッフ会議	利用者利用状況等に関わる議題内容	12回	施設長他　16名
デイサービス部会(各施設合同)	各デイサービスの利用状況報告等	9回	管理者兼生活相談員　1名
給食会議(迫風園と合同)	給食に関する事項等	12回	給食係　1名

(2) その他の会議

開 催 日	内　　容	場　　所	出　　席　　者
無			

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　　容	開 催 回 数	参　加　職　員
サービス検討委員会	利用者のサービス向上について	12回	5名
リスクマネジメント・身体拘束　廃止検討委員会	リスクマネジメント、身体拘束廃止について	12回	4名
アクティビティケア・自立支援重度化防止検討委員会	地域交流、重度化防止、利用者ケアの充実について	11回	5名
感染症・褥瘡対策委員会	新型コロナ、感染症、褥瘡の対応について	12回	5名
防災委員会	利用者、職員の安全対策、BCPについて	12回	2名

(2) その他の委員会

開 催 日	内　　容	場　　所	出　　席　　者
無			

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R6.04.12 ～04.26	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	3名
R6.05.17 ～05.17	藤流夢一座(風)様	舞踊慰問	5名
R6.06.21 ～06.28	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	2名
R6.07.29 ～07.29	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	1名
R6.08.05 ～08.19	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	2名
R7.03.04	飛鳥きずな未来高校	利用者支援補助	2名
R7.03.06 ～03.31	飛鳥きずな未来高校	利用者支援補助	1名
計			16名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R6.06.15	東北医科薬科大学	地域包括医療実習	1名	1名
R6.11.06	東北医科薬科大学	介護在宅医療体験学習	2名	2名
R6.07.12 ～11.08	登米総合産業高等学校	通所介護実習Ⅰ	2名	34名
R6.09.10 R6.09.17	登米総合産業高等学校	通所介護実習Ⅱ	3名	5名
R6.08.08 ～12.25	宮城県迫桜高等学校	通所介護実習Ⅰ	2名	19名
計			10名	61名

【今後の取り組み】

①地域包括ケアシステムの深化・推進の取り組み
・実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保に努めます。
・認知症カフェ(RUI Café)にて認知症セミナー等を開催し、地域とのつながりを持っていきます。
・家族が気軽に相談や来園できる体制を構築し、連携を強化することで適切な支援ができるよう取り組みます。
・利用者、家族アンケートを実施してニーズを把握し、そのニーズを取り入れた個別ケアの提供により、自宅でもその人らしく生活できる支援体制を構築します。
・地域課題について地域包括支援センター等の関係機関と連携し、適切に対処します。
・利用者の主治医や医療機関と連携し、利用者が地域で元気に暮らしていけるよう支援します。

②自立支援・重度化防止及び尊厳の保持に向けた取り組み
・利用者の自立した生活の実現に向け、機能訓練による身体機能の維持向上を図っていきます。
・利用者の尊厳や人権を守るため、権利擁護や虐待防止・身体拘束廃止に関する研修を行い、職員全員が人権擁護に対する高い意識を持って支援にあたれるようにします。
・利用者が生活のメリハリや充実感を保てるよう、各種行事のほか、楽しく取り組めるアクティビティを提供します。
・LIFEのフィードバックデータを活用し、適切な利用者支援に活用します。

③質の高いサービスの効率的な提供と働きやすい職場づくりへの取り組み
・介護ソフトやタブレット等のICTを活用し、業務の効率化を図ることで職員の業務負担軽減を図ります。
・委員会において定期的に業務内容を見直し、業務の効率化と生産性の向上を図っていきます。
・事故防止のため、事故の原因究明と再発防止策を検討し、利用者へ安心・安全なサービスを提供します。
・労働災害やハラスメントの防止対策を実施し、職員にとって働きやすい職場環境をつくります。
・外部研修及び内部研修の受講を奨励し、職員個々のスキルアップを図るとともに、法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験の対策講師として職員を派遣し、人材育成に関するスキルアップも図っていきます。

④安定した経営と持続可能な運営の取り組み
・質の高いサービスを提供し、利用者の満足度を高めることで稼働率の向上につなげます。
・毎月の事業収支状況を分析し、稼働率確保と電気光熱水費の節約に向けた取り組みを行っていきます。
・各関係機関や居宅ケアマネとの連携を深めるとともに、地域の方々と関わる機会を作り、地域情勢やニーズを把握し、自施設で出来ることを行いながら、地域に根ざした施設作りを進めます。

⑤感染症や災害への対応力強化の取り組み
・利用者と職員の健康状態を把握し、感染予防に取組み、感染症の発生時には感染拡大の抑制に努めます。
・感染症や自然災害発生時についてはBCP(業務継続計画)に従って対応し、利用者に対して必要なサービスが提供できる体制を構築します。
・感染症や自然災害への対策について各委員会で検討し、BCPの研修や訓練の結果をもとに、BCPの内容がより実践的なものとなるよう随時見直しをかけていきます。
・災害協定を結んでいる他施設や隣接する登米市社会福祉協議会及び迫支援学校との連携を深め、災害時に迅速な協力対応がとれるよう体制を構築します。

令和6年度
特別養護老人ホーム南風園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市南方町高石6番地43
2）設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4）開 設 年 月 日　　平成6年5月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	10 名
計	60 名

令和6年度も新型コロナウイルス感染症対策を進めながら1年となりましたが、令和6年8月と令和7年3月に感染が発生し、10名前後の利用者が罹患することとなりました。その後の大きな拡大にはなりませんでしたが、1年通してみられる感染症対策の必要性をあらためて感じました。医療連携の部分では、協力医療機関との連携や歯科医師との衛生管理の体制づくりを進め、円滑な入退院と健康管理の強化が図れました。

事業運営の部分では、短期入所定員変更を実施。新型コロナウイルス感染症の影響はあったもの、他の月については、変更前の利用者数を減らす事無く稼働率向上につなげることができましたし、地域連携の取り組みとしては、継続したボランティア協力、また、オレンジカフェの開催など、地域との関わりを少しずつ増やしながらひらかれた施設運営を進めることができました。

人材確保に向けては、介護実習生の受け入れ、スマートフォン活用による業務の効率化など、現世代、次世代の働きやすい環境作りにも取り組むことができました。

【　重　点　項　目　】

1. サービスの質の向上の取り組み

①科学的介護LIFEについて、提出すべき情報をケア検討に活用することはできましたが、フィードバック情報をより効果的に検証し、計画へ反映させる手段については継続的に検討していく必要があります。

②月1回の歯科医師、歯科衛生士によるブラッシング指導や唾液腺マッサージについて介護職員が実際に指導を受けるなど、知識向上を図れました。また、利用者それぞれの状態に合わせた口腔ケアの方法等施設内で検討し取り組みも進めました。以前よりはその重要性も理解できていますが健康維持などに繋がる意識についてさらに向上する必要があります。

③興味関心シートのほか行事後のご意見を参考にし、利用者満足度向上の取り組みが実施出来ました。

2. 地域包括ケア推進への取り組み

1）支援体制（地域包括ケア）の構築

居宅介護支援事業所のケアマネジャー、医療機関等との情報共有を定期的に図り、計画的にケアを行うことができました。

2）医療機関との連携強化

嘱託医師、診療看護師との連携を図り、新規入所者や不安定な利用者の情報を事前に共有することで円滑な入退院につなげることができました。

3）認知症への対応力強化

認知症への対応力強化として、認知症実践者研修、認知症ケア実践リーダー研修を受講については、実施出来ず、施設内の研修にて対応力強化を図るにとどまりました。

3. 感染症や災害への対応力強化に向けた取り組み

1）感染症の発生及び蔓延等や災害が発生した場合であっても必要なサービス提供が継続できる体制を構築します。

①予防衛生対策委員会（感染対策委員会）を中心にBCPの見直しと訓練を実施し、感染予防と発生時に対応について体制づくりを行いました。数回の新型コロナウイルス感染症の発生があった際にはBCP及び訓練を活かし、拡大予防に努めることができました。また、保健所による換気設備の点検指導も受け、対策強化を図ることができました。

また、面会については、対面、リモート、窓越しで状況に合わせて実施し、多くの方に面会していただきました。

②災害対策については、防災委員会でBCPの見直しと訓練を実施。大きな災害はありませんでしたが、備えることができました。

4. 介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み

1)外部研修や内部研修、OJT研修を計画的に実施し、サービスの質の向上を図ることができました。

2)認知症への対応力強化として、認知症実践者研修、認知症ケア実践リーダー研修を受講については、実施出来ず、施設内の研修にて対応力強化を図るにとどまりました。

3)コンプライアンス研修の実施や適宜、必要事項を伝達することで、ルールに遵守した職場づくりが行えました。

4)法人内で実施している研修への講師派遣（介護福祉士試験対策講習、ケアマネジャー試験対策講習、介護職員実務者講習、介護職員初任者研修）を行い、法人全体で職員の資格取得に向け取り組むことができました。

5)広報誌やオレンジカフェの実施など地域への周知活動を行うことができました

5. 業務改善・働き方改革の一環としての取り組み

1)スマートフォンを活用し、利用者への迅速な対応と業務の効率化を図ることができました。介護ケアシステムの入替により、操作、活用方法について時間を費やすこととなり、今後も継続して活用への検討が必要です。

2)生産性向上委員会の設置、毎月の開催を行い、業務内容の見直しと工夫、効率的な業務、利用者視点でのサービス提供について検討することができました。

3)マニュアル検討委員会において、マニュアルの見直しを図ることができました。

4)苦情・リスクマネジメント委員会において、介護事故防止のため、ヒヤリハットなど必要な多くの情報を収集、分析を行いましたが、継続した検討が必要です。

5)利用者満足度調査の実施(年1回)、情報収集の他、利用者興味・関心チェックシートを活用し、評価、見直しを行いました。

6)年次有給休暇5日以上を確実に取得出来ました。

7)コンプライアンスガイドラインのセルフチェック項目により、自己分析を実践する。チーム組織として関わり合いが出来る組織づくり、職場環境の維持改善に取り組みます。

6. 地域貢献・地域連携の取り組み

1)地域貢献事業、地域交流事業としてオレンジカフェを実施。落ち着いた雰囲気の中でフレイルについて地域の皆さまと学ぶことができました。

2）介護実習生を3名受け入れ、介護の楽しみと技術の習得を目指し、担当者が中心となって進めることができました。趣味の会活動（生花・書道・音楽）でボランティア協力ももらい地域との繋がりを持ちながら利用者の活動に取り組むことができました。

3)地域災害相互協定（覚書）について

災害協力が必要な災害は発生せず、BCP研修などで周知することはできました。

7. 継続的な事業運営の取り組み

1)事業継続に向け、BCP（自然災害及び感染症発生時）の周知、定着、訓練の実施など行いました。

2)毎月の事業収支の把握、月管理を徹底し、省エネやムダを省く等、必要な会議で情報周知し、意識付けに取り組みました。

3)予算に基づき計画的に進めることができました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　17,226 名
2. 年 間 稼 働 率　94.39 %
（ 目 標 稼 働 率　97.00 % ）
3. 年間平均介護度　4.17
4. 月別利用状況　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	150	155	150	155	155	136	186	210	248	226	224	248	2,243
要介護 4	866	956	915	850	881	836	893	792	676	764	700	719	9,848
要介護 5	384	403	388	403	473	397	445	425	486	442	362	527	5,135
計	1,400	1,514	1,453	1,408	1,509	1,369	1,524	1,427	1,410	1,432	1,286	1,494	17,226

5. 入 退 所 状 況　（ 令和7年3月31日現在 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	2	1	0	0	2	2	0	1	1	2	1	4	16
退 所 者 数	0	0	0	2	2	0	1	0	3	2	3	0	13
月末入所者数	49	50	50	48	48	50	49	50	48	48	46	50	+ 3

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
(1) 行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R6.04.25	春まつり	春の唄を利用者・職員で合唱している。余興では日本郷土民謡協会による民謡が披露されました。	利用者 39名 職 員 15名
R6.07.25	夕涼み会	余興ではボランティア団体の「さわやか」による踊りと唄を披露して頂く。スイカ割り等で夏の雰囲気を感じていただきました。	利用者 48名 職 員 13名
R6.08.19	盆供養	住職を迎え読経、焼香を行い物故者の冥福をお祈りしました。	利用者 8名 職 員 4名
R6.09.26	長寿を祝う会	永年の労に感謝し、職員による余興を鑑賞しながら共に祝いました。また感染拡大防止の為家族は動画配信にて対応しました。	利用者 45名 職 員 22名
R6.10.11	南方保育所交流会	余興を楽しみながら、園児との交流を図りました。	利用者 22名 職 員 8名
R6.12.26	クリスマス忘年会	クリスマスの雰囲気を感じていただきながら余興披露、思い出ムービーを上映し、一年を振り返っていただきました。	利用者 42名 職 員 16名
R7.01.07	新年会	新しい年の雰囲気を感じお祝いする。今年一年の健康を願いながら余興を楽しみ、新しい一年を和やかに迎えました。	利用者 23名 職 員 8名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員　3,255 名
2. 年間稼働率　89.18 %
（目標稼働率）　85.00 %
3. 年間平均介護度　3.23
4. 月別利用状況

（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	21	26	17	17	37	19	34	24	27	37	59	36	354
要介護 2	62	47	43	52	44	21	36	39	49	46	66	37	542
要介護 3	69	53	66	87	60	67	79	85	106	107	63	80	922
要介護 4	59	72	78	83	50	36	56	104	102	80	62	60	842
要介護 5	63	72	90	87	38	28	50	30	42	29	41	21	591
計	274	270	294	326	229	171	255	282	326	299	295	234	3,255

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講 師（講 演 者）	参加者
R6.04.11	新任職員研修	施設長	1名
R6. 04. 10、12、13、22、26	医療研修（夜間緊急対応訓練）	主任看護師、介護福祉士	9名
R6. 05. 23、29	業務体制管理研修	施設長	28名
R6.05.27	身体拘束廃止推進・高齢者虐待廃止推進研修（前期）	介護福祉士	4名
R6.06.27	感染症蔓延予防研修（前期）	管理栄養士	19名
R6.06.28	介護事故防止研修（前期）	介護福祉士	15名

R6. 07. 23、31	普通救命講習	登米市消防署西出張所救命士	8名
R6.07.25	褥瘡予防研修	看護師	13名
R6.09.20	BCP研修(防災・感染)	施設長	16名
R6.10.10	人権擁護研修	登米人権擁護委員協議会	21名
R6.10.24	認知症高齢者介護基本研修	介護福祉士	13名
R6.10.30	プライバシー研修	主任介護支援専門員	12名
R6.10.31	高齢者日常生活支援研修	作業療法士	8名
R6.11.01	管理職向け　職場のハラスメント研修	施設長	5名
R6.11.27	ハラスメント研修	施設長	2名
R6.11.28	交通安全教室	宮城県佐沼警察所交通課	8名
R6.12.20	感染症蔓延予防研修(後期)	准看護師	5名
R7.01.06	新任職員研修	施設長	1名
R7.01.30	身体拘束廃止推進・高齢者虐待廃止推進研修(後期)	副主任介護支援専門員	5名
R7.02.05	新任職員研修	施設長	1名
R7.02.26	介護事故防止研修(後期)	安全対策担当者	14名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開催地	参加者
R6.04.30	令和6年度主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネージャー協会	オンライン	職員1名
R6.05.31	令和6年度登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市障害自立支援協議会	登米市	職員1名
R6.06.13	令和6年度恵泉会経営者研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R6.06.20	令和6年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R6.06.26	令和6年度介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉協議会	オンライン	職員1名
R7.02.21	認知症チームケア推進研修	宮城県	オンライン	職員2名
R6.07.08	令和6年度恵泉会新任職員研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R6.07.10	令和6年度障害者福祉施設職員研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R6.07.23、12.06	令和6年度コミュニケーション技術・対人援助技術研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員2名
R6.07.30	令和6年度指定介護保険サービス事業者等集団指導	宮城県	石巻市	職員1名
R6.08.21、22	高齢ケア施設で働く看護管理者研修Ⅰ・Ⅱ	宮城県看護協会	仙台市	職員1名
R6. 08. 29、30、31、10. 10、11、12	令和6年度看護職員認知症対応力向上研修	宮城県看護協会	仙台市	職員2名
R6.09.04	高齢ケア施設で働く看護管理者研修	宮城県看護協会	仙台市	職員1名
R6.09.04	令和6年度宮城県高齢者権利擁護推進研修	宮城県	オンライン	職員1名
R6.09.12	宮城県ケアマネージャー協会登米支部研修会	登米市	登米市	職員1名
R6.09.17	生産性向上セミナー	宮城県	オンライン	職員1名
R6. 09. 18、26、10. 18	令和6年度宮城県キャリアパス支援事業研修	宮城県介護福祉会	仙台市	職員2名

R6. 10. 24、25	令和6年度社会福祉施設新任職員研修	宮城県	仙台市	職員1名
R6.10.25	令和6年度宮城県キャリアパス支援事業研修	宮城県介護福祉会	オンライン	職員1名
R6.11.22	令和6年度権利擁護研修会(身寄りがいない方)	登米市	登米市	職員1名
R6.12.11	令和6年度介護従事者向け研修(モチベーションアップ講習会)	登米市	オンライン	職員1名
R6.12.20	令和6年度恵泉会人事考課者現任者研修(後期)	恵泉会	恵泉会本部	職員2名
R7.01.31	令和6年度宮城県キャリアパス支援事業研修	宮城県介護福祉会	仙台市	職員1名
R7. 02. 14、21、03. 8、14	令和6年度第2回介護福祉士養成施設実習指導者講習会	宮城県介護福祉会	仙台市	職員1名
R7.02.04	令和6年度恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R7.02.28	令和6年度「ゆい」就労支援セミナー	障害者就業・生活支援センター	登米市	職員1名
R7.03.06	令和6年度登米地域感染症対応強化研修	宮城県石巻保健所登米支部	オンライン	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開 催 日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	12回	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
ケアスタッフ会議	利用者のサービス内容に関する事項の検討	12回	施設長・栄養士・相談員・看護師・介護職員
サービス担当者会議	個別サービス内容及び問題ケースに関する検討	9回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
栄養ケアマネジメント会議	利用者栄養状態の把握等をマネジメント及び検討	12回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　容	開 催 日	参加職員
苦情処理リスクマネージメント委員会	家族・利用者の苦情・に対しリスクを考慮しながら予防と防止対策を図りました。	12回	施設長・相談員・看護師・介護職員
生産性向上委員会	利用者サービスの質の向上を検討企画し、サービス評価事業に取り組みました。	12回	施設長・相談員・看護師・介護職員
研修委員会	職員の資質の向上を図れるよう、施設内研修の実施の企画調整を行いました。	11回	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束0をめざし誘発原因の除去や環境の整備を行いました。	11回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
予防衛生対策委員会	各種感染症の予防・対策の検討を行い、まん延の防止に努めました。	12回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡が発生しないよう体制の整備及び、研修等を行いました。	12回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
防災委員会	非常時に備え、防災訓練の実施、安全な環境を整備しました。	11回	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
マニュアル検討委員会	施設サービスを適切に提供できるよう各種マニュアルの作成、見直しを行いました。	7回	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員

【施設機能の開放】

1．ボランティア・視察・見学・実習受入状況

（1）ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R6.04.04	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.04.10	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.04.23	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.04.25	日本郷土民謡協会	春まつりでのアトラクション	6名
R6.05.07	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.05.08	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.05.28	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.06.12	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.06.27	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.07.04	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.07.10	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.07.23	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.07.25	社会福祉協議会	夕涼み会でのアトラクション	7名
R6.08.01	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.08.14	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.09.24	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.09.26	社会福祉協議会	長寿を祝う会でのアトラクション	6名
R6.10.03	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.10.09	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.11.28	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.12.05	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.12.11	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R6.12.24	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R7.01.08	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R7.01.09	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R7.02.12	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R7.02.27	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R7.03.11	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R7.03.12	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名

（2）実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
5/8.15.21.22.29 6/19.25.26 7/3.9.10.16.22.23.24.25.26.29 30.31 8/1.27 9/17 10/5.8.9.12.25	宮城県登米総合産業高等学校	介護技術の見学・実践。利用者様とコミュニケーションを図り、施設で生活する高齢者について理解する。内容で実施しました。	3名	49名

【 今 後 の 取 り 組 み 】

1. 南風園および南寿荘の職員が取り組むべき業務への姿勢

① 利用者一人ひとりの尊厳と権利を尊重し、やさしく丁寧なコミュニケーションで、利用者個々人を理解しようとする姿勢を常に大切にします。

② 就業規則や服務規程でも大切にされている『チームワークと協力』について、多職種の職員同士がダイバーシティ(多様性の尊重)の実践を高いレベルで理解し、利用者のために私たち一人ひとりの職員がいることを忘れずに業務にあたります。

③ 利用者の状態や介護技術、介護制度は常に変化していきます。最新の知識や技術を互いに学び続け、『できない・やれない』ではなく、『できる方法・代わりになる視点』を追求していきます。

2. 南風園が実施する重点的取り組み

① 利用者との信頼関係の構築

利用者一人ひとりの権利擁護と意思決定のための支援を深化させ、利用者との対話を重視し、会話が難しい方に対しても心の声にしっかりと耳を傾け、不安や不満を早期に把握し信頼される・頼りにされる関係づくりを施設全体で展開していきます。

② 家族とのコミュニケーション向上

施設入所後も可能な限り家庭・家族と繋がりを持つことができるよう、介護スタッフと家族とが状況・状態を日頃から共有していけるアプローチを検討します。

○状態悪化やケガなどの報告ばかりではなく、日常の様子や笑顔となる出来事なども積極的に共有していこう
○誕生日や利用者の状態に合わせ、家族ニーズを確認しながら面会の機会を調整しよう
○面会の際は、普段の記録や写真などを紹介しながら、家族の関心に心を寄せよう
○春祭りや敬老行事など、家族参加の設定が難しい場合には、積極的にオンライン配信の手段も活用しよう

③ 地域との連携を高める取り組み

地域の防災拠点や地域の介護力向上に寄与できる発信型施設・事業所としてのポジションをより一層高めていけるよう、ハード面・ソフト面ともに改善・構築を進めていきます。

○防災拠点としてのファシリティーマネジメントと各種災害協定等の保持・履行
○認知症理解を深める場として、オレンジカフェ『みなみかぜ』の年2回以上の実施
○地域ボランティアの方々にとって、輝けるステージとなる機会の設定
○保育施設や小中学校との交流や体験、学びの場として活用していただくための協力

④ 医療機関との連携体制の強化

協力医療機関連携加算および高齢者施設等感染対策向上加算を計画的に取得し、国や地域が求める安全で連携の図られた医療提供体制の確保に寄与し、新興感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスを継続的に提供できる体制を構築していきます。

⑤ 虐待防止および権利擁護ならびに身体拘束廃止に関する取り組みの継続・強化

権利擁護・リスクマネジメント委員会において、虐待や権利侵害、身体拘束に該当する事例の有無を定期的に検証し防止策等を検討するとともに、高いコンプライアンス意識を持って職員が日常業務に向き合えるよう、全職員を対象とした実践的研修の機会を設定していきます。

⑥ 科学的介護の推進・業務効率や生産性の改善・認知症介護に関する技術力の向上

20年後の2045年を一指標とした場合、ICT技術・IoT機器・AIなどの先進技術の活用・導入は、地域の需要や環境変化に合わせた柔軟な施設運営・サービス提供を考えた場合に非常に重要な戦略となります。まずは、今年度本格的に移行・導入された『ワイズマン社製介護ケアシステム』の効率的活用とその活用を担うICT人材の育成や体制づくりを強く進めていきます。
また、各種機器やインターネットサービス、科学的介護のLIFEデータの分析・活用にも力を入れられるよう、外部研修を含む職員の研究と修養の機会を確保し、人材不足や利用者の重度化にも対応できる知識と技術力を高めていきます。

令和6年度
南方デイサービスセンター南寿荘　事業報告

【　施　設　概　要　】

1．所　　在　　地　　宮城県登米市南方町高石6－8
2．設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3．経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4．開　設　年　月　日　　平成6年5月1日
5．利　用　定　員　　35 名

令和6年度も新型コロナウイルス感染症対策を進めながら1年となりました。数ヶ月毎に数名の感染者が確認され、BCPに沿った対応を行い,拡大には至りませんでしたが、1年通してみられる感染症対策の必要性をあらためて感じました。

事業運営の部分では、35名定員に変更。後半はコロナウイルス感染の影響もありましたが、年間で前年度比増かつ、次年度の運営規模にも影響を与えない利用人数で終えることができております。地域連携の取り組みとしては、児童らとの交流機会確保や継続したボランティア協力、また、オレンジカフェの開催、認知症周知活動など、地域との関わりを少しずつ増やしながらひらかれた施設運営を進めることができました。

人材確保に向けては、介護実習生の受け入れ、生産性向上にむけての話し合いを重ねるなど業務の見直しを小さなところから進め、現世代、次世代の働きやすい環境作りにも取り組むことができました。

【　重　点　項　目　】

1．サービスの質の向上の取り組み

1）生活支援の基本、利用者満足の向上の取り組み
活動・行事報告に利用者意見欄を取り入れたことで、利用者の満足度や見直しの必要性を検討することができ、より良いサービスづくりに役立てることができました。また、同時にマニュアルの見直しも行うことで、内容の工夫とケアの統一化に繋げることができました。

また、利用者に分かりやすく情報提供する取り組みとして掲示方法の工夫や「登米市トピックス」を作成。登米市の情報をわかりやすく届けることができました。

2）自立支援・重度化防止の取り組み
認知症の方への計画に基づくケアの提供や口腔ケア、機能訓練の計画的な実施及びLIFEフィードバック情報の活用などを取り組みを進めることができました。健康教室、栄養教室なども定期的に開催することができました。

2．地域包括ケア推進への取り組み

1）認知症への対応力向上に向けた取り組み
研修や認知症サポーター養成講座の開催は実施することができませんでしたが、認知症カフェの開催や認知症啓発活動へ協力を行うことはできました。

3．感染症や災害への対応力強化に向けた取り組み
感染及び自然災害の事業継続計画（BCP）に基づき、訓練等実施。BCPの定着と実践を進めることができました。また、送迎時の風水害を想定した訓練も実施し、災害に備えることができました。

4．介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み
1)外部研修や内部研修、OJT研修を計画的に実施し、サービスの質の向上を図ることができました。
2)認知症への対応力強化として、認知症実践者研修、認知症ケア実践リーダー研修を受講については、実施出来ず、施設内の研修にて対応力強化を図るにとどまりました。
3)コンプライアンス研修の実施や適宜、必要事項を伝達することで、ルールに遵守した職場づくりが行えました。
4)法人内で実施している研修への講師派遣（介護福祉士試験対策講習、ケアマネジャー試験対策講習、介護職員実務者講習、介護職員初任者研修）を行い、法人全体で職員の資格取得に向け取り組むことができました。

5．業務改善・働き方改革の一環としての取り組み
生産性向上委員会の設置、毎月の開催を行い、業務内容の見直しと工夫、効率的な業務、利用者視点でのサービス提供について検討することができました。　マニュアル検討委員会において、マニュアルの見直しを図ることができました。
年次有給休暇5日以上を確実に取得出来ました。また、産休、育休も取得するなど働きやすい環境作り取り組みました。

6．地域貢献・地域連携の取り組み

食事代の無料化を継続し、利用者負担の軽減を図りました。幼稚園や保育園の児童、小学校等の生徒の方々との定期的な交流の場を確保することができました。また、毎月のボランティア協力を受け入れも行い、地域との繋がりを確保することに努めました。

7．継続的な事業運営の取り組み
定員35名へ変更後も利用人数は維持、増加。次年度への通所規模の影響が出ない利用人数で終えることができました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　　8,982 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　309 日
3. 年 間 稼 働 率　　83.05 %　(通所介護＋総合事業)
　　(78.77) %　(通所介護)
　　(4.28) %　(総合事業)
4. 年間平均介護度　　2.27 (通所介護)
5. 月 別 利 用 状 況　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	177	173	160	155	160	162	164	170	144	142	115	122	1,844
要介護 2	294	332	302	303	319	326	334	322	288	267	282	286	3,655
要介護 3	154	166	163	180	182	165	174	192	177	148	169	149	2,019
要介護 4	89	81	77	80	82	80	71	75	64	58	51	68	876
要介護 5	14	11	12	10	9	10	11	10	8	9	12	9	125
計	728	763	714	728	752	743	754	769	681	624	629	634	8,519
事業対象者	13	8	4	5	4	4	5	6	4	4	4	4	65
要支援1	9	9	7	9	9	6	8	8	9	11	10	10	105
要支援2	26	30	18	17	23	17	27	25	29	35	26	20	293
計	48	47	29	31	36	27	40	39	42	50	40	34	463
合　計	776	810	743	759	788	770	794	808	723	674	669	668	8,982

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
(1) 行事

実 施 日	行　事　名	内　　容	参 加 者 数
R6.05.07	南寿荘創立記念行事	南寿荘創立30周年記念行事として、利用者の皆さんと一緒にお祝い行事を開催しました。	利用者　51名 職　員　9名
R6.9.11～12	長寿を祝う会	敬老の日に合わせて、社会に貢献された利用者の方々に感謝と敬意を表し、長寿をお祝いしました。	利用者　82名 職　員　18名
R6.12.24～25	クリスマス会	職員による余興を披露し、一緒に身体を動かしながら楽しい雰囲気を味わってもらうと共に、今年一年を振り返る企画を行いました。	利用者　51名 職　員　15名
R7.1.8～11	新年会	新年のお祝いとして、お屠蘇や獅子舞の披露を楽しんでいただき、新しい年を元気に過ごしていただけるように、皆で祈念しました。	利用者　66名 職　員　16名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
(1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講師(講演者)	参　加　者
R6.4.11	新入職員研修	施設長	1名 (南風園1名、南寿荘0名)
R6.4.10、12、13、22、26	医療研修:夜間緊急対応訓練	主任看護師、介護福祉士	9名 (南風園9名、南寿荘0名)
R6.5. 23、29	業務体制管理研修	施設長	40名 (南風園28名、南寿荘12名)
R6.5.27	身体拘束廃止推進・高齢者虐待廃止推進研修(前期)	介護福祉士	4名 (南風園4名、南寿荘0名)
R6.6.27	感染症蔓延予防研修(前期)	管理栄養士	29名 (南風園19名、南寿荘10名)
R6.6.28	介護事故防止研修(前期)	介護福祉士	25名 (南風園15名、南寿荘10名)
R6. 7. 23、31	普通救命講習	登米市消防署西出張所　救命士(外部講師)	10名 (南風園8名、南寿荘2名)
R6.7.25	褥瘡予防研修	看護師	22名 (南風園13名、南寿荘9名)
R6.9.20	BCP研修(防災・感染)	施設長	24名 (南風園16名、南寿荘8名)

R6.10.10	人権擁護研修	登米人権擁護委員協議会(外部講師)	12名 (南風園11名、南寿荘1名)
R6.10.24	認知症高齢者介護基本研修	介護福祉士	21名 (南風園13名、南寿荘8名)
R6.10.30	プライバシー研修	主任介護支援専門員兼生活相談員	18名 (南風園12名、南寿荘6名)
R6.10.31	高齢者日常生活支援研修	作業療法士兼機能訓練指導員	12名 (南風園8名、南寿荘4名)
R6.11.1	管理職向け 職場のハラスメント研修	施設長	7名 (南風園5名、南寿荘2名)
R6.11.27	ハラスメント研修	施設長	4名 (南風園2名、南方保育所2名)
R6.11.28	交通安全教室	登米市佐沼警察所 交通課(外部講師)	11名 (南風園8名、南寿荘1名、南方保育所2名)
R6.12.20	感染症蔓延予防研修(後期)	南寿荘准看護師兼機能訓練指導員	5名 (南風園5名、南寿荘0名)
R7.1.6	新入職員研修	施設長	1名 (南風園0名、南寿荘1名)
R7.1.30	身体拘束廃止推進・高齢者虐待廃止推進研修(後期)	南風園副主任介護支援専門員兼生活相談員	7名 (南風園5名、南寿荘2名)
R7.2.5	新入職員研修	施設長	1名 (南風園1名、南寿荘0名)
R7.2.26	介護事故防止研修(後期)	安全対策担当者	14名 (南風園13名、南寿荘1名)
実施回数 21回		延べ参加者数	277名

(2) 外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R6.5.22	「ADL維持等加算と個別機能訓練加算」基本的な仕組みセミナー	株式会社ワイズマン	オンライン	1名
R6.6.18	令和6年度登米市認知症カフェ研修会	登米市	登米市南方庁舎	1名
R6.6.20	令和6年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県障害福祉課	オンライン(恵泉会本部)	1名
R6.7.31	令和6年度指定介護保険サービス事業者集団指導について	宮城県東部保健福祉事務所	石巻合同庁舎	1名
R6.8. 7、8	令和6年度社会福祉施設新任職員研修	宮城県社会福祉協議会	みやぎハートフルセンター	1名
実施回数 5回		延べ参加者数		5名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	12回	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
サービス調整会議	利用者のサービス内容に関する事項の検討	12回	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	12回	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員・栄養士
ケアスタッフ会議	個別サービス内容及び問題ケースに関する検討	12回	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員

3．委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
防災委員会	災害等に備えた訓練や対応方法の研修及び施設環境の点検整備	11回	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
苦情処理・リスクマネジメント委員会	苦情や意見に対する検討及び介護事故等の予防と対策の検討	12回	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
生産性向上委員会	サービス評価と利用者サービスの質の向上を検討・企画する	12回	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
身体拘束廃止・虐待防止委員会	身体拘束ゼロと虐待の未然防止について検討・評価	12回	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
研修委員会	施設内研修の企画及び外部研修の受講調整	12回	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
褥瘡予防・予防衛生対策委員会	褥瘡改善及び予防に向けたマネジメント評価と対策の実施	12回	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
マニュアル検討委員会	施設内で使用する各種マニュアルの整備・見直し	7回	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員

【施設機能の開放】

1．地域貢献事業・ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R6.4.9	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	2名
R6.5.28	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	2名
R6.06.11～25	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	3名
R6.07.09～23	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	4名
R6.07.17	南方保育所	交流企画(園児たちの余興見学)	12名
R6.08.27	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	2名
R6.09.11	沢田バアバクラブ	長寿を祝う会余興	10名
R6.09.12	千寿会	長寿を祝う会余興	6名
R6.09.10～24	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	4名
R6.9.24	社会福祉協議会	ハンドマッサージ	7名
R6.9.25	東郷小学校	交流企画(伝統芸能鑑賞やゲーム等を通しふれあい)	14名
R6.10.3	南方幼稚園	幼年消防防火のつどい	29名
R6.10.22	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	2名
R6.11.12	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	2名
R6.11.12～26	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	4名
R6.12.10～24	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	2名
R7.01.14～28	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	4名
R6.1.22	東郷小学校	交流企画(福祉新聞制作発表)	18名
R7.02.18～25	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	3名
R7.3.25	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	2名
	合計		132名

(2) 実習

年月日	団体名	内容	人数
R6.07.12～11.8	登米総合産業高等学校　福祉科	介護技術見学、利用者との交流、バイタルチェック、入浴介助、配膳、トイレ誘導	15名
R6.10.11～R7.02.25	登米総合産業高等学校　福祉科	介護技術見学、利用者との交流、バイタルチェック、入浴介助、配膳、トイレ誘導	16名
	合計		31名

(3)地域貢献事業

年月日	名称	内容	来訪者数
R6.09.20	アルツハイマーデイ啓蒙運動	みなみかた道の駅にて活動	－
R7.02.27	認知症カフェ「みなみかぜ」	地域の方を招き認知症カフェの実施	13名

【今後の取り組み】

1. 南風園および南寿荘の職員が取り組むべき業務への姿勢

① 利用者一人ひとりの尊厳と権利を尊重し、やさしく丁寧なコミュニケーションで、利用者個々人を理解しようとする姿勢を常に大切にします。

② 就業規則や服務規程でも大切にされている『チームワークと協力』について、多職種の職員同士がダイバーシティ(多様性の尊重)の実践を高いレベルで理解し、利用者のために私たち一人ひとりの職員がいることを忘れずに業務にあたります。

③ 利用者の状態や介護技術、介護制度は常に変化していきます。最新の知識や技術を互いに学び続け、『できない・やれない』ではなく、『できる方法・代わりになる視点』を追求していきます。

2. 南寿荘が実施する重点的取り組み

① 利用者との信頼関係の構築

利用者一人ひとりの権利擁護と意思決定のための支援を深化させ、利用者との対話を重視し、会話が難しい方に対しても心の声にしっかりと耳を傾け、不安や不満を早期に把握し信頼される・頼りにされる関係づくりを事業所全体で展開していきます。

② 『何とかしてくれる』を大切に

利用者やその家族はもちろん、居宅介護支援事業所のスタッフなどからも『使いやすい』『使われやすい』事業所スタイル・営業スタイルを全スタッフで共有し、利用する側からの『何とかしくれる』という期待に応えられるよう、スポット利用や体験利用など、そのニーズに合わせたサービス提供をこれからも第一にしていきます。

③ 地域との連携を高める取り組み

地域事業者や地元住民組織との密着性を強化し、『地域で利用者を支え合う』をコンセプトに、地域防災拠点としての役割や地域の介護力向上に寄与できるような事業所づくり、価値の向上を目指して、ハード面・ソフト面ともに改善・構築を進めていきます。

○防災拠点としてのファシリティーマネジメントと各種災害協定等の保持・履行
○認知症理解を深める場として、オレンジカフェ『みなみかぜ』の年2回以上の実施
○地域ボランティアの方々にとって、輝けるステージとなる機会の設定
○保育施設や小中学校との交流や体験、学びの場として活用していただくための協力

④ 職務分担および係担当の業務を整理し、業務継続体制の安定を図る

事業所内の7委員会・26係の業務を4委員会・19係に集約・整理を行い、利用者への提供プログラムや一人ひとりと関わる時間の充実を図り、新興感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスをスムーズに提供できる体制を構築していきます。

⑤ 虐待防止および権利擁護ならびに身体拘束廃止に関する取り組みの継続・強化

権利擁護・リスクマネジメント委員会において、虐待や権利侵害、身体拘束に該当する事例の有無を定期的に検証し防止策等を検討するとともに、高いコンプライアンス意識を持って職員が日常業務に向き合えるよう、全職員を対象とした実践的研修の機会を設定していきます。

⑥ 科学的介護の推進・業務効率や生産性の改善・認知症介護に関する技術力の向上

20年後の2045年を一指標とした場合、ICT技術・IoT機器・AIなどの先進技術の活用・導入は、地域の需要や環境変化に合わせた柔軟な施設運営・サービス提供を考えた場合に非常に重要な戦略となります。まずは、今年度本格的に移行・導入された『ワイズマン社製介護ケアシステム』の効率的活用とその活用を担うICT人材の育成や体制づくりを強く進めていきます。
また、各種機器やインターネットサービス、科学的介護のLIFEデータの分析・活用にも力を入れられるよう、外部研修を含む職員の研究と修養の機会を確保し、人材不足や利用者の重度化にも対応できる知識と技術力を高めていきます。

令和6年度
地域密着型特別養護老人ホーム東和　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
2）設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4）開　設　年　月　日　　平成21年4月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	20 名
短期入所生活介護	空床
計	20 名

感染症対策を講じながら、内部研修やユニット内での勉強会を充実させ、職員のスキルアップに努めています。今年度に至っては介護の基本であるオムツ交換について株式会社白十字様のご協力のもと勉強会を実施しました。利用者お一人お一人の尿量を測定し、その人にあった介護用品を使用する事で利用者様の満足度や、オムツにかかる経費削減に繋げています。ご家族には定期的に利用者様の状況を電話やエルダー通信を作成し郵送でお知らせし、ご家族及び利用者様に喜ばれております。利用者様の健康状態を多職種で観察、対応する事で入退院を未然に防ぎ今年度の入退所は各1件のみであり、稼働率アップに繋げる事が出来ています。今後も入所されている利用者様の体調維持に努めていき、空床が生じた際は在宅介護の負担軽減のため短期入所サービスの提供、地域貢献事業等を通して交流、情報発信の拠点施設として地域に必要とされる施設運営を目指していきます。

【　重　点　項　目　】

1．地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取り組み

・新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症に対し、消毒と換気の徹底及び健康観察を行い、感染予防に努めています。そのことによりインフルエンザの感染も予防出来ています。また、嘔吐、下痢の処理及び消毒方法を内部研修で行い、感染を拡大させない知識を身に付け実施出来ています。
・施設内で感染者が発生した場合に、感染者の対応を行う医療機関との連携の上で施設内で感染者の療養を行うことや、他の入所者への感染拡大を防止するため、対応する職員を限定し感染拡大防止に努めています。
・個々の利用者について、心身の状態をアセスメントし、身体拘束を必要としない状態を追及しています。身体拘束廃止推進委員会では、身体拘束廃止自己点検シートを用い、自分自身を客観的にみることで、自分自身を振り返り身体拘束を必要としない環境を整えています。また、利用者の人権の擁護、虐待の防止等をより推進する観点から虐待についても職員全員で防止し、利用者の権利擁護に努めています。
・防災計画やBCPに基づいた各種訓練を実施し、危機管理の徹底に努めています。また、地域との災害協定締結に取り組み、災害発生時の相互協力体制を整えられるよう整備していきます。
・災害協定を締結している協力施設（萩風園）と連携し、災害時（水害等）の対応について実際に訓練を実施しています。
・施設設備の開放や地域活動への参加を通して、地域との交流を深めています。また、米谷小学校前の除草作業を2回実施し、積極的な地域貢献活動を進めています。
・全職員が利用者の個別性を十分に理解し24時間シートを活用することで個別ケアの実践を行っています。内部研修で利用者の人権擁護のためのプライバシー保護や倫理等を含むコライアンスの徹底に努めています。
・安全対策虐待防止委員会を中心に、定期的にヒヤリ事例や事故発生の原因分析と対策検討を行い、事故等の再発防止と予防に努め、今年度は事故が1件も無く、利用者様の安心安全に繋げる事が出来ています。また、全職員で危険個所等の把握を行い、施設内に潜むリスクを予め回避できるように努めています。

2．良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい環境づくりへの取り組み

・生産性向上委員会を中心に接遇に関するスローガンを掲げ、サービスの質の向上に努めています。
・利用者及び家族へのアンケートを10月に実施し、アンケート結果をもとにサービスの改善を図っています。
・介護ロボットの導入により、介護職員の身体的負担の軽減や業務の効率化など、就労環境の整備を図ります。今年度の有給休暇取得率が全職員5日以上取得出来ており、モチベーションアップに繋がっています。また、有給休暇の取得を促進し、心身共にリフレッシュできる職場環境を目指します。
・利用者の安心安全な生活を最優先に考え、苦情や事故が発生した際には迅速に対応し、早期解決と再発防に努めています。
・各種研修の受講を通して、職員の業種や階層別における専門知識とスキル習得を促進し、職員個々のキャリアアップと組織全体での質の向上に努めています。
・介護現場における業務改善に資する取組の促進を図る観点から、利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境づくりのため、生産性向上委員会にて常に業務改善と効率化を検討し、職員の年次有給休暇取得の促進や産休育休、病休制度等、職員の働きやすい職場環境を作ることで、職員の離職防止や新しい人材の確保に繋げています。また、業務改善を継続的に行い、生産性向上推進体制加算の取得にも繋げて全職員で経営意識を持ちながら取り組んでいます。

3. 自立支援・重度化防止に向けた対応

・職員による適切な口腔管理等の実施と、歯科専門職による適切な口腔管理につなげる観点から、利用者の入所時及び定期的な口腔衛生状態及び口腔機能の評価の実施することで誤嚥の予防に努めています。

・ユニットケア施設の機能を活かし、利用者が居心地の良い雰囲気の中で、その人らしさと尊厳のある暮らしが継続できるよう、常に利用者と寄り添えるケアの充実に努めています。

・ユニットケアの特性である24時間シートを活用し、重度化防止を目標に、生活リハビリ支援と自立支援に力を入れ、サービスの質の向上に努めています。

4. 事業の安定性と持続性確保に向けた取り組み

・職員全員が経営意識を持ち、稼働率の向上や省エネに取り組み事業の安定化を図ることで良質なサービスの提供を継続出来ています。稼働率も100%の月が多く、入退院も年間3件のみでいずれも早期退院へ繋げています。ユニットケアならではの細やかなケアと、栄養士による栄養管理を行うことで健康状態の維持に繋がっています。

・登米登米産業高校から2名の実習生を受け入れ、次世代の福祉人材育成に取り組むと共に、地域の学校教育へ協力しています。

・登米市との関連性もあるため、中長期計画は作成は出来ず経過しております。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　7,261 名　(短期含む)
2. 年 間 稼 働 率　99.5 %　(〃)
   (目 標 稼 働 率　97.0 %
3. 年間平均介護度　4.27　(長期のみ)
4. 月 別 利 用 状 況 (短期含む)　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	120	124	120	124	124	120	124	90	87	93	84	93	1,303
要介護 4	210	244	210	248	248	210	217	240	217	217	196	217	2,674
要介護 5	270	248	270	248	248	270	279	270	310	299	262	310	3,284
計	600	616	600	620	620	600	620	600	614	609	542	620	7,261

5. 入 退 所 状 況 (長期のみ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
退 所 者 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
月末入所者数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	20	20	± 0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

○合同行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R6.04.10 ～ R6.04.16	お花見散歩	施設の近くに咲いている桜を職員と一緒に見学している。	利用者 12名 職 員 6名
R6.05.02 ～ R6.05.04	菖蒲湯	伝統行事である菖蒲湯に入ることにより心身まで温まって頂き、無病息災を祈る。	利用者 20名 職 員 6名
R6.08.18	夏祭り	お祭りにちなんだゲームや千本引きを行い、職員の手品披露する。おやつにアイスクリームを提供している。	利用者 20名 職 員 7名
R6.09.15	長寿を祝う会	入居者様の長寿をお祝いし記念品を贈呈し、翔乃流秀扇会御一行様による舞踊を披露していただいている。	利用者 20名 職 員 8名
R6.12.19 ～ R6.12.21	ゆず湯	冬至の伝統行事であるゆず湯に入ることにより心身まで温まって頂き、無病息災を祈る。	利用者 20名 職 員 6名
R7.02.02	節分	鬼に見立てたペットボトルをボールで倒し、邪気を払って無病息災を願う。	利用者 11名 職 員 4名
R7.03.03	100歳お祝い会	100歳を迎えられえる利用者様の誕生会を家族や友人を招いて行っている。また施設長による津軽三味線を披露しお祝いをしている。	利用者 1名 職 員 10名

○ユニット行事（1丁目）

実施日	行事名	内容	参加者数
R6.06.09	園芸	ユニットのプランターに季節の草花の寄せ植え行っている。	利用者 7名 職員 3名
R6.06.24	ドライブ外出	町内をドライブしながら季節を感じて頂き道の駅でアイスクリームを召し上がっている。	利用者 2名 職員 2名
R6.06.24	ふるさと訪問	「家に行ってみたい」と入居者様の希望を叶え中田町へ外出する。	利用者 2名 職員 2名
R6.07.07	七夕会	七夕飾りをながめながら願い事を書き季節感を感じて頂いた。	利用者 10名 職員 3名
R6.08.26	お墓参り	お盆の月にお墓参りをしたいと希望があり中田町へ外出する。	利用者 2名 職員 2名
R6.12.22	クリスマス会	クリスマスの装飾を行い入居者同士の交流をしながらおやつを会食する。	利用者 10名 職員 3名
R7.01.26	ハンドケア・懇談会	乾燥する季節にハンドマッサージをしながらコミュニケーションを図り、外出等希望ないか意向を確認する。	利用者 3名 職員 3名
R7.03.02	ひな祭り喫茶	お雛様を鑑賞しながら、普段と異なるおやつを作り提供する。	利用者 9名 職員 3名

○ユニット行事（2丁目）

実施日	行事名	内容	参加者数
R6.05.29	ドライブ	浅水土手沿いに鯉のぼり見学し季節感を感じて頂きながら、道の駅でアイスクリームを召し上がっている。	利用者 2名 職員 2名
R6.06.09	園芸	ユニットのプランターに季節の草花の寄せ植え行う。	利用者 7名 職員 4名
R6.07.21	七夕喫茶	短冊に願い事を書いて頂き夏の甘味を手作りし通し提供する。	利用者 7名 職員 4名
R6.07.24	出前	土用の丑の日に出前を注文し普段と違った雰囲気を味わってもらう。	利用者 6名 職員 3名
R6.08.27	絵葉書作り	残暑見舞いの絵葉書を作製し手を動かしながら気分転換を図って頂く。	利用者 6名 職員 4名
R6.09.26	ふるさと訪問	車窓から風景を眺めながら気分転換を図り米川自宅方面へ外出する。	利用者 1名 職員 2名
R6.10.17	出前・入居者懇親会	おやつの時間にケーキを注文し、入居者同士の交流を図りながら茶話会と懇親会を行い入居者の意向を確認する。	利用者 9名 職員 2名
R6.12.15	絵馬作り	新年に向けて一人ずつ絵馬に願いごとを書いて頂き食堂に飾っている。	利用者 5名 職員 3名
R6.01.26	りんご湯	入浴剤を使用し寒い季節に足浴を行い、入居者とコミュニケーションを図る。	利用者 6名 職員 4名
R7.02.09	園芸（寄せ植え）	ユニット内に飾る鉢植えの植え替え行う。	利用者 6名 職員 3名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年月日	内容	講師（講演者）	参加者
R6.4.9	新任職員研修	施設長	職員1名
R6.4.23.30/5.24.28.31	施設設備研修	事務員	職員14名
R6.4.23/5.24.28.31	介護事故防止研修（夜間緊急時対応）	看護師・准看護師・生活援助員	職員14名
R6.6.15	BCP（災害時）感染予防研修	看護師	職員4名
R6.6.2.22	公用車運転操作研修	介護福祉士	職員5名
R6.6.28	食中毒予防研修（脱水予防含む）	栄養士	職員4名
R6.6.29	感染予防研修①	看護師	職員5名
R6.7.6.16	医療研修・口腔ケア研修	看護師	職員8名
R6.7.9.23/8.9	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修①	生活相談員	職員14名

R6.8.6.22/9.3.6.10	法令遵守研修	施設長	職員16名
R6.8.24	褥瘡予防研修・感染予防研修	看護師	職員4名
R6.9.7	メンタルヘルス研修	ユニットリーダー兼介護福祉士	職員3名
R6.9.22	ターミナルケア研修	看護師	職員8名
R6.9.24	防災基本研修	迫防災	職員6名
R6.10.8.15.19.23	介護事故防止研修・高齢者虐待防止研修	ユニットリーダー兼介護福祉士	職員14名
R6.11.2	認知症高齢者基本研修	介護福祉士	職員3名
R6.11.3	BCP感染予防実施研修・机上訓練	看護師	職員6名
R6.11.19	恵泉会職員研修大会	NPO法人抱樸理事長　奥田知志氏	職員7名
R6.12.9.17.19.23	身体拘束廃止推進研修・高齢者虐待防止研修	生活相談員	職員14名
R6.12.24	感染予防研修	准看護師	職員5名
R7.2.16	医療研修	看護師	職員4名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R6.06.18	認知症カフェ研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R6.07.10	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	eラーニング	職員1名
R6.07.23	メンタルヘルス研修	福利厚生センター	オンライン	職員1名
R6.08.28	給食管理責任者研修会	宮城県石巻保健所	県石巻合同庁舎	職員1名
R6.09.04～9.05	安全衛生推進者等養成講習	宮城県労働基準監督署	瀬峰労基会館	職員1名
R6.09.04	宮城県高齢者権利擁護推進研修②	宮城オンブズネット「エール」	オンライン	職員1名
R6.09.05	コミュニケーション技術・対人援助技術研修2班	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R6.09.17	介護生産性向上セミナー	宮城県長寿社会政策課	eラーニング	職員1名
R6.09.18	ハラスメント防止講習会	福利厚生センター	オンライン	職員1名
R6.10.08	福祉現場におけるリスクマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R6.10.16	登米市認知症高齢者対応研修会	登米市	オンライン	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内　　容	実 施 回 数	参加職員
職員会議	行事、業務改善、施設運営管理等の企画・調整。	11回	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
給食会議	受託業者と給食内容、栄養管理について検討。	12回	施設長・事務員・栄養士・看護師・相談員・介護職員
運営推進会議	サービス内容の評価・改善、利用者の生活状況報告。	6回	施設長・相談員・運営推進委員
ユニット会議	ユニット行事や入居者のケアについて検討。	各12回	ユニットリーダー・介護職員・看護師
セクション会議	各セクションの調整、業務の効率を図る。	10回	相談員・看護師・介護職員
入所判定会議	実態調査の結果を基に、総合的に入居の可否を判定。	1回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内　　容	実 施 回 数	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	11回	施設長・介護職員
安全対策・苦情処理委員会	事故報告書の振り返り、事故防止の検討を行う。	11回	施設長・相談員・看護師・介護職員
虐待防止・権利擁護委員会	虐待の有無の確認、虐待防止に向けた取り組みを行う。	11回	施設長・相談員・看護師・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討行う。	12回	施設長・相談員・介護職員
生産性向上・マニュアル検討委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成等を行う。	12回	施設長・介護職員・看護師

感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	5回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	5回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束廃止に向けての取り組みについて検討する。	4回	施設長・相談員・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	12回	施設長・相談員・介護職員
入所検討委員会	新規入所申込者の入所順位を決定する。	4回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R6.09.15	翔乃流秀扇会	舞踊	9名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R6.06.25	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「前期」	2名	2名
R6.07.09	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「前期」	2名	4名
R6.07.16	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「前期」	2名	6名
R6.07.23～07.26	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「前期」	2名	14名
R6.07.29～31	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「前期」	2名	20名
R6.08.5～6	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「前期」	2名	24名
R6.08.27	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「後期」	2名	26名
R6.09.03	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「後期」	2名	28名
R6.09.10	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「後期」	2名	30名
R6.09.17	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「後期」	2名	32名
R6.10.8～10.09	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「後期」	2名	36名
計			22名	222名

【今後の取り組み】

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取り組み

・新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症に対し、消毒と換気の徹底及び健康観察を行い、感染予防を行います。
・施設内で感染者が発生した場合に、感染者の対応を行う医療機関との連携の上で施設内で感染者の療養を行うことや、他の入所者への感染拡大を防止するよう努めます。
・個々の利用者について、心身の状態をアセスメントし、身体拘束を必要としない状態を追及します。また、利用者の人権の擁護、虐待の防止等をより推進する観点から虐待についても職員全員で防止し、利用者の権利擁護に努めます。
・防災計画やBCPに基づいた各種訓練を実施し、危機管理の徹底に努めます。また、地域との災害協定締結に取り組み、災害発生時の相互協力体制を整えます。
・災害協定を締結している協力施設(萩風園)と連携し、災害時(水害等)の対応を行います。
・施設設備の開放や地域活動への参加を通して、地域との交流を深めます。また、施設独自で地域の清掃活動を行うなど、積極的な地域貢献活動を進めます。
・全職員が利用者の個別性を十分に理解し、利用者の人権擁護のためのプライバシー保護や倫理等を含むコライアンスを徹底します。
・リスクマネジメント委員会において、定期的にヒヤリ事例や事故発生の原因分析と対策検討を行い、事故等の再発防止と予防に努めます。また、全職員で危険個所等の把握を行い、施設内に潜むリスクを予め回避できるように努めます。

2. 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい環境づくりへの取り組み

・生産性向上委員会を中心に接遇に関するスローガンを掲げ、サービスの質の向上に努めます。
・利用者及び家族へのアンケートを実施し、アンケート結果をもとにサービスの改善を図っていきます。
・介護ロボットの導入により、介護職員の身体的負担の軽減や業務の効率化など、就労環境の整備を図ります。
・利用者の安心安全な生活を最優先に考え、苦情や事故が発生した際には迅速に対応し、早期解決と再発防に努めます。
・各種研修の受講を通して、職員の業種や階層別における専門知識とスキル習得を促進し、職員個々のキャリアアップと組織全体での質の向上に努めます。
・常に業務改善と効率化を検討し、職員の年次有給休暇取得の促進、産休育休、病休制度等、職員の働きやい職場環境を作ることで、職員の離職防止や新しい人材の確保に繋げていきます。
・介護現場における業務改善に資する取組の促進を図る観点から利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境作りに努めます。

3．自立支援・重度化防止に向けた対応

・職員による適切な口腔管理等の実施と、歯科専門職による適切な口腔管理につなげる観点から、利用者の入所時及び定期的な口腔衛生状態及び口腔機能の評価の実施に努めます。
・ユニットケア施設の機能を活かし、利用者が居心地の良い雰囲気の中で、その人らしさと尊厳のある暮らしが継続できるよう、常に利用者と寄り添えるケアの充実に努めます。
・ユニットケアの特性である24時間シートを活用し、重度化防止を目標に、生活リハビリ支援と自立支援に力を入れ、サービスの質の向上に努めます。

4．事業の安定性と持続性確保に向けた取り組み

・職員全員が経営意識を持ち、稼働率の向上や省エネに取り組み事業の安定化を図ることで良質なサービスの提供を継続します。

令和６年度
東和高齢者福祉施設デイサービス　事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人 恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日　　平成14年10月15日
5. 利　用　定　員　　35 名

利用者の皆様の尊厳を重視し、自立支援を目指しています。心身の状態を確認しながら通所介護サービス計画書を作成し、安心・安全に過ごしていただけるようリスクの予防や分析を行い、再発防止に努め、職員も施設内外の研修に参加し、自己研鑽に努め質の高いサービスを提供することで利用者の方々の在宅生活を支え、家族の身体的及び精神的負担軽減を図っています。また、市町村や地域の保健・医療・福祉サービス関係者と綿密な連携を取りながら、社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持に努めております。今後も地域に根差し、施設の機能を最大限に活かし、スポット利用も柔軟に受け入れながら、より良い利用をしていただけるよう努めていきたいと思います。

【 重 点 項 目 】

1. 利用者の自立支援と重度化防止

① ・在宅での生活が継続出来るよう自立支援に向け、季節毎の行事やレクリェーション等活動をとおして通所介護サービス計画書を元に、個々の心身状態の機能維持、改善に努めています。

② ・サービス担当者会議に出席し、ケアマネジャーのケアプランと利用者様の意向に沿った通所介護サービス計画書の作成に努めています。
・看護師による機能訓練や、日々の全身体操を実施して機能維持に努め、内部研修を通して認知症の利用者に対する関わり方を職員に理解してもらい、良質なサービスに繋げています。

2. 利用者の尊厳の尊重

① ・体調の確認や、既往をよく理解し、その人らしく生活して頂けるよう意向を汲み取りながら、行事活動、社会資源等も活用しながら支援させていただいております。

② ・契約時には利用者、家族に個人情報の保護について説明し、文書にて取り交わし、データの管理を徹底し、個人情報の保護に努めています。

3. サービス向上に向けた取り組み

① 生産性向上委員会が掲げたスローガン「言葉遣いに気をつけて」に基づき、サービスの質の向上に努めました。

② 利用者及び家族へのアンケートを10月に実施しました。アンケート結果をもとにサービスの改善を図っています。

③ 利用者の安心安全を最優先に考え、苦情や事故が発生した際には迅速に対応し、早期解決と再発防止に努めています。

④ 施設内の研修を実施し介護サービスの質の向上及び利用者の安全に努めています。

4. 職員の資質向上・働きやすい環境づくりへの取り組み

① ・施設内の研修では、研修の時間帯を工夫し、多くの職員が研修に参加することで職員の知識・技術の向上を図りました。また、外部への研修にもオンライン等も活用し、積極的に参加し自己研鑽に努めています。

② ・業務の見直し、効率化を図りました。また、年次有給休暇の取得促進を図るとともに、産休育休等制度を活用し、働きやすい職場環境になるよう配慮しております。人材の確保、離職防止に努めています。

③ ・マニュアルの整備や研修、面談等を行いハラスメント対策を実施しました。メンタルヘルス等の研修も実施し働き易い環境を整えています。

④ 職員の負担軽減を考えて、業務改善等を通じた働きやすい職場作りに努めています。

5. 地域包括システムの運営・推進

① 事業所内の消毒と換気を徹底し、利用者や職員の健康観察を適宜に行うことで感染予防に努めました。

② 感染症BCP(業務継続計画)が義務化となったことに伴い、BCPの随時見直しと、それに基づいて研修と訓練を行いました。

③ 協力医療機関との連携を図れるように、地域の実情に応じた柔軟かつ効率的な取り組みが実施出来るよう環境を整えています。

④ 認知症高齢者や重度の要介護者を積極的に受け入れました。医療機関・各関係機関と連携を図りながら、家族の身体的及び精神的負担の軽減に繋げています。

⑤ 高齢者虐待防止委員会を通じて検討、改善を図り高齢者虐待防止に努めました。利用者の人権の擁護、虐待の防止等をより推進するため、内部で研修も実施しながら職員全員で虐待防止や利用者の権利擁護に努めています。

⑥ 感染症や災害の発生に備え、定期的に防災設備や感染予防対策セットを点検整備しております。業務継続計画(BCP)に則り、研修等も行い職員への周知を図りました。利用者の安全安心な生活を確保できるよう努めています。

⑦ 年に1回、災害協定を締結している協力施設(萩風園)と連携し、年に1回、災害時(水害等)の対応を訓練を通して行っています。

⑧ 地域の防災訓練の場として施設駐車場を開放し、職員も参加しました。また、美化活動として米谷小学校前の道路の除草作業を行っています。

⑨ 利用者の個別性について、ミーティングやデイサービス調整会議等で検討を行い理解に努めました。利用者の人権擁護のためのプライバシー保護や倫理等を含むコンプライアンスについての研修を、内部で実施しながら職員への徹底を図りました。

⑩ ヒヤリハットや事故が発生した場合は速やかに報告書を作成し、ミーティングやリスクマネジメント委員会で改善策を更に検討し、職員に周知徹底を図り事故の再発防止に努めています。また、全職員で危険個所等を確認するなど、施設内に潜むリスクを予め回避出来るように努めています。

6. 事業運営の安定化と持続性の確保

利用状況(稼働率)については数値化し会議等にて職員に報告、全職員が経営意識を持ち、事業の安定化を図ってます。しかしながら、契約者よりも解除者の方が多く経営の安定には工夫等が必要な状況です。省エネについての意識も高めていく必要があります。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　7,343 名
2. 年 間 稼 働 日 数　309 日
3. 年 間 稼 働 率　67.90 % (通所介護＋総合事業＋基準該当)
(60.47) % (通所介護)
(6.54) % (総合事業)
(0.89) % (基準該当)
4. 年間平均介護度　2.62 (通所介護)

5. 月 別 利 用 状 況　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	36	50	51	42	50	53	70	69	63	52	56	64	656
要介護 2	218	221	227	263	243	186	193	171	178	183	195	209	2,487
要介護 3	171	194	174	201	194	182	196	237	235	233	216	244	2,477
要介護 4	67	60	52	62	59	57	43	45	26	24	27	24	546
要介護 5	26	34	11	16	41	28	30	46	41	29	33	39	374
計	518	559	515	584	587	506	532	568	543	521	527	580	6,540
事業対象者	23	28	24	21	23	18	18	18	16	16	9	12	226
要支援1	7	7	8	9	9	8	8	9	10	10	8	7	100
要支援2	42	34	30	35	28	29	34	34	32	30	26	27	381
計	72	69	62	65	60	55	60	61	58	56	43	46	707
基準該当	0	0	0	0	0	0	0	20	19	18	20	19	96
計	0	0	0	0	0	0	0	20	19	18	20	19	96
合　計	590	628	577	649	647	561	592	649	620	595	590	645	7,343

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	3	1	1	2	2	0	3	6	4	3	1	0	26
契約終了者数	4	1	3	2	3	1	4	0	2	1	3	3	27
月末契約者数	69	69	67	67	66	65	64	70	72	74	72	69	－1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数	
R6.04.08 ～04.10	お花見会	春の音楽に合わせてリハビリ体操やジュースを飲んだりして楽しまれている。	利用者 職員	56名 19名
R6.07.04 ～07.6	七夕会	利用者様に短冊を書いていただき飾っている。七夕の由来をお話ししたり、七夕の歌に合わせて体操を行っている。	利用者 職員	77名 22名
R6.08.22 ～08.24	夏祭り	利用者と神輿を担いだり、輪投げ、水ヨーヨー釣りなどの行い楽しまれている。	利用者 職員	72名 20名
R6.09.25 ～09.27	長寿を祝う会	祝電の披露やジュースでの乾杯を行い、記念品の贈呈からボランティアのアトラクションで盛り上がり、利用者の皆様楽しまれている。	利用者 職員	64名 26名
R6.10.07	米谷小学校交流会	小学生が福祉について学ぶ授業に協力し、生徒が考えたゲームなどを行っている。	利用者 職員	26名 9名
R6.10.16 ～10.18	運動会	職員の仮装レースや利用者様の玉入れなどを行い、最後に賞状も配布し楽しまれていた。	利用者 職員	63名 23名
R6.10.18 ～	芋煮会	今年度も調理は行なっていない。昼食に芋煮を提供して、秋の季節を感じていただいている。	利用者	26名
R6.12.16 ～12.18	クリスマス会	利用者の皆様とクリスマスソングに合わせて合奏を行っている。また、ボーリングをしたりプレゼントを貰ったりして楽しまれていた。	利用者 職員	120名 30名
R7.01.10 ～01.13	新年会	お屠蘇を紙コップで配り対応している。その後ボランティア方にアトラクションを披露をしていただき盛り上がっていた。	利用者 職員	74名 21名
R7.02.10 ～2.12	節分ゲーム	節分の由来のお話しから、今回クイズも行っている。皆様由来について話されている。またボーリングゲームを行い楽しまれていた。	利用者 職員	71名 15名
R7.03.06 ～03.08	ひな祭り	今年度は施設長の津軽三味線や、ボランティアの方に大正琴を披露してもらいました。	利用者 職員	72名 20名

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内容	講師(講演者)	参加者
R6.04.23・30	施設設備研修	事務員	職員12名
R6.4.23・5.24・31	介護事故防止(夜間緊急時対応)研修	准看護師・生活援助員	職員12名
R6.5.21・29・6.10	公用車運転操作研修	介護福祉士	職員11名
R6.5.20・27・6.12・19	入浴介助に関する研修	介護福祉士	職員11名
R6.06.15	BCP(災害時)感染予防研修	看護師	職員6名
R6.6.17・21・22	感染予防研修(感染症・BCP訓練含む)	准看護師	職員11名
R6.06.28	食中毒予防研修	栄養士	職員11名
R6.7.6・16	医療研修・口腔ケア研修	看護師・准看護師	職員8名
R6.7.9・23	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修①	生活相談員	職員12名
R6.8.6・22・9.3・10	法令遵守研修	施設長	職員12名
R6.08.24	褥瘡予防・感染予防研修	看護師	職員3名
R6.9.12・16	介護基本研修	管理者・介護福祉士	職員8名
R6.09.24	防災基本研修	迫防災(外部講師)	職員4名
R6.10.8・15・19・23	介護事故防止研修	ユニットリーダー兼介護福祉士	職員12名
R6.10.8・15・19・23	高齢者虐待防止研修	ユニットリーダー兼介護福祉士	職員12名

R6.10.21・26	メンタルヘルス研修	管理者	職員6名
R6.12.14	認知症高齢者介護基本研修	介護福祉士	職員6名
R6.12.9・17・19	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修②	生活相談員	職員9名
R6.12.14	感染予防研修	准看護師	職員4名
R7.02.22	介護サービス基本研修	介護福祉士	職員3名
R7.02.28	プライバシー研修	介護福祉士	職員4名
R7.03.13	BCP(災害時)防災研修	事務員	職員4名

(2) 外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R6.06.18	認知症カフェ研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R6.07.12	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	宮城県介護福祉士会	仙台市市民活動サポートセンター	職員1名
R6.07.19	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	宮城県介護福祉士会	仙台市市民活動サポートセンター	職員1名
R6.08.03	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	宮城県介護福祉士会	仙台市市民活動サポートセンター	職員1名
R6.08.09	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	宮城県介護福祉士会	仙台市市民活動サポートセンター	職員1名
R6.09.05	コミュニケーション技術・対人援助技術研修2班	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R6.10.16	登米市認知症高齢者対応研修会	登米市	オンライン	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会議名	内容	実 施 回 数	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	11回	施設長、事務員、栄養士、相談員、看護師、介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	12回	施設長、事務員、栄養士、相談員、看護師、介護職員
デイサービス調整会議	サービス提供の内容・行事企画・業務執行等の運営に関し検討	12回	施設長・デイサービス職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	実施回数	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	11回	施設長・栄養士・介護職員
安全対策・苦情処理委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等、苦情処理の検討を行う。	11回	施設長・栄養士・介護職員
虐待防止・権利擁護委員会	虐待の有無の確認、虐待防止に向けた取り組みを行う。	11回	施設長・相談員・看護師・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討行う。	12回	施設長・相談員・栄養士・介護職員
生産性向上・マニュアル検討委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成、給食業務等の評価改善を行う。	12回	施設長・栄養士・介護職員
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	5回	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	5回	施設長・栄養士・看護師・介護職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束廃止に向けての取り組みについて検討する。	4回	施設長・相談員・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	12回	施設長・相談員・介護職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア

年月日	団体名	内容	来訪者数
R6.09.15	翔乃流秀扇会	舞踊	9名
R7.01.11	フラ・アロハ	フラダンス	7名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R6.6.3～14	迫支援学校	現場実習	1名	10名
R6.07.12	登米総合産業高校1年	介護実習	1名	1名
R6.7.22～23	登米総合産業高校1年	介護実習	1名	2名
R6.7.25～26	登米総合産業高校1年	介護実習	1名	2名
R6.7.29～30	登米総合産業高校1年	介護実習	1名	2名
R6.08.01	登米総合産業高校1年	介護実習	1名	1名
R6.8.7～9	佐藤葉月さん	職場実習	1名	3名
R6.08.23	登米総合産業高校1年	介護実習	1名	1名
R6.08.30	登米総合産業高校1年	介護実習	1名	1名
R6.09.06	登米総合産業高校1年	介護実習	1名	1名
R6.09.13	登米総合産業高校1年	介護実習	1名	1名
R6.10.04	登米総合産業高校1年	介護実習	1名	1名
R6.10.11	登米総合産業高校1年	介護実習	1名	1名
R6.10.31～11.1	登米総合産業高校1年	介護実習	1名	2名
R6.11.08	登米総合産業高校1年	介護実習	1名	1名

【今後の取り組み】

1. 利用者の自立支援と重度化防止

①利用者が可能な限り自宅や地域において自立した生活が送れるよう、季節行事や活動をとおして身体状態の維持・改善に努めます。

②利用者個々の心身状況に応じた個別プランを作成し、身体状態の改善・維持はもちろん認知症の進行抑制を図り、自立した生活が送れるよう支援していきます。

2. 利用者の尊厳の尊重

①利用者の意向をお聞きしたり、状態を把握しながらその人らしく生活して頂けるよう丁寧に 対応させていただくと共に、行事、活動の実施、社会資源等も活用し、家族の協力も得なが ら支援させていただきます。

②データ管理を徹底し、個人情報の保護に努めます。

3. サービス向上に向けた取り組み

①生産性向上委員会を中心に接遇に関するスローガンを掲げ、サービスの質の向上に努めます。

②利用者及び家族へのアンケートを実施し、アンケート結果をもとにサービスの改善を図っていきます。

③利用者の安心安全な生活を最優先に考え、苦情や事故が発生した際には迅速に対応し、早期解決と再発防止に努めます。

④介護現場における業務改善に資する取り組みの促進を図る観点から、利用者の安全並びに介護サービスの質の確保に努めます。

4. 職員の資質向上・働きやすい環境づくりへの取り組み

①施設内外の研修を計画し職員の業種や階層別に取り入れ、専門的知識、技術の習得を促進 し、職員個々のキャリアアップと組織全体での質の向上に努めます。

②常に業務改善と効率化を検討し、職員の年次休暇取得の促進、産休育休、病休制度等、職員の働き易い職場環境を作ることで、職員の離職防止や新しい人材の確保に繋げていきます。

③マニュアルの周知や研修を行いハラスメント対策を行い、メンタルヘルス等の研修も行い、相談し易い環境、体制を確立します。

④職員の負担軽減に資する業務改善等を通じた働きやすい環境作りに努めます。

5. 地域包括システムの運営・推進

①新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症に対し、消毒と換気の徹底及び健康観察を行い、感染予防を行います。

②新型コロナウイルス感染症に関しては5類へ変更され、感染症BCP（業務継続計画）が義務化となったことに伴い、BCPの随時見直しと、それに基づいた研修を行い、基礎疾患を抱え重度化リスクの高いご利用者をお守りすべく福祉施設として対応します。

③高齢者施設等における医療ニーズへの対応強化として、協力医療機関との連携を図り、地域の実情に応じた柔軟かつ効率的な取り組みが実施出来るよう努めます。

④認知症高齢者や重度の要介護者を積極的に受け入れ、医療機関・各関係機関と連携をしながら利用者の在宅生活を支えると共に、家族の身体的及び精神的負担の軽減も図ります。

⑤高齢者虐待防止についての取り組みとして委員会を通じて検討、改善を図り高齢者虐待防止に努めていきます。また、利用者の人権の擁護、虐待の防止等をより推進する観点から虐待についても研修等も行いながら職員全員で防止し、利用者の権利擁護に努めます。

⑥感染症や災害の発生に備え、防災設備や感染予防対策セットを点検整備します。また、業務継続計画(BCP)の見直しや職員への周知と訓練を行い、利用者の安全安心な生活を確保できるよう努めます。また、地域との災害協定締結に取り組み、災害発生時の相互協力体制を整えます。

⑦災害協定を締結している協力施設(萩風園)と連携し、災害時(水害等)の対応を行います。

⑧施設設備の開放や地域活動への参加をとおして、地域との交流を深めます。また、施設独自で地域の清掃活動を行うなど、積極的な地域貢献を進めます。

⑨全職員が利用者の個別性を十分に理解し、利用者の人権擁護のためのプライバシー保護や倫理等を含むコンプライアンスを徹底します。

⑩リスクマネジメント委員会において、定期的にヒヤリ事例や事故発生の原因分析と対策検討を行い、事故等の再発防止と予防に努めます。また、全職員で危険個所等の把握を行い、施設内に潜むリスクを予め回避出来るように努めます。

6. 事業運営の安定性と持続性の確保

①職員全員が経営意識を持ち、利用状況（稼働率）や省エネを数値化し、事業の安定化に向けた取り組みを行います。

令和6年度
東和高齢者福祉施設生活支援ハウス 事業報告

【 施 設 概 要 】

1) 所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
2) 設　置　主　体　　登米市
3) 経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4) 開 設 年 月 日　　平成14年10月1日
5) 事業・利用定員

事　　業	利 用 定 員
生活支援ハウス	10 名
介護家族支援レスパイト	空床
計	10 名

住み慣れた自宅に一日でも長く住んでいたいと願う思いは誰もが抱いています。しかし、その自宅で生活していくことが難しい時もあるのが実情です。ここ支援ハウスでは、個々の入所理由に対応し、快適な住環境、バランスの取れた食事の提供等を行い安心して生活できるよう支援しています。今年は支援ハウス最後の利用となり、利用者数は例年より少ない状況でした。新型コロナウイルス感染症の流行も5年目となりましたが、今年度は感染者も出ず無事過ごす事ができました。また、新規利用者の方がおり生活環境に慣れるまで時間が掛かりましたが、安心して生活をされ過ごされていました。今年度最後の支援ハウスでしたが今後も登米市及び各関係機関と連携を図り、利用者に安全と安心を提供していきます。

【 重 点 項 目 】

1. 共同生活を送りながらも、個性を大切にした生活が送れるよう支援します。
   個室により個人のプライバシーは守られながら、食事や入浴を共にすることで連帯感が生まれ安心した生活を送ることが出来ています。
2. 感染症の予防に努め、適切な対応策を図り、安心して暮らせる環境を作ります。
   マスク着用の徹底や手指消毒、施設内消毒、食堂のパーテーション設置など感染リスクを減らす取り組みをしています。
3. 地域の福祉ニーズを踏まえつつ、セーフティネットの機能を高めるために、社会福祉法人として地域貢献に積極的に取り組みます。
   緊急入所の対応など、登米市及び地域包括支援センターとの連携を図り柔軟に対応しています。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　　402 名
2. 年 間 稼 働 率　　22.09 %
   (目 標 稼 働 率　　50.00 %)
3. 月 別 利 用 状 況　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自　立	0	0	0	0	0	0	0	0	12	31	28	20	91
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	24	62	56	51	193
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	30	31	28	29	118
									66	124	112	100	402

4. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
退 所 者 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
月末入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	± 0

【利用者サービスの状況】

1．生 き が い サ ー ビ ス

(1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R6.12.01 ～R7.03.31	塗り絵クラブ	例年大型の貼り絵を制作していたが、新型コロナウイルス対策として密となる活動を避け、個別の塗り絵などの活動に変更している。	利用者　4名 職　員　2名

【その他の利用者サービス】

＊介護家族支援レスパイト事業

1．年間延べ利用日数　　0 日

2．月 別 利 用 状 況　　（延べ利用日数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内容	講師（講演者）	参加者
R6.10.08	介護事故防止・高齢者虐待防止研修	ユニットリーダー兼介護福祉士	職員1名
R6.10.21	メンタルヘルス研修	管理者・介護福祉士	職員1名
R6.11.19	恵泉会職員研修大会（発表者）		職員1名
R6.12.09	身体拘束廃止推進・高齢者虐待防止研修	生活相談員	職員1名
R6.12.14	認知症高齢者基本研修	介護福祉士	職員1名
R7.02.22	介護サービス基本研修	介護福祉士	職員1名
R7.02.28	プライバシー研修	介護福祉士	職員1名
R7.02.28	プライバシー研修	介護福祉士	職員1名
R7.03.14	BCP（災害）研修	事務員	職員1名

2．会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催回数	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	11回	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
支援ハウス調整会議	利用者状況報告・入所希望者の実態把握	4回	施設長・事務員・生活援助員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	12回	施設長・事務員・栄養士・生活援助員
支援ハウス利用検討会議	入所申請が上がった際に、登米市福祉事務所を主催に随時開催	5回	登米市職員・包括支援センター職員・生活援助員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　　容	実施回数	参　加　職　員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	11回	施設長・生活援助員
安全対策虐待防止・苦情処理委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等の検討を行う。	11回	施設長・生活援助員
虐待防止・権利擁護委員会	虐待の有無の確認、虐待防止に向けた取り組みを行う。	11回	施設長・相談員・看護師・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討行う。	12回	施設長・事務員・相談員・生活援助員
生産性向上・マニュアル検討委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成等を行う。	12回	施設長・介護職員
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	5回	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	5回	施設長・栄養士・看護師・介護職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束廃止に向けての取り組みについて検討する。	4回	施設長・相談員・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	12回	施設長・相談員・栄養士・介護職員

【今後の取り組み】

地域の福祉ニーズを踏まえつつ、セーフティーネットの機能を高めるために、社会福祉法人として地域貢献に積極的に取り組みます。

令和6年度
地域密着型特別養護老人ホームゆりの郷　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池金沢山60－5
2）設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4）開　設　年　月　日　　平成23年4月18日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
介護老人福祉施設	34 名
短期入所生活介護（空床利用型）	―
計	34 名

【　基　本　方　針　】

令和6年度介護報酬改定に伴い、新たな加算の取得に取り組みました。特に協力医療機関との間で利用者の病状の急変が生じた場合等の相談、受診、入院対応について確認や緊急時の連携がスムーズとなるための協議を行い、令和6年度11月から算定を開始しました。協力医療機関との密なる連携により、定期的な協議する機会を設けることができました。さらに協力医療機関が実施する感染症に関する研修に参加することで、高齢者施設等感染症対策向上加算も不安なく業務に取り組める環境づくりとなりました。施設の安定経営について、加算の取得のほか居住費等の利用者負担の増収と節電により、使用量と金額を大きく抑え支出の削減ができました。認知症カフェは開催できませんでしたが、地域包括支援センターが主導する地域ネットワーク会議に参加し、地域課題や連携体制の構築を図りました。また、地域住民の方々と一緒に沿道の除草作業、ごみ拾いなどの環境整備に取り組みました。

【　重　点　項　目　】

1.地域包括ケアシステムの深化・推進
看取りの対応件数は8件でした。令和5年度は2件でしたので大きく増えました。看取り介護の研修を行い、理解の向上、サービスの質の向上に努めました。協力医療機関、嘱託医と連携を密にしながら、寄り添った介護を進めました。働きやすい職場環境づくりには、職員間の連携、コミュニケーションは重要であるためテーマ毎グループ活動を通じて進めました。

2.自立支援・重度化の防止に向けた対応
機能訓練により体を動かす機会の習慣化を進め、その評価は6ヶ月に1回のBI値測定により評価を行いました。機能低下予防に努めました。口腔ケア、栄養ケアの一体的取り組みは、嘱託医、歯科衛生士による研修2回開催しケア実践につなげ、口腔内の状況、食事摂取量や咀嚼、嚥下の状況を確認しながら進め、肺炎等の予防、健康維持に努めました。

3.良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場作り
良質な介護サービスの提供と働きやすい職場環境には職員・多職種の連携、コミュニケーションは非常に重要なため、人事考課担当ごとにテーマを設け、グループ活動を進め、グループメンバーの意思疎通、連携強化を図りました。些細な事や伝達の正確性、活性化に繋げ、チームワークしました。サービス向上委員会において行事や日中活動等における利用者の意見を聞き、サービス内容について評価検討しました。

4.制度の安定性・持続可能性の確保
業務効率、業務改善、生産性向上の取り組みは新たに設けた生産性向上委員会の中で検討、取り組みを進めました。業務内容の見える化、業務課題の洗い出し、業務効率を図る上での改善策と実践により生産性を向上させる目的に沿い、以後3年に渡り進めます。また、人材育成においては、OJT研修により統一した介護、排泄ケアに関する研修では、紙おむつの使い方、安心できる効率的で無駄のない使い方等を紙おむつ専門業者より研修を受け、介護技術の向上により効果的効率的な業務を進められるよう取り組みました。

5.家族・地域との関係性強化、地域貢献
利用者の様子を適宜家族に様子を伝えるほか、面会については平常時においては対面で実施しました。認知症カフェの開催は見送りましたが、沿道の草刈りやごみ拾いなどの環境整備活動を地域住民の方々と一緒に取り組みました。

6.経営安定化
入退所の状況管理を毎月実施し速やかに入所できるように努めました。稼働率は昨年と同じくらいであるが、短期入所利用で空床を穴埋めしたため、短期入所稼働率が上がりました。節電対策も効果があり節約できました。

7.法人内他事業所との連携
法人内連携は、隣接する光風園と常時連携、特に感染症の拡大時等にはできる限り物資協力、人的支援など協力体制を今後構築を継続していきます。

【 利 用 状 況 】

1 年間延べ利用人員　　11,805 名
2 年 間 稼 働 率　　95.12% %
（ 目 標 稼 働 率　　98.00 %
3 年間平均介護度　　4.15
4 月 別 利 用 状 況　　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	30	31	30	31	0	0	0	0	0	0	0	0	122
要介護 3	120	124	120	155	186	205	217	210	248	252	232	279	2,348
要介護 4	483	489	416	421	417	377	459	418	418	407	362	320	4,987
要介護 5	338	396	420	418	383	355	357	351	341	341	280	368	4,348
計	971	1,040	986	1,025	986	937	1,033	979	1,007	1,000	874	967	11,805

5 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	0	1	0	0	4	0	0	2	1	1	0	10
退 所 者 数	0	1	0	0	3	1	0	2	2	1	0	1	11
月末入所者数	34	33	34	34	31	34	34	32	32	32	33	32	－1

【利用者サービスの状況】

1 生きがいサービス
（1）行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R6.04.18	春まつり	季節を感じていただきながら,入居者の交流を図り、楽しい時間を過ごしていただいています。	入居者 33名 職 員 13名
R6.09.17	長寿を祝う会	長壽を祝いながら、長年の労に感謝し、これからの健康を祈っています。ボランティア依頼し民謡などを聞き、楽しい時間を過ごしていただいています。	入居者 30名 職 員 13名
R7.01.10	新年会	新年の雰囲気を味わうと共に楽しい時間を過ごして頂いております。記念撮影も行っています。	入居者 30名 職 員 12名

【短期入所者生活介護サービス】

1 年間延べ利用人員　　192 名
2 年間平均介護度　　3.12
3 月 別 利 用 状 況　　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	0	0	0	3	13	23	4	0	0	0	0	0	43
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	27	15	46
要介護 4	0	0	0	0	0	20	0	0	0	20	27	30	97
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	3	13	43	4	0	0	24	54	51	192

【利用者サービスの向上】

1 職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R6.04.02	防災設備研修について	ユニットリーダー兼介護福祉士	介護職員1名
R6.04.24	BCP（災害）研修	ユニットリーダー兼介護福祉士	全職員
R6.05.23	白十字オムツ交換研修について	白十字	介護職員5名
R6.05.23	ユニットケア研修	介護福祉士	介護職員3名
R6.05.24	看取りについて	准看護師	介護職員4名
R6.06.03	食中毒予防について	管理栄養士	介護職員6名
R6.06.03	緊急時の対応について（オンコール）	看護師	介護職員6名
R6.07.27	介護事故防止について	介護福祉士	介護職員3名
R6.09.02	見守りセンサー取扱い研修について	バイオシルバー	介護職員5名
R6.09.08	認知症介護基本について	介護福祉士	全職員
R6.10.17	コンプライアンスについて	施設長	全職員
R6.10.21	健康管理や病気・薬の副作用について	准看護師	介護職員6名
R6.10.21	接遇について	介護福祉士	介護職員5名
R6.10.28	感染症予防（インフルエンザ）について	看護師	介護職員4名
R6.12.19	BCP（コロナウイルス感染症）研修	看護師	全職員
R6.12.28	介護予防研修について	介護福祉士	介護職員3名
R6.12.28	身体拘束廃止/虐待防止について	介護福祉士	介護職員3名
R7.01.26	ゾーニング研修	看護師	介護職員2名
R7.02.17	介護事故防止について	介護福祉士	介護職員4名
R7.02.24	認知症研修振り返りについて	介護福祉士	介護職員3名
R7.02.24	接遇振り返りについて	介護福祉士	介護職員3名
R7.03.06	口腔ケアについて	歯科医院	介護職員6名
R7.03.06	救急救命について	登米市消防署津山出張所	介護職員9名、栄養士、生活相談員
R7.03.16	身体拘束廃止事例検討について	介護福祉士	介護職員3名
R7.03.31	プライバシー保護について	介護支援専門員	介護職員6名

（2）外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R6.05.23	登米市在宅医療・介護連携研修会（水分管理編）	宮城県ケアマネージャー協会登米支部	オンライン	職員1名
R6.06.18	登米市認知症カフェ研修会	登米市福祉事務所長寿介護課	南方庁舎	職員1名
R6.07.12	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	一般社団法人宮城県介護福祉会	仙台市市民活動サポートセンター	職員1名
R6.07.12	生産性向上の取り組みの普及・拡大に向けた介護事業所向けセミナー	厚生労働省	オンライン	職員1名
R6.07.17	登米地区地域ネットワーク会議	登米市東和・登米地域生活支援センター	登米総合支所	職員1名
R6.07.19	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	一般社団法人宮城県介護福祉会	仙台市市民活動サポートセンター	職員1名
R6.07.30	指定介護保険サービス事業者集団指導	宮城県東部保険福祉事務所	宮城県石巻合同庁舎	職員1名
R6.08.03	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	一般社団法人宮城県介護福祉会	仙台市市民活動サポートセンター	職員1名
R6.08.09	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	一般社団法人宮城県介護福祉会	仙台市市民活動サポートセンター	職員1名
R6.08.28	給食管理責任者研修会	宮城県石巻保健所	宮城県石巻合同庁舎	職員1名
R6.09.04	登米市介護サービス事業等集団指導	登米市福祉事務所長寿介護課	南方庁舎	職員1名

R6.09.17	ユニットリーダーケア実地研修	一般社団法人日本ユニットケア推進センター	特別養護老人ホームあすなろ	職員1名
R6.09.18	ユニットリーダーケア実地研修	一般社団法人日本ユニットケア推進センター	特別養護老人ホームあすなろ	職員1名
R6.09.19	ユニットリーダーケア実地研修	一般社団法人日本ユニットケア推進センター	特別養護老人ホームあすなろ	職員1名
R6.09.20	ユニットリーダーケア実地研修	一般社団法人日本ユニットケア推進センター	特別養護老人ホームあすなろ	職員1名
R6.10.24	高齢者肺炎予防研修会	宮城県東部保険福祉事務所	石巻赤十字病院	職員1名
R6.10.25	権利擁護事例検討会	特定非営利活動法人宮城福祉オンブズネット「エール」	オンライン	職員1名
R6.11.06	業務改善研修	宮城県社会福祉協議会	みやぎハートフルセンター	職員1名
R6.11.07	認知症介護実践者研修	宮城県介護研修センター	宮城県介護研修センター	職員1名
R6.11.08	認知症介護実践者研修	宮城県介護研修センター	宮城県介護研修センター	職員1名
R6.11.19	認知症介護実践者研修	宮城県介護研修センター	宮城県介護研修センター	職員1名
R6.11.20	認知症介護実践者研修	宮城県介護研修センター	宮城県介護研修センター	職員1名
R6.11.25	アセスメント・ケア向上研修会	宮城県東部保険福祉事務所	宮城県石巻合同庁舎	職員1名
R6.12.11	モチベーションアップ講演会	登米市福祉事務所長寿介護課	オンライン	職員1名
R6.12.20	人事考課研修	恵泉会	恵泉会事務局	職員1名
R7.02.04	フォローアップ研修	恵泉会	恵泉会事務局	職員2名
R7.02.28	「ゆい」就労支援セミナー	迫公民館	恵泉会地域生活支援センター	職員1名
R7.03.14	科学的介護情報システム(LIFE)第2回説明会	厚生労働省老健局老人保健課	オンライン	職員2名

2 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開 催 数	参　加　職　員
ユニット会議	入居者状況、業務課題・問題・行事内容を検討しています。	12回	管理栄養士・看護師・介護職員
リーダー・サブリーダー会議	ユニット間の連絡調整、行事・サービス・ケア内容の検討しています。	12回	管理栄養士・看護師・介護職員
職員会議	事業計画の遂行、並びに各種報告及び課題等について検討しています。	12回	全職員
運営推進会議	サービス評価・改善、入居者の生活状況確認しています。	6回	運営推進委員・入居者代表・施設長・相談員
給食会議	調理部門と給食内容、栄養管理に関して検討しています。	12回	入居者代表・施設長・管理栄養士・調理員・看護師・介護部
入所判定会議	実態調査を終了した方の入居の可否を検討、決定しています。	10回	施設長・相談員・看護師・介護職員
連絡会議	各部署の代表者で情報共有や意見交換、懸案事項の検討を行っています。	12回	施設長・相談員・看護師・ユニットリーダー

(2) その他の会議

開 催 数	内　容	場　所	出　席　者
22回	担当者会議(ケアプランの確認、見直ししています)	相談室	入居者、家族、施設長、相談部、看護部、介護部

3 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催数	参加職員
施設指名委員会	見積もり合わせなどの指名業者の審議、入札の場合は法人事務局に内申を行います。	7回	施設長、総務部、担当職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束廃止に向けての検討をしています。	12回	各委員
リスクマネジメント委員会	事故等の防止対策を検証・共有し再発防止に努めています。	12回	各委員
感染症対策・褥瘡予防委員会	感染症・褥瘡等の予防対策しています。	12回	各委員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル等の評価・改善しています。	10回	各委員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため、研修の企画・実施しています。	4回	各委員
防災委員会	災害時等の防災訓練を企画・実践し、施設の安全な環境整備を行っています。	12回	各委員
マニュアル検討委員会	施設に合ったマニュアルの作成及び整備を行っています。	12回	各委員
入所判定検討委員会	入所申し込みの確認、入所判定基準に従い優先順位の審査、決定します。	4回	外部委員、施設長、栄養士、看護師、生活相談員、ユニットリーダー
ターミナル検討委員会	入居者や家族に対し、最期までより良い支援を継続することを基本とし、体制の整備、看取り介護、振り返り、体制の改善を行います。	12回	各委員
見守りセンサー等有効活用検討委員会	導入機器が安全且つ有効に活用され、介護事故等が減少していることの確認、必要な分析、検討を行います。	12回	各委員
生産性向上検討委員会	良質かつ効率的な介護サービスの提供に向け業務改善に取り組み検討しています。	4回	各委員

【施設機能の開放】

1. 地域交流・視察・見学・実習受入状況

(1) 地域交流

年月日	団体名	内容	来訪者数
	受け入れ実績ありません。		

(2) 視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
	受け入れ実績ありません。		

(3) 実習

年 月 日	団　　体　　名	実　習　内　容	実 人 数
R6.05.08	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1 名
R6.05.15	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1 名
R6.5.21～22	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1 名
R6.05.29	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1 名
R6.06.19	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1 名
R6.06.25	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2 名
R6.06.26	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1 名
R6.07.03	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1 名
R6.07.09	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2 名
R6.07.10	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1 名
R6.07.16	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2 名
R6.7.23～7.25	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ・Ⅱ	3 名
R6.07.26	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2 名
R6.07.29	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2 名
R6.07.30	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ・Ⅱ	3 名
R6.07.31	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1 名
R6.8.1～8.2	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	3 名
R6.08.05	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2 名
R6.08.27	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2 名
R6.08.28	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1 名
R6.09.03	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2 名
R6.09.04	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1 名
R6.09.10	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2 名
R6.09.17	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2 名
R6.10.8～10.9	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	2 名
R6.10.2～10.4	宮城県立支援学校女川高等学園	産業現場等における実習	1 名
R6.10.7～10.11	宮城県立支援学校女川高等学園	産業現場等における実習	1 名
R6.10.15～10.18	宮城県立支援学校女川高等学園	産業現場等における実習	1 名
R6.10.21～10.23	宮城県立支援学校女川高等学園	産業現場等における実習	1 名
		のべ	46 名

【今後の取り組み】

1.地域包括ケアシステムの深化・推進
1)支援体制（地域包括ケア）の構築のため、嘱託医や協力医療機関との医療連携体制会議、地域包括支援センター・居宅介護事業所の専門職との地域ネットワーク会議、地域密着型施設として行政担当者、福祉関係者、地域住民等における運営推進会議により情報共有や連携により支援体制構築を進めます。
2)医療機関との連携は、嘱託医・協力医療機関と定期的に入所者の状況を共有し、夜間休日の相談、受診、緊急時の入院ができる等、利用者急変時の対応がスムーズに進められるよう取り組みます。施設での看取り介護においては、嘱託医、協力医療機関と連携し、看取り期におけるケアの質の向上をターミナル検討委員会で進めます。
3)認知症への対応力強化として、無資格の介護職員は認知症介護基礎研修の受講し、また専門性を高めるため認知症実践者研修、認知症ケア実践リーダー研修を受講し対応力強化とその人員配置及び加算取得に向けた取り組みを進めます。

2.自立支援・重度化の防止、サービスの質の向上
1)科学的介護（口腔・栄養・褥瘡予防・認知症・排泄・機能訓練）における一体的取組として、評価分析、LIFEのフィードバック情報を定期的に生産性向上委員会、サービス向上委員会、定期カンファレンスにおいて検討、ADL評価・口腔機能評価・興味関心チェックシートと合わせ個別援助計画(24hシート)に反映する統一した介護と個別ケアの実践を進めます。
2)重度化防止のため、口腔衛生について、嘱託医ならびに歯科衛生士の指導、口腔ケア研修により介護職員の知識や技術の習得を図り、口腔ケア実践を進めます。
3)配慮された接し方や言葉遣いの徹底を目的とした取組として、コミュニケーションの実践記録と活動メニューやプログラム（day・week・month）周知、利用者のご意見を伺い、検討する仕組みをサービス向上委員会で進めます。
4)認知症の状態に配慮したケアの実践を進めるため、実践者研修や内部研修での学びと実践や認知機能の低下防止の活動プログラムの効果測定をサービス向上委員会及びグループ活動において進めます。
5)生活空間の配慮や個々に応じたケアの実践に向けて、24hシートに基づいたユニットケアを進めます。

3.良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場作り
1)インカム・スマートホンを活用したコールシステム、見守り介護ロボット、iPad活用による記録の簡素化、介護情報データの活用により業務効率、敏速な状況判断、記録等の業務負担軽減を進めます。
2)生産性向上委員会において、業務内容の見直しと工夫、効率的な業務、利用者視点でのサービス提供について検討します。
3)マニュアル検討委員会において、既存のマニュアルの見直しの他、新たに必要なマニュアル、手順書を作成します。
4)苦情・リスクマネジメント委員会において、介護事故防止のため、ヒヤリハットなど必要な多くの情報を収集、分析、適切な対応対策を検討します。
5)利用者満足度調査の実施(年2回)、情報収集の他、利用者興味・関心チェックシートを活用し、サービス提供における分析、評価、改善を行います。
6)年次有給休暇5日以上の確実な取得と労災事故ゼロの取組(安全衛生研修、腰痛予防、危険箇所の把握と改善)を進めます。
7)コンプライアンスガイドラインのセルフチェック項目により、自己分析を実践する。感情のコントロールを意識し、意思疎通をはかり、チーム組織として関わり合いが出来る組織づくり、職場環境の維持改善に取り組みます。

4.介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み
1)外部研修や伝達研修、内部研修の充実に継続して取り組みます。OJT研修を計画的に実施し、ケア統一を図りサービスの質の向上と効率、負担の軽減を図ります。
2)認知症介護実践リーダー研修、認知症介護指導者研修の受講により「認知症ケア加算」取得をめざし体制を作り、専門性を高めます。無資格の介護職員においては、認知症介護基礎研修を受講し、ケア実践力を高めます。
3)日々実施している基本理念の復唱、コンプライアンス研修等により、倫理綱領の理解と行動規範、服務規程等、その他取り巻く規則規程の遵守徹底を図り、職員間共通認識を高め、よりよい職場環境を作ります。
4)人材育成については、法人内で実施している研修への講師派遣(介護福祉士試験対策講習、ケアマネジャー試験対策講習、介護職員実務者講習、介護職員初任者研修)により、法人全体で職員の資格取得に向け取り組みます。施設内においては、研修計画、研修実施要領に基づき育成を行い、評価や分析、講師となった職員へのフィードバック等は、研修委員会により進めます。

令和6年度
地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米川字寺内28－22
2）設　置　主　体　　社会福祉法人「恵泉会」
3）経　営　主　体　　社会福祉法人「恵泉会」
4）開　設　年　月　日　　平成23年4月18日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
介護老人福祉施設	34 名
短期入所生活介護	空床型
計	34 名

法人の理念である「人間の尊厳」「人権の擁護・平等・主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」の5つの理念の下、嘱託医師と連携を図り健康管理に努め、また個々の栄養マネジメントの実施では、低栄養リスクのある入居者様へのきめ細かなアプローチも継続できました。施設で最期を迎える看取りケアではご本人、ご家族の想いに寄り添い、職員一丸となって取り組みました。
ふるさと訪問や地域の季節行事の参加は、地域の中で過ごしていることを実感でき、有意義なひとときとなりました。
多くの外部研修に参加、同法人内の施設に講師として出向くなど、積極的にケアの質の向上に努めました。
今後一層、各種資格や研修の取得を目指し、人材育成にも力を入れます。入居者様が充実した日々となるよう以下の5つを重点目標として推進しております。

【　重　点　項　目　】

1. 各種研修への参加では多くの職員が受講、施設内で伝達し人材育成を行っています。
認知症に関する研修（認知症介護実践者フォローアップ研修1名）や介護福祉士養成施設実習指導者講習会の受講などリーダーの育成と資質向上に努めました。
2. 施設サービス計画（ケアプラン）に基づき、個別援助計画、24時間シートなど各担当毎作成し、入居者個々の生活に合わせた支援を実践し、ターミナルケア（看取り）についても、年間8名対応しました。
3. 介護業務のICT化を推し進め、介護支援システムや介護ロボット等を活用し、業務改善（効率化・最適化）を行い職員の負担軽減を図ることを目的に取り組みました。
4. 新型コロナウイルス感染症が蔓延し対応に追われましたが他ユニットへの感染は防ぐことができ、最小限に抑えることができました。また、安全・安心な施設づくりに取り組み、大きな介護事故や災害もなく運営ができました。
5. 「新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続計画（BCP）」「自然災害発生時の業務継続計画（BCP）」の見直しを行い、より実効性のある物に仕上げるため計画に基づく研修と訓練を実施しました。

【　利　用　状　況　】

1 年間延べ利用人員　　12,162 名
2 年　間　稼　働　率　　98.00 %
（ 目 標 稼 働 率　　98.00 %
3 年間平均介護度　　4.09
4 月別利用状況

（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	172	155	150	124	124	120	124	120	124	149	140	155	1657
要介護 4	600	628	630	682	697	672	682	660	628	651	590	659	7779
要介護 5	211	248	240	223	182	210	245	226	248	248	220	225	2726
計	983	1,031	1,020	1,029	1,003	1,002	1,051	1,006	1,000	1,048	950	1,039	12162

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	2	0	1	1	1	1	0	1	1	0	2	11
退所者数	1	0	0	2	1	0	1	2	0	0	1	2	10
月末入所者数	32	34	34	33	33	34	34	32	33	34	33	33	＋1

【利用者サービスの状況】

1．生きがいサービス

（1）行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R6.08.23	夏祭り会	コロナまん延のため中止しています。	利用者　0名 職　員　0名
R6.09.13	長寿を祝う会	入居されている皆様の長寿をお祝いしています。	利用者　34名 職　員　13名
R6.10.25	芋煮会	秋の風物詩である芋煮を調理しているところから見学しながら、施設長の三味線演奏を聴き、会食を楽しんで頂いています。	利用者　34名 職　員　9名
R6.11.21	はっとフェスティバル	郷土料理である“はっと汁”を作り、昼食時に入居者へ提供し食べています。	利用者　34名 職　員　8名
R6.12.27	正月飾り作り	ユニット毎にみずの木に飾り付けをして新年の準備をしています。	利用者　33名 職員　6名
R7.02.03	節分・豆まき	厄を祓い無病息災を願い豆まきを行っています。	利用者　34名 職員　7名
R7.02.06	水かぶり見学	ユネスコ無形文化遺産でもある「水かぶり」の伝統行事に触れ、無病息災を願っています。	利用者　3名 職　員　3名

【その他の利用者サービス】

1．年間延べ利用人員　　4 名

（1）短期入所　（年間延べ利用人員）　4 名

（2）介護予防短期入所　（年間延べ利用人員）　0 名

（3）その他（障害福祉ｻｰﾋﾞｽ）（年間延べ利用人員）　0 名

【入居者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年月日	内容	講師（講演者）	参加者
R6.04.03	災害時の対応・連絡体制について	ユニットリーダー	職員 6名
R6.04.17	手洗い研修	准看護師	職員 8名
R6.04.17	感染症・BCPシュミレーション	看護師	職員 8名
R6.04.24	コンプライアンス研修	施設長	職員19名
R6.04.26	腰痛予防研修	准看護師	職員 8名
R6.4.24～4.30	見守り機器取り扱い研修	ユニットリーダー・介護福祉士	職員 7名
R6.05.22	食中毒防止研修	管理栄養士	職員 8名
R6.05.29	BCPシュミレーション（発電機の使い方）	介護福祉士	職員 8名
R6.05.29	認知症研修	介護福祉士	職員 8名
R6.5.27～5.31	消防設備研修	ユニットリーダー	職員 6名
R6.06.12	水分摂取研修	准看護師	職員 6名
R6.06.26	ユニットケア研修	ユニットリーダー	職員 5名
R6.07.10	感染予防研修（レジオネラについて）	准看護師	職員 6名
R6.07.29	新任研修	施設長、看護師、ユニットリーダー	職員 1名
R6.08.28	OJT研修	施設長	職員 8名
R6.08.29	看取り研修	住職	職員 8名
R6.09.05	身体拘束廃止および虐待防止研修	ユニットリーダー	職員 6名
R6.09.25	介護技術研修	介護員	職員 5名
R6.09.25	接遇研修	介護福祉士	職員 7名
R6.09.25	安全管理者研修	施設長	職員18名
R6.10.03	人事考課伝達研修	施設長・ユニットリーダー	職員 2名
R6.10.09	感染症BCP机上訓練	看護師	職員 5名
R6.10.23	メンタルケア研修	ユニットリーダー	職員 5名

R6.10.23	プライバシー研修	生活相談員	職員　5名
R6.10.30	OJT研修	施設長	職員　6名
R6.11.28	救命救急研修(DVD視聴)	介護福祉士	職員　6名
R6.12.04	介護技術研修「おむつ当て方について」	白十字株式会社職員	職員　7名
R6.12.20	令和6年度恵泉会人事考課現任研修	恵泉会研修委員メンバー	職員　1名
R6.12.25	事故防止研修	介護福祉士	職員　4名
R7.01.29	感染予防研修	准看護師	職員　5名
R7.01.29	感染症BCPシミュレーション	看護師	職員　5名
R7.01.29	褥瘡予防研修	准看護師	職員　5名
R7.02.04	フォローアップ研修	鉄道写真家武川健太氏	職員　1名
R7.02.26	身体拘束廃止および虐待防止研修	介護福祉士	職員　8名
R7.02.26	防災研修「フローチャートについて」	介護福祉士	職員　5名
R7.03.06	介護技術研修	介護福祉士	若草園職員10名
R7.03.12	科学的介護バーセルインデックス研修	生活相談員	職員17名
R7.03.12	看取り研修	看護師	職員　8名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R6.04.04	Barthel Index(BI)測定、評価方法について	厚生労働省	オンライン開催	職員2名
R6.06.18	「いざという時どうする？あなたの食と栄養」	登米栄養士会	登米合庁	職員1名
R6.06.18	認知症カフェ研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R6.7/16～17	認知症介護基礎研修	宮城県	オンライン開催	職員1名
R6.07.30	指定介護保険サービス事業者集団指導	宮城県	石巻合庁	職員1名
R6.08.01	生産性向上の取組に普及、拡大に向けた介護事業所向けのセミナー	厚生労働省	オンライン開催	職員1名
R6.08.24	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	オンライン開催	職員1名
R6.08.28	PDCAサイクルに基づいた栄養、食事管理について	宮城県	石巻合庁	職員1名
R6.10.25	宮城県高齢者権利擁護推進研修	宮城福祉オンブズネットエール	オンライン開催	職員1名
R6.11.06	業務改善計画	宮城県	仙台市	職員1名
R6.11.11	皮膚を守る排泄ケア	白十字	オンライン開催	職員1名
R6.11.22	権利擁護研修会(身寄りがない方)	登米市	南方庁舎	職員1名
R6.12/6～10	社会福祉施設長資格認定講習過程	全国社会福祉協議会	中央福祉学院	職員1名
R6.12.19	認知症の理解と対処方法	登米地区地域医療対策委員会	登米市民病院	職員1名
R7.01.17	認知症介護実践者フォローアップ研修	宮城県	仙台市	職員1名
R7.2/20～21	安全衛生推進者等養成講習	宮城労働基準協会瀬峰支部	瀬峰労基会館	職員1名
R7.03.03	就労支援セミナー	恵泉会地域生活支援センター	迫公民会	職員1名
R7.03.06	感染症対応強化研修会	登米地区地域医療対策委員会	オンライン開催	職員1名
R7.03.13	みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度スタートアップセミナー	宮城県	オンライン開催	職員1名
R7.03.14	科学的介護情報システム第2回説明会	厚生労働省	オンライン開催	職員1名
R6.7/12.19、8/3 R7.03.14	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	実施回数	参　加　職　員
ユニット会議(3ユニット)	業務課題、問題の検討、24Hシートの見直し	各12回	各ユニット職員
リーダー会議	ユニット間の連絡調整、サービス、ケア内容の検討	12回	各セクション職員
職員会議	事業計画の遂行、並びに各種報告及び課題等について検討	12回	全職員
運営推進会議	利用者の状況説明、事故報告、施設状況の説明	6回	施設職員、登米市、地域住民、包括支援センター
入居判定会議	実態調査等を元に入居可否の検討	9回	各セクション職員
サービス担当者会議	サービス提供に関する事項の協議	14回	施設長、介護支援専門員、各部代表
ケアカンファレンス	ケア・サービスに関する協議	12回	各セクション職員
給食会議	調理部門と給食内容、栄養管理に関して検討	12回	施設長、栄養士、調理員、相談員、医務、介護員、SV

(2) その他の会議

開催日	内　容	場　所	出　席　者
R6.06.19	東和地区地域ネットワーク会議研修	登米市東和総合支所	佐藤施設長

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　容	実施回数	参　加　職　員
サービス評価委員会	サービス評価、検討、改善計画の確認	14回	施設長、各委員
研修委員会	職員の資質向上を図るため、研修計画し実行	5回	施設長、各委員
感染症・褥瘡予防対策検討委員会	感染症・褥瘡の予防対策について検討	5回	施設長、各委員
リスクマネジメント委員会	リスクマネジメントの取り組み、検討	12回	施設長、各委員
マニュアル検討委員会	マニュアルの整備、見直し作成	6回	施設長、各委員
虐待防止・身体拘束防止委員会	入居者の虐待防止、身体拘束防止への取り組み	5回	施設長、各委員
防災委員会	防災、災害に関すること	4回	施設長、各委員
入居検討委員会	入居申込者の点数、順位の見直し	9回	施設長、各委員、外部委員
指名委員会	備品等の購入、契約に関する指名業者の選定	4回	施設長、各委員、購入担当者
ターミナル検討委員会	看取りに関する情報共有、対応	11回	施設長、各委員、ユニット職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団　体　名	内　容	来訪者数
R6.09.13	熊谷流宗家家元	舞踊	6名
R6.10.10	登米市アウトリーチ事業	シニアリトミック	3名
合　計			5名

(2) 実習

年月日	団　体　名	実習内容	実人数	延人数
R6.5.8～R6.10.9	宮城県登米総合産業高等学校	介護実習(2年生、3年生)	各1名	2名
計				2名

【 今 後 の 取 り 組 み 】

令和6年度介護報酬改定に合わせて、次年度の重点項目を以下のとおり取り組みを行います。

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進
①かかりつけ医（嘱託医）による定期的な診察（回診）は基より、入居者が急変した場合の相談・対応ができるよう医療機関との連携体制を構築します。
②入居者の意思及び人格を尊重し生活に対する意向を踏まえ、質の高い公正中立なケアマネジメントを提供していきます。
③看取り介護に対する入居者、家族の意向を踏まえかかりつけ医(嘱託医)、看護職員、生活相談員、介護職員、介護支援専門員、管理栄養士が共同で入居者がその人らしく生き、その人らしい最期が迎えられるよう支援を継続していきます。
④感染症等の予防は基より新興感染症の発生時の対応について、感染症対策マニュアル及び新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画（BCP）訓練や研修を行い対応力を強化していきます。
⑤高齢者虐待防止について、虐待防止・身体拘束防止委員会が中心となり、虐待防止に資する研修や虐待の芽チェックリストを定期的に実施し高齢者虐待防止を推進します。
⑥認知症介護実践者研修や認知症介護リーダー研修を受講し、認知症介護に対する理解と技術の向上を図ります。

2. 自立支援・重度化防止に向けた対応
①機能訓練、歯科医師指導によおる口腔管理、栄養管理を一体的に取り組みます。
②LIFEのフィードバックを活用し、計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Action)のサイクルにより、質の高いサービスを提供する体制を維持していきます。
③24時間シートの作成をとおして、本人が「できる事」「支援が必要な事」を明確にし入居者一人一人が、その人らしい自立した生活が送れるよう支援します。

3. 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり
①生産性向上委員会にて入居者の安全並びに介護サービスの質の確保、職員の負担軽減や効率的なサービス提供に資する方策を検討します。
②法人の第三者評価で抽出した改善項目について、検討を行い改善に向け全職員で共有し取り組んでいきます。
③介護ロボットや入居者に合わせた見守り機器、介護支援システム等(ICT)を活用しサービスの質の向上と業務負担の軽減を図ります。
④入居者となじみの関係を構築できるよう各ユニット間の勤務体制に係る取り扱いを明確にしていきます。
⑤職員一人一人が意欲と自信をもって働けるように、研修等を通じてハラスメント対策を継続して行っていきます。
⑥施設内研修や外部研修に参加し職員の能力を引き上げるとともに、先を見通すことができる人材を養成していきます。
⑦人事考課制度において、職員一人一人が掲げた目標を達成し、更なるステップに進めるようにするとともに、その能力を伸ばしながら次世代を担う職員養成をおこないます。

4. 制度の安定性・持続性の確保
①災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、ほたるの郷消防計画や自然災害発生時における業務継続計画(BCP)に基づいた研修、訓練の実施を進めます。
②毎月の事業収支、利用状況の把握により、目標稼働率維持や省エネ、経費節減に向けた取り組みを進めます。
③開設14年目となり設備補修など中長期計画を作成し、収支・施設整備ついて全職員で共有しながら事業を進めていきます。
④介護福祉士養成実習指導施設として、資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを受入れ、次世代の介護の担い手の養成と人材確保に繋げます。
⑤法人のホームページや宮城県介護サービス情報の公表制度、みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度などWEBサイトを通じて施設の情報発信を行います。
⑥マニュアル検討委員会において、ほたるの郷の各種マニュアルを定期的に見直しを行い全職員に共有、理解し業務にあたれるよう継続していきます。

令和6年度
恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池馬場埣777番地
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成5年3月15日
5. 利　用　定　員　　45 名

通所介護・日常生活支援総合事業通所型サービスは、介護保険法に定める基準に基づき設置・運営を行いました。また、基準該当生活介護は、障害者総合支援法に基づき設置・運営を行いました。

ご利用者や在宅介護するご家族のニーズを十分満たすことが出来るよう要介護状態になった場合においても、ご利用者が可能な限り住み慣れた地域、居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活が送れることを念頭に置き支援しました。ご利用者やご家族が利用を望む限り、看護師や多職種で協力し受け入れ態勢を整え利用していただきました。ご利用者の在宅生活を支えると共に、在宅介護をされているご家族に寄り添い、急なスポット利用なども柔軟に受け入れることで身体的及び精神的負担の軽減も図りました。

また、重度や障害のある方を積極的に受け入れ、職員の介護技術の向上、知識等のスキルアップを図り自己啓発に努めました。

ご利用者の体調管理やリスク管理を行うと共に感染症や災害が発生した場合には、事業継続計画（BCP）をもとにサービス提供ができるよう訓練や研修を実施しました。

オレンジカフェ（認知症カフェ）の開催や季節の行事（夏祭り）にて施設を開放することにより、施設に対して理解していただくことで、地域から信頼され今まで以上に地域に根ざした施設運営を目指しました。

今後も在宅生活を支援する施設として、家族や居宅事業所、医療関係者等との連携を図り、ご利用者が安心安全に利用できるよう質の高いサービスを提供していきたいと思います。

【　重　点　項　目　】

1. 在宅生活の継続・・・個別機能訓練加算Ⅰイ、個別機能訓練加算Ⅱを取得し、機能の維持向上に向け機能訓練に力を入れ実施しました。6月にはボディスパイダーという運動機器を導入し、機能訓練の内容が更にあつくなりました。ボディスパイダーを使用しての機能訓練は好評で実施したいという方が増えています。加算取得者で施設入所などによる終結者が居たものの、新規加算取得者もあり加算取得者は全利用者の50％前後をキープしています。ご利用者が機能訓練に対して興味関心が持てるよう実施方法を工夫したり、楽しく機能訓練を実施することで新規加算取得者を増やし、且つ継続実施していけるよう環境作りを行いました。今後も加算取得者を増やし、レスパイト機能のみならず在宅生活を継続するために精神的なケアと共に身体機能の維持向上を目指します。

2. オレンジカフェ「えん」の開催・・・新型コロナウイルス感染症等の感染状況を確認しながら、令和7年3月16日に5年ぶりに開催しました。開催当初から参加していただいた方々の参加もあり、18名の方に楽しんでいただきました。運動機器（ボディスパイダー）もお試しで実施してもらいましたが、とても好評で1名新規利用に繋がりました。感染症対策をしっかりした上で、今後も地域交流の一環として開催方法を工夫しながら実施していきます。

3. 隣接施設との世代間交流を通した生きがい作り・・・感染症の状況を見ながらキッズつぼみ、恵はあととの交流会を実施しました。中庭で遊ぶ子供たちや、遠山荘のテラスで遊ぶ子供たちを眺めたり声を聞いているだけでも、微笑ましく癒されていた様子が見られました。今後も感染症の状況を見ながら世代間交流として継続していきます。

4. 事故ゼロに向けた取り組み・・・市に提出の介護事故が1件ありました。介護に伴う事故やミス、ヒヤリハットは委員会等で検証を十分に行い、再発防止に努めました。また、公用車（車両）の事故として2件あり、1件は送迎時ご利用者宅での後退時タイヤを縁石等に擦る内容でした。ご利用者宅、道路状況などの共有を図りながら、再発防止として運転手との連携や介護員が同乗している場合は必ず降車して誘導することを徹底しました。今後も、日頃の点検、定期の点検の徹底を行い安全な運転、送迎業務に努めていきます。

5. 経費削減・安定経営・・・こまめな節電・節水を心がけ、職員間で声掛けし、経費削減に努めました。稼働率を上げ収入を増やすことを目指しましたが、新型コロナ感染症による影響や施設入所などによる終結により、稼働率、収入ともになかなか伸びない状況でした。重度のご利用者を受け入れることで中重度者ケア体制加算の取得や機能訓練の重点化だけでなく、職員の介護技術の向上と施設機能の専門性を深め効果的なサービスを提供することでご利用いただけるよう努めました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　11,238　名
2. 年 間 稼 働 日 数　　309　日
3. 年　間　稼　働　率　　80.82　%　（通所介護＋総合事業）
　　(79.07)　%　（通所介護）
　　(1.75)　%　（総合事業）
4. 年間平均介護度　　2.66
5. 月 別 利 用 状 況　　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	190	214	173	192	173	190	193	190	168	156	134	138	2,111
要介護 2	320	333	292	288	300	271	265	260	293	298	310	314	3,544
要介護 3	185	185	192	211	193	192	242	221	221	192	217	250	2,501
要介護 4	141	134	114	134	138	134	154	128	124	143	134	128	1,606
要介護 5	83	79	75	98	105	126	133	105	114	109	99	106	1,232
計	919	945	846	923	909	913	987	904	920	898	894	936	10,994
事業対象者	8	9	8	6	4	0	0	0	0	0	0	0	35
要支援1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
要支援2	26	27	22	26	23	17	19	13	16	2	7	9	207
計	36	36	30	32	27	17	19	13	16	2	7	9	244
合　計	955	981	876	955	936	930	1,006	917	936	900	901	945	11,238

6. 契　約　の　状　況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	2	2	0	4	2	2	2	0	3	3	0	22
契約終了者数	3	4	4	3	3	3	2	1	1	3	3	0	30
月末契約者数	103	101	99	96	97	96	96	97	96	96	96	96	－8

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
（1）行事

実 施 日	行　事　名	内　　容	参 加 者 数
R6.05.03 R6.05.04	菖蒲湯	菖蒲湯，足湯(2日間実施)	利用者　62名 職　員　23名
R6.07.05	七夕交流会	キッズつぼみ余興，七夕ゲーム	利用者　41名 職　員　14名
R6.08.08	合同夏祭り	ボランティア演目（和太鼓演奏，フラダンス），キッズつぼみ演目，出店(ヨーヨー，射的)，かき氷，綿あめなど	利用者　40名 職　員　15名
R6.09.14	とよま秋祭り見学	かき氷，麦茶提供	利用者　32名 職　員　10名
R6.09.17 R6.09.18 R6.09.20	長寿を祝う会	ボランティア演目、年祝い紹介、祝い品贈呈(3日間実施)	利用者　113名 職　員　40名
R6.10.28	運動会	お玉リレー，風船噴火リレー，タオルでボールリレーなど	利用者　41名 職　員　15名
R6.11.28	3施設交流会	キッズつぼみ余興，風船噴火リレーなど	利用者　37名 職　員　10名
R6.12.16	クリスマス交流会	キッズつぼみ余興，職員余興（ハンドベル）	利用者　41名 職　員　15名
R6.12.21	ゆず湯	ゆず湯、足湯	利用者　37名 職　員　10名
R6.12.23 R6.12.24	クリスマスカフェ	カフェ，職員余興（ハンドベル）(2日間実施)	利用者　79名 職　員　20名
R5.12.25	クリスマス会	演芸ボランティア，クリスマスプレゼント，職員余興（ハンドベル）	利用者　33名 職　員　14名

R7.01.04 R7.01.06 R7.01.07	新年の行事	お屠蘇配り、新年会(職員余興)など(3日間実施)	利用者 124名 職 員 30名
R7.02.01	節分豆まき	豆まきゲーム、年男年女紹介など	利用者 40名 職 員 12名
R7.02.13 R7.02.14 R7.02.15	バレンタインカフェ	バレンタインカフェ(3日間実施)	利用者 112名 職 員 30名
R7.03.01	ボランティア	フラダンス	利用者 40名 職 員 10名
R7.03.03	ひな祭り会	認知症についての講話	利用者 39名 職 員 13名
R7.03.04 R7.03.05	ひな祭りカフェ	カフェ(2日間実施)	利用者 76名 職 員 20名
R7.03.13	百寿お祝い会	ボランティア，祝い品贈呈	利用者 38名 職 員 15名

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員　　195 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　309 日
3. 年 間 稼 働 率　　1.40 %
4. 月 別 利 用 状 況　　(延べ利用者数)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
基準該当生活介護	区分1													0
	区分2													0
	区分3	4	3											7
	区分4	14	17	13	14	9	6	8	7	3	9	7	7	114
	区分5			1	6	10	8	9	9	7	8	8	8	74
	区分6													0
	計	18	20	14	20	19	14	17	16	10	17	15	15	195

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
   (1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講師(講演者)	参　加　者
R6.05.07	入浴介助に関する研修	介護福祉士	6 名
R6.05.10	入浴介助に関する研修	介護福祉士	5 名
R6.06.04	接遇マナー研修	介護福祉士	3 名
R6.06.05	接遇マナー研修	介護福祉士	4 名
R6.06.14	接遇マナー研修	介護福祉士	5 名
R6.06.26	接遇マナー研修	介護福祉士	5 名
R6.07.30	不審者対応訓練(3施設合同)	登米警察署	6 名
R6.10.18	消火器訓練(3施設合同)	登米市消防署	5 名
R6.10.25	食事介助に関する研修	栄養士	2 名
R6.10.31	食中毒予防研修	栄養士	2 名
R6.10.25	食事介助に関する研修	栄養士	2 名
R6.10.31	食中毒予防研修	栄養士	2 名
R6.11.28	感染症予防対策研修	准看護師	11 名
R7.02.03	コンプライアンス研修	施設長	6 名
R7.02.04	コンプライアンス研修	施設長	5 名
R7.02.05	コンプライアンス研修	施設長	7 名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R6.05.31	令和6年度登米市障害サービス事業所職員等研修会	登米市	南方町	職員1名
R6.5.31～R6.10.15	令和6年度「介護職 中堅職員研修」集合研修7日間、web研修2日間	宮城県	仙台市	職員1名
R6.06.18	令和6年度認知症カフェ研修会	登米市	南方町	職員1名
R6.07.11	令和6年度「高齢者虐待防止・身体拘束禁止研修」	宮城県	Web研修	職員1名
R6.07.31	令和6年度指定介護サービス事業者集団指導【通所介護】	宮城県	石巻市	職員1名
R6.09.11	安全運転管理者	登米地区安全運転管理者会	迫町	職員1名
R6.11.15	令和6年度「生活相談員研修Ⅱ」	宮城県	仙台市	職員1名
R7.03.06	令和6年度登米地域感染症対応強化研修会	石巻市	Web研修	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
職員会議	全職員参加し、業務や利用者についてなど全般にわたり検討	年12回	全職員
ケア会議	行事やケアの内容見直し業務連絡の共通理解と周知徹底	年12回	生活相談員・介護職員・看護職員・栄養士
給食会議	委託業者を交えて給食についての検討	年12回	委託業者・栄養士・利用者・職員
デイサービス部会	恵泉会内デイサービスの検討	年8回	生活相談員
各種部会	法人内の各部門別の会議にて法人全体として意思の統一を図る	月1回～2ヵ月に1回	各種職員
担当者会議	モニタリング、計画書の確認	年12回	生活相談員・介護職員・看護職員・栄養士

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
リスクマネジメント委員会	施設のリスク全般について	年10回	管理者・リスクマネジメント委員会
業務改善(生産性向上)委員会	介護サービスの質の向上に向けた検討、改善	年5回	業務改善(生産性向上)委員会
感染症対策検討委員会	感染症対策に関すること	年5回	管理者・感染褥瘡検討委員会
高齢者虐待 身体拘束廃止検討委員会	高齢者虐待防止・身体拘束廃止に向けての検討	年5回	管理者、高齢者虐待 身体拘束検討委員会
褥瘡予防検討委員会	褥瘡発生予防、高リスク利用者分析・評価	年4回	褥瘡予防検討委員会
研修委員会	職員の資質向上を図りサービスの質的向上に繋げる	年3回	研修委員会
給食委員会	給食についての検討	年12回	給食委員会・委託業者
防災委員会	防災についての検討	年2回	防災委員会
マニュアル検討委員会	各マニュアルの見直し、検討	年4回	マニュアル検討委員会

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R6.09.17	新橋民謡愛好会	民謡等	5名
R6.09.18	衣川一座	舞踊等	3名
R6.09.20	登米町ボランティア友の会演芸部	舞踊等	10名
R6.12.25	mamamujika	歌等	2名
R7.03.01	フラ・アロハ	舞踊等	10名
R7.03.13	登米謡曲会	狂言	6名
	合計		36名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
無し				
計			名	名

2. 認知症カフェ プチ・ルポ「えん」開催

発行日	内容		講師	参加人数
R7.03.16	「認知症を予防して健康的な生活を」 ～運動は認知症予防に効果的なことをご存じですか？～		猪股和幸准看護師	18名
実施回数		1回	延べ参加者人数	18名

【今後の取り組み】

1. ご利用者が重度の介護状態になっても、住み慣れた地域で在宅生活の継続ができるよう、状態の維持向上に向けた活動や集団リハビリ、必要に応じた個別リハビリ等を提供します。

2. オレンジカフェ(認知症カフェ)を開催し事業所を開放することで、遠山荘をより理解していただくと共に地域全体で認知症の理解を深めます。また、地域行事への参加を通し地域との共生を目指します。

3. 隣接するサービス付高齢者向け住宅「恵はあと」、恵泉会ヘルパーステーション、事業所内保育所「キッズつぼみ」との連携または交流を継続実施し、生きがい作りの場を提供します。

4. ご利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクがあることから、ご利用者一人ひとりの健康状態を把握し担当ケアマネジャーや主治医等との連携を図り、状態の変化に早めに気付くことで重症化を防ぐよう努めます。また、職員間での情報共有や研修を実施することにより介護・交通事故「ゼロ」に向けた取り組みを実施していきます。

5. 職員に対し施設内外の研修を計画し、知識、技術のスキルアップに努めます。また、看護師の持続的な配置と職員の技術向上に伴い、重度や障害のある方等も積極的に受け入れることでご利用者確保を目指すと共に、節水・節電を心掛け経費削減に努めます。

6. 新型コロナウイルス感染症に関しては、第5類へ変更され、事業継続計画(感染症BCP)が義務化となったことに伴い、BCPの随時見直しと、それに基づいた研修を行いご利用者の安全安心な生活を確保できるよう努めます。また、ご利用者が基礎疾患を抱え重症化リスクがあるため、他の感染症同様に福祉施設として今後の国や県からの通知等に合わせて対応します。

7. 非常災害対策として、災害が発生した場合におけるご利用者の安全確保体制や避難方法等を定めた計画を策定し、定期的に研修や訓練を実施し、災害発生後においても事業継続計画(BCP)に従いご利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備していきます。

令和6年度
地域密着型通所介護恵泉会デイサービスセンターほんわか　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市中田町宝江黒沼字十文字211－5
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成21年　3月15日
5. 利　用　定　員　　10 名

地域に密着した小規模事業所の特性を活かし、一人ひとりに寄り添った、一人ひとりが安心してその人らしい生活が送れることを意識しながら支援することが出来ています。住み慣れた地域や家庭での生活が継続できるように、個々の状況に合わせた支援を考慮し、一日を満足して過ごして頂く環境作りに取り組むことが出来ました。

創作活動では、ご利用者同士協力し作品を仕上げ、皆で達成感を味わい喜ぶ姿が見られています。ゲームやレクリエーション、軽運動では、楽しそうな笑顔や声が飛び交い充実した時間を過ごして頂いています。季節の移り変わりを感していただくために、季節毎の花々の見学やりんご狩りに出掛け、気分転換の場が提供出来ました。交流面に於いては、新型コロナウイルス感染症5類移行ではあったが、行事に於いては計画通りに実施でき、ご利用者は満足されていました。また、運営推進会議を2回開催し、委員の方々より直接話を聞くことが出来ています。誕生会ではホールケーキと手作りの誕生カードでお祝いし大変喜んでいただくと共に、百寿を迎えられたご利用者がおり記念誕生会を開催、家族からはとても喜ばれています。ご利用者間では昔話をしたり、語りの場と交流を図る時間の提供が出来ています。今年度は、新型コロナウイルス感染症5類の影響やご利用者の状態低下により施設入所等が重なり安定した利用とまでは行かず、年間稼働率81.26%と当初予定していた稼働率を達成することが出来ませんでした。一年を通してスタッフ一人ひとりが質の高いサービス提供を目指し内部研修等で、技術の向上に努める事が出来ました。

【　重　点　項　目　】

1. ご利用者本人の思いを汲み取り在宅で快適な生活が送れるように、一人ひとりのニーズをとらえ、又ご利用者の状態を常に把握し、安心して過ごせる環境で、スタッフ全員が意識統一を図り最適なサービス提供が出来ました。
2. サービス会議やモニタリング等でご利用者の状況について話し合い、小さな変化も見逃さず、ニーズに適した介護計画の見直しを行い、一人ひとりの状態にあったサービス提供が出来ました。
3. 担当者会議においてご利用者の幸せや家族の要望に配慮し、ケアマネジャーや各サービス担当者と情報の共有を密に行い、ご利用者本人が在宅でより快適に暮らすことが出来るような支援を心掛けることが出来ました。
4. デイサービス連絡手帳にバイタルや利用状況を記載し、体調面や一日の様子について細かく伝えることが出来ました。変化のあった際は家族やケアマネジャーに迅速に連絡して対応することが出来ました。
5. 病状の変化や状態に応じ食事形態等を考慮した食事提供が出来ました。おやつは健康状態に配慮し、バラエティーに富んだ手作りおやつを提供して喜んで頂くことが出来ました。
6. タオルたたみ等の生活リハビリを行い日常の生活動作に結びつける事が出来ました。また、レクリエーション等を多く取り入れたり、個別リハビリ（柔道整復師によるマッサージ）の実施で身体機能の維持を図る事が出来ました。
7. コロナウイルス感染症5類移行に伴い、地域のボランティアを招いての交流は、感染対策を継続しながら計画した行事を提供することが出来ました。又、運営推進会議で2回開催し、ほんわかの様子を伝え地域の方々やご家族にも伝える事が出来ました。
8. 担当者会議等で情報の共有化を図り連携を深め、ケアプランに基づいたより良いサービス提供に努めました。
9. 研修計画に基づき毎月内部研修を実施し、職員一人ひとりの資質向上と専門性の向上に努め職員の意識改革に取り組むことが出来ました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　2,519 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　309 日
3. 年 間 稼 働 率　　81.52 %　（通所介護・総合事業）
   81.52 %　（通所介護）
   0.00 %　（総合事業）
4. 年間平均介護度　　2.81 （通所介護）

5. 月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	35	35	38	40	40	39	37	32	38	32	24	25	415
要介護 2	55	46	34	42	40	39	33	28	32	23	20	28	420
要介護 3	88	85	103	70	69	84	98	94	91	91	124	95	1,092
要介護 4	17	39	27	48	37	27	36	31	33	37	45	39	416
要介護 5	25	26	24	26	25	24	6	0	0	0	0	20	176
計	220	231	226	226	211	213	210	185	194	183	213	207	2,519
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	220	231	226	226	211	213	210	185	194	183	213	207	2,519

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	1	0	0	0	1	2	1	1	0	0	6
契約終了者数	2	0	0	0	0	1	1	0	2	2	2	0	10
月末契約者数	20	20	21	21	21	20	20	22	21	20	18	18	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実 施 日	行　事　名	内　　容	参 加 者 数
R6.05.04	菖蒲湯	無病息災を祈って菖蒲湯に浸り、邪気を払うといわれる昔ながらの風習を味わって頂きました。	利用者　10名 職　員　3名
R6.06.21	ゲーム大会	体を動かす事で、脳への刺激や運動不足の解消へ繋げる事を目的とする。	利用者　9名 職　員　4名
R6.07.08	七夕会	七夕の雰囲気を味わいゲームを通して機能維持向上を図りながら利用者様同士の交流を深めて頂きました。	利用者　9名 職　員　4名
R6.08.22	納涼祭	お祭りの雰囲気作りを設定し、屋台の食べ物を味わいながら東北6県のお祭りをプロジェクターを使用し大画面にて鑑賞して頂きました。	利用者　8名 職　員　5名
R6.09.11 R6.09.13	長寿を祝う会	利用者に敬意を表し、長寿と健康を祈念する。敬老祝い膳で御祝いを行いました。(2日間)	利用者　24名 職　員　10名
R6.11.06	運動会	体を動かす事で、運動機能の維持向上とご利用者同士の交流を図りました。	利用者　9名 職　員　4名
R6.12.25	クリスマス忘年会	クリスマスの雰囲気を感じて頂きながら、ゲームを通して利用者様同士の交流を図って頂きました。	利用者　9名 職　員　4名
R7.01.14	新年会	新年を祝いボランティアによる三味線演奏を楽しんで頂くと共に、茶話会を通してコミュニケーションを促進しました。□	利用者　9名 職　員　4名
R7.2.1 R7.2.3	節分会	1年間の無病息災を願い、節分の雰囲気うい味わい楽しんで頂きながら、体力向上を図りました。(2日間)	利用者　19名 職　員　9名
R7.03.03	ひなまつり会	春の訪れを感じながら桃の節句をお祝いし、ゲームを通して皆さんに楽しんで頂きました。	利用者　6名 職　員　4名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年月日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R6.04.11	新任研修	管理者	職員1名
R6.05.09	コミュニケーション研修	介護福祉士	職員3名
R6.06.07	食中毒予防研修	介護福祉士	職員3名
R6.07.11	介護実践者研修	介護福祉士	職員3名
R6.08.27 R6.08.28	法令遵守（コンプライアンス）研修	管理者	職員4名
R6.09.09	身体拘束虐待防止・プライバシー保護に関する研修	介護福祉士	職員3名
R6.10.04	リスクマネジメントに関する研修	介護福祉士	職員3名
R6.11.29	感染症（新型コロナウイルス・インフルエンザ・風邪予防）に関する研修	介護福祉士	職員2名
R7.01.06	新任研修	管理者	職員2名
R7.01.25	介護技術に関する研修	介護福祉士	職員1名
R7.02.10	身体拘束虐待防止・苦情解決に関する研修	介護福祉士	職員4名
R7.02.18	レクリエーション研修	介護福祉士	職員2名
R7.02.26	BCPマニュアル研修	介護福祉士	職員4名
R7.03.26 R7.03.28	認知症研修	介護福祉士	職員3名

（2）外部研修

年　月　日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R6.05.23	令和6年度登米市在宅医療・介護連携研修会	登米市・宮城県ケアマネジャー協会登米支部	南方庁舎	職員1名
R6.07.12 R6.07.19 R6.08.03 R6.08.09	令和6年度介護福祉士養成施設実習指導者講習会	宮城県介護福祉士会	宮城県仙台市	職員1名
R6.09.04	令和6年度登米市介護サービス事業者等集団指導	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名
R6.10.16	令和6年度登米市認知症高齢者対応研修会	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名
R6.11.07 R6.11.08 R6.11.19 R6.11.20 R7.01.27	令和6年度宮城県認知症介護実践者研修	宮城県介護研修センター	宮城県黒田郡大和町（宮城県仙台市）	職員1名

2．会 議 開 催 状 況

（1）定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
デイサービス部会	各デイサービスの利用状況報告等	2カ月に1回	生活相談員1名
サービス会議	利用者の利用状況や行事予定について	月1回	全職員
給食会議	食事に関する事項等	月1回	全職員
運営推進会議	事業報告等	年2回	管理者・生活相談員・事務員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
防災委員会	令和6年度消防計画書について	R6.4.11	職員4名
	通報訓練実施報告・総合防災訓練について	R6.5.9	職員4名
	令和6年度総合防災訓練図上訓練実施について	R6.6.7	職員4名
	8月の防災教室について	R6.7.11	職員4名
	防災教室(地震)について	R6.8.8	職員4名
	避難訓練(火災)について	R6.9.9	職員4名
	不審者対応訓練について	R6.10.4	職員4名
	BCP訓練(災害・感染症)図上訓練について	R6.11.26	職員4名
	防災計画書改正について	R7.1.9	職員6名
	BCPマニュアル訓練実施・BCP(災害)図上訓練について	R7.2.10	職員6名
	防災教室(地震)について	R7.3.12	職員5名
研修委員会	令和6年度年間施設内外研修計画について	R6.4.1	職員2名
	今月の反省及び次月のコミュニケーション研修について	R6.4.11	職員5名
	今月の反省及び次月の食中毒予防研修について	R6.5.9	職員4名
	今月の反省及び次月の介護研修(移乗・移動・体位交換)について	R6.6.7	職員4名
	今月の反省及び次月の法令遵守研修について	R6.7.11	職員4名
	今月の反省及び次月の身体拘束虐待防止・プライバシー研修について	R6.8.8	職員4名
	今月の反省及び次月のリスクマネジメント研修について	R6.9.9	職員4名
	今月の反省及び次月の感染症対策研修について	R6.10.4	職員4名
	今月の反省及び次月のレクリエーション研修について	R6.11.4	職員4名
	今月の反省及び次月の身体拘束虐待防止・苦情解決について	R7.1.9	職員3名
	今月の反省及び次月の認知症研修について	R7.2.10	職員3名
	今月の認知症研修次月の研修について	R7.3.7	職員2名

リスクマネジメント委員会	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R6.4.11	職員5名
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R6.5.9	職員4名
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R6.6.7	職員4名
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R6.7.11	職員4名
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R6.8.8	職員4名
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R6.9.9	職員4名
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R6.10.4	職員4名
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R6.11.13	職員4名
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R7.1.9	職員3名
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R7.2.4	職員2名
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R7.3.7	職員3名
サービス向上委員会	令和6年度年間予定・活動予定・利用者担当割表について	R6.4.11	職員5名
	介護報酬改定について	R6.4.11	職員5名
	事業報告の記載方法と法人決算監査について	R6.5.9	職員4名
	令和6年度介護職員等処遇改善加算の変更について	R6.6.7	職員4名
	個別機能訓練に向けての個別活動計画について	R6.7.11	職員4名
	サービス評価について	R6.8.8	職員4名
	タイムテーブルの見直し・活動の進め方について	R6.9.9	職員3名
	タイムテーブル改正内容について	R6.10.4	職員4名
	認知症介護実践者研修の協力について	R6.11.26	職員4名
	ほのぼのからワイズマンシステム移行について	R7.1.9	職員5名
	サービス評価報告・介護サービス情報の公表について	R7.2.10	職員4名
	ワイズマンシステムについて	R7.3.12	職員4名
褥瘡予防検討委員会	状況確認と対応について	R6.4.11	職員5名
	状況確認と対応について	R6.5.9	職員4名
	状況確認と対応について	R6.6.7	職員3名
	状況確認と対応について	R6.7.11	職員4名
	状況確認と対応について	R6.8.8	職員4名
	状況確認と対応について	R6.9.9	職員5名
	状況確認と対応について	R6.10.4	職員4名
	状況確認と対応について	R6.11.26	職員3名
	状況確認と対応について	R7.1.9	職員4名
	状況確認と対応について	R7.2.10	職員4名
	状況確認と対応について	R7.3.14	職員2名

感染症対策検討委員会	新型コロナウイルス感染状況及び簡易検査について	R6.4.11	職員5名
	新型コロナウイルス感染状況及び簡易検査について	R6.5.9	職員4名
	新型コロナウイルス感染状況及び食中毒の注意喚起	R6.6.7	職員3名
	感染予防対策、バルサン消毒実施について	R6.7.11	職員4名
	感染対策及び熱中症予防パンフレット配布について	R6.8.8	職員4名
	新型コロナウイルス感染状況及び感染マニュアル改定について	R6.9.9	職員5名
	風邪感染状況と感染マニュアル改定について	R6.10.4	職員4名
	新型コロナウイルス及び風邪等の感染状況について	R6.11.26	職員3名
	感染症状況と感染対策について	R7.1.9	職員4名
	感染症状況と感染対策について	R7.2.4	職員4名
	感染症状況と感染対策について	R7.3.14	職員2名

【今後の取り組み】

1. 利用者一人ひとりのニーズをとらえ、安全で快適に過ごせる最適なサービスを提供し、選ばれる事業所となる。
2. 地域の方々やボランティアの方々を招き、地域に根ざしたサービス提供を展開し、家族や地域の方々を含めた援助が行えるように努め、地域に貢献出来る事業所を目指す。
3. 家族やケアマネージャーとの連携を密に行い、情報の共有を図り、利用者のしあわせを考えた支援を目指す。
4. 各種研修会や内部研修で専門性を高め、適切な支援を実践に活かし質の高いサービスを提供する。
5. 目標稼働率98%以上を達成する。

令和6年度
恵泉会ヘルパーステーション　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池馬場埣777
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成17年4月15日

利用者個々の持っている能力と、それぞれの要望を尊重した上で適切なサービスを提供し、安心した日常生活を営む事が出来るよう支援しました。在宅医療を受ける人が多くなり、在宅医療・介護に携わる大きなチームの一員として、介護支援専門員や訪問看護師などの職種とも連携を図り、質の高いサービス提供が行えるよう努めました。
障害者サービスに於いて、在宅で日常生活をより良く営むことができるよう、自立に向け一人ひとりにあわせた援助を行いました。 また、令和5年10月に事業所を迫町から登米町の恵はあと1階に移転し、恵はあと・遠山荘と協力し恵はあとご入居者で恵泉会ヘルパーステーション利用されている方のサービスの充実を図ることが出来る協力体制で情報を共有し、とよま介護支援センターと密に相談し生活の質の向上に務めました。

【　重　点　項　目　】

1. 良質なサービスを提供するために、サービス提供責任者が職員・登録ヘルパーの技術面・意識面においてサービスの質の向上を図るため指導をしました。また、現在行っている業務内容等の見直し改善を図りました。
2. 利用者が満足するサービスを提供するため、介護支援専門員を通して各サービス事業所と連携し、利用者・家族の意向や介護生活の状況などをアセスメントを行い、計画に沿ったサービスを適正に行いました。
3. 外部研修へ参加するほか、施設内研修を毎月実施し、職員の意識改革と専門性の向上に努めました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　4,720　名
2. 年 間 稼 働 日 数　　365　日
3. 年間平均介護度　　2.93　(訪問介護)

4. 月 別 利 用 状 況　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	46	54	47	52	58	53	56	48	50	58	60	61	643
要介護 2	93	89	71	78	78	82	83	92	85	93	59	84	987
要介護 3	62	63	89	80	105	111	118	117	96	77	89	100	1,107
要介護 4	70	73	70	57	51	48	57	44	55	92	68	73	758
要介護 5	39	40	38	41	39	39	40	59	62	92	60	66	615
計	310	319	315	308	331	333	354	360	348	412	336	384	4,110
要支援1	19	21	16	17	15	14	14	15	11	11	9	11	173
要支援2	15	17	14	13	22	20	30	19	19	23	23	21	236
事業対象者	7	17	19	17	18	15	17	18	16	19	19	19	201
計	41	55	49	47	55	49	61	52	46	53	51	51	610
合　計	351	374	364	355	386	382	415	412	394	465	387	435	4,720

5. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	3	2	1	0	6	0	4	2	2	1	0	1	22
契約終了者数	2	2	2	2	1	1	0	2	2	3	0	2	19
月末契約者数	70	70	69	67	72	71	75	75	75	73	73	72	+ 3

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員　867 名
2. 年 間 稼 働 日 数　365 日
3. 月 別 利 用 状 況　（延べ利用者数）

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護	区分1	4	6	6	8	6	7	7	5	6	6	5	5	71
	区分2	4	5	4	4	5	4	2	4	9	12	10	4	67
	区分3	1	0	1	1	0	0	1	0	5	4	4	4	21
	区分4	9	11	13	7	8	6	6	26	33	32	31	36	218
	区分5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	区分6	56	56	49	45	44	35	39	21	20	25	43	56	489
	計	74	78	74	65	63	52	55	56	73	79	93	105	867

4. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3
契約終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末契約者数	23	24	24	24	24	24	24	26	26	26	26	26	+ 3

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R6.04.14	コンプライアンス研修について	管理者	職員5名
R6.05.20	感染症対策の強化・BCPの見直し	介護福祉士	職員4名
R6.06.19	身体拘束、高齢者・障害者虐待防止について	介護福祉士	職員4名
R6.07.17	緊急時・災害時の見直しについて	介護福祉士	職員3名
R6.08.21	食中毒の予防・蔓延防止	介護福祉士	職員4名
R6.09.16	苦情対応について	介護福祉士	職員4名
R6.10.08	登録ヘルパー研修会 （認知症サポーター研修）	登米市迫地域包括支援センター講師管理者/介護支援専門員	職員14名
R7.10.30	身体拘束廃止、高齢者・障害虐待について	介護福祉士	職員4名
R6.11.19	災害時図上訓練前、机上訓練について	介護福祉士	職員4名
R6.12.25	「個人情報とプライバシー」 「訪問介護の接遇マナー」	管理者	職員3名
R7.01.28	介護予防・要介護進行予防	介護福祉士	職員3名
R7.02.19	登録ヘルパー研修会 （感染症予防手洗い/接遇）	ダスキンあさの/管理者	職員15名
R7.02.19	認知症理解、ケアの基本について	介護福祉士	職員4名
R7.03.14	リスクマネジメントについて	介護福祉士	職員4名

（2）外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R6.07.29	令和6年度指定介護サービス事業者集団指導	宮城県	石巻合同庁舎	職員1名
R6.09.19	令和6年度登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	登米市南方支所	職員1名
R6.09.27	令和6年度宮城県心のサポーター養成研修	宮城県	石巻合同庁舎	職員1名
R7.03.18	令和6年度障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県	法人本部	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議・委員会

会　　議　　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
ケアカンファレンス	契約利用者のサービス状況について	月1回延べ12回	介護福祉士
職員会議	業務に関する課題への対応方策について話し合う	月1回延べ12回	介護福祉士・登録ヘルパー
スタッフ会議	訪問介護員の技術指導を目的とする	月1回延べ12回	介護福祉士・登録ヘルパー
伝達会議	サービス提供責任者と訪問介護員の情報伝達および報告	月1回延べ12回	介護福祉士・登録ヘルパー
感染症対策委員会	各感染について理解し、予防・対応策について周知する	年4回延べ4回	介護福祉士
リスクマネジメント・事故防止委員会	事故報告の検証と訪問介護での介護事故について事例などを基に検討・周知する	月1回延べ12回	介護福祉士
人権擁護・権利擁護委員会	介護における高齢者の権利擁護について周知する	年6回延べ6回	介護福祉士
身体拘束・虐待防止委員会	虐待防止、身体拘束適正化への理解を深める	月1回延べ12回	介護福祉士

【 今 後 の 取 り 組 み 】

1. 感染症対策を強化し、他の職種及び他事業所との連携を図り、利用者の必要としているサービスと自立を目指し、満足していただけるサービスが提供できるよう努めます。また、併設されている恵はあと・とよま介護支援センター・キッズつぼみとの連携を図り防災・避難訓練についても協力していきます。

2. サービス計画書と連動した訪問介護計画書を作成のうえ、訪問介護員にはサービス提供責任者が同行し良いサービス提供が出来るよう指導を行います。また、手順書を作成することで、適切で統一されたサービス提供ができるようにします。

3. サービス提供状況の確認を強化し、質の高いサービスが提供できるように積極的に研修会に参加し、訪問介護員のキャリアアップに努めます。また、登録ヘルパーの確保・育成し、サービス提供の現場に送り出せるようにします。

令和6年度
恵泉会介護支援センターいきいき　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成19年4月1日

【　重　点　項　目　】

・職員一人ひとりが心身共に良好で気持ち良く働ける職場環境や相談できる雰囲気作りを行うと共に、事業所内でのコンプライアンス研修においてもハラスメントについての研修を全職員に対して行いました。

・主任介護支援専門員によるケアプランチェックや法令に基づいた助言をおこなうことで、アセスメントの充実、課題分析、ニーズ設定まで、利用者の自立に向けた質の高い支援を提供できるようになり、事業所全体の力量も概ね平均化してきました。

・登米市福祉事務所、市内の地域包括支援センターやサービス事業所等と情報共有を行うことで、利用者が地域での生活を継続できるよう連携を図り支援することができました。また、医療機関とは入院時の情報提供、退院時の情報収集に努め退院後も利用者が地域での生活を継続できるように連携を図り支援することができました。

・研修の年間計画に沿った各種研修会だけでなく、計画以外での研修会も受講することで、専門的知識を深めることができました。受講内容については、事業所内で開催している情報伝達会議で職員へ報告し、各職員のスキルアップにつなげることができました。

・各種委員会については毎月定期的に開催することができました。感染症・災害対策委員会ではBCPに沿った訓練や研修を実施し職員での周知を図りました。また、高齢者虐待防止委員会が主となり、地域包括支援センターを講師に迎え研修会を開催し知識理解を深めることができました。

・地域包括支援センターや他事業所との連携については、他事業所との合同の事例検討会の開催や自立支援個別ケア会議への事例提供を行うことで、多職種からの専門的助言や、質の高いマネジメントについて職員が自己研鑽することができました。

・困難事例への対応については、担当の介護支援専門員ひとりに負担がかからないように事業所全体で取り組み、随時情報を共有しながら、関係機関と協力し利用者の在宅生活を支援しました。

・特定事業所を取得する事業所として、医療依存度の高い利用者や老衰、悪性腫瘍等による終末期の利用者を積極的に受け入れ、本人や家族が安心して生活できるように、スピード感ある中でも丁寧なマネジメントにつなげてきました。

【　利　用　状　況　】

※月遅れ含む

1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	100	101	101	98	100	98	97	103	105	102	100	95	1,200
女	150	156	156	156	158	156	160	166	161	170	157	151	1,897
計	250	257	257	254	258	254	257	269	266	272	257	246	3,097

2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	1	1	2	2	2	4	4	5	5	5	5	5	41
要支援2	0	0	1	2	2	4	6	7	7	8	7	5	49
要介護1	39	37	38	36	39	39	39	38	38	40	39	39	461
要介護2	79	84	79	77	75	73	72	75	81	77	72	74	918
要介護3	61	65	68	68	71	72	72	74	68	67	67	66	819
要介護4	44	43	42	43	44	43	44	45	44	53	46	39	530
要介護5	26	27	27	26	25	19	20	25	23	22	21	18	279
計	250	257	257	254	258	254	257	269	266	272	257	246	3,097

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	19	6	6	9	7	8	12	11	12	9	5	11	115
契約終了者数	9	10	3	5	9	5	9	7	12	8	15	11	103

【利用者ｻｰﾋﾞｽの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	50	51	50	51	49	40	45	52	50	52	48	45	583
訪問入浴	20	20	21	22	18	14	17	16	15	15	12	10	200
訪問看護	63	68	65	65	62	58	61	63	61	59	59	53	737
通所介護	144	143	141	139	143	141	146	154	144	145	139	136	1,715
通所リハ	24	24	20	20	20	19	19	19	20	20	20	21	246
訪問リハ	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
福祉用具	186	185	181	180	182	176	182	181	183	179	172	163	2,150
短期生活	41	45	47	46	41	45	53	45	45	46	38	36	528
短期療養	3	2	3	2	3	4	2	3	4	3	3	4	36
認知通所介護	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
地密通所介護	42	43	43	42	42	43	43	41	39	40	39	33	490
計	576	584	574	570	563	542	570	576	563	561	532	503	6,714

【 認 定 調 査 状 況 】

1. 認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	17	12	13	9	10	12	10	9	10	12	12	8	134

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	1	1	1	2	2	1	0	0	0	0	0	0	8
要支援2	8	8	10	7	8	7	6	6	7	9	7	7	90
事業対象者	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	10	9	12	9	10	8	6	6	7	9	7	7	100

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防対象件数	迫町	2	2	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	29
	中田町	2	2	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	11
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	1	1	1	1	1	0	0	0	1	3	2	2	13
	南方町	5	4	5	3	4	4	4	4	4	4	3	3	47
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	10	9	12	9	10	8	6	6	7	9	7	7	100

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	2	38
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	6	6	4	4	3	2	2	2	2	2	2	41

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	1	2	2	2	2	2	2	2	2	4	3	3	27
通所型サービス	5	5	4	4	5	4	3	2	3	3	2	2	42
計	6	7	6	6	7	6	5	4	5	7	5	5	69

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講 師 ・ 事 例 提 供 者	参 加 者
R6.06.11	個人情報及びプライバシー保護に関する研修	恵泉会介護支援センターいきいき 管理者	9名
R6.07.11	コンプライアンスについて	恵泉会介護支援センター 施設長	9名
R6.08.19	地域資源について	サービス向上委員会 恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員 恵泉会東和介護支援センター 主任介護支援専門員研修 恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	8名
R6.09.30	他法人との合同研修会 (高齢者虐待に関する研修会)	登米市迫地域包括支援センター 管理者 社会福祉士	9名
R6.10.11	感染症BCPについて	恵泉会東和介護支援センター 主任介護支援専門員 恵泉会介護支援センターらくらく 主任介護支援専門員	5名
R6.12.11	事例検討会	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 介護支援専門員	8名
R7.01.14	自然災害発生時における業務継続計画 (BCP)訓練	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員	8名
R7.02.12	認知症について	恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	9名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主催者	開催地	参加者
R6.4.30～ R6.5.29	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	ZOOM	職員1名
R6.05.23	登米市在宅医療・介護連携研修会(水分管理)	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R6.05.29	オンライン診療説明会	やまと在宅診療所栗原	ZOOM	職員1名
R6.6.8～ R6.7.2	介護支援専門員専門研修Ⅰ・更新研修Ⅰ	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R6.06.12	疲労うつの人の寄り添い方	登米市	登米市 南方庁舎	職員3名
R6.06.28	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部総会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	迫公民館	職員3名
R6.07.05	高次脳機能障害圏域研修会(前期)	宮城県東部保険事務所	ZOOM	職員1名
R6.7.8～ R6.8.1	介護支援専門員専門研修Ⅱ・更新研修Ⅱ	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R6.07.10	登米市薬剤師会・宮城県ケアマネジャー協会登米支部共同研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	JA宮城登米西部南方店会議室	職員1名

R6.08.19	動機づけ面接について	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R6.08.20	宮城県地域包括ケアシステムの深化推進 支援在宅医療・介護連携推進研修会	宮城県東部保険事務所	登米市合同 庁舎	職員3名
R6.08.29	脊髄小脳変性症と多系統萎縮症につ いて	東北大学病院	ZOOM	職員1名
R6.09.04	介護サービス事業者等集団指導	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R6.09.04	権利擁護推進員養成研修	宮城福祉オンブズマン ネット「エール」	ZOOM	職員2名
R6.09.12	権利擁護（意思決定支援・合理的配慮 について）	宮城県ケアマネジャー協 会登米支部	ZOOM	職員1名
R6.10.07	障がい福祉制度について	宮城県ケアマネジャー協 会登米支部	迫保健 センター	職員1名
R6.10.09	登米市薬剤師会・宮城県ケアマネ ジャー協会登米支部共同研修会	宮城県ケアマネジャー協 会登米支部	JA宮城登米西 部南方店会議 室	職員1名
R6.10.16	登米市認知症高齢者対応研修	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R6.10.31	高次脳機能障害圏域研修会（後期）	宮城県東部保険事務所	ZOOM	職員1名
R6.10.31	動機付け面接を用いた依存症の家族 支援について	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R6.11.11	登米地域難病患者支援者研修会	石巻保健所登米支部	登米合同庁 舎	職員2名
R6.11.13	社会福祉施設中堅・監督職員研修	宮城県東部保険事務所	みやぎハートフ ルセンター2階	職員1名
R6.11.14	成年後見人制度の基本と今後の課題 について・登米市の成年後見人制度 の利用支援の現状について	宮城県ケアマネジャー協 会登米支部	中田農村 環境改善 センター	職員3名
R6.11.27	登米市自立支援個別ケア会議	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R6.12.04	介護認定調査員現任研修	宮城県東部保険事務所	大崎合同 庁舎	職員2名
R6.12.06	令和6年度介護支援専門員実務研修 指導者研修	宮城県ケアマネジャー協 会	ZOOM	職員1名
R7.01.10	事例を使った勉強会	宮城県ケアマネジャー協 会登米支部	迫公民館	職員2名
R7.01.15	登米市薬剤師会・宮城県ケアマネ ジャー協会登米支部共同研修会	宮城県ケアマネジャー協 会登米支部	JA宮城登米 西部南方店 会議室	職員1名
R7.02.06	高齢期における低栄養について	登米市	登米市民 病院	職員1名
R7.03.07	令和6年度ケアマネジャー・ケアスタッ フ感染対策研修会	宮城県ケアマネジャー協 会登米支部	登米市民 病院	職員1名

3. 委員会開催状況

委員会名	内　　容	開催日	参加職員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合同 研修について	毎月1回開催	施設長、管理者、 委員
改善委員会	各種マニュアル、災害時要援護者台帳の整 備	毎月1回開催	施設長、管理者、 委員
サービス向上委員 会	自己評価、満足度調査の実施、サービス情報 公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、 委員
感染症・災害対策 委員会	感染・災害発生時の対応等に関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、 委員
高齢者虐待防止 委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関す る事	毎月1回開催	施設長、管理者、 委員

【 今 後 の 取 り 組 み 】

今年度より特定事業所医療介護連携加算の取得用件の改定によりターミナルマネジメント加算15回以上の算定となり用件クリアが厳しい状況となりましたが、結果として算定期間最終月に16回取得することができ、7年度も医療介護連携加算を取得することが可能となりました。近年、中重度(要介護3．4．5)利用者の新規依頼が減少していることもあり、7年度は用件クリアに向け新規獲得のため更に医療機関との関係作りに努めると共に、中重度者への継続的なマネジメントを行い安定した給付管理につなげていければと思っています。そのために、主任介護支援専門員によるケアプランチェックや相談体制を整え、特定事業所加算Ⅰを取得する事業所として、医療依存度の高い利用者や困難ケースも常に受け入れできるよう各職員のスキルアップのための研修会参加や事例検討会を通し、質の高いケアマネジメントが提供できるようにしていきます。

令和6年度
恵泉会介護支援センターらくらく　事業報告

【　施　設　概　要　】

1．所　　在　　地　　宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2
2．設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3．経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4．開　設　年　月　日　　平成19年4月1日

【　重　点　項　目　】

・ハラスメント相談窓口担当者を選任し、相談できる雰囲気作りを行うと共に職場内のコンプライアンス研修に於いてもハラスメントについて、全職員に対して研修を行いました。

・主任介護支援専門員と共にケアプラン点検を実施し、アセスメントの充実、課題分析、ニーズ設定まで利用者の自立支援に向けた視点を養うことができました。また、モニタリングを通して利用者のケアプランに基づくケアがサービス提供事業者より提供されていることを確認を継続的に行いました。

・主任介護支援専門員によるケアプランチェックを継続的に行うことにより、アセスメントの充実、課題分析、ニーズ設定まで適切に行うことができました。モニタリングを通して利用者の身体機能維持向上に向けた支援を継続的に行いました。

・各地域包括支援センター、医療機関、サービス提供事業所は下より、登米市以外の関係機関とも連携を図り利用者が在宅において、その人らしい暮らしが営めるよう地域包括ケアシステムの一端を担っています。

・研修の年間計画に則り、各研修の受講を実施。毎週実施している情報伝達会議で研修報告を実施。また地域の居宅介護支援事業所と連携し合同研修会を開催、専門職として質の高い介護支援専門員の育成を行いました。

・各種委員会を組織し毎月委員会を開催。防災・感染症対策委員会に於いては、災害対策と感染症対策のBCP（業務継続計画）を作成し研修と訓練を実施しました。

・迫地域包括支援センター職員の協力の下、合同研修会を企画実施し高齢者虐待に関する事例検討会を実施しました。

・困難事例については、担当する介護支援専門員の負担を軽減するため事業所全体で取り組み、関係機関と協力し利用者の在宅生活を支援しました。

・市内地域包括支援センターと連携し介護予防支援の委託業務を実施。サービス提供が途切れないよう在宅支援を実施しました。

【　利　用　状　況　】

1．月別給付管理件数（男女別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	54	60	59	63	63	63	62	65	65	62	60	56	732
女	109	113	108	110	112	108	120	113	117	115	115	117	1,357
計	163	173	167	173	175	171	182	178	182	177	175	173	2,089

2．月別給付管理件数（介護度別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	2	2	3	3	3	3	3	2	2	23
要支援2	0	0	0	1	1	2	3	3	4	4	5	5	28
要介護1	52	52	52	52	53	49	56	60	60	56	54	56	652
要介護2	73	72	71	73	71	70	70	67	70	71	69	68	845
要介護3	24	33	30	29	30	32	33	31	27	28	26	26	349
要介護4	11	11	10	8	10	8	11	7	11	9	14	10	120
要介護5	3	5	4	8	8	7	6	7	7	6	5	6	72
計	163	173	167	173	175	171	182	178	182	177	175	173	2,089

0

3．契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	4	3	12	19	13	6	5	7	5	4	5	4	87
契約終了者数	3	4	5	2	2	4	3	2	6	1	8	10	50

【 利用者サービスの状況 】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	36	37	35	33	34	36	36	36	35	31	31	27	407
訪問入浴	6	6	4	5	5	6	6	6	8	7	7	5	71
訪問看護	21	21	23	23	22	24	24	27	26	26	25	16	278
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	92	95	96	97	94	94	97	101	95	94	91	84	1,130
通所リハ	7	8	7	7	7	6	7	7	7	7	8	8	86
短期生活	19	20	21	18	15	16	19	15	19	20	20	17	219
認知短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期療養	0	0	0	1	1	0	2	1	2	2	2	1	12
福祉用具	105	107	109	109	107	108	106	108	108	107	102	93	1,269
地域密着通所	35	36	34	34	34	32	31	32	33	33	31	27	392
認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問介護	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	5
予防通所介護	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	5
計	321	331	329	328	319	322	328	333	335	329	319	280	3,874

【 認 定 調 査 状 況 】

1. 認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	10	8	5	9	7	7	3	5	8	5	8	5	80

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	4	3	4	3	4	4	4	4	4	6	6	6	52
要支援2	5	5	5	4	6	6	6	6	6	5	4	4	62
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	11
計	10	9	10	8	11	11	11	11	10	12	11	11	125

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防対象件数	迫町	7	6	7	5	5	5	5	5	5	5	5	4	64
	中田町	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	11
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	2	2	2	2	5	5	5	5	5	6	5	5	49
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	10	9	10	8	11	11	11	11	10	12	11	11	125

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	64
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	76

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
通所型サービス	6	5	6	6	9	9	9	9	9	10	9	10	97
計	7	6	7	7	10	10	10	10	10	11	10	11	109

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講 師 ・ 事 例 提 供 者	参 加 者
R6.06.11	個人情報及びプライバシー保護に関する研修	恵泉会介護支援センターいきいき 管理者	4名
R6.07.11	コンプライアンスについて	恵泉会介護支援センター 施設長	5名
R6.08.19	地域資源について	サービス向上委員会 恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員 恵泉会東和介護支援センター 主任介護支援専門員 恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	5名
R6.09.30	他法人との合同研修会 (高齢者虐待に関する研修会)	登米市迫地域包括支援センター 管理者 社会福祉士	4名
R6.10.11	感染症BCPについて	恵泉会藤和支援センター 主任介護支援専門員 恵泉会介護支援センターらくらく 主任介護支援専門員	3名
R6.12.11	事例検討会	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 介護支援専門員	4名
R7.01.14	自然災害発生時における業務継続計画 (BCP)訓練	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員	5名
R7.02.12	認知症について	恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	4名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主催者	開催地	参加者
R6.06.08 (他7日間)	令和6年度介護支援員専門研修Ⅰ・更新研修Ⅰ	宮城県ケアマネジャー協会	リモート	職員1名
R6.06.12	令和6年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R6.06.28	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	迫公民館	職員2名
R6.07.05	令和6年度高次脳機能障害圏域研修会(前期)	宮城県東部保健福祉事務所	石巻市 合同庁舎	職員1名
R6.07.10	登米市薬剤師会共同研修会	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	JAみやぎ登米 西部南方店	職員1名
R6.08.20	令和6年度宮城県地域包括ケアシステムの深化推進支援在宅医療・介護連携推進研修会	宮城県東部保健福祉事務所	登米市合 同庁舎	職員1名
R6.08.26	脊髄小脳変性症と多系統萎縮症について	東北大学病院	リモート	職員1名
R6.09.02	令和6年度宮城県高齢者権利擁護推進研修	特定非営利活動法人宮城福祉オンブズネット エール	リモート	職員1名

R6.09.04	令和6年度登米市介護サービス事業者集団指導	長寿介護課	登米市南方庁舎	職員1名
R6.09.12	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	リモート	職員1名
R6.10.07	迫圏域居宅介護支援事業所研修	迫地域包括支援センター	迫保険センター	職員2名
R6.10.09	登米市薬剤師会共同研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	JAみやぎ登米西部南方店	職員1名
R6.10.16	登米市認知症高齢者対応研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R6.10.31	令和6年度高次脳機能障害圏域研修会(後期)	宮城県東部保健福祉事務所	リモート	職員1名
R6.10.31	令和6年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R6.11.11	令和6年度登米地域難病患者支援者研修会	宮城県石巻保健所	登米市合同庁舎	職員1名
R6.11.13	令和6年度社会福祉施設中堅・監督職員研修	宮城県社会福祉協議会	みやぎハートフルセンター	職員1名
R6.11.14	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	農村環境改善センター	職員2名
R6.12.4	令和6年度介護認定調査員現任研修	登米市長寿介護課	大崎市合同庁舎	職員1名
R6.12.5	令和6年度介護支援専門員実務研修指導者研修会	宮城県ケアマネジャー協会	リモート	職員2名
R7.1.6	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	迫公民館	職員1名
R7.1.15	登米市薬剤師会共同研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	JAみやぎ登米西部南方店	職員1名
R7.3.7	感染予防についての研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市民病院	職員1名

(3) その他の研修

年 月 日	内　　容	主催者・講師	開　催　地	参 加 者
R6.04.22	令和6年度　人事考課者研修	恵泉会	恵泉会法人本部2階研修室	職員1名
R6.06.13	令和5年度恵泉会経営者研修	WJU社会保険労務士法人　細田真奈美氏	恵泉会法人本部2階研修室	職員1名
R6.06.20	令和6年度安全管理者講習	宮城県公安委員会	登米祝祭劇場	職員1名
R6.11.19	令和6年度第45回恵泉会職員研修大会	恵泉会	登米祝祭劇場	職員4名

2. 会 議 開 催 状 況

(1)定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週水曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2)その他の会議

開 催 日	内　　容	開 催 地	出 席 者
R6.11.12	令和6年度米山・南方地域ネットワーク会議	中津山公民館	職員1名
R6.12.12	令和6年度迫地域高齢者ネットワーク会議	迫保健センター	職員1名

3. 委員会開催状況

委員会名	内　　容	開催日	参加職員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合同研修について	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
業務改善委員会	業務改善、各種マニュアル、災害時要援護者台帳の整備	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
サービス向上委員会	自己評価、満足度調査の実施、サービス情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応等に関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
高齢者虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員

【今後の取り組み】

1.ハラスメント対策を実践し、職員一人ひとりが心身共に健康で、意欲を持って仕事に取り組める職場作りに全職員で取り組みます。
2.アセスメント・課題分析から適切なニーズをとらえ、利用者の自立に向けた支援が行えるよう、主任介護支援専門員を中心に人材育成に取り組みます。
3.登米市地域包括ケアシステム推進の為、各関係機関や団体、医療機関との連携を図り、地域のニーズに沿って支援します。
4.各種研修会へ参加し在宅緩和ケア・認知症・難病等疾患の知識等を深め、専門職としての資質向上を図ります。
5.各種委員会を充実させ、感染症・災害対策の強化、高齢者虐待防止、身体拘束廃止等の適正化に向けた取り組みなどを推進します。
6.地域包括支援センターや他法人運営の居宅介護支援事業所との事例検討会を計画し、質の高いケアマネジメントを推進します。
7.支援困難事例については、担当介護支援専門員に負担がかからないように事業所全体で対応し、関係機関の担当者とも連携し利用者の生活を最後まで支えていきます。
8.登米市及び地域包括支援センターと連携を図り、介護予防支援の円滑な実施に取り組みます。

令和6年度
恵泉会東和介護支援センター　事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米谷字新細待井2
2. 設 置 主 体　　社会福祉法人恵泉会
3. 経 営 主 体　　社会福祉法人恵泉会
4. 開 設 年 月 日　　平成24年4月1日

【 重 点 項 目 】

・職員の心身の健康については、介護支援専門員特有のストレスを溜め込まないよう、話しやすい職場環境作りに心がけました。計画的な年休取得に配慮しながら心身のリフレッシュを図り、大きく体調を崩す職員が一人も出ることなく1年間事業運営ができました。

・人材育成については主任介護支援専門員が中心となり、ケアプランチェックや法令に基づいた助言を行うことにより、個々のスキルアップを図りながら、利用者の自立に向けた質の高い支援を提供することができました。また、特定事業所加算取得事業所として、介護支援専門員実務研修の実習生1名の受け入れを行いました。

・地域包括ケアシステムの推進については、必要に応じて登米市福祉事務所や各地域包括支援センター等に相談や報告を行い、利用者が住み慣れた地域で自立した生活が送れように支援を行いました。

・専門職としての資質向上については、主任介護支援専門員更新研修をはじめとした各種の外部研修に参加し、個々のスキルアップに努めました。また内部研修については、法令で義務付けられた研修を確実に行うとともに、他法人との合同研修会を開催する等、地域の模範事業所となるよう努めました。

・各種委員会については毎月定期的に開催し、今年度から義務化されたBCPの訓練や研修会の開催、利用者アンケートの実施、身体的拘束の適正化と虐待防止等、充実した活動を行うことができました。

・地域包括支援センター主催の地域ネットワーク会議や事例検討会の出席、他法人との合同研修会を開催することにより、連携を強化するとともにお互いの資質向上を図ることができました。

・困難事例への対応については、担当者のみに負担がかからないように随時状況の把握に務めながら、主任介護支援専門員を中心として事業所が一体として支援にあたりました。

・介護予防支援については、地域包括支援センターからの受託に加え、可能な限り直接契約を行い要支援となっても切れ目のないサービス利用ができるよう、利用者支援に努めました。

【 利 用 者 状 況 】

1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	35	33	32	32	31	36	38	39	39	43	40	38	436
女	93	88	90	89	88	91	89	88	88	93	87	84	1,068
計	128	121	122	121	119	127	127	127	127	136	127	122	1,504

2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	1	2	2	2	2	4	2	2	17
要支援2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6
要介護1	28	25	25	26	27	26	25	26	24	28	28	25	313
要介護2	47	43	43	42	40	47	46	45	46	45	42	43	529
要介護3	31	27	30	31	30	31	33	35	36	39	37	35	395
要介護4	16	19	15	15	14	14	11	11	12	13	11	10	161
要介護5	6	7	9	7	7	7	9	7	6	6	6	6	83
計	128	121	122	121	119	127	127	127	127	136	127	122	1,504

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	5	4	3	6	4	4	9	5	4	4	6	5	59
契約終了者数	2	8	1	3	2	1	4	3	3	7	8	4	46

【 利用者サービスの状況 】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	21	22	21	20	20	22	21	22	21	19	17	17	243
訪問入浴	7	8	8	7	7	7	7	6	6	5	6	5	79
訪問看護	18	18	18	19	20	18	17	16	16	15	13	12	200
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	58	57	56	58	56	49	52	55	55	52	52	52	652
通所リハ	16	17	18	17	17	16	17	18	18	18	14	14	200
福祉用具	77	76	71	72	75	71	75	78	77	78	75	77	902
短期生活	15	17	15	16	17	22	25	21	18	16	18	19	219
短期療養	1	1	0	1	0	2	0	0	1	1	0	0	7
認知通所介護	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	21
地密通所介護	25	25	23	26	23	29	30	30	30	33	33	31	338
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	0	0	0	0	1	2	3	3	3	3	3	3	21
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問型サービス	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6
通所型サービス	0	0	0	0	1	1	2	2	2	3	2	1	14
計	240	243	231	237	238	241	252	254	250	246	236	234	2,902

【 認定調査状況 】

1. 認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	7	5	5	6	4	7	5	8	4	5	5	3	64

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者	1	1	1	1	0	1	1	2	2	2	2	2	16
要支援1	5	4	4	4	4	4	3	4	4	3	2	2	43
要支援2	5	5	5	5	5	6	5	5	6	6	6	6	65
計	11	10	10	10	9	11	9	11	12	11	10	10	124

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防対象件数	迫町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	中田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東和町	10	9	9	9	8	10	8	9	9	8	7	7	103
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5
	市外	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
	計	11	10	10	10	9	11	9	11	12	11	10	10	124

3．予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	7
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	2	2	2	2	3	3	3	2	2	2	2	2	27
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	3	3	3	4	4	3	2	2	2	2	2	35

4．総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	30
通所型サービス	7	7	7	7	7	7	8	9	10	10	7	7	93
計	10	10	10	10	10	10	10	11	12	12	9	9	123

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講 師 ・ 事 例 提 供 者	参 加 者
R6.06.11	個人情報及びプライバシー保護に関する研修	恵泉会介護支援センターいきいき 管理者	4名
R6.07.11	コンプライアンスについて	恵泉会介護支援センター 施設長	4名
R6.08.19	地域資源について	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員 恵泉会東和介護支援センター 主任介護支援専門員 恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	4名
R6.09.30	他法人との合同研修会(高齢者虐待に関する研修会)	登米市迫地域包括支援センター 管理者 社会福祉士	4名
R6.10.11	感染症BCPについて	恵泉会介護支援センターらくらく 主任介護支援専門員 恵泉会東和介護支援センター 主任介護支援専門員	4名
R6.12.11	事例検討会	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 介護支援専門員	4名
R7.01.14	自然災害発生時における業務継続計画 (BCP)訓練	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員	4名
R7.02.12	認知症について	恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	4名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主催者	開催地	参 加 者
R6.04.30 ～ R6.05.29	令和6年度主任介護支援専門員更新研修	宮城県	WEB開催	職員1名
R6.06.12	令和6年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員2名
R6.06.28	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	登米市 迫公民館	職員2名
R6.08.29	令和6年度第1回医療従事者等支援難病研修会	東北大学病院	WEB開催	職員1名

R6.09.04	令和6年度登米市介護サービス事業者等集団指導	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R6.10.16	令和6年度認知症高齢者対応研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R6.11.14	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	中田改善センター	職員1名
R6.12.04	令和6年度介護認定調査委員現任研修	宮城県	石巻合同庁舎	職員3名
R6.12.06	令和6年度介護支援専門員実務研修実習指導研修	宮城県	WEB開催	職員2名
R7.03.07	令和6年度ケアマネジャー・ケアスタッフ感染対策研修会	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	登米市民病院	職員2名

(3) その他の研修

年月日	内容	主催者・講師	開催地	参加者
R6.06.13	令和6年度恵泉会経営者研修(ハラスメント研修)	WJU(株) 細田真奈美氏	恵泉会法人本部 2階研修室	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日
情報伝達会議	各担当毎における、マネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週木曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開催日	内容	開催地	出席者
R6.06.19	令和6年度東和地区地域ネットワーク会議	東和総合支所	職員1名
R6.09.25	令和6年度自立支援個別ケア会議	南方総合支所	職員1名
R6.12.05	紙上事例を使った本人主体の事例検討会	東和総合支所	職員4名

3. 委員会開催状況

委員会名	内容	開催日	参加職員
研修委員会	研修・事例検討会の立案・実施	月1回	施設長、管理者、各委員
改善委員会	マニュアル・業務の改善および見直し	月1回	施設長、管理者、各委員
サービス向上委員会	利用者アンケート・業務チェックの実施・サービス情報公表の準備	月1回	施設長、管理者、各委員
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応、BCPの作成等に関する事	月1回	施設長、管理者、各委員
虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	月1回	施設長、管理者、各委員

【今後の取り組み】

令和6年度の新規契約者数は前年度とほぼ同数でしたが、総給付管理件数は介護予防支援を含めても100件ほどの減少となりました。近年の傾向として、状態が重度化すると施設入所の意向が強くなり、給付管理期間が短くなる傾向がみられます。特に東和地区においては、少子高齢化の進展による介護力不足からその傾向が強くみられるため、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる地域包括ケアシステムが実現できるよう、支援の強化に努めていきたいと思います。

令和7年度は地域包括支援センターや市内医療機関等との連携をより強化しながら、新規利用者の獲得と給付管理件数を維持し、安定的に事業経営が継続できるように努めていきます。また、事業の提供にあたっては、居宅介護支援事業所としての公正中立な立場を確保しつつ、法人内の各サービス事業所と連携を図りながら、利用者の紹介や稼働率の向上に貢献できるよう協力していきます。

令和6年度
恵泉会とよま介護支援センター　事業報告

【　施　設　概　要　】

1．所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池馬場埣777番地
2．設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3．経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4．開　設　年　月　日　　平成25年5月1日

【　重　点　項　目　】

・心身共に健康で意欲を持って仕事に取り組める職場作りについては、普段から何でも話せる環境作りを実践することで病休者や退職者も出さず、1年間事業経営ができました。

・人材育成については、今年度、主任介護支援専門員の配置が半数を占めたことから、経験年数の浅い職員に対し法令に基づいたきめ細かい助言やケアプランチェックを行うことにより、利用者の自立に向けた質の高い支援を提供することができました。

・各関係機関や団体との連携については、登米市福祉事務所や地域包括支援センター、各サービス事業者等と連携を図り、利用者が住み慣れた地域で自立した生活が送れよう地域包括ケアシステム構築に努めました。

・研修会の参加については、令和6年度介護報酬改定に伴い、難病患者や生活困窮者等、特定事業所加算算定要件に追加されたこともあり、各職員が積極的に研修に参加し、専門職としての資質向上に努めました。

・各種委員会については、介護報酬改定に伴い、設置が義務化された感染症・災害対策委員会や高齢者虐待防止委員会を含め、毎月定期的に開催し、BCPの策定や研修会の開催、利用者アンケートの実施等、充実した活動を行うことができました。

・地域包括支援センターや他事業所との連携については、地域ネットワーク会議への出席や合同研修会を開催することにより、連携を強化するとともにお互いの資質向上を図ることができました。

・困難事例への対応については、担当ケアマネに対して主任ケアマネを中心とした相談・助言の支援を行い、担当ケアマネが問題を一人で抱え込まないようフォローし、事業所全体として困難ケースへの支援にあたりました。

・介護予防支援については、令和6年度介護報酬改定に伴い、市町村からの指定を受け直接予防支援を実施できるようになってはいるが、地域包括支援センター等と従来どおりの連携を図ることで円滑なマネジメントを行うことができました。

【　利　用　状　況　】

1．月別給付管理件数（男女別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	39	44	41	44	46	46	49	52	51	48	50	54	564
女	98	96	94	101	106	107	104	106	107	103	105	109	1,236
計	137	140	135	145	152	153	153	158	158	151	155	163	1,800

2．月別給付管理件数（介護度別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	1	1	2	1	1	1	1	1	9
要支援2	0	1	1	2	2	3	1	3	3	3	5	4	28
要介護1	35	35	32	35	38	38	39	41	41	40	37	35	446
要介護2	51	51	49	50	53	54	52	51	51	50	53	53	618
要介護3	25	25	28	32	30	31	33	34	33	32	33	41	377
要介護4	21	23	20	17	20	20	19	20	18	17	18	18	231
要介護5	5	5	5	9	8	6	7	8	11	8	8	11	91
計	137	140	135	145	152	153	153	158	158	151	155	163	1,800

3．契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	6	5	5	8	6	5	6	4	0	6	4	2	57
契約終了者数	4	2	3	3	1	6	2	3	2	6	2	8	42

【 利用者サービスの状況 】

1．サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	29	30	30	32	35	36	37	37	39	38	39	39	421
訪問入浴	3	2	3	4	4	2	1	1	1	2	2	4	29
訪問看護	28	26	26	27	29	28	29	29	29	27	27	27	332
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	101	93	95	94	98	89	91	91	89	90	92	88	1,111
通所リハ	7	7	8	8	8	5	7	7	7	8	7	6	85
短期生活	22	19	20	23	20	27	25	23	26	14	18	21	258
短期療養	4	5	6	4	5	4	4	6	5	2	4	5	54
福祉用具	94	90	93	96	96	100	104	104	101	100	103	101	1,182
認知通所介護	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
地密通所介護	27	29	29	32	34	42	45	47	44	42	42	44	457
計	315	301	310	320	329	333	344	346	342	323	334	335	3,932

【 認定調査状況 】

1．認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	4	1	4	6	4	5	4	4	5	5	4	3	49

【 介護予防支援利用状況 】

1．介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6	6	41
要支援1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
要支援2	4	4	4	4	5	5	4	4	5	5	5	4	53
計	7	9	9	9	10	10	9	9	10	10	13	12	117

2．市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防対象件数	迫町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	4	5	5	5	5	5	5	5	6	5	8	8	66
	豊里町	0	0	0	4	1	1	0	0	0	1	1	0	8
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	3	4	4	0	4	4	4	4	4	4	4	4	43
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	気仙沼市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	7	9	9	9	10	10	9	9	10	10	13	12	117

3．予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	1	2	2	3	4	5	5	5	5	6	6	6	50
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	3	3	4	5	6	6	6	6	7	7	7	61

4．総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	2	3	3	3	3	3	3	3	4	4	5	5	41
通所型サービス	6	7	7	7	9	10	8	7	9	10	11	11	102
計	8	10	10	10	12	13	11	10	13	14	16	16	143

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年月日	内容	講師・事例提供者	参加者
R6.06.11	個人情報及びプライバシー保護に関する研修	恵泉会介護支援センターいきいき 管理者	4名
R6.07.11	コンプライアンスについて	恵泉会介護支援センター 施設長	4名
R6.08.19	地域資源について	サービス向上委員会 恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員 恵泉会東和介護支援センター 主任介護支援専門員 恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	4名
R6.09.30	他法人との合同研修会 （高齢者虐待に関する研修会）	登米市迫地域包括支援センター 管理者 社会福祉士	4名
R6.10.11	感染症BCPについて	恵泉会東和支援センター 主任介護支援専門員 恵泉会介護支援センターらくらく 主任介護支援専門員	4名
R6.12.11	事例検討会	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 介護支援専門員	4名
R7.01.14	自然災害発生時における業務継続計画（BCP）訓練	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員	4名
R7.02.12	認知症について	恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	4名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主催者	開催地	参加者
R6.04.30 (他7日間)	令和6年度主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	リモート	職員2名
R6.05.23	登米市在宅医療・介護連携研修会(水分管理編)	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部・登米市	リモート	職員2名
R6.06.08 (他7日間)	令和6年度介護支援専門員専門研修Ⅰ	宮城県ケアマネジャー協会	リモート	職員1名
R6.06.12	令和6年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R6.06.28	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	迫公民館	職員3名
R6.07.05	令和6年度高次脳機能障害圏域研修会(前期)	宮城県東部保健福祉事務所	石巻市 合同庁舎	職員1名
R6.07.10	登米市薬剤師会共同研修会	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	JAみやぎ登米西部南方店	職員2名
R6.08.19	令和6年度登米市障がい福祉支援者サポート事業	登米市	登米市役所 南方庁舎	職員1名
R6.08.20	令和6年度宮城県地域包括ケアシステムの深化推進支援 在宅医療・介護連携推進研修会	宮城県東部保健福祉事務所	登米合同 庁舎	職員1名
R6.08.29	令和6年度第1回医療従事者等支援難病研修会	東北大学病院	リモート	職員1名
R6.09.04	令和6年度登米市介護サービス事業者集団指導	長寿介護課	登米市南方庁舎	職員1名
R6.10.16	令和6年度認知症対応研修会	登米市	リモート	職員1名
R6.11.08	令和6年度ケアプラン点検研修会	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	東部保健福祉事務所	職員1名
R6.11.11	令和6年度登米地域難病患者支援者研修会	宮城県石巻保健所登米支所	登米合同庁舎	職員1名
R6.11.14	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	中田農村環境改善センター	職員1名
R6.12.4	令和6年度介護認定調査員現任研修	登米市長寿介護課	石巻合同庁舎	職員1名
R6.12.6	令和6年度介護支援専門員実務研修実習指導者研修	宮城県ケアマネジャー協会	リモート	職員2名
R7.1.10	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	迫公民館	職員2名
R7.1.15	登米市薬剤師会共同研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	JAみやぎ登米西部南方店	職員1名
R7.2.6	令和6年度登米市在宅医療・介護連携研修会	登米市長寿介護課	登米市民病院	職員1名
R7.3.7	令和6年度ケアマネジャー・ケアスタッフ感染対策研修会	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	登米市民病院	職員1名

(3) その他の研修

年 月 日	内　　容	主 催 者 ・ 講 師	開催地	参加者
R6.06.13	令和6年度恵泉会経営者研修	WJU社会保険労務士法人　細田真奈美氏	恵泉会法人本部2階研修室	職員1名
R6.08.26	令和6年度恵泉会人事考課者現任研修(前期)	恵泉会	恵泉会法人本部2階研修室	職員1名
R6.11.19	令和6年度第44回恵泉会職員研修大会	恵泉会	登米祝祭劇場	職員3名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開 催 日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週水曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開 催 日	内　容	開　催　地	出 席 者
R6.07.17	令和6年度登米地区地域ネットワーク会議	登米市登米総合支所	職員2名
R6.11.12	令和6年度米山・南方地域高齢者ネットワーク会議	登米市中津山公民館	職員1名
R6.07.19	令和6年度登米市自立支援個別ケア会議	登米市南方庁舎	職員1名

3. 委員会開催状況

委員会名	内　容	開催日	参加職員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合同研修について	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
改善委員会	マニュアルと災害時要援護者台帳の作成及び見直しに関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
サービス向上委員会	自己評価、満足度調査の実施、サービス情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応等に関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
高齢者虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員

【利用者サービスの向上】

令和6年度は介護報酬改定の施行に伴い、担当者数が引き上げられたことや介護保険法の改正によって、居宅介護支援事業所も地域包括支援センターのように市町村から指定を受け、介護予防支援を担えるようになったことから、年間給付管理件数を前年度より約180件ほど上回ることができました。令和7年度も引き続き新規利用者の獲得に努めながら、月平均140件以上の給付管理件数を維持し、安定的に事業経営が継続できるようにしていきます。また、事業の提供にあたっては、居宅介護支援事業所としての公正中立な立場を確保しつつ、法人内の各サービス事業所と連携を図りながら、利用者の紹介や稼働率の向上に貢献できるよう協力していきます。

令和6年度
登米市迫地域包括支援センター　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
2. 設　置　主　体　　登米市
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成18年4月1日

迫圏域では独居、身寄りや支援者がいない高齢者が多いことから、権利擁護や生活困窮の相談件数が多くみられています。令和6年度は　迫圏域地域ケア会議を4回開催し、民間の身元保証サービスに繋いだ方は2件、成年後見市長申し立てについては2件となっています。また介護保険制度にとどまらず、障がい福祉制度の相談も多くなっていることから、迫圏域居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象として「障がい福祉制度」の研修を開催しました。高齢者虐待通報については7件となっており、世帯分離したケースは1件となりました。迫地域高齢者ネットワーク会議を開催し、災害時の地域と福祉の連携というテーマで関係機関と情報交換とネットワークの構築を図りました。

【　重　点　項　目　】

1. 認知症サポーター養成講座や認知症ステップアップ講座、癒しの音楽カフェ、講座等で地域住民や関係者へ認知症の正しい理解を深めて啓発を行いました。認知症のポスターを医療機関に掲示していただき地域住民への啓発を行いました。
2. 本人、家族、近隣の住民、地域のネットワークを活用して高齢者への個別訪問、情報収集等を行い。閉じこもり、フレイル等の懸念のある高齢者の把握に努め、高齢者の心身の状況や家族についての実態把握を行いました。
3. 新型コロナウイルス感染症予防対策に関しては5類への移行に伴い、ご利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから他の感染症同様に国や県の通知に合わせ、訪問や各種事業の開催を行いました。

【　利　用　状　況　】

1. 相　談　事　業

(1) 形態別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	140	116	109	159	143	111	107	125	115	116	101	104	1,446
来所	48	63	52	58	37	36	38	40	43	40	50	37	542
訪問	189	178	186	218	166	166	198	182	185	191	189	180	2,228
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	377	357	347	435	346	313	343	347	343	347	340	321	4,126

(2) 相談者別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本人	243	227	230	244	233	224	250	256	233	253	242	238	2,873
家族	81	61	54	77	61	46	37	54	53	47	47	47	665
ケアマネ	13	20	25	36	25	12	16	11	13	15	14	14	214
サービス事業所	5	10	11	8	4	15	6	8	8	4	5	3	87
医療機関	13	9	9	21	12	9	5	14	21	8	4	2	127
民生委員・区長	3	2	2	3	3	4	11	0	10	7	2	1	48
社協	0	6	2	0	0	0	3	0	1	1	11	0	24
行政関係	16	20	12	24	15	11	9	4	6	6	15	12	150
その他	3	3	2	22	3	2	6	0	2	6	0	6	55
計	377	358	347	435	356	323	343	347	347	347	340	323	4,243

(3) 内容別相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合相談	サービス利用	125	128	102	153	100	64	92	93	108	88	82	84	1,219
	実態把握	6	2	0	10	4	6	18	13	19	7	11	5	101
	認知症関係	9	5	5	1	2	11	6	18	4	5	4	4	74
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0
権利擁護	虐待関係	3	2	0	11	1	7	4	0	0	0	6	5	39
	成年後見関係	4	3	2	5	1	4	1	2	0	0	1	3	26
	消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症関係	0	0	0	0	0	18	4	0	0	0	0	0	22
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防ケアマネジメント	要支援・事業対象者	226	213	219	233	234	195	209	215	205	230	203	214	2,596
	福祉サービス	4	2	8	3	3	5	5	2	4	14	26	2	78
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
包括的・継続ケアマネジメント	ケアマネジメント支援	0	2	11	19	1	3	4	4	3	3	5	4	59
	困難事例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		377	357	347	435	346	313	343	347	343	347	340	321	4,216
予防給付関係	給付管理件数	206	199	199	200	192	196	193	187	190	195	194	192	2,343
	(内委託件数)	33	27	30	30	31	30	29	28	30	31	30	27	356
計		206	199	199	200	192	196	193	187	190	195	194	192	2,343

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講師(講演者)	参 加 者
R6.04.01	恵泉会新人職員研修	管理者	職員1名
R6.06.13	恵泉会経営者研修(ハラスメント研修)	ウェルフェアー・J・ユナイテッド(株)	職員1名
R6.06.24	災害時・感染症発生時における業務継続に向けた研修(委員会同時開催)	管理者	職員4名
R6.06.24	高齢者虐待防止研修(委員会同時開催)	社会福祉士	職員4名
R6.06.24	感染症対応研修(委員会同時開催)	看護師	職員4名
R6.08.26	恵泉会人事考課研修	恵泉会人事考課担当職員	職員1名
R6.09.30	恵泉会居宅介護支援事業所高齢者虐待防止研修	管理者・社会福祉士	恵泉会居宅介護支援センター職員
R6.12.17	迫地域包括支援センター内部研修(コンプライアンス、高齢者虐待防止研修)	管理者・社会福祉士	職員5名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R6.04.30	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R6.05.03	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R6.05.07	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R6.05.09	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R6.05.12	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R6.05.15	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R6.05.22	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R6.05.23	令和6年度在宅医療介護連携研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	南方庁舎2階シアターホール	職員1名
R6.05.29	主任介護支援専門員更新研修	宮城県	ZOOM	職員1名
R6.06.12	令和5年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R6.06.18	令和6年度認知症カフェ研修	登米市	南方庁舎	職員1名

R6.06.28	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会	迫公民館	職員1名
R6.07.10	登米市薬剤師会・宮城県ケアマネジャー協会登米支部共同研修会	宮城県ケアマネジャー協会・薬剤師会登米支部	JAみやぎ登米西部南方庁舎会議室	職員1名
R6.07.11	介護支援専門員更新研修Ⅱ	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R6.07.17	令和6年度宮城県地域包括支援センター職員等研修会	宮城県社会福祉士会	ZOOM	職員1名
R6.07.20	介護支援専門員更新研修Ⅱ	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R6.07.30	介護支援専門員更新研修Ⅱ	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R6.08.06	介護支援専門員更新研修Ⅱ	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R6.08.09	令和6年度宮城県地域包括支援センター職員等研修会	宮城県社会福祉士会	ZOOM	職員1名
R6.09.04	令和6年度依存症関連問題研修Ⅰ～本人の理解を深める～	宮城県精神保健福祉センター	ZOOM	職員1名
R6.09.06	令和6年度宮城県地域包括支援センター職員等研修	宮城県社会福祉士会	ZOOM	職員1名
R6.09.12	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R6.09.19	宮城県キャラバンメイト養成研修	宮城県保健福祉部長寿社会政策課	宮城県庁2階講堂	職員1名
R6.10.07	迫圏域居宅介護支援事業所研修	迫地域包括支援センター	迫保健センター	職員3名
R6.10.09	登米市薬剤師会・宮城県ケアマネジャー協会登米支部共同研修会	宮城県ケアマネジャー協会・薬剤師会登米支部	JAみやぎ登米西部南方庁舎会議室	職員1名
R6.10.16	令和6年度認知症対応研修	登米市	南方庁舎	職員2名
R6.10.31	動機づけ面接を用いた依存症の家族支援について	登米市	南方庁舎	職員1名
R6.11.14	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会	中田農村改善センター	職員1名
R6.11.14	フレイル対策に係る人材育成研修	宮城県	ZOOM	職員1名
R6.11.22	社会福祉士研修会	登米市	南方庁舎	職員2名
R6.12.11	介護支援専門員実務研修	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R6.12.16	介護支援専門員実務研修	宮城県ケアマネジャー協会	みやぎハートフルセンター	職員1名
R6.12.19	認知症研修	登米地区地域医療対策委員会	登米市民病院	職員1名
R6.12.23	介護支援専門員実務研修	宮城県ケアマネジャー協会	フォレスト仙台	職員1名
R7.01.06	介護支援専門員実務研修	宮城県ケアマネジャー協会	みやぎハートフルセンター	職員1名
R7.01.08	介護支援専門員実務研修	宮城県ケアマネジャー協会	リモート	職員1名
R7.01.10	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会	迫公民館	職員1名
R7.01.11	介護支援専門員実務研修	宮城県ケアマネジャー協会	東北福祉大学	職員1名
R7.01.15	令和6年度登米市薬剤師会・宮城県ケアマネジャー協会登米支部合同研修会	登米市薬剤師会・宮城県ケアマネジャー協会登米支部	JAみやぎ登米西部南方庁舎会議室	職員1名
R7.01.15	介護支援専門員実務研修	宮城県ケアマネジャー協会	ハートフル仙台	職員1名
R7.01.23	令和6年度宮城県チームオレンジコーディネーター研修	宮城県	仙台合同庁舎	職員1名
R7.01.22	介護支援専門員実務研修	宮城県ケアマネジャー協会	ハートフル仙台	職員1名
R7.01.24	令和6年度宮城県フレイル対策市町村サポート事業フレイル対策に係る人材育成研修会	登米市・登米市民病院・宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R7.02.06	令和6年度登米市在宅医療・介護連携研修会	登米市・登米市民病院・宮城県ケアマネジャー協会	登米市民病院	職員1名
R7.02.13	介護支援専門員実務研修	宮城県ケアマネジャー協会	東北福祉大学	職員1名
R7.02.19	介護支援専門員実務研修	宮城県ケアマネジャー協会	東北福祉大学	職員1名
R7.02.28	介護支援専門員実務研修	宮城県ケアマネジャー協会	ハートフル仙台	職員1名
R7.03.05	介護支援専門員実務研修	宮城県ケアマネジャー協会	宮城県庁講堂	職員1名
R7.03.11	介護支援専門員実務研修	宮城県ケアマネジャー協会	東北福祉大学	職員1名
R7.03.14	令和6年度登米圏域医療福祉支援者研修会	迫合同庁舎	東部保健所登米支所	職員1名
R7.03.18	介護支援専門員実務研修	宮城県ケアマネジャー協会	東北福祉大学	職員1名
R7.03.25	介護支援専門員実務研修	宮城県ケアマネジャー協会	東北福祉大学	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
登米市地域包括支援センター会議	業務連絡・確認、活動状況報告、研修	第4火曜日	管理者他1名輪番による
迫地区民生委員児童委員協議会定例会	業務連絡・確認、活動状況報告、相談	第3木曜日	管理者他1名輪番による

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
R6.04.09	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R6.04.16	はさまデイサービス認知症カフェ打ち合わせ	はさまデイサービスセンター	職員1名
R6.04.22	生活圏域地域ケア会議	迫保健センター	職員2名
R6.04.22	グループホームはさま運営推進会議	グループホームはさま	職員1名
R6.04.25	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R6.04.30	職種別事業推進会(主任介護支援専門員)	南方庁舎	職員1名
R6.05.08	職種別事業推進会議(社会福祉士)	南方庁舎	職員1名
R6.05.08	職種別事業推進会議(看護師)	南方庁舎	職員1名
R6.05.17	登米市生活支援体制整備事業第二層迫圏域協議体会議	迫老人福祉センター	職員1名
R6.05.22	出前講座(佐沼駅前地区自治会)	佐沼駅前区集会所	職員3名
R6.05.27	いきいき健康教室打ち合わせ	迫保健センター	職員1名
R6.05.29	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R6.05.31	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特別養護老人ホームせくれ	職員1名
R6.06.07	NPO法人ぷれもオレンジカフェ打ち合わせ	NPO法人ぷれも	職員1名
R6.06.10	いきいき健康教室(板橋地区)	板橋集落センター	職員1名
R6.06.11	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R6.06.13	グループホームはさま運営推進会議	グループホームはさま	職員1名
R6.06.20	とめゆたり家族交流会	迫公民館	職員1名
R6.06.24	オレンジカフェ　グランヴィア　プレオープン	グランヴィア	職員1名
R6.06.25	自立支援型個別ケア会議打ち合わせ	南方庁舎	職員2名
R6.06.26	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R6.06.28	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特別養護老人ホームせくれ	職員1名
R6.07.02	はさま元気応援研修会担当者打ち合わせ	迫保健センター	職員2名
R6.07.04	生活圏域地域ケア会議	登米市民病院多目的ホール	職員2名
R6.07.08	いきいき健康教室(板橋地区)	板橋集落センター	職員1名
R6.07.10	とめゆたり打ち合わせ	はさまデイサービスセンター	職員1名
R6.07.17	出前講座(鉄砲丁ミニデイサービス)	梅ノ木グリーンパーク集会室	職員2名
R6.07.19	自立支援型個別ケア会議	南方庁舎	職員2名
R6.07.26	デイサービスにしだて運営推進会議	デイサービスにしだて	職員1名
R6.07.31	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R6.08.01	いきいき健康教室打ち合わせ	迫保健センター	職員1名
R6.08.01	生活圏域地域ケア会議	迫保健センター	職員2名
R6.08.02	認知症サポーター養成講座	迫保健センター	職員2名
R6.08.05	いきいき健康教室(板橋地区)	板橋集落センター	職員1名
R6.08.07	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R6.08.08	認知症啓発活動(ポスター配布)	迫町内	職員5名
R6.08.09	認知症啓発活動(ポスター配布)	迫町内	職員5名
R6.08.21	令和6年度アルツハイマーデーオレンジドンキー打ち合わせ	南方庁舎	職員1名
R6.08.26	生活圏域地域ケア会議	迫総合支所1階相談室	職員2名
R6.08.28	認知症啓発活動(ポスター配布)	迫町内	職員1名
R6.08.28	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R6.08.29	グループホームはさま運営推進会議	グループホームはさま	職員1名
R6.08.30	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特別養護老人ホームせくれ	職員1名
R6.08.30	いきいき健康教室打ち合わせ	迫保健センター	職員1名
R6.09.04	登米市集団指導	南方庁舎	職員1名
R6.09.09	いきいき健康教室	板橋集落センター	職員1名
R6.09.11	若年性認知症当事者・家族の会「連珠の会」	石巻まきあーとテラス	職員1名
R6.09.20	アルツハイマーデー啓発活動	みやぎ生協加賀野店	職員2名
R6.09.24	出前講座(新田駅前長生会)	新田駅前生活センター	職員2名
R6.09.24	はさまデイサービス認知症対応型デイサービス運営推進会議	はさまデイサービスセンター	職員1名
R6.09.25	自立支援型個別ケア会議	南方庁舎	職員2名

R6.09.25	癒しの音楽カフェ	長沼ボートクラブ場クラブハウス	職員2名
R6.09.26	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R6.09.27	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R6.09.27	プラスワ運営推進会議	佐沼中央商工会議所	職員1名
R6.09.30	恵泉会苦情処理・サービス向上委員会	恵泉会2階研修室	職員1名
R6.10.01	若年性認知症当事者家族交流会事前打ち合わせ	南方庁舎	職員1名
R6.10.03	和話輪打ち合わせ	迫保健センター	職員2名
R6.10.08	認知症サポーター養成講座	恵泉会2階研修室	職員2名
R6.10.08	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R6.10.09	あんディ・まめスポ運営推進会議	あんディ・まめスポ	職員1名
R6.10.10	RUIカフェ	迫風園	職員2名
R6.10.10	和話輪	迫公民館	職員2名
R6.10.16	認知症サポーター養成講座	迫公民館	職員2名
R6.10.17	登米市生活支援体制整備事業第二層迫圏域協議体会議	迫老人福祉センター	職員1名
R6.10.17	グループホームはさま運営推進会議	グループホームはさま	職員1名
R6.10.25	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R6.10.29	あんディ・ケアサービス、あんディスポルト運営推進会議	あんディ・ケアサービス	職員1名
R6.10.29	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特別養護老人ホームせくれ	職員1名
R6.11.06	認知症サポーターステップアップ講座	南方庁舎	職員1名
R6.11.12	和話輪打ち合わせ・反省会	迫保健センター	職員2名
R6.11.15	北方小学校福祉学習打ち合わせ	北方小学校	職員2名
R6.11.19	和話輪（認知症サポーター養成講座）	迫公民館	職員2名
R6.11.21	北方小学校福祉学習講話	北方小学校	職員2名
R6.11.22	デイサービス足之助運営推進会議	デイサービス足之助	職員1名
R6.11.27	デイサービスきらり運営推進会議	デイサービスきらり	職員1名
R6.11.27	自立支援型個別ケア会議	南方庁舎	職員2名
R6.11.28	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R6.11.29	デイサービス大錦運営推進会議	デイサービス大錦	職員1名
R6.11.29	デイサービスひなたぼっこ運営推進会議	デイサービスひなたぼっこ	職員1名
R6.11.29	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R6.12.05	和話輪打ち合わせ	迫保健センター	職員2名
R6.12.06	若年性認知症当事者家族交流会	南方公民館	職員1名
R6.12.10	和話輪	迫公民館	職員2名
R6.12.10	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R6.12.11	光ヶ丘西区民会講話	光ヶ丘集会所	職員2名
R6.12.12	迫地域高齢者ネットワーク会議	迫保健センター	職員4名
R6.12.13	認知症当事者・家族支援交流会「とめゆたり」事前打ち合わせ	南方庁舎	職員1名
R6.12.16	グループホームはさま運営推進会議	グループホームはさま	職員1名
R6.12.25	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R6.12.27	せくれ運営推進会議	せくれ	職員1名
R7.01.09	認知症サポーター養成講座	南方庁舎	職員2名
R7.01.10	和話輪打ち合わせ	迫保健センター	職員2名
R7.01.16	和話輪	迫公民館	職員2名
R7.01.21	自立支援型個別ケア会議	南方庁舎	職員1名
R7.01.25	友愛団地「あいあい会」ミニデイ講話	友愛団地集会所	職員2名
R7.01.26	認知症当事者・家族支援交流会「とめゆたり」	はさまデイサービスセンター	職員1名
R7.01.30	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R7.02.12	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R7.02.20	認知症ステップアップ講座打ち合わせ	南方庁舎	職員1名
R7.02.21	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R7.02.21	デイサービスにしだて運営推進会議	デイサービスにしだて	職員1名
R7.02.25	自立支援型個別ケア会議打ち合わせ	南方庁舎	職員2名
R7.02.25	翔裕園チームオレンジ認定証授与式	翔裕園	職員1名
R7.02.26	翔裕園オレンジカフェ	翔裕園	職員1名
R7.02.27	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R7.02.27	南風園オレンジカフェ	南風園	職員1名
R7.02.28	森長寿大学出前講座	登米市森公民館	職員2名
R7.03.04	職種別事業推進会（主任介護支援専門員）	南方庁舎	職員2名
R7.03.05	登米市生活支援体制整備事業第二層迫圏域協議体会議	迫老人福祉センター	職員1名
R7.03.05	認知症ステップアップ講座	南方庁舎	職員1名

R7.03.06	職種別事業推進会議(社会福祉士)	南方庁舎	職員1名
R7.03.07	職種別事業推進会議(看護師)	南方庁舎	職員1名
R7.03.12	はさまデイサービス運営推進会議	はさまデイサービスセンター	職員1名
R7.03.18	自立支援型個別ケア会議	南方庁舎	職員1名
R7.03.19	あんディ・まめスポ運営推進会議	あんディ・まめスポ	職員1名
R7.03.25	あんディ・ケアサービス・スポルト運営推進会議	あんディ・ケアサービス	職員1名
R7.03.26	足之助運営推進会議	デイサービス足之助	職員1名

【今後の取り組み】

1. 認知症について一層の普及と啓発を図るとともに、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるように正しい認知症への理解を深め、共生できる地域支援の体制の構築を図っていきます。

2. 地域へ積極的に出向き閉じこもり、フレイル等の懸念のある高齢者を見出し、状況に合わせた支援を行うとともに支援が必要な高齢者の把握に努め、介護予防活動につながる働きかけを図っていきます。

3. ご利用者様が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから、他の感染症同様に今後の国や通知に合わせた訪問や事業を行っていきます。

令和6年度
サービス付き高齢者向け住宅恵はあと 事業報告

【 施 設 概 要 】

1) 所 在 地　宮城県登米市登米町寺池馬場埣777
2) 設 置 主 体　社会福祉法人恵泉会
3) 経 営 主 体　社会福祉法人恵泉会
4) 開 設 年 月 日　平成28年2月1日
5) 事業・利用定員

事 業	利 用 定 員
サービス付き高齢者向け住宅	36 名
計	36 名

令和6年度は入退去の動きが活発となり、入居率も少しずつ改善しました。地域包括支援センターからの紹介に加え、医療機関から退院と同時に入居をされる方が目立ちました。これにより短期間の入居の後、体調を回復され、自宅へ戻られる方も見受けられました。また、70代の比較的若いご入居者の割合が少しずつ増加しており、自立度の高い方の入居が進みました。恵はあとを拠点としながら、ご自身で車を運転して外出され、仕事や友人との交流、趣味活動に励むご入居者もいらっしゃいます。人生を積極的に楽しみ、充実した生活を送られる姿が見られました。

恵はあとが開設し9年が経過し、70代から90代後半の方が入居されています。近隣への散歩・買い物、畑仕事やパークゴルフ、デイサービスの利用など生活スタイルも身体状況も様々です。買い出しが難しいご入居者に対し、月に3回程度、町内のコンビニエンスストアに依頼し、訪問販売の買い物支援を行いました。ご自宅と同じように自由にその人らしい暮らしを送っていただけるよう日々支援を行いました。

令和5年10月1日付けで同一建物内に恵泉会とよま介護支援センターと恵泉会ヘルパーステーションが併設され1年半が経過し、必要に応じたご入居者へのきめ細かな支援体制を構築しました。ケアマネジャーと訪問介護員とともに、密に連携を取り合い、ご入居者・ご家族と相談をしながら、ご入居者の生活状況の変化に応じた対応に努めました。

コロナ禍の収束に伴い、ご家族に加えて、ご入居者同志や地域との交流も徐々に増加しました。とよまの秋まつりの山車を観覧したり、併設するキッズつぼみの子供たちや隣接する遠山荘の利用者と夏祭りなどの合同イベントを自由参加で行いました。

令和7年度も広報活動を行うなどし、経営面の改善を推し進め、引き続き入居率向上に努めるとともに、ご入居者一人ひとりの生活を尊重し、安心して過ごせる住環境づくりに取り組んでまいります。

【 重 点 項 目 】

1. 入居者の自主性の尊重
ご入居者ひとりひとりのライフスタイルが確立しており、その生活スタイルを把握しながら、個々に応じた距離感を持ち自宅と同じように周囲に気を使わず自由な生活を送って頂くように配慮した支援に努めてきました。

2. 新型コロナウイルス等感染症対策
ご入居者においては通院・外出・面会等外部との接触の機会が多く、感染症が避けがたい状況にあるため、食事の時間を利用し、感染防止の啓発に努めてきました。マスクの着用、手洗いなどを呼び掛けました。食事前はアルコール手指消毒、朝・夕食時には検温、食堂テーブルには飛沫防止パネルを設置し、食後のテーブルやイスの除菌を行いました。面会、外出・外泊では感染対策と健康チエック表での確認をご入居者・ご家族にお願いをしながら、交流の機会を大切にしてきました。

3. 健康の保持
ご入居者より体調不調の訴えがあった場合は、バイタルを測定し、ご家族へ連絡、迅速な対応を心がけました。また、訪問看護・訪問診療への連絡のほか、遠山荘看護師に体調不良の相談や対応をお願いしています。身体状況の変化など気が付いたことは、ご家族やケアマネジャーなど関係機関に連絡、情報の共有をし、安心に繋がるように努めました。

4. 避難訓練等の実施
地震や火災などの災害に備えて総合防災訓練や夜間想定の避難訓練、BCPの図上訓練を実施したほか、職員は不審者対応として刺股の使い方や緊急搬送の電話のかけ方・救急救命訓練に参加するなどし安心安全に向けての取り組みを行いました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　　10,911 名
2. 年 間 稼 働 率　　83.04 %
3. 月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自　立	180	186	180	201	217	210	217	210	238	285	280	293	2,697
要支援1	90	81	78	62	31	30	0	22	3	0	28	62	487
要支援2	60	62	60	62	44	60	34	9	0	0	0	0	391
要介護 1	210	217	210	217	217	210	217	210	217	217	196	217	2,555
要介護 2	210	186	194	217	263	285	374	360	344	341	308	344	3,426
要介護 3	60	93	90	93	154	125	139	150	155	119	84	93	1,355
要介護 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	810	825	812	852	926	920	981	961	957	962	896	1,009	10,911

4. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		計
新規入所者数	0	1	1	1	3	2	2	1	2	1	1	2		17
退 所 者 数	0	1	1	0	0	1	2	1	2	2	0	2		12
月末入所者数	27	27	27	28	31	32	32	32	32	31	32	32		+ 5

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

R6.04.20	コンプライアンス研修	管理者	職員3名
R6.06.19	感染症対策研修	管理者	職員5名
R6.09.29	個人情報の取り扱い研修	管理者	職員3名
R6.10.14	虐待・認知症研修	管理者	職員3名
R7.02.04	コンプライアンス研修	参事	職員2名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開 催 日	参　加　職　員
スタッフ会議	入居者の状況、業務内容の検討	年10回	管理者・生活相談員

(2) その他の会議

開 催 日	内　容	場　所	出　席　者
R6.04.25	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R6.05.30	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R6.07.08	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R6.07.25	入居者申込者についての審査(3件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R6.08.01	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R6.09.06	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R6.09.19	入居者申込者についての審査(2件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R6.10.09	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R6.11.15	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R6.11.25	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R6.12.13	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R7.01.21	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R7.01.24	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R7.02.06	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R7.02.26	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師

R6.09.12	運営懇談会	恵はあと	入居者代表・ご家族代表・区長・恵はあと職員
R7.02.06	運営懇談会	恵はあと	入居者代表・ご家族代表・区長・恵はあと職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
研修委員会	内部研修の計画と実施	年2回	管理者・生活相談員
サービス向上委員会	入居者アンケートの実施	年2回	管理者・生活相談員
マニュアル検討委員会	マニュアルの検討、見直し	年1回	管理者・生活相談員

【今後の取り組み】

1. 住み慣れた思い出のある自宅を離れ「恵はあと」での生活をはじめられた方々に、これからの人生を「恵はあと」に入居して良かったと思っていただける支援を目指していきます。

2. ご入居者、ご家族、担当ケアマネジャーと相談をし、必要に応じて外部サービスとも連携をするなど、安心して長期間住むことができるようにすすめてまいります。

3. 地震や火災などの災害に備えた避難訓練や防災教室開催などにより、自助・共助・公助の仕組みづくりなど、サービス付き高齢者向け住宅の防災・避難について実践していきます。併設しているキッズつぼみ・恵泉会とよま介護支援センター・恵泉会ヘルパーステーションとの連携に努め、BCP(事業継続計画)の図上訓練も行います。

4. 感染症拡大防止について、国や県の情報や指示のもと、対応します。感染症対策を行いながら、面会・外出・外泊などご家族や地域住民との交流の機会を大切にしていきます。

5. 広報活動の工夫をし、ご入居者の獲得に努め、入居率のアップと安定した経営を目指します。
職員の配置については必要な時間帯にパート職員を配置し、ヘルパーの兼務をするなど効率的な業務を行い経営の改善に努めます。

6. 入退去時の物件状況の確認をご入居者と連帯保証人・職員の双方で行い、退去時の原状回復等のトラブルにならないようにしていきます。

令和６年度
南方認定こども園　新築整備事業報告

１．整備の概要

国は、少子化の進行とともに家庭や地域を取り巻く環境が変化する中で、子どもが安心して健やかに育まれるよう、子どもの育ちと子育てを支援していくために、子ども・子育て支援法等に基づく「子ども・子育て支援新制度」を平成27年（2015年）４月にスタートしました。この新制度では、①幼稚園、保育所、認定こども園及び小規模保育事業等への給付（子どものための教育・保育給付）の創設②認定こども園制度の改善（幼保連携型・幼稚園型・保育所型・地方裁量型の４つに類型を分類）③地域の実情に応じた子ども・子育て支援の充実を図ることが示されました。

登米市においては、核家族化や共働き世帯の増加に伴い、ニーズ調査結果では認可保育所の希望は依然として多く､保護者の就労に関わらず子どもが健やかに育つよう、教育・保育機能の充実（ソフト面）と施設整備（ハード面）を一体的に捉えた環境整備を行い、子育て世帯のニーズに応えるとともに、必要利用定員総数に応える教育・保育施設の整備を図ることとしています。特に、第一期登米市子ども・子育て支援事業計画期間中に認定こども園の整備が進んだことを受け、保護者の教育・保育の一体的な運営に対する理解が進んでいることから、引き続き子どもたちに教育・保育の一体的な提供を行うため、認定こども園の整備を推進することが「第二期登米市子ども・子育て支援事業計画」（令和２年度～令和６年度）で示されました。

恵泉会では「南方保育所」が昭和５３年４月１日付宮城県知事の認可を受け経営を開始しました。当初、利用児童定員６０名で開所、児童の増加に合わせ、平成２２年にはその定員を６５名、平成２４年には７０名へと定員変更を行ってきました。

建物は、宮城県からの補助金及び登米市（旧南方町）からの助成金を活用して建築され、４６年が経過しました。開所した年の６月１２日に宮城県沖地震が発生、ブロック塀中央に亀裂などの被害があり補助金を活用しての修繕を行いました。平成２３年３月発生の「東北地方太平洋沖地震」や令和４年３月に発生した「福島沖地震」など、度重なる地震による建物や備品等の損傷がありましたが、その都度修繕し対応してきました。

その他、平成１４年３月には利用児童数及び年齢構成に応じた対応をするため遊戯室の改修工事を実施、平成１８年６月には利用児童の増加に伴い厨房等増改築工事、保育室床改修工事、冷暖房改修工事を行い、保育環境の改善を図るとともに７６．７３㎡の増築を実施し対応してきましたが、建物及び保育所の敷地は限られた土地である以上拡大を図ることはできません。

登米市では、ニーズ調査結果や保護者等の意見を総括すると小学校就学前児童数に占める教育・保育ニーズの割合は高く、この傾向は今後も続くことが見込まれるとしており、これまでの市内の認定こども園の開設により、認定こども園に対する保護者の理解が進み、教育と保育を一体的に提供する認定こども園を希望する保護者が増えている状況にあることから、保護者の就労状況に関わらず、小学校就学前の子どもに対して教育と保育を総合的、一体的に提供するため、引き続き認定こども園の設置を推進すると計画されています。また、登米市の世帯状況をみると、一般世帯で核家族世帯数の割合は ４６．０％、６歳未満親族のいる一般世帯における同割合は ４６．２％となっており、核家族世帯の割合が高くなっていると公表されています。核家族

化や地域のつながりの希薄化により、子育てへの不安や孤立感を覚える家庭も少なくないとの国の方針もあることから仕事と子育てを両立できる環境の整備を推し進める上でも、恵泉会では、認定こども園「幼保連携型」への事業移行を計画し、老朽化した建物と手狭な保育所の庭の解消を目指して新たな土地へ移転・新築することで、登米市の子育て支援並びに地域社会への貢献に寄与したいと考え新築整備をいたしました。

２．整備にかかる事業内容

（１）建築した場所　　宮城県登米市南方町新高石浦１５５番地１

（２）敷 地 面 積　　約４，１００．９０㎡

（３）建 築 構 造　　木造合金メッキ鋼板ぶき平家建

（４）利 用 定 員　　７０名

（５）延 床 面 積　　６９６．４８㎡

・０歳児保育室　・１歳児保育室　・２歳児保育室
・３歳児保育室　・４歳児保育室　・５歳児保育室
・調　乳　室　・遊　戯　室　・事　務　室
・医　務　室　・調　理　室　・検　収　室
・厨房休憩室　・更　衣　室　・図書コーナー
・職員トイレ数　職員(３)　来客用(１)　厨房(１)
・児童トイレ数　男子(８)　女子(９)

（６）補 助 金 名　　①令和６年度　就学前教育・保育施設整備交付金
②登米市認定こども園等施設整備補助金

（７）交付・補助額　　２２９，２１２，０００円
【内訳】上記①交付金：１５２,８０８,０００円
上記②補助金：　７６,４０４,０００円

（８）事 業 費 等　　◇本体工事費　　３９３,８００,０００円
◇外構工事費　　４９,７２０,０００円
◇植栽工事費　　３,３３３,８４６円

４４６,８５３,８４６円

◇備品等整備費　　２２,１９８,５４１円
・厨房器具備品（一式）　・電 化 製 品（一式）
・家具カーテン（一式）　・保 育 用 備 品（一式）
・事 務 用 備 品（一式）

◇建物設計監理費　　２０，２４０，０００円
・新築基本設計業務及び実施設計業務（一式）
・工事監理業務（一式）

◇地 質 調 査 費　　２，８０５，０００円

◇建築確認・検査費等　　３２３，０００円
・建築確認検査申請　　・新築完了検査申請
・省エネ適合性判定申請

合計　４９２，４２０，３８７円

（１０）施 工 期 間 等

○建築工事
①入札公告日　令和６年　６月１４日
②入札実施日　令和６年　７月　８日（条件付き一般競争入札）
※落札候補者の資格書類を審査し落札者を決定
③請負業者名　株式会社　渡辺土建（登米市迫町佐沼字大網３９９）
④契約年月日　令和６年　７月１２日　締結
⑤着工年月日　令和６年　７月１３日
⑥完成年月日　令和７年　３月１５日

○設計監理業務
①委託業者名　株式会社　関・空間設計（仙台市青葉区本町２－１－８）
②業 務 期 間　設計業務　令和５年６月１９日～令和６年３月２９日
監理業務　令和６年７月１３日～令和７年３月３１日

３．事業計画と開園までの経緯

令和４年１０月１４日	南方保育所「幼保連携型認定こども園」事業移行について 令和４年度第６回理事会において承認
令和５年５月３０日	南方認定こども園新築工事設計業者選定に係るプロポーザルを実施
令和５年６月１６日	南方認定こども園新築工事設計業務委託契約締結
令和６年１月２５日	令和６年度就学前教育・保育施設整備交付金協議書を登米市福祉事務所子育て支援課に提出
令和６年２月６日	認定こども園建設予定地（南方町新高石浦155-1,155-2、156-1）の農地転用について宮城県より許可
令和６年３月８日	南方認定こども園建設予定地の地権者と土地売買契約締結
令和６年３月１５日	南方認定こども園建設予定地の所有権移転登記完了
令和６年３月２９日	南方認定こども園新築工事実施設計　完了
令和６年６月１４日	南方認定こども園新築工事入札公告
令和６年６月２８日	令和６年度就学前教育・保育施設整備交付金（内示）
令和６年７月８日	南方認定こども園新築工事　入札会
令和６年７月１２日	南方認定こども園新築工事　請負契約締結 南方認定こども園新築工事　監理業務委託契約締結
令和６年７月１３日	南方認定こども園新築工事　着工
令和６年８月３０日	南方認定こども園外構工事　請負契約締結
令和６年９月１２日	南方認定こども園　厨房機器・備品購入契約締結
令和６年１１月２１日	南方認定こども園　植栽工事請負契約締結
令和７年２月上旬	南方認定こども園　事務備品等購入契約締結
令和７年２月７日	令和６年度就学前教育・保育施設整備交付金（追加内示）
令和７年３月１１日	南方認定こども園新築建物 建築検査・消防検査・監理者検査
令和７年３月１４日	南方認定こども園新築建物　施主検査
令和７年３月１５日	南方認定こども園新築建物　竣工
令和７年４月１日	幼保連携型認定こども園　供用開始

令和6年度 ヒヤリハット・軽微・事故・苦情処理報告

【法 人 総 括】

①ヒヤリハット・軽微・事故

事故分類	ヒヤリハット	軽微	事故	合計	割合
介護・支援ミス	19	221	10	250	16.8%
転倒	32	153	32	217	14.5%
転落	36	113	10	159	10.7%
内出血	4	145	2	151	10.1%
その他	55	65	22	142	9.5%
食事提供ミス	46	44	1	91	6.1%
投薬ミス	23	42	24	89	6.0%
自傷	2	82	1	85	5.7%
皮膚裂傷・擦過傷	1	66	2	69	4.6%
私物返し忘れ	8	54	4	66	4.4%
施設外飛び出し	10	18	13	41	2.7%
異食	11	19	1	31	2.1%
加害行為	7	16	5	28	1.9%
器物破壊	3	12	7	22	1.5%
送迎・訪問	3	5	13	21	1.4%
連絡ミス	6	3	7	16	1.1%
誤嚥	3	5	3	11	0.7%
設備不良	2	0	1	3	0.2%
原因不明	0	0	0	0	0.0%
合計	271	1,063	158	1,492	100.0%

【事故分類がその他の主な内容】
・フォーレの自己抜去
・商品の製造ミス(就労支援事業所)
・行事写真のデータ消失
・利用者歩行中の脱力・座り込み
・ケア記録の入力漏れ
・利用者私物の取り違え
・保険適用外の軽易な車輌事故・操作ミス

②苦情処理

	苦情処理
合計	2

Ⅰ. 受付方法

来所	0
電話	1
訪問	0
文書	0
その他	1
計	2

Ⅱ. 苦情の分類

ケアの内容	2
個人の嗜好・選択に係わる事項	0
財産管理(遺産・遺言)	0
その他	0
計	2

Ⅲ. 第三者委員関連(申出人の希望)

	要	否
第三者委員への報告の要否	0	2
話し合いへの第三者委員の助言、立ち会い要否	0	2